

QIP

Quality Indicator/Improvement Project

医療の質の指標

2018 年版

プロセス指標 :

ガイドラインに沿った処方率、処置・リハビリ実施率など

アウトカム指標 :

疾患別リスク調整死亡率、イベント発生率など

領域 :

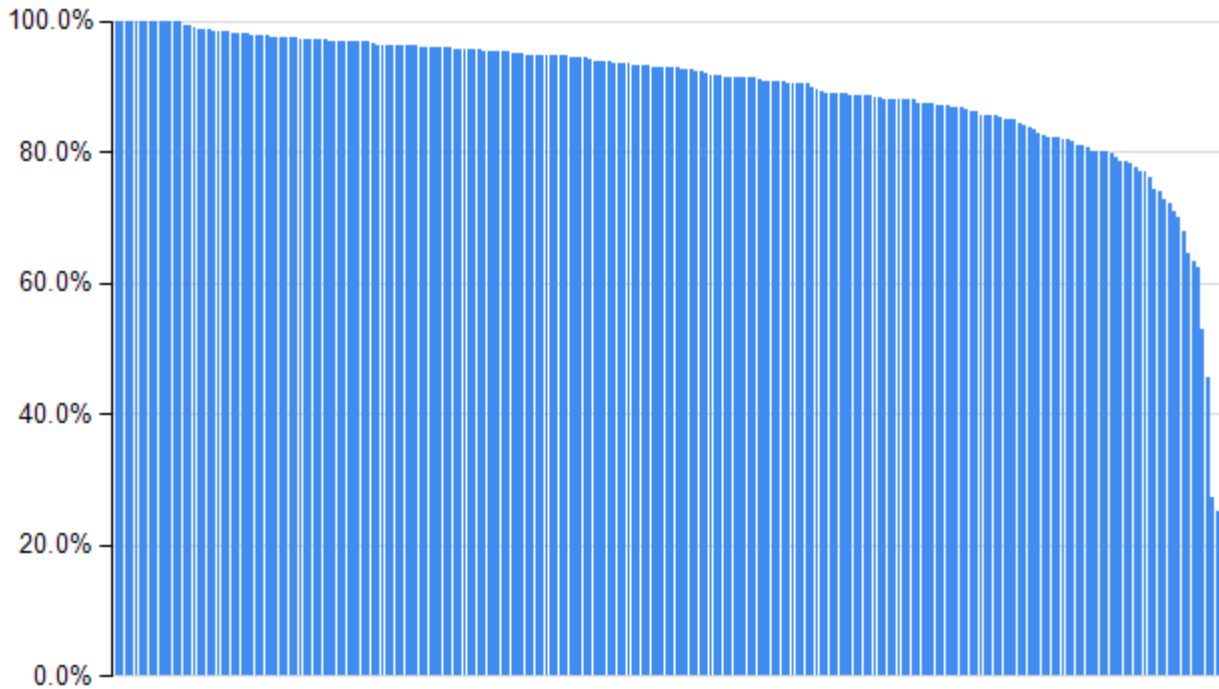
脳神経、呼吸器、循環器、消化器、整形、乳腺、糖尿病、産婦人科、小児、精神、感染症、診療マネジメント

ご意見・ご質問等はQIP事務局までお知らせください
TEL : 075-753-4454 E-mail: qip-office@umin.ac.jp

指標番号	2004
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合

分子：分母のうち、脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、229/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
31667	29241	92.3%

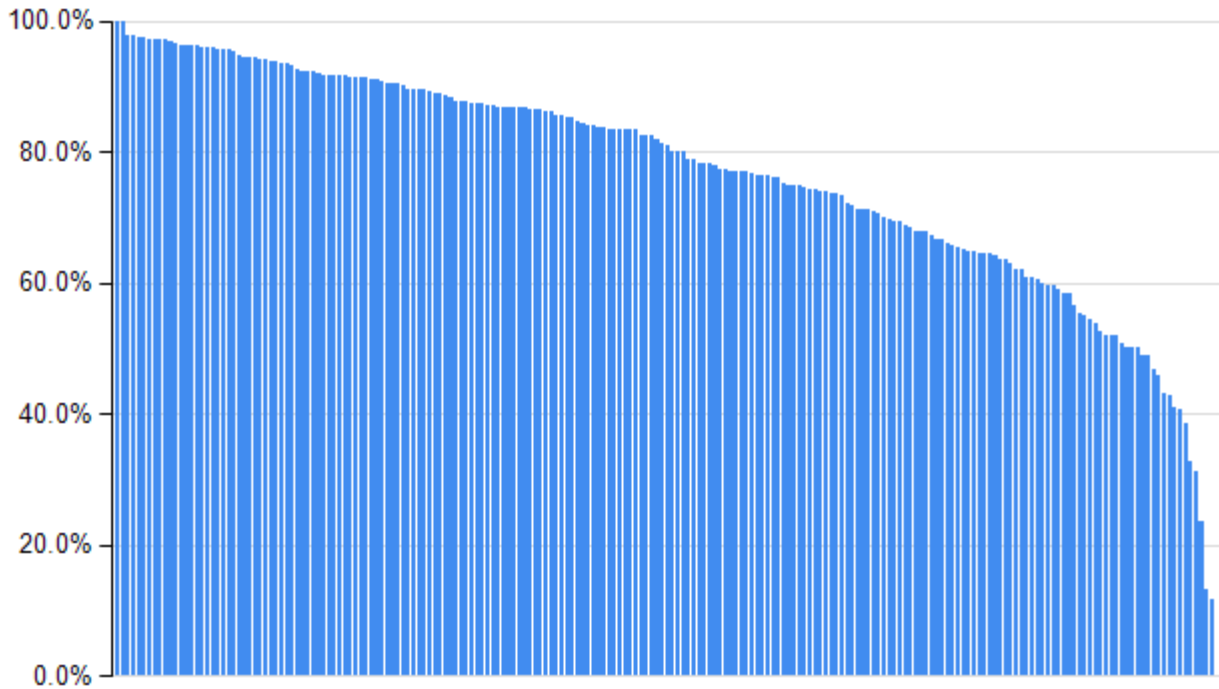
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2005
指標名	脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

分子：分母のうち、入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、209/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
27748	22766	82.0%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0548
指標名	[測定終了] 脳卒中の診断で入院し、リハビリ治療のための評価を受けた症例の割合

分子：分母のうち、リハビリ治療を受けたか、その是非の評価を受けた症例

分母：18歳以上の脳卒中（虚血性/出血性）の診断で入院した症例

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、0/0病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均

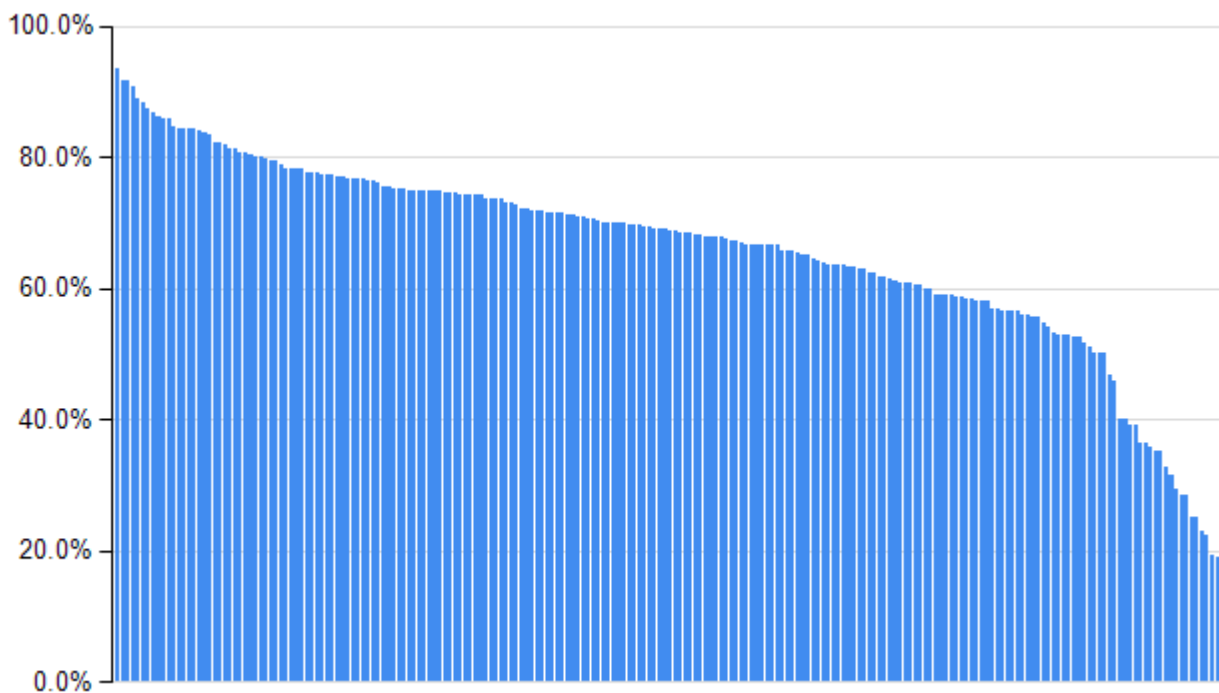
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0549
指標名	脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、入院 2 日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を受けた症例の割合

分子：分母のうち、入院 2 日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を受けた症例

分母：18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

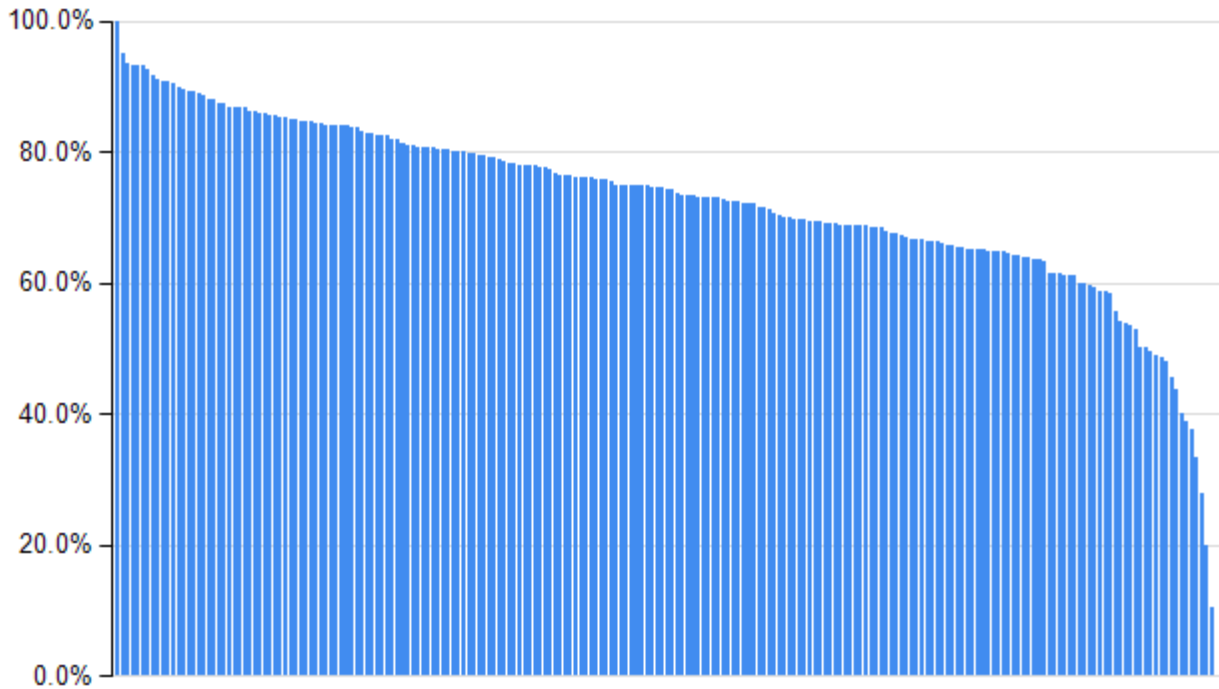
期間症例 10 例未満の病院を除外し、216/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28677	19427	67.7%

指標番号	0837
指標名	脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

分子：分母のうち、退院時に抗血小板薬を処方された症例

分母：18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、217/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
17903	13165	73.5%

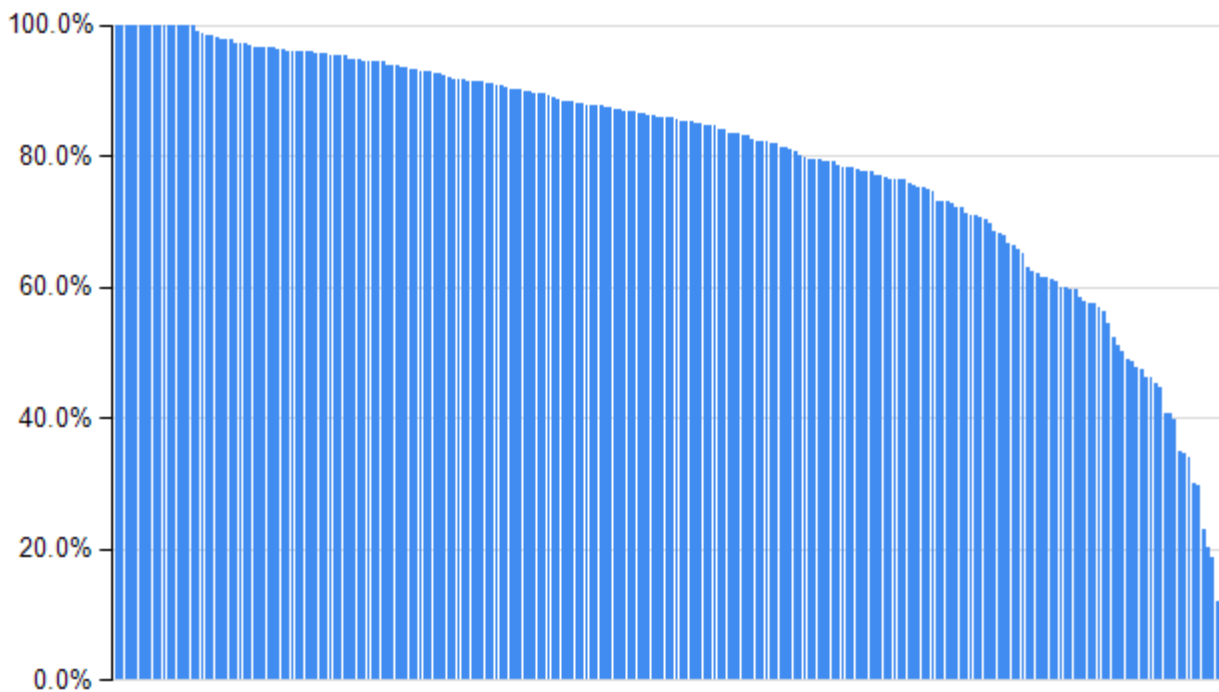
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0842
指標名	脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合

分子： 分母のうち、未分画ヘパリンを投与されなかった症例

分母： 18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、233/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
34489	25817	74.9%

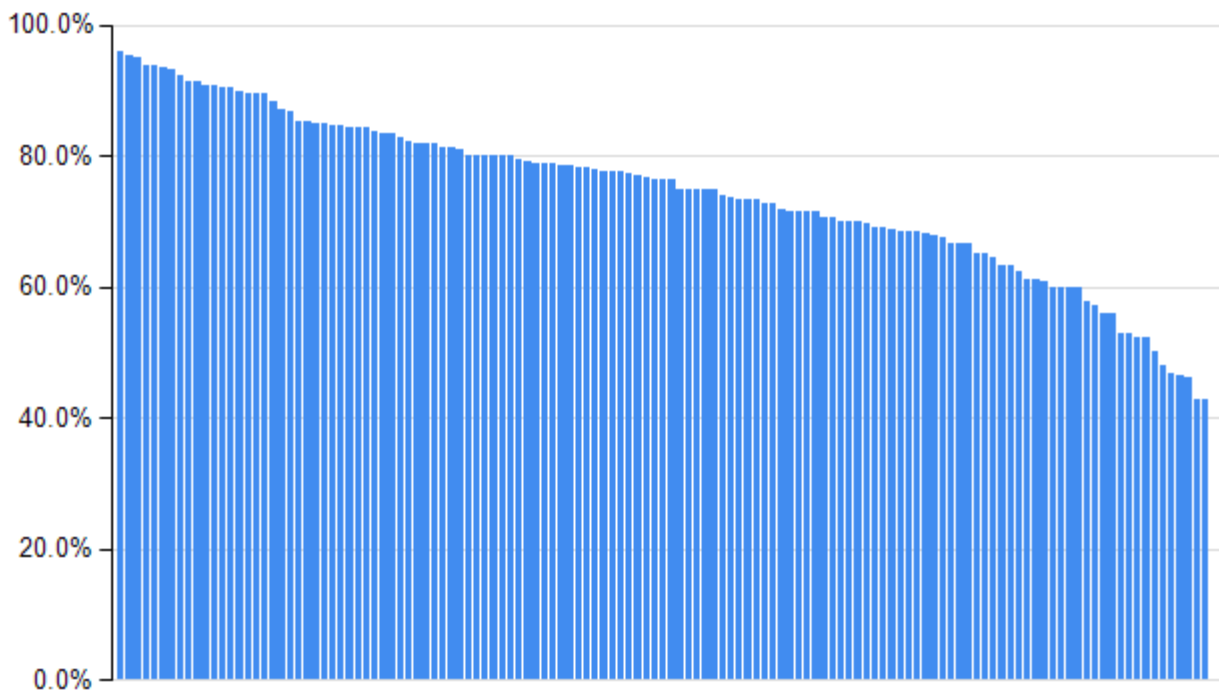
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0841
指標名	心房細動を合併する脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

分子：分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例

分母：18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、130/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4466	3341	74.8%

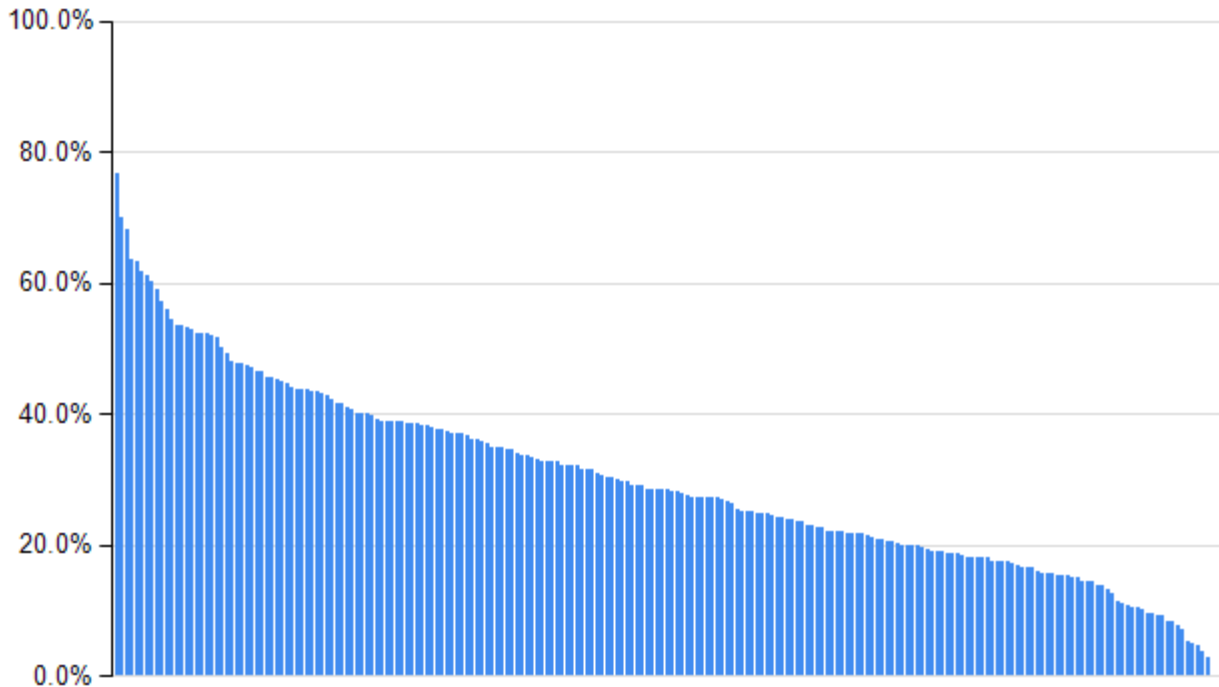
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2081
指標名	脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

分子： 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

分母： 脳梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、221/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
20716	6288	30.4%

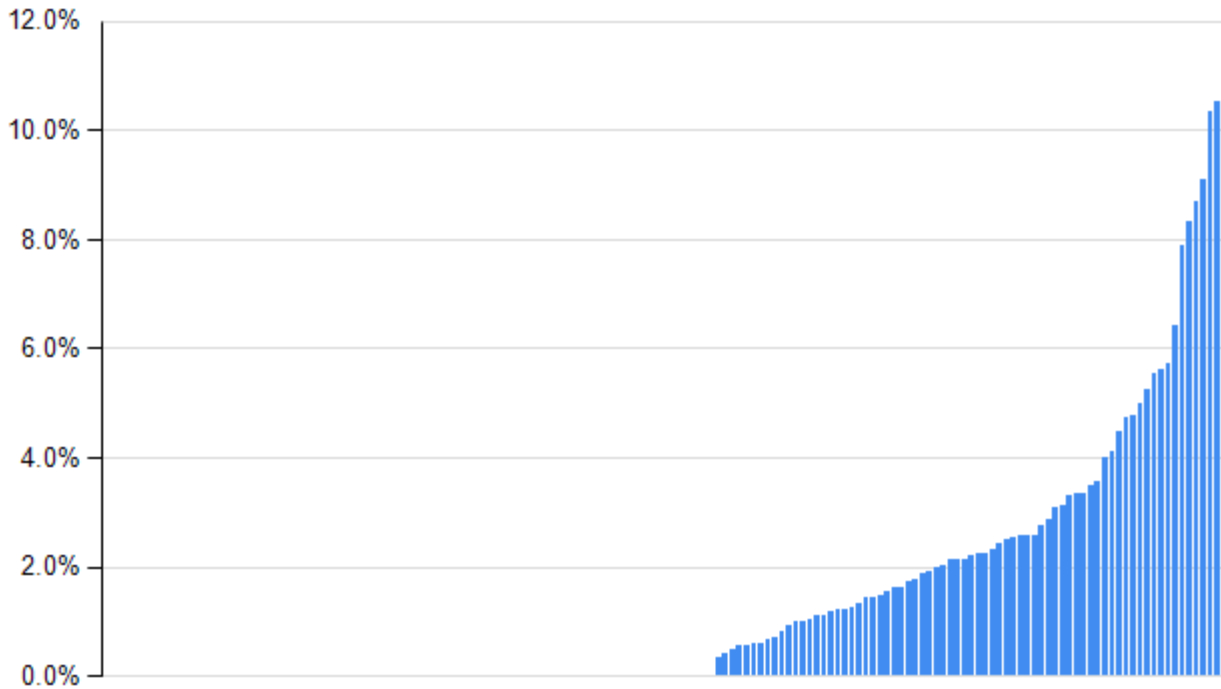
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2085
指標名	脳外科および脳卒中症例の深部静脈血栓症の発症率

分子：深部静脈血栓症の発症症例（0271のコード）

分母：脳外科・脳卒中症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、159/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
15077	212	1.4%

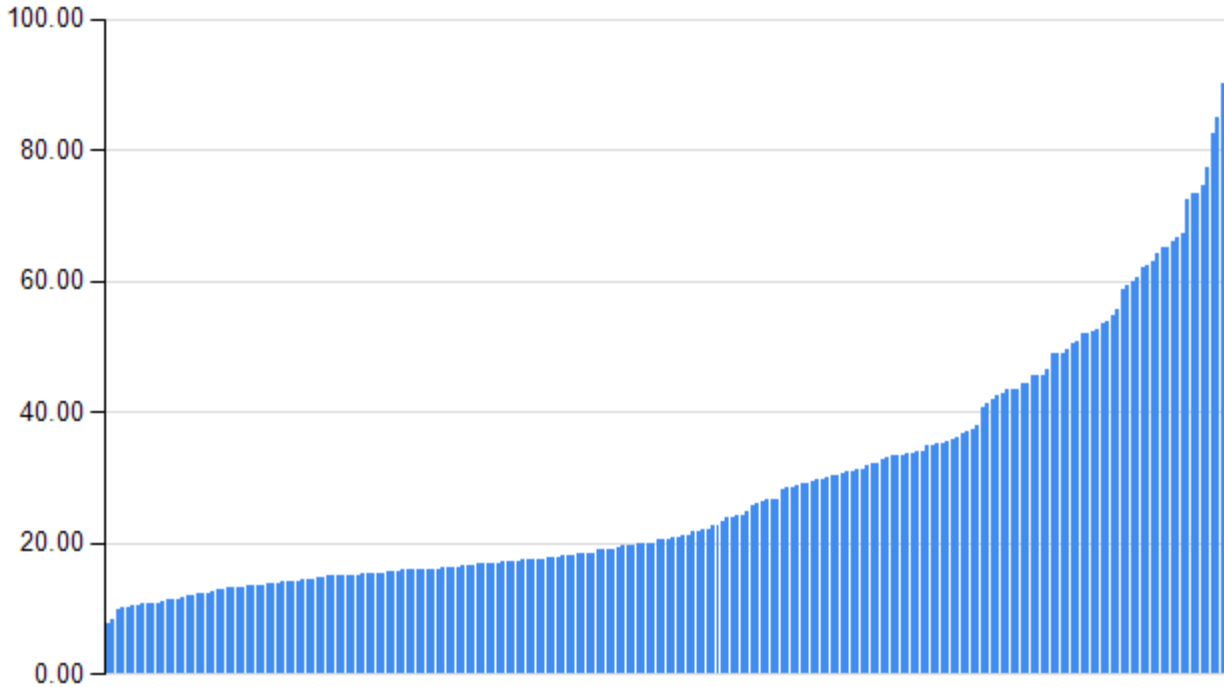
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2098
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ実施平均日数

分子：分母に該当する症例に対して、脳血管リハビリテーション治療を施行された日数

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院し、脳血管リハビリテーション治療を施行された症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、224/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28363	658158	23.20

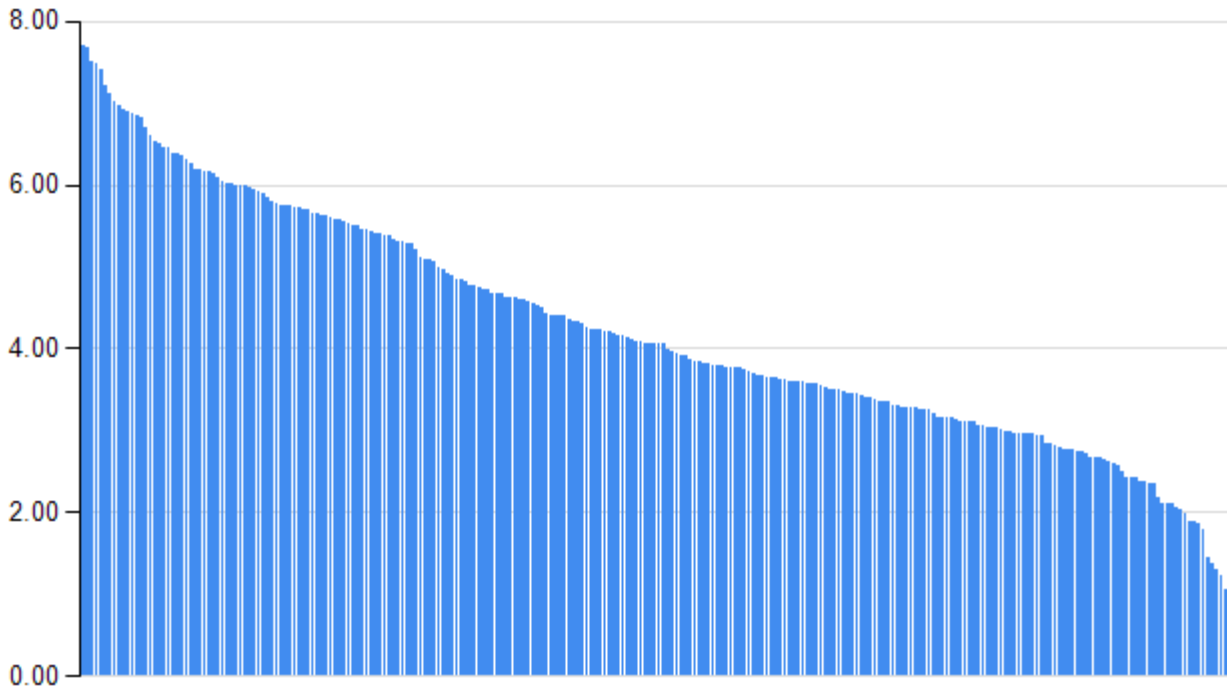
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2099
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ平均 1 日実施単位数

分子：分母の症例に対する脳血管リハビリテーション実施延べ単位数

分母：18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例に対する脳血管リハビリテーション実施日数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、255/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
682767	3191353	4.67

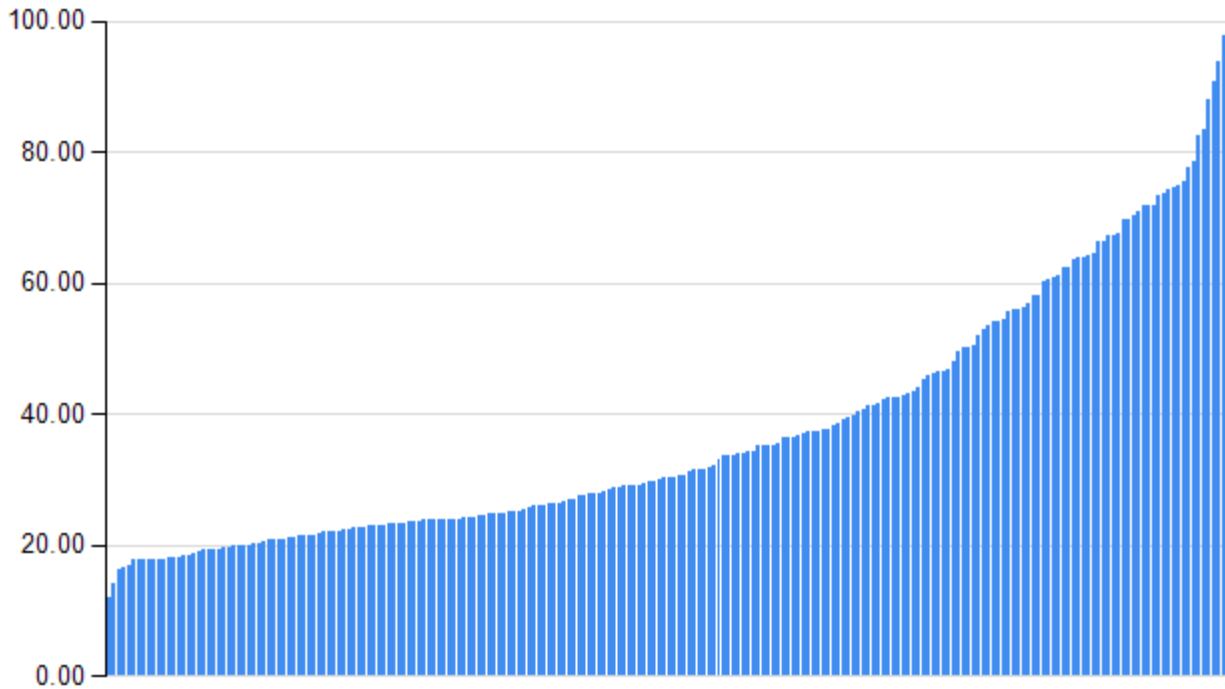
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2100
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の平均在院日数

分子：分母の症例の在院日数

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院し脳血管リハビリテーション実施された症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、224/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28363	861092	30.36

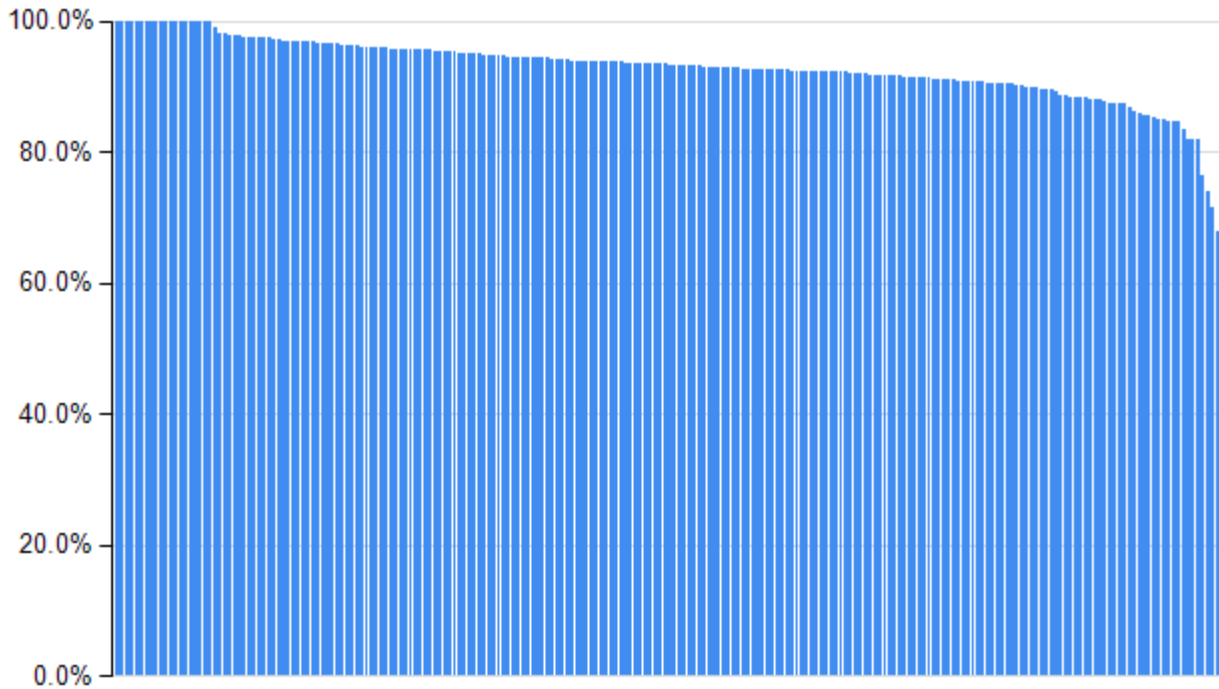
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	5001
指標名	脳梗塞の診断で入院し、抗凝固薬を投与しない割合

分子：分母のうち、抗凝固薬内服を投与されていない症例

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、226/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
30664	28461	92.8%

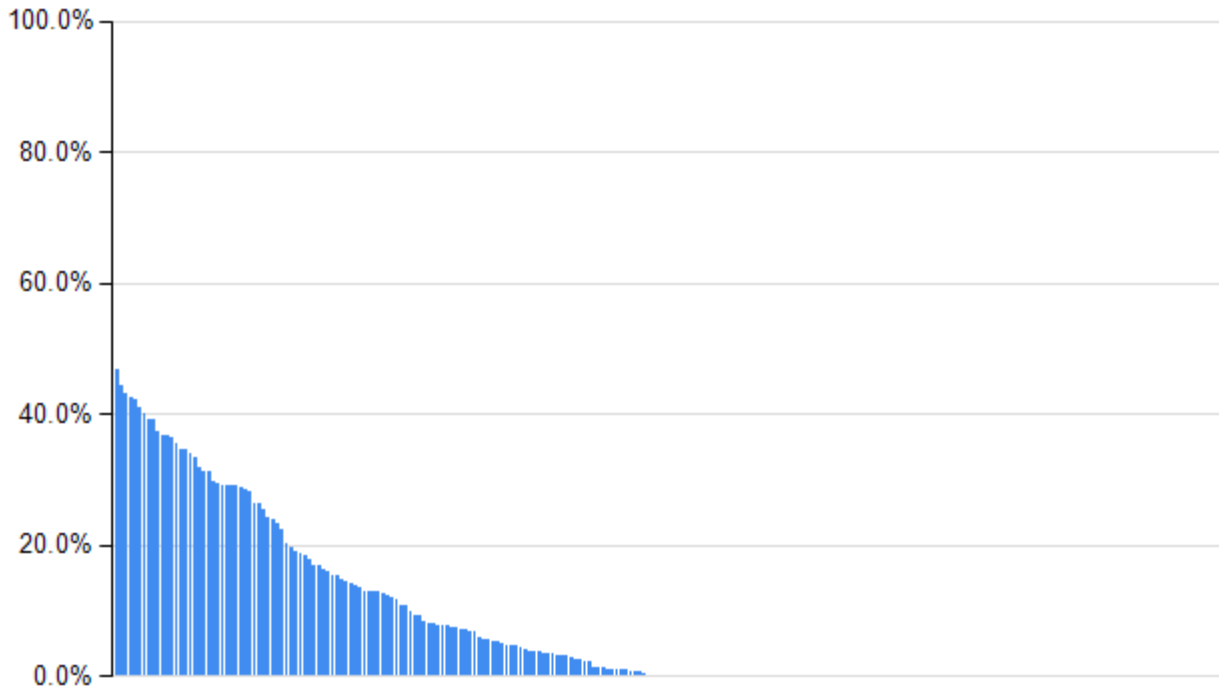
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2110
指標名	脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率（2016）

分子：分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

分母：脳卒中中で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、241/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
52356	6267	12.0%

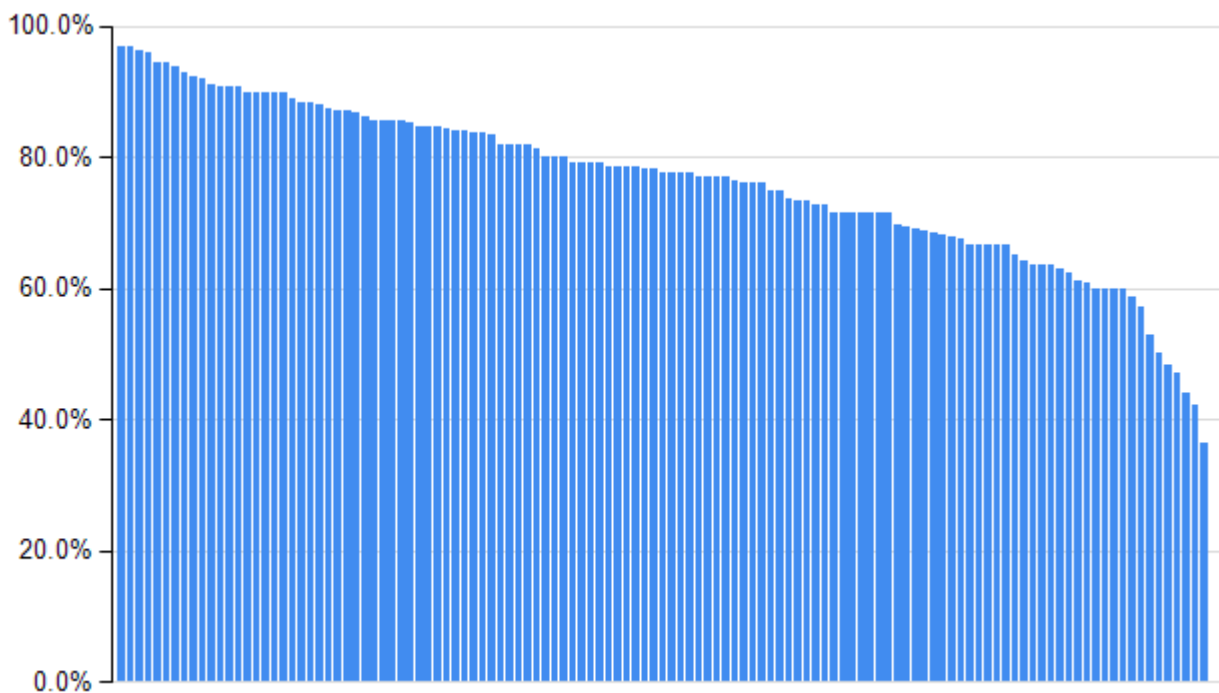
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0841_2
指標名	心房細動を合併する脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例（90 歳未満）

分子：分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例

分母：18 歳以上 90 歳未満の脳梗塞か TIA の診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例（腎不全症例を除く）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

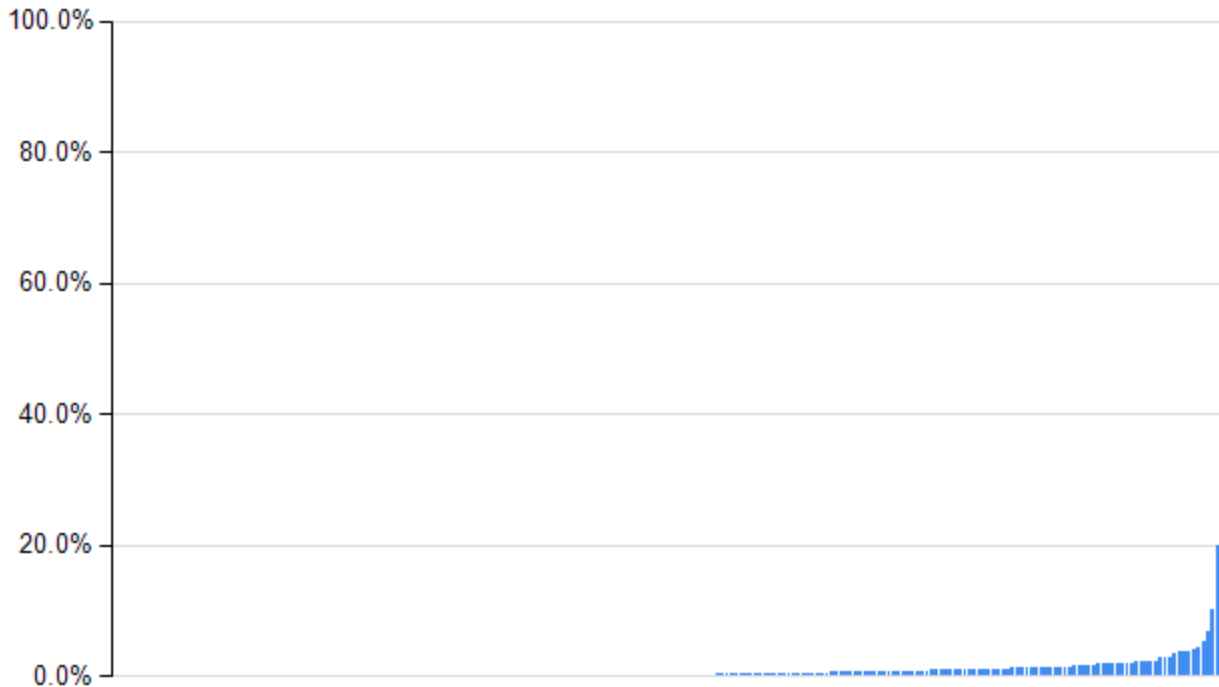
期間症例 10 例未満の病院を除外し、122/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
3657	2803	76.6%

指標番号	2125
指標名	脳梗塞症例の深部静脈血栓症の発症率

分子：深部静脈血栓症の発症症例（0271のコード）

分母：脳梗塞症例で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、232/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
36141	294	0.8%

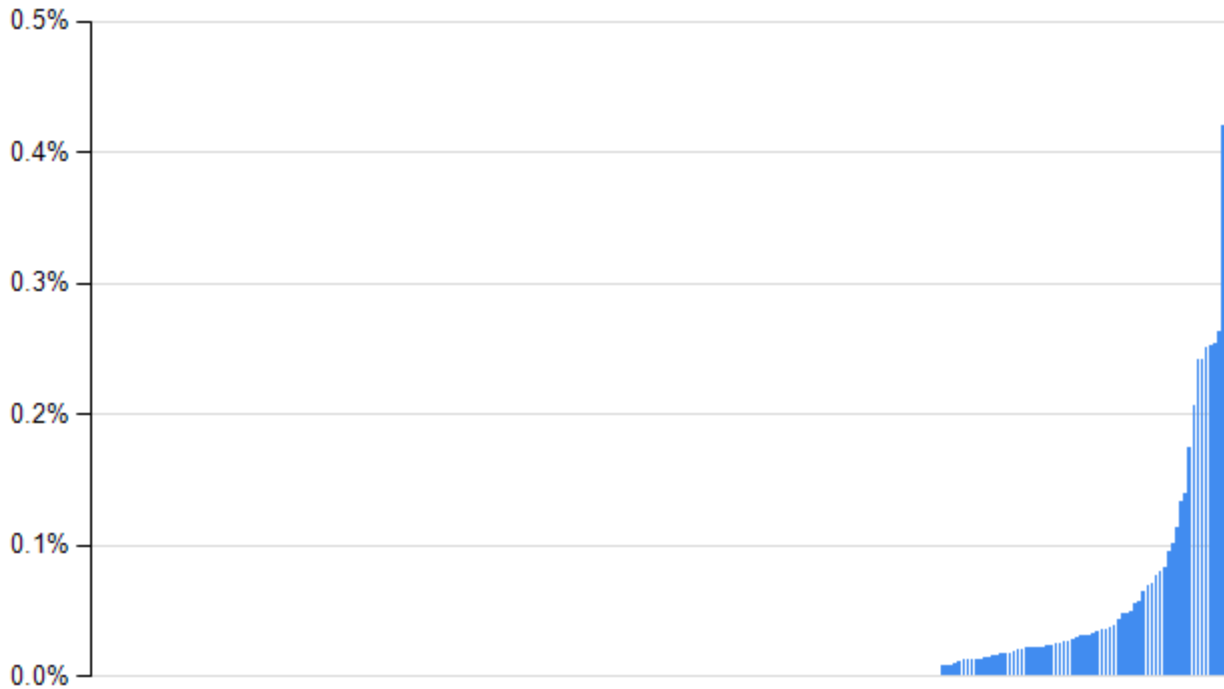
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0238
指標名	医原性気胸の発生割合（18歳以上）

分子：分母のうち、医原性気胸発生患者

分母：18歳以上の退院患者（除外項目あり）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1039049	173	0.0%

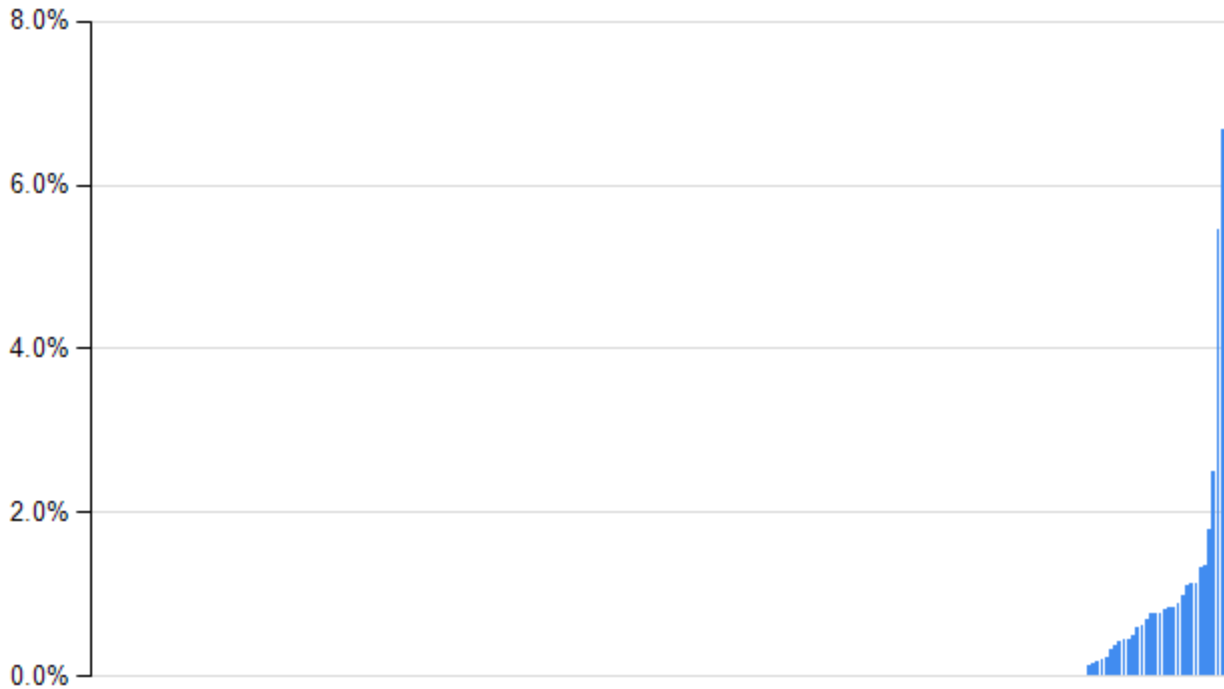
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2057_w
指標名	中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率（共通定義）

分子： 分母のうち、医原性気胸発生症例

分母： 中心静脈カテーテル挿入を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、253/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
41337	45	0.1%

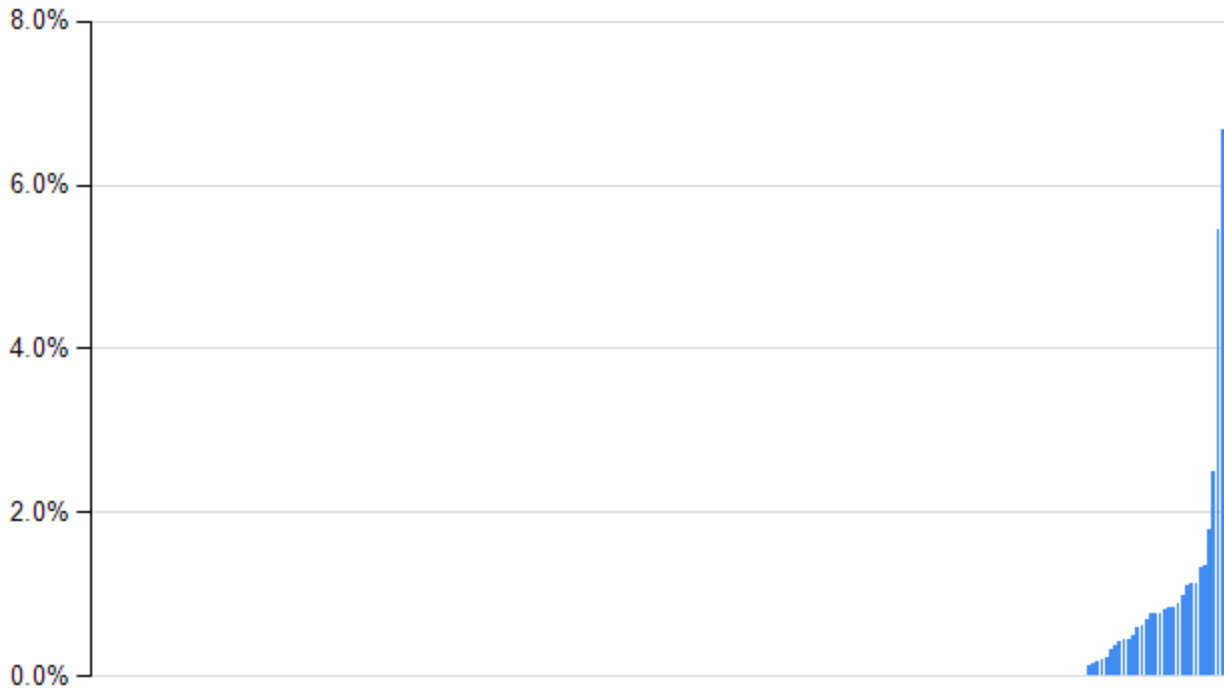
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2057
指標名	中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

分子： 分母のうち、医原性気胸発生症例

分母： 中心静脈カテーテル挿入を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、253/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
41337	45	0.1%

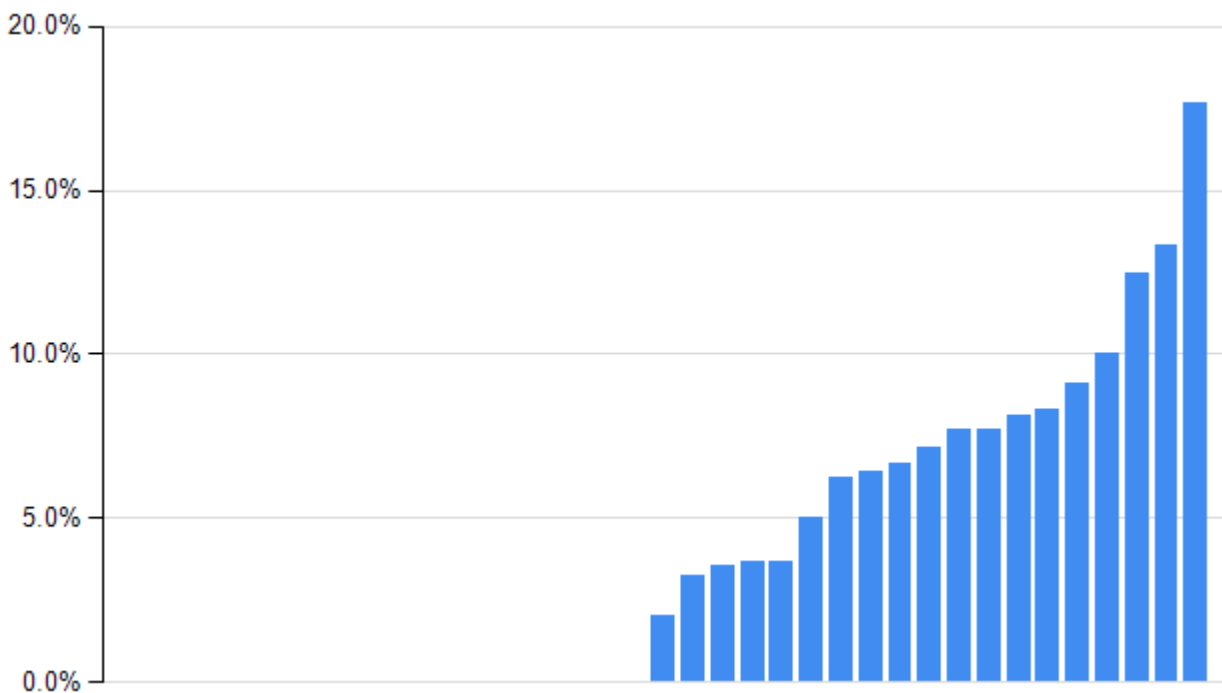
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0064
指標名	経胸壁的肺/縦隔生検を実施した症例において、手技後に治療を要する気胸や血胸が生じた症例の割合

分子：分母のうち、胸腔ドレナージを受けた症例

分母：18歳以上で、肺、気管、気管支、あるいは縦隔腫瘍が疑われ、かつ経胸壁的肺/縦隔生検を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

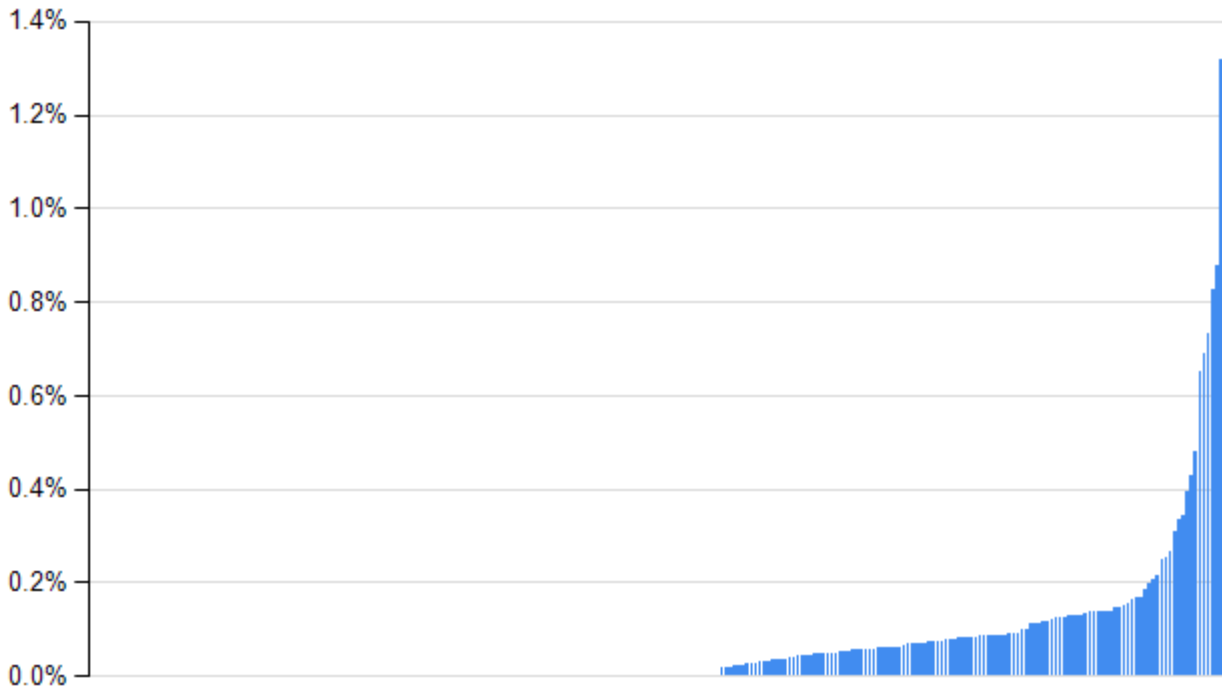
期間症例 10例未満の病院を除外し、37/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1159	45	3.9%

指標番号	0271
指標名	術後肺塞栓症発症数および発症率（緊急手術を除く）

分子：分母のうち、入院後に肺塞栓症を発症した症例

分母：18歳以上の手術（緊急手術を除く）を行い退院した症例（周産期、産褥期、出産は除外）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、268/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
476022	318	0.1%

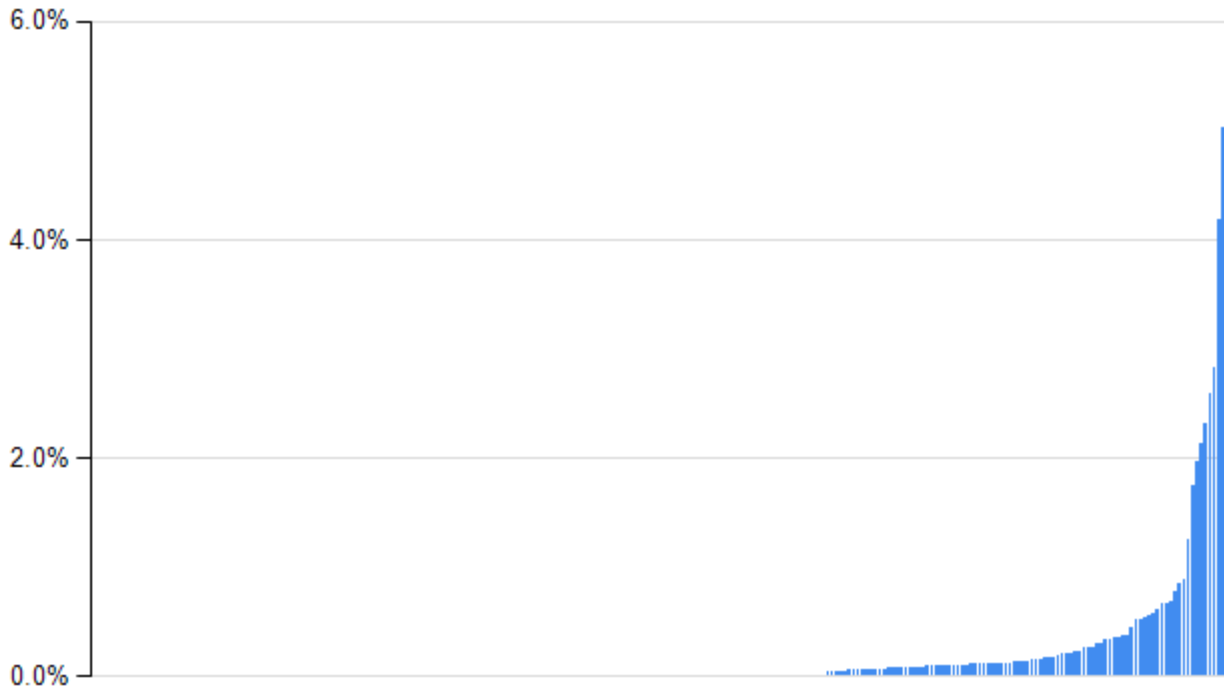
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0272
指標名	術後呼吸不全発症率（緊急手術を除く）

分子：分母のうち、術後呼吸不全症のある症例（入院後発症した傷病名に呼吸不全の見られる症例）

分母：18歳以上の手術（緊急手術を除く）を行い退院した症例（周産期、産褥期、出産は除外）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、261/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
237868	482	0.2%

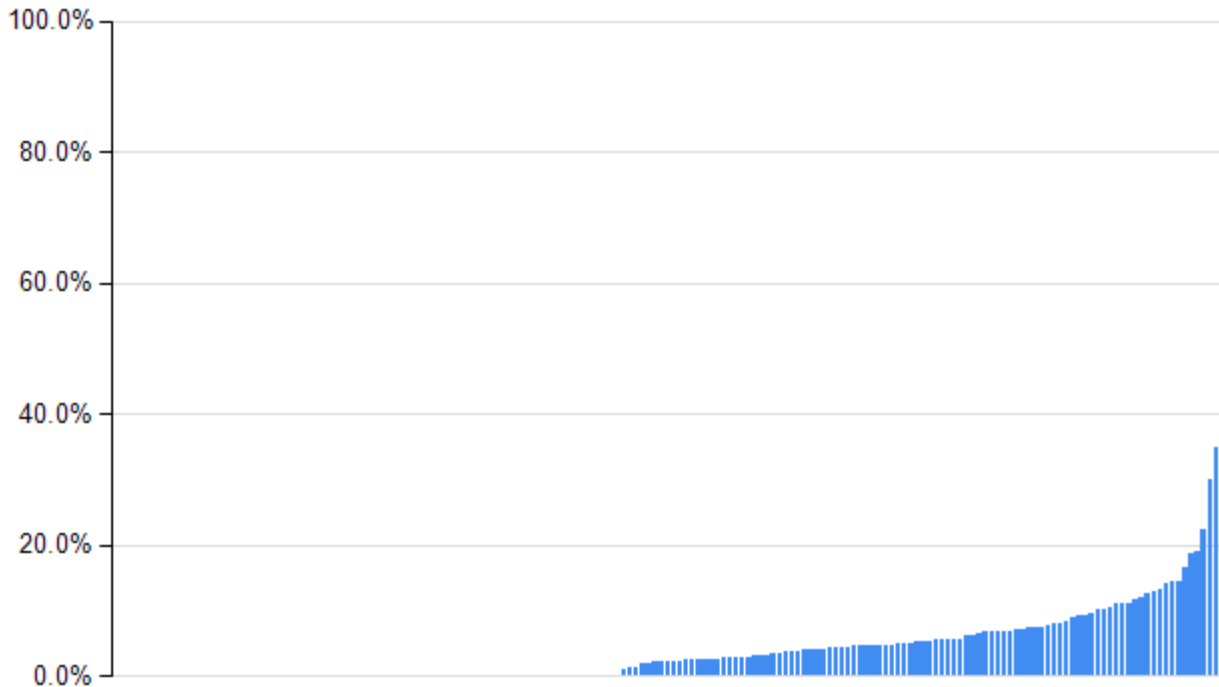
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0417
指標名	喘息入院患者における退院後 30 日間以内の同一施設再入院割合

分子： 分母のうち、退院後 30 日間以内に喘息に関連した原因で再入院した症例数

分母： 喘息に関連した原因による 5 歳以上の入院症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、177/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
6195	253	4.1%

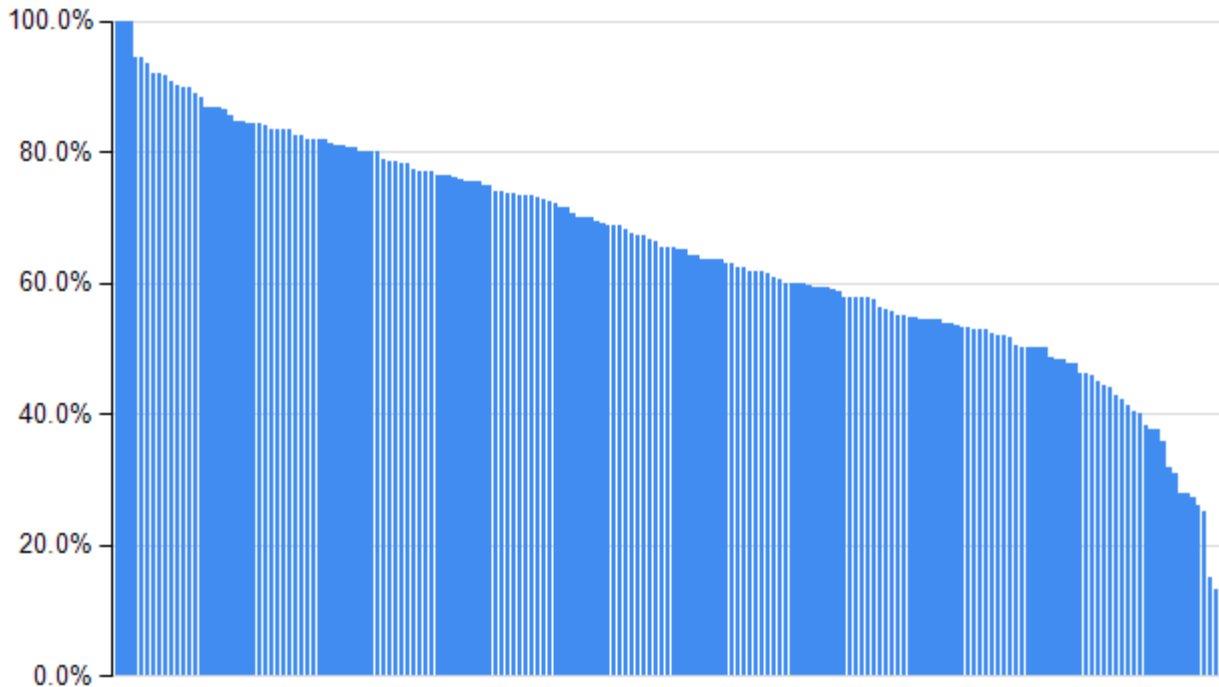
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0418
指標名	喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合

分子： 分母のうち、入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた症例数

分母： 喘息を原因とする 5 歳以上の入院症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、187/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
6830	4429	64.8%

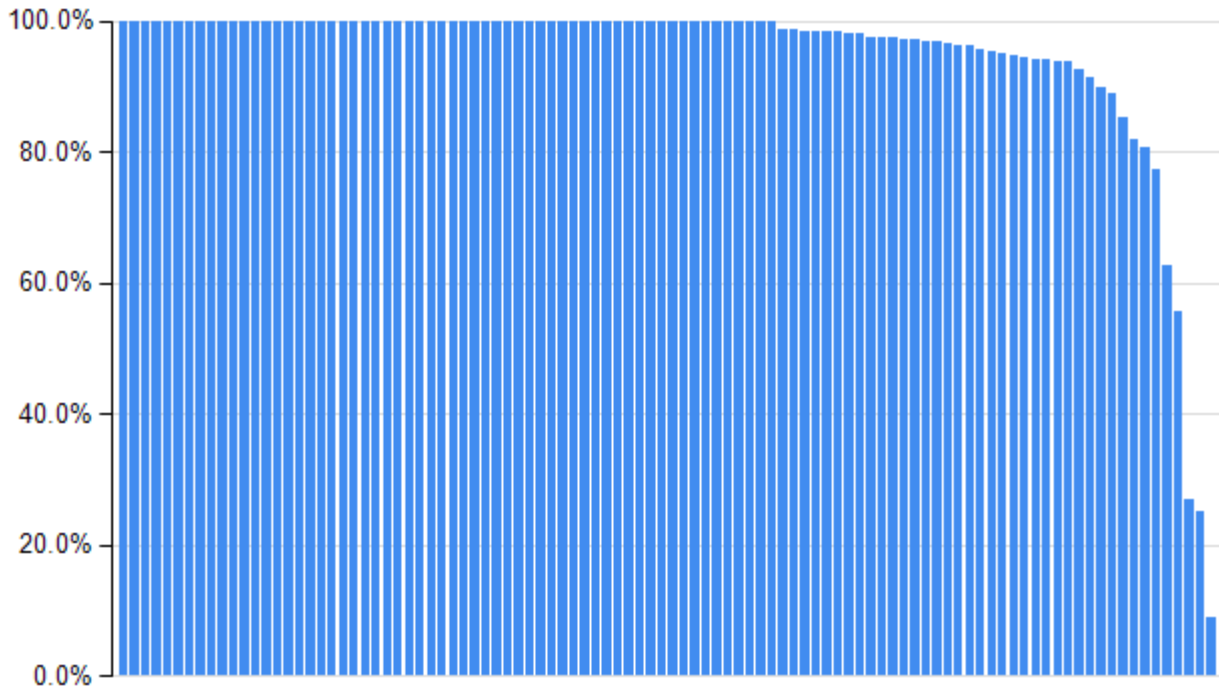
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0522
指標名	小児喘息に対して入院中に発作治療薬を処方された症例の割合

分子： 分母のうち、入院中に発作治療薬を処方された症例

分母： 2-15 歳で、喘息に関連した疾病の入院症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、100/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4263	4011	94.1%

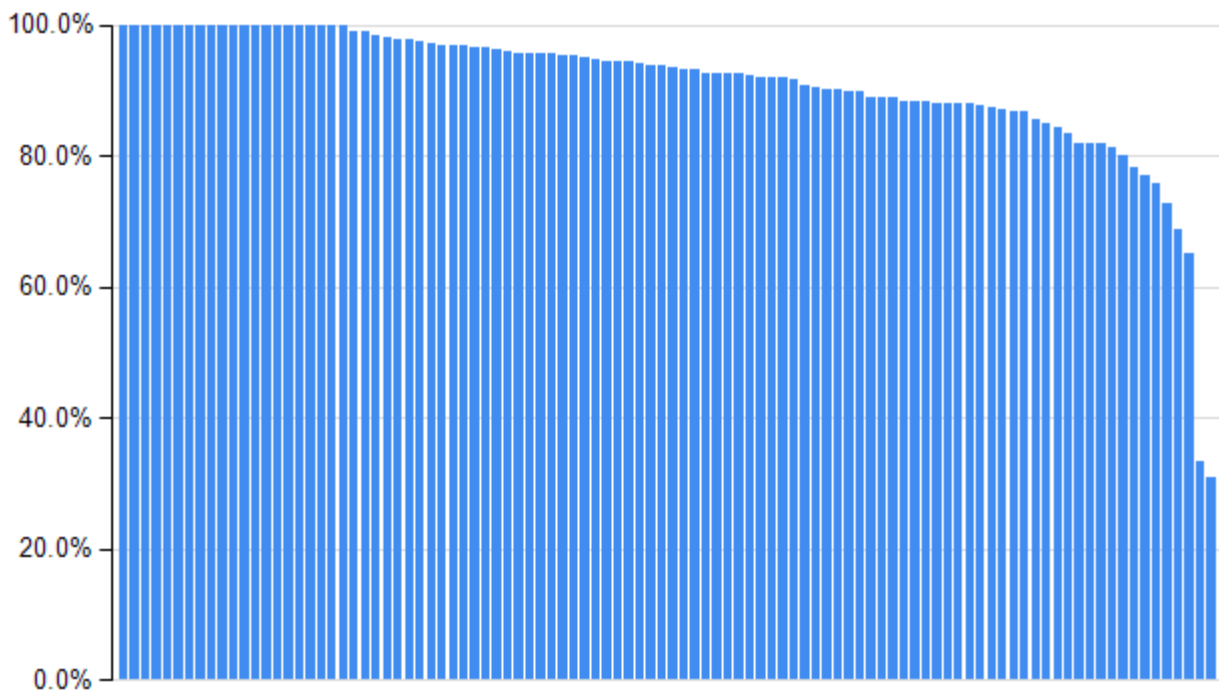
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0523
指標名	小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた症例の割合

分子：分母のうち、入院中にステロイドの全身投与（静注・経口処方）を受けた症例数

分母：2-15歳で、喘息に関連した疾病の入院症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、100/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4263	3934	92.3%

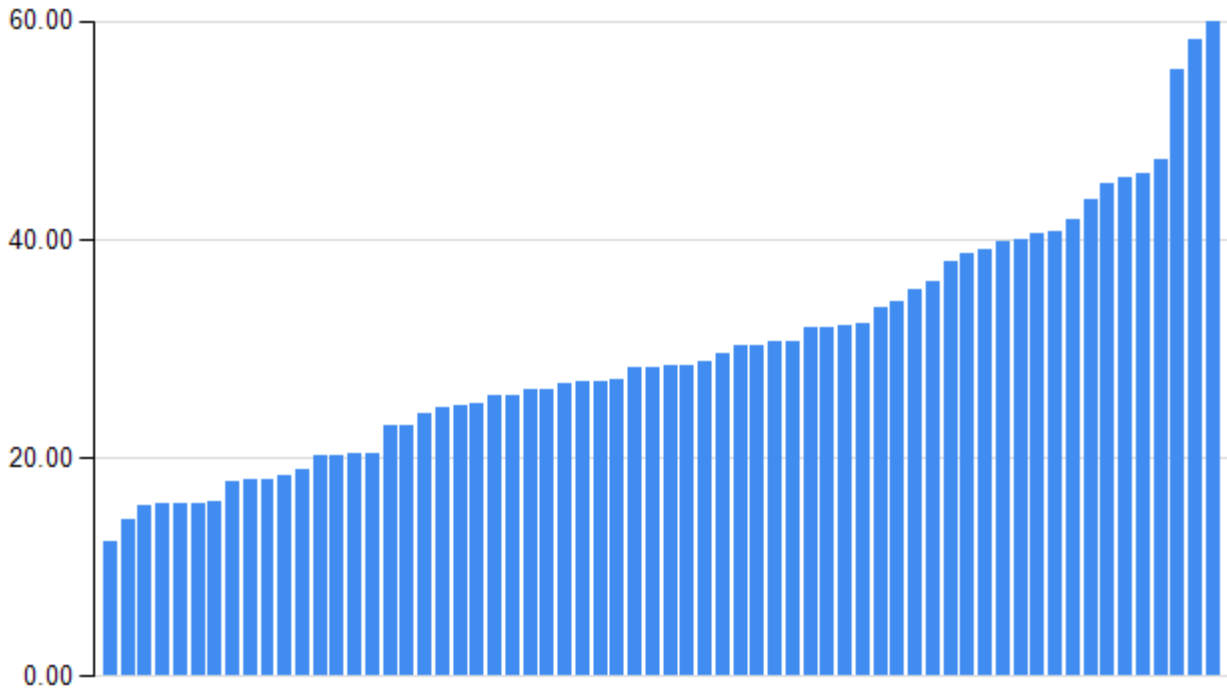
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2092
指標名	院内肺炎症例の平均在院日数

分子： 院内肺炎症例の在院日数合計

分母： 院内肺炎症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、64/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2319	70201	30.27

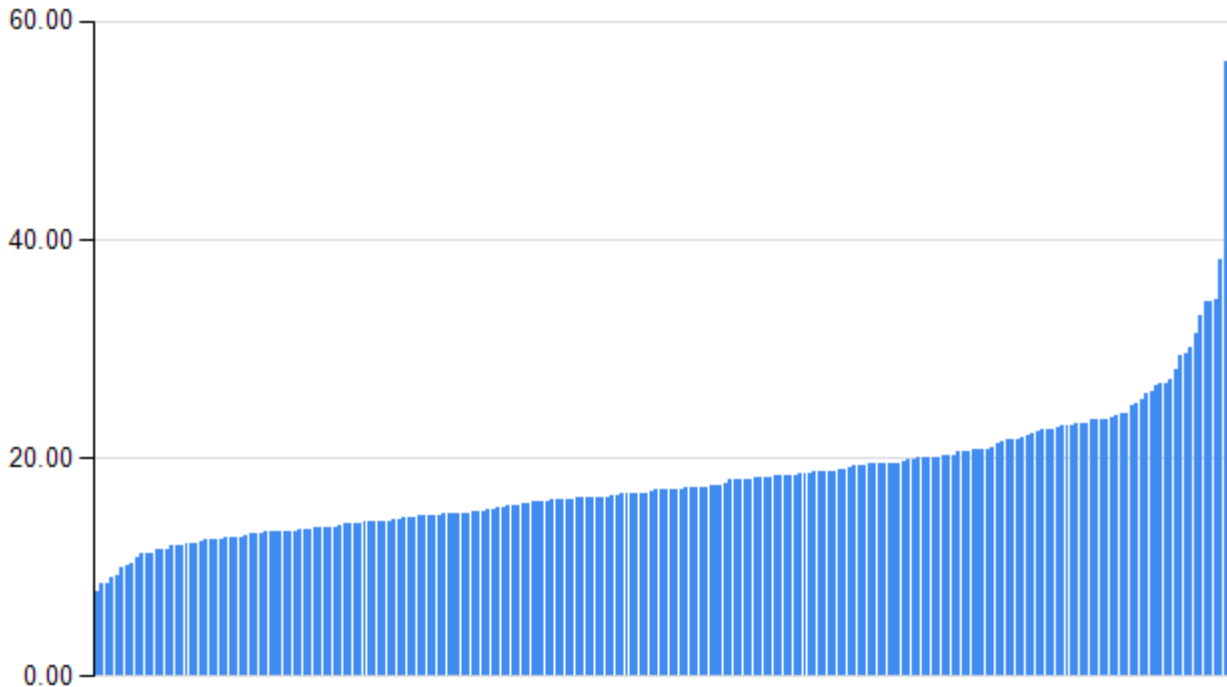
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2093
指標名	院内肺炎症例の平均抗菌薬投与日数

分子：院内肺炎症例の抗菌薬投与日数合計

分母：院内肺炎症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、229/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
15932	278237	17.46

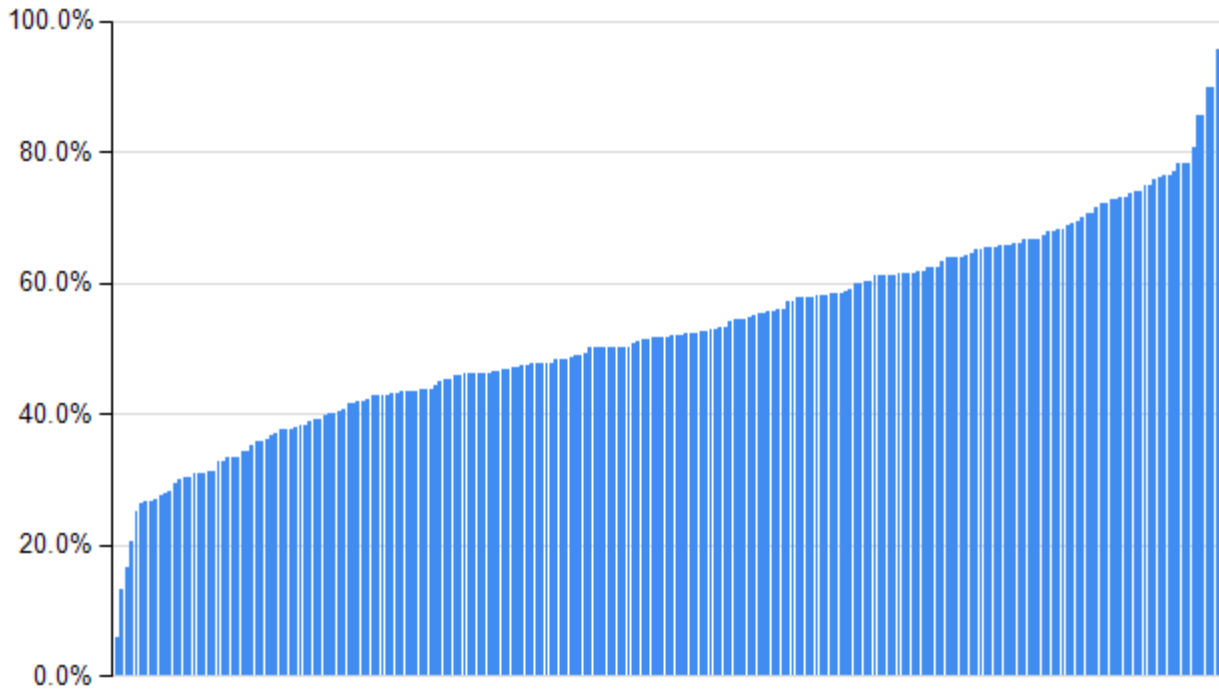
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2094
指標名	院内肺炎症例に対する抗緑膿菌薬投与割合

分子：抗緑膿菌薬を処方された症例数

分母：院内肺炎症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、229/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
16746	8738	52.2%

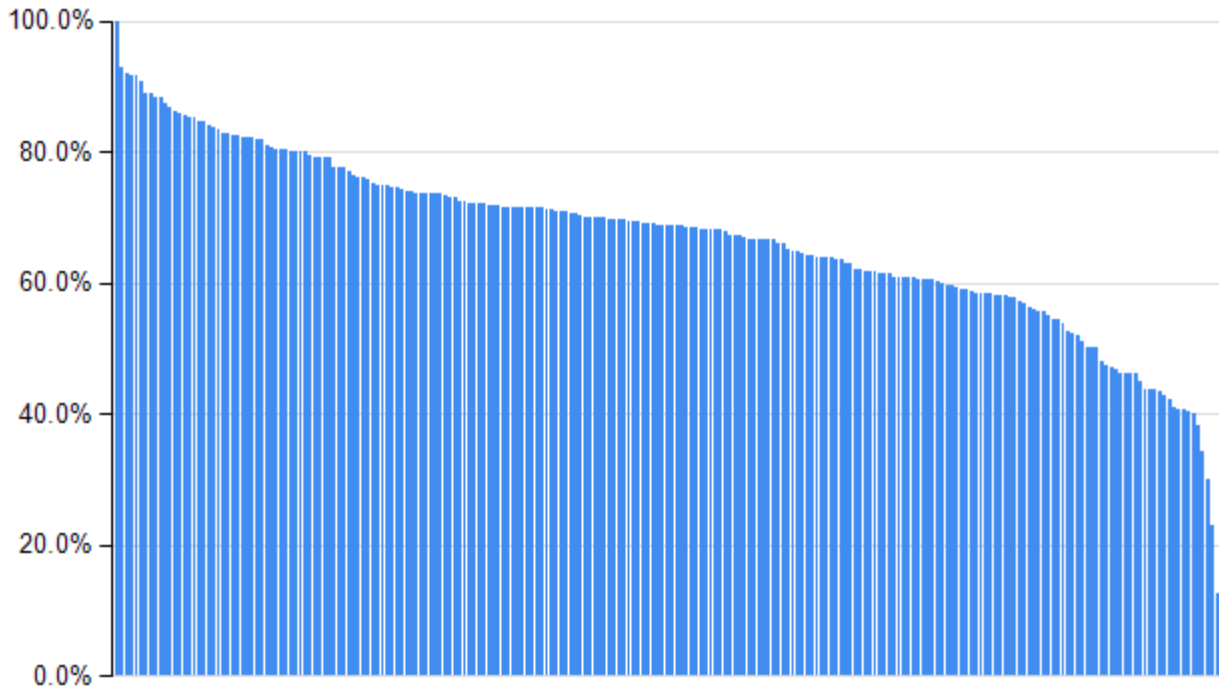
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2095
指標名	院内肺炎症例の治癒軽快割合

分子： 治癒または軽快で退院した症例数

分母： 院内肺炎症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、229/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
16778	11595	69.1%

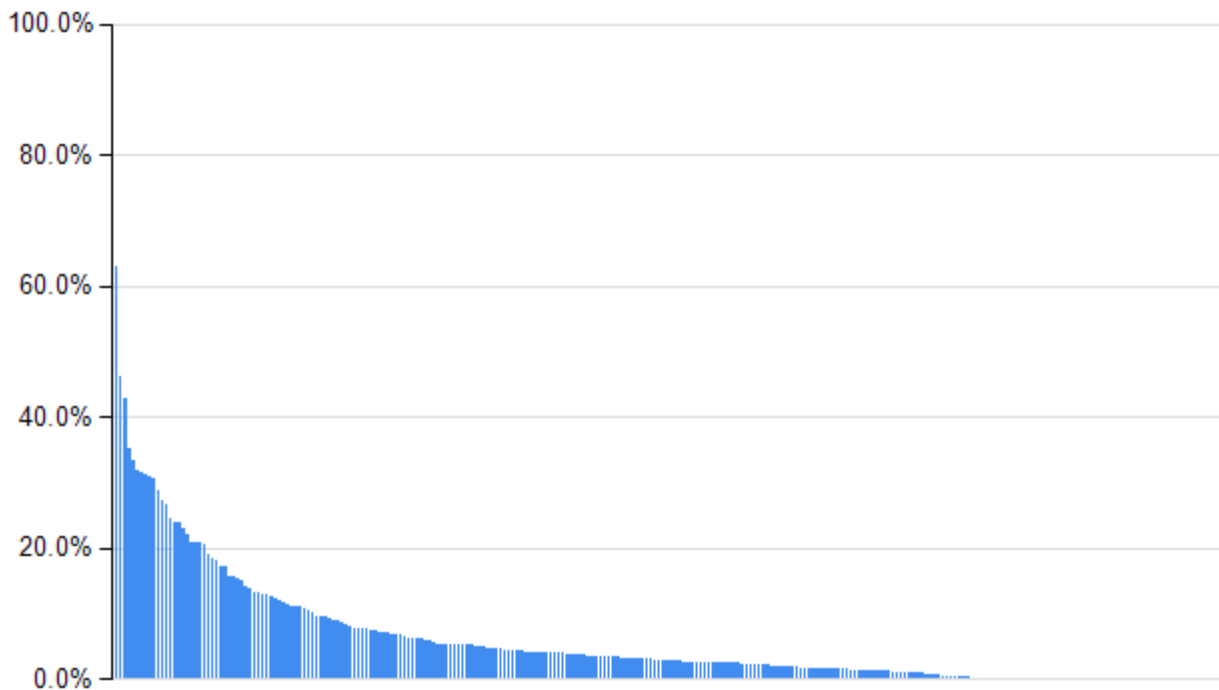
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2117
指標名	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

分子：分母のうち「D299 喉頭ファイバースコープ」または「E0037 造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数

分母：誤嚥性肺炎患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、265/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
49030	2701	5.5%

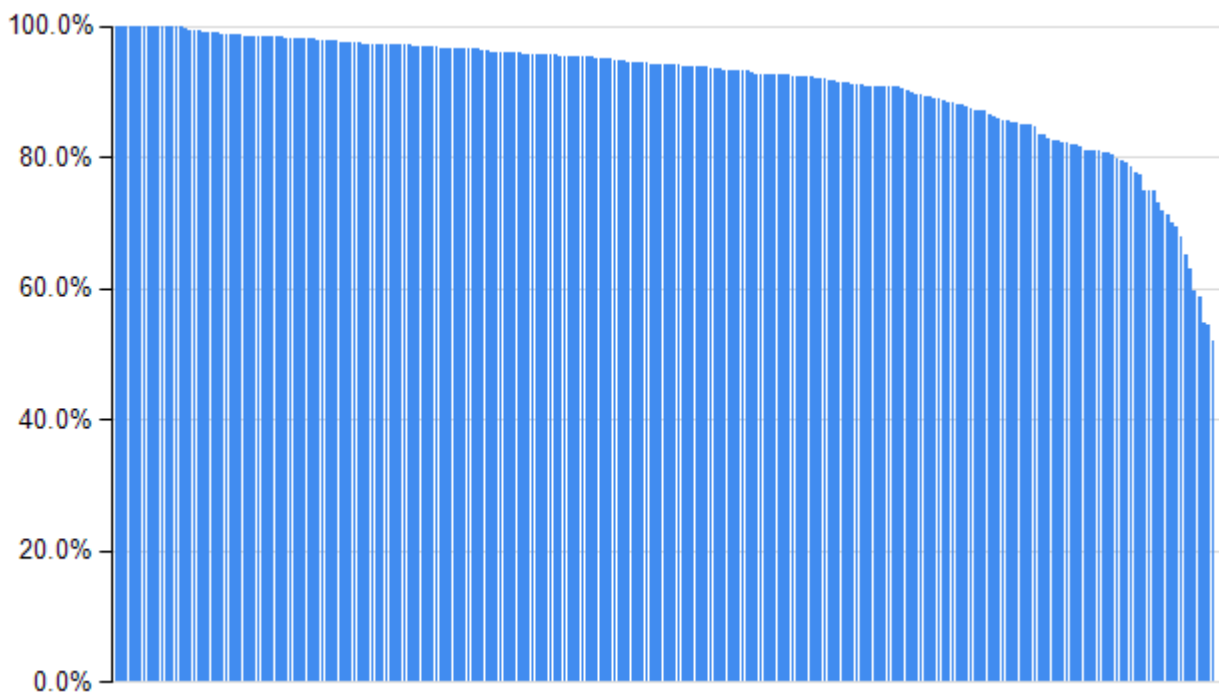
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2121_w
指標名	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率（共通定義）

分子： 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法の内いずれか、または2つ以上）が実施された患者数

分母： 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

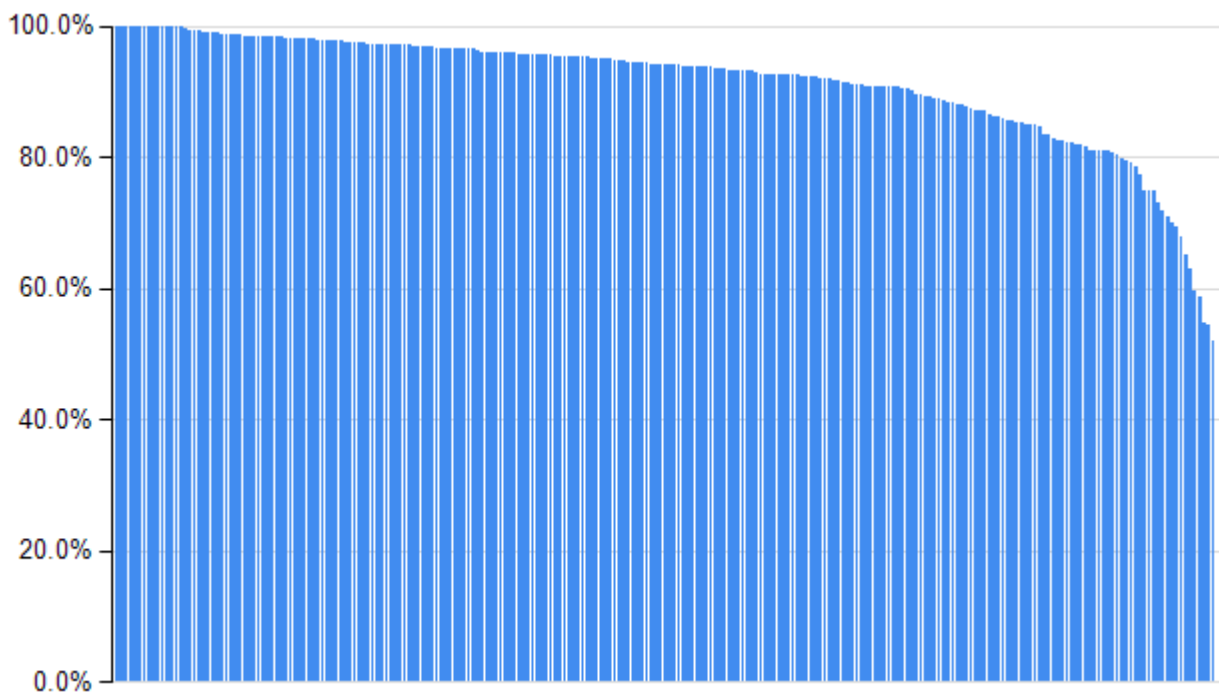
期間症例 10例未満の病院を除外し、242/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
189391	174556	92.2%

指標番号	2121
指標名	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

分子： 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法の内いずれか、または2つ以上）が実施された患者数

分母： 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、242/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
188999	174212	92.2%

指標番号	2122_w
指標名	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率（共通定義）

分子： 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

分母： 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、242/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
189391	257	0.1%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2122
指標名	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

分子： 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

分母： 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、242/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
188999	257	0.1%

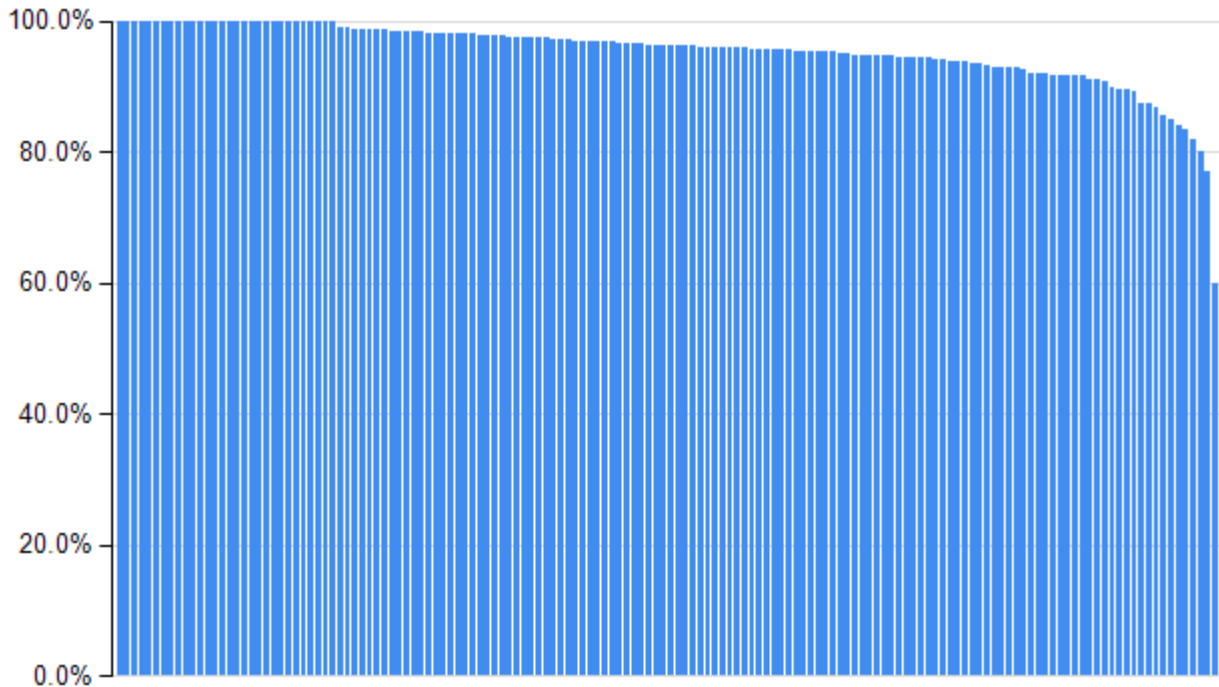
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2001
指標名	[測定終了] 急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

分子： 分母のうち、アスピリンが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、150/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9390	9008	95.9%

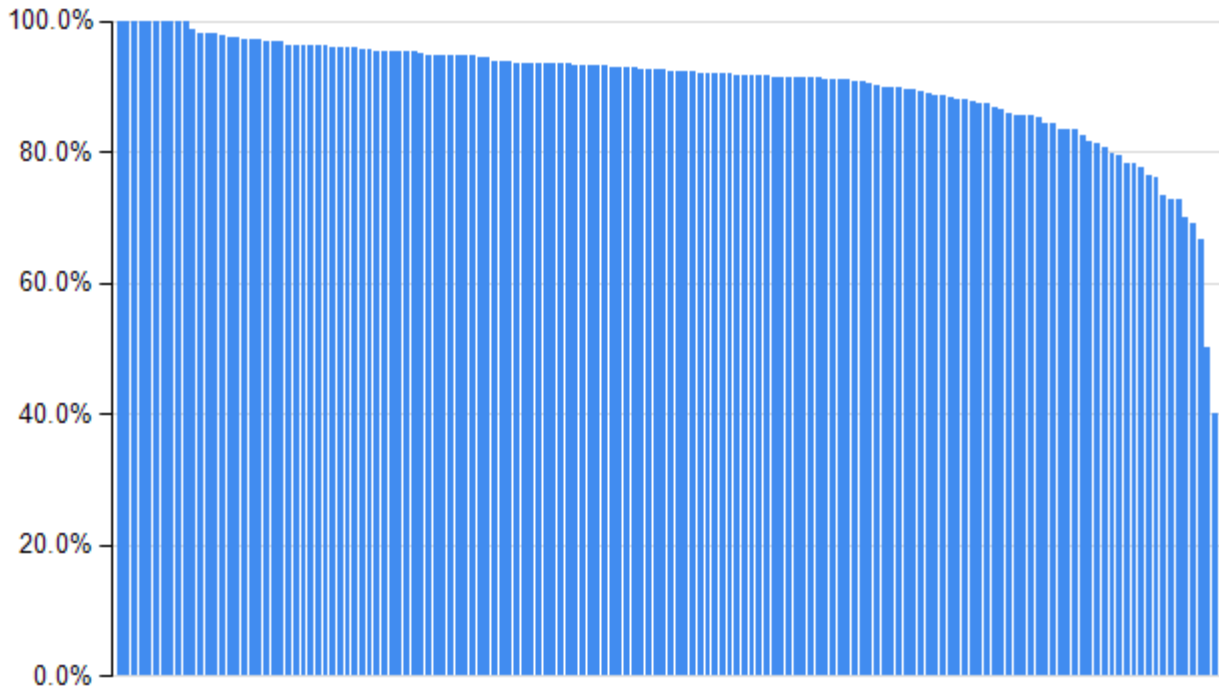
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0474_w
指標名	急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合（共通定義）

分子： 分母のうち入院後二日以内にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、150/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9405	8622	91.7%

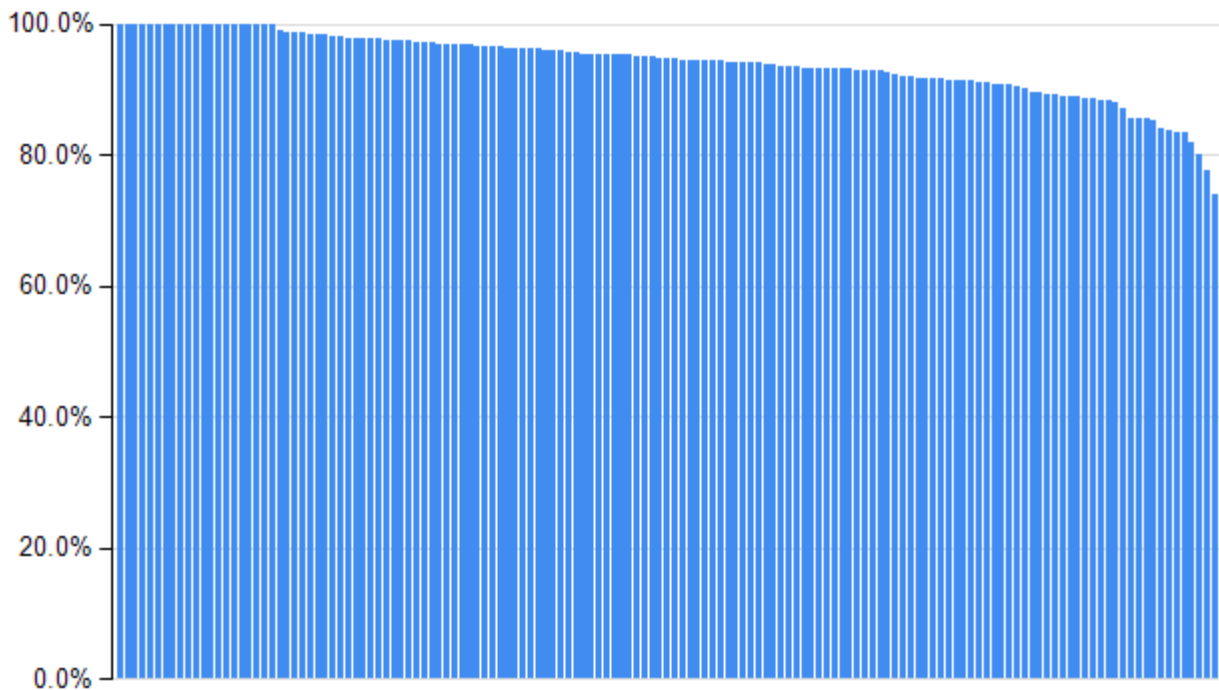
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0473
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合

分子： 分母のうち、退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、145/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8286	7793	94.1%

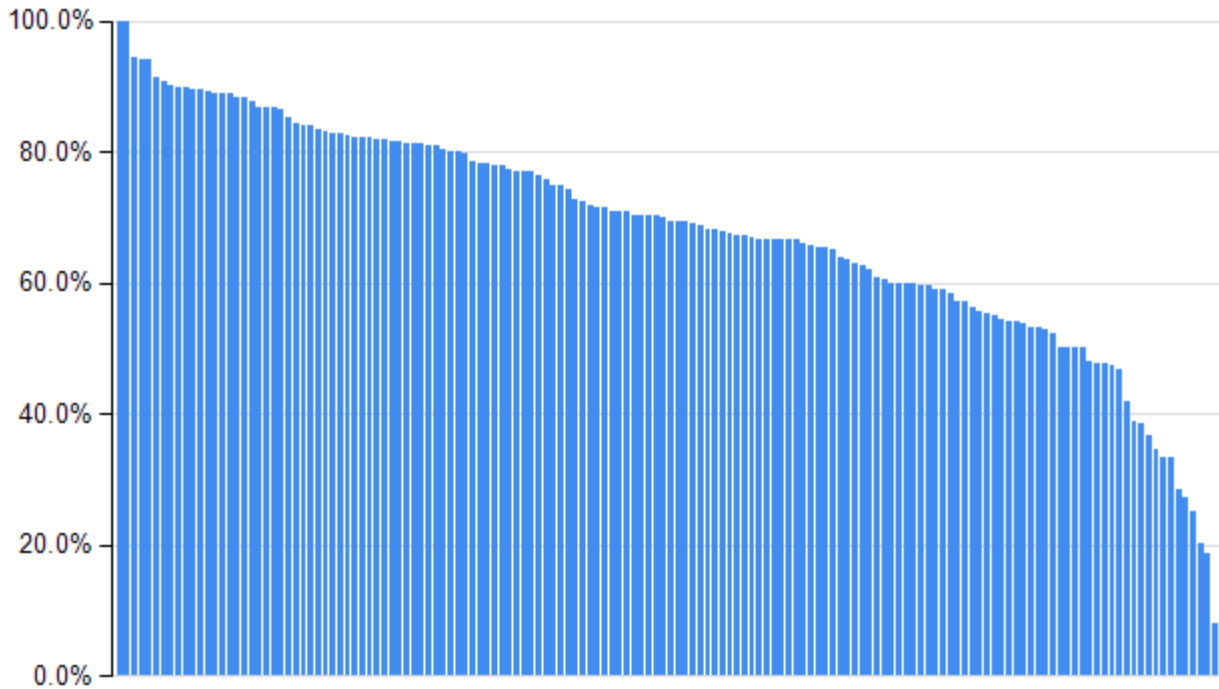
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2002
指標名	急性心筋梗塞患者におけるβ ブロッカー投与割合

分子：分母のうち、β ブロッカーが投与された症例数

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、150/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9390	6646	70.8%

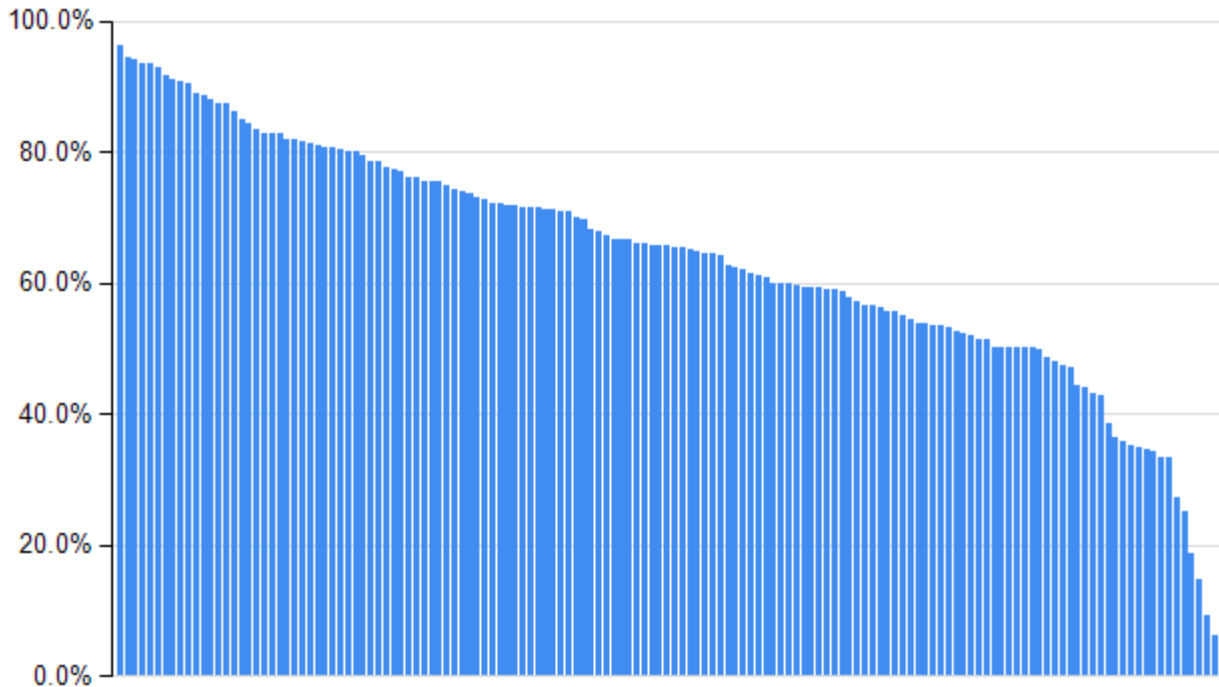
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0472
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時β ブロッカー投与割合

分子： 分母のうち、退院時にβ ブロッカーが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、145/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8286	5503	66.4%

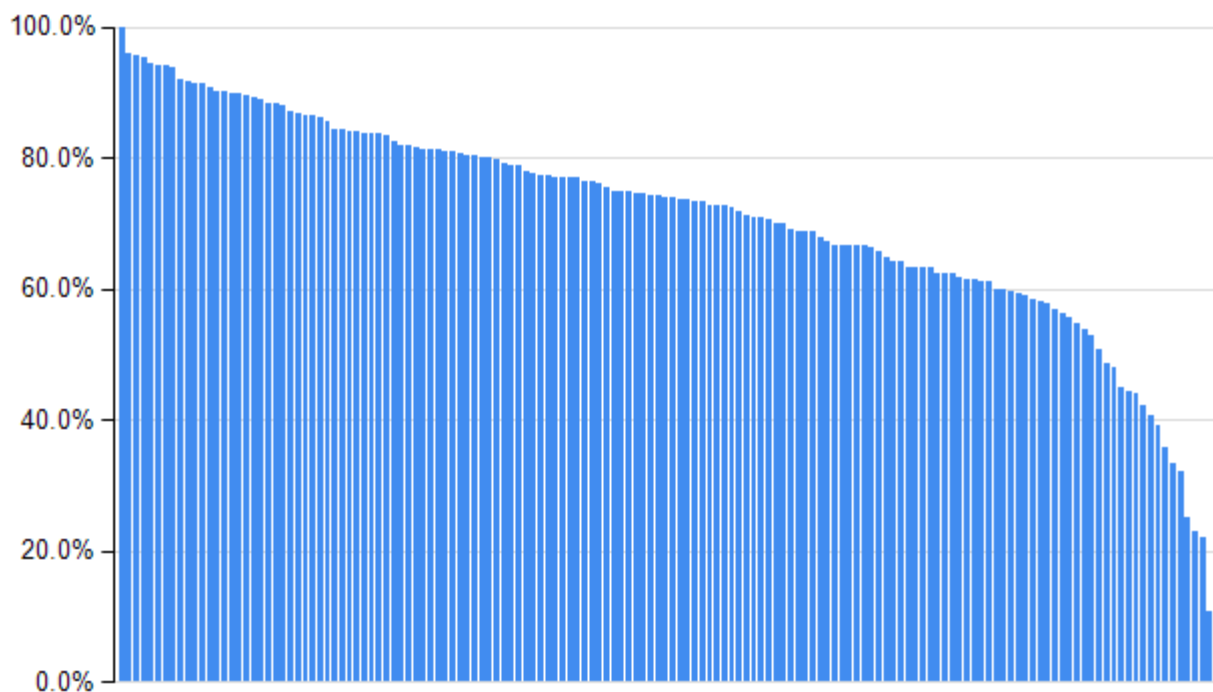
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2003
指標名	急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤の投与割合

分子： 分母のうち、ACE 阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤（ARB）

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、150/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9390	6769	72.1%

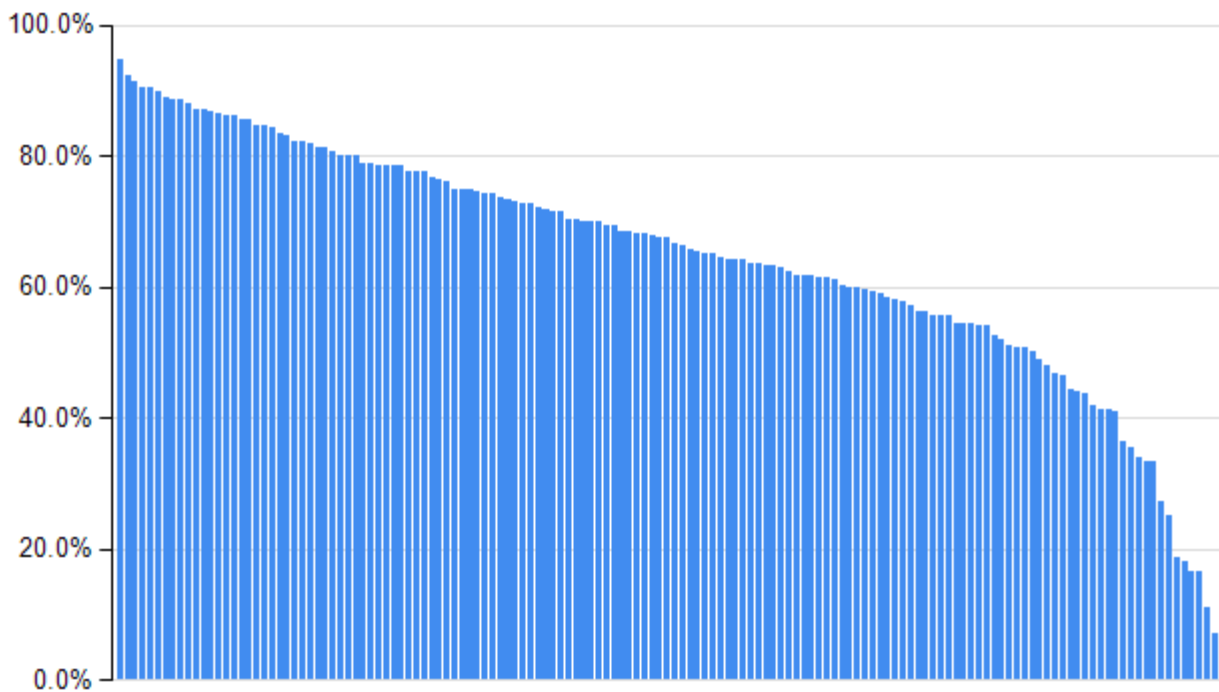
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2051
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時の ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤の投与割合

分子： 分母のうち、ACEI/ARB が投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、145/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8286	5552	67.0%

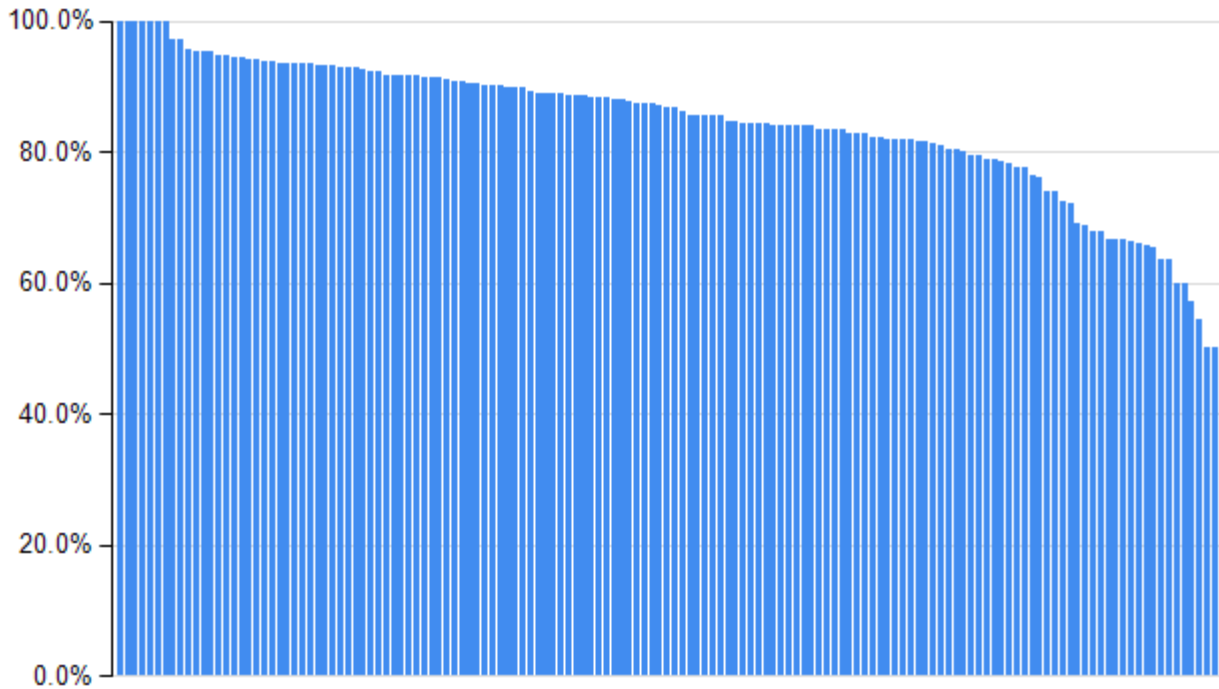
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2050
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

分子： 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、145/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8286	7103	85.7%

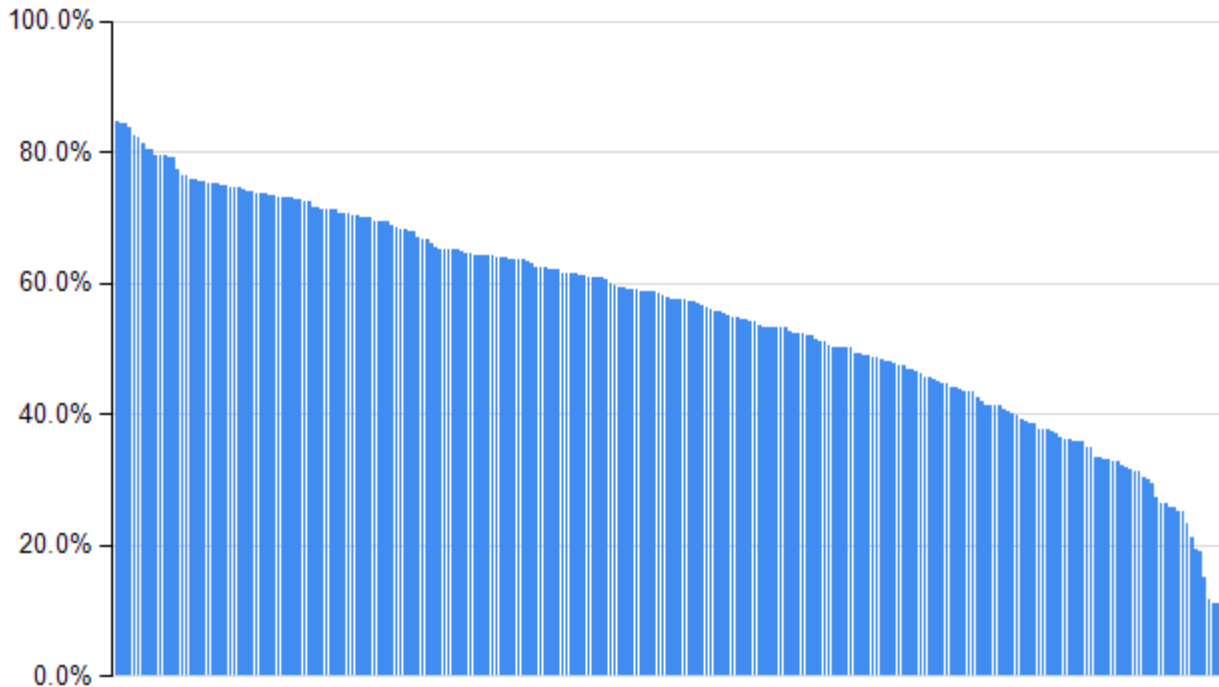
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2006
指標名	心不全患者へのβ ブロッカー投与の割合

分子： 分母のうち、β ブロッカーが投与された症例数

分母： 心不全で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、253/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
35341	21720	61.5%

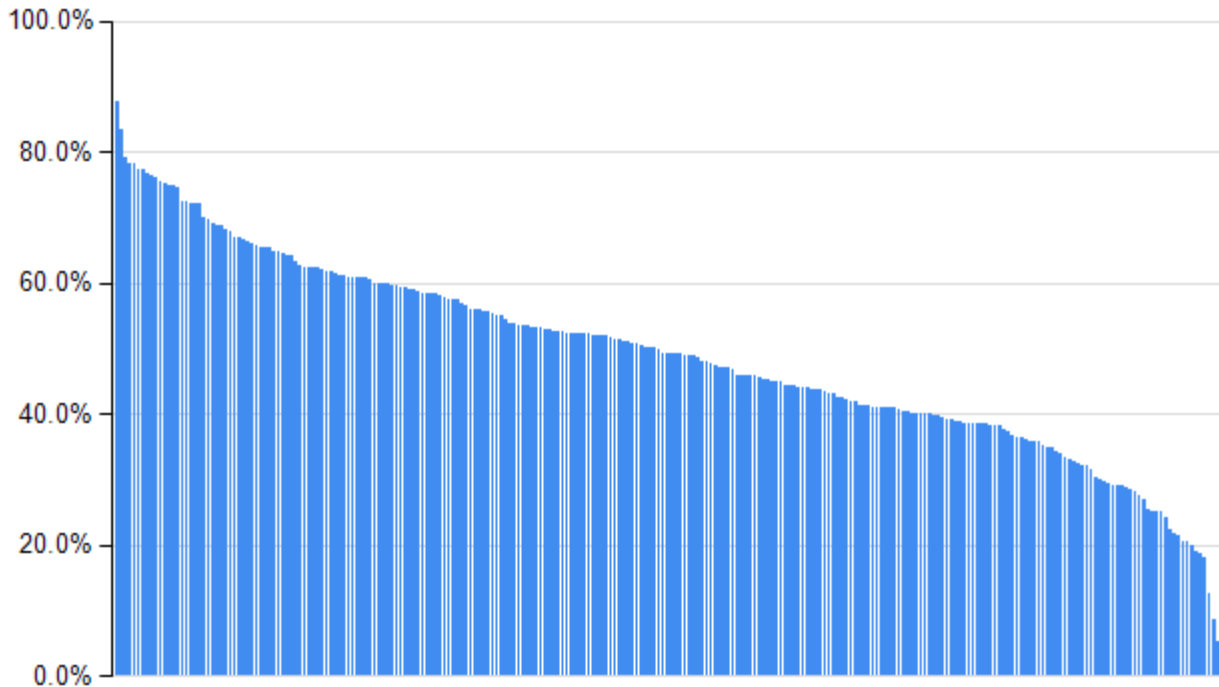
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2007
指標名	心不全患者への ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤投与の割合

分子： 分母のうち ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤が投与された症例数

分母： 心不全で入院した症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、253/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
35341	18434	52.2%

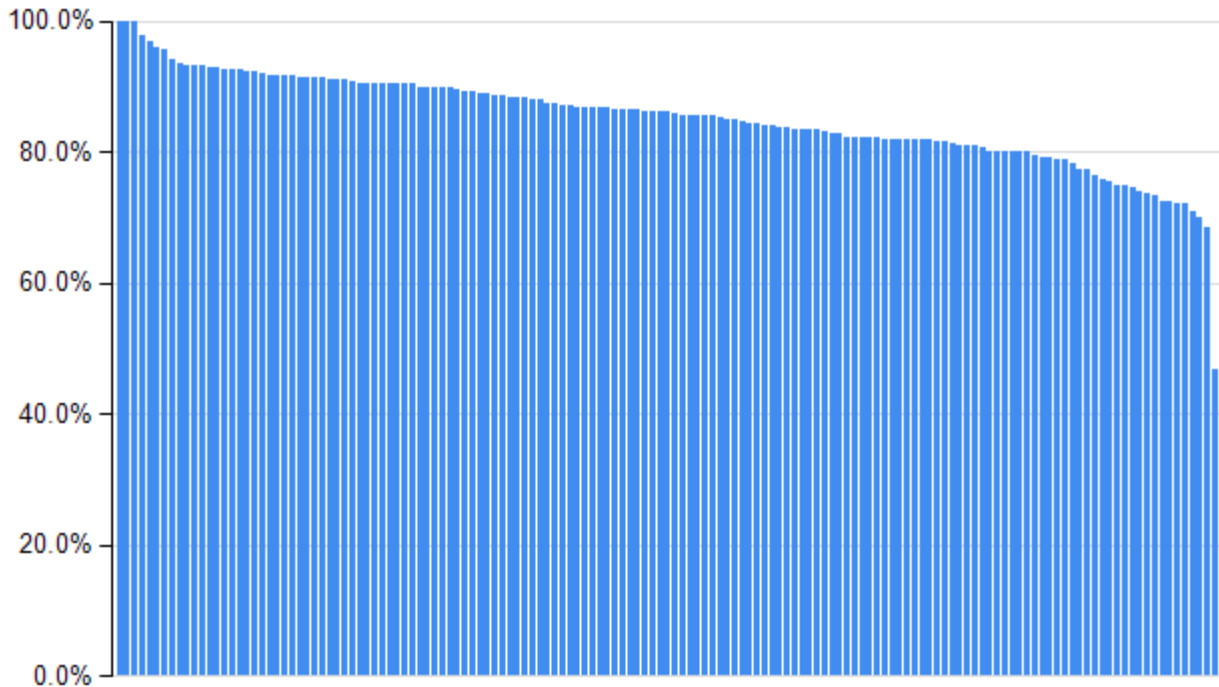
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0473_w
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合（共通定義）

分子： 分母のうち、退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、147/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8851	7512	84.9%

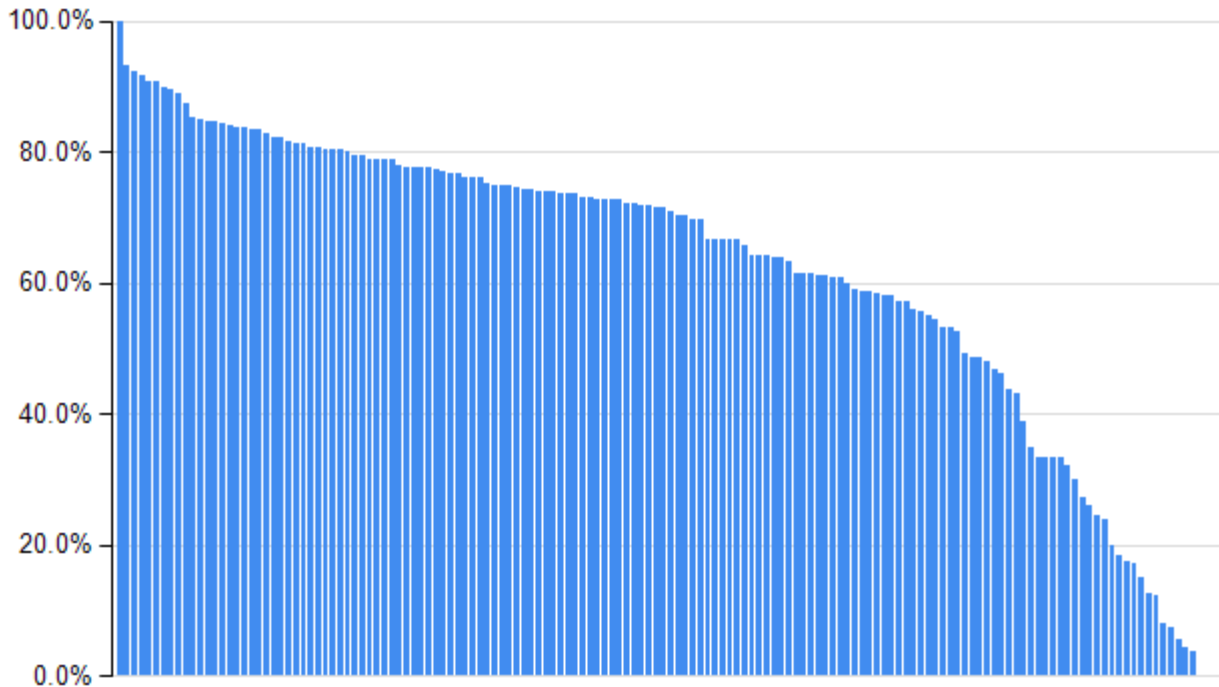
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0475
指標名	急性心筋梗塞患者における当日アスピリン投与割合

分子： 分母のうち入院当日にアスピリンが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、150/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9390	5869	62.5%

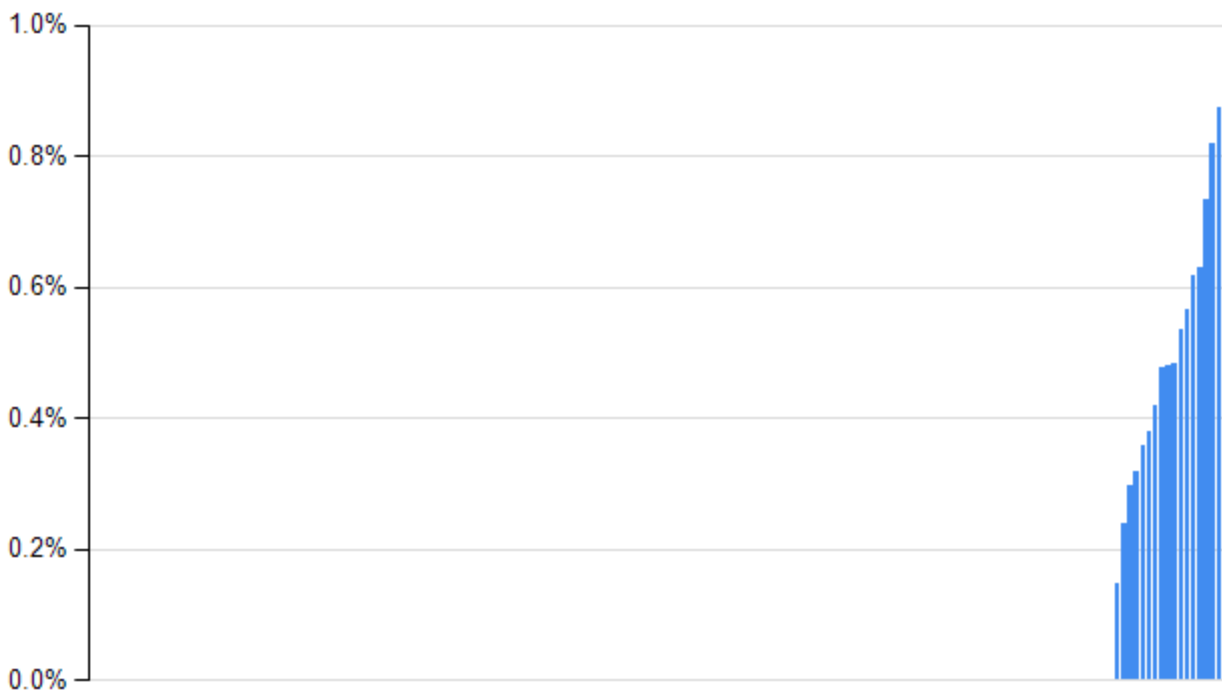
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0598
指標名	経皮的冠動脈形成術（PTCA）を受けた後、同日あるいは翌日までに冠動脈バイパス術（CABG）を受けた割合

分子： 分母のうち、同日あるいは翌日までに CABG を受けた件数

分母： 18 歳以上の PTCA 件数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、178/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
32591	25	0.1%

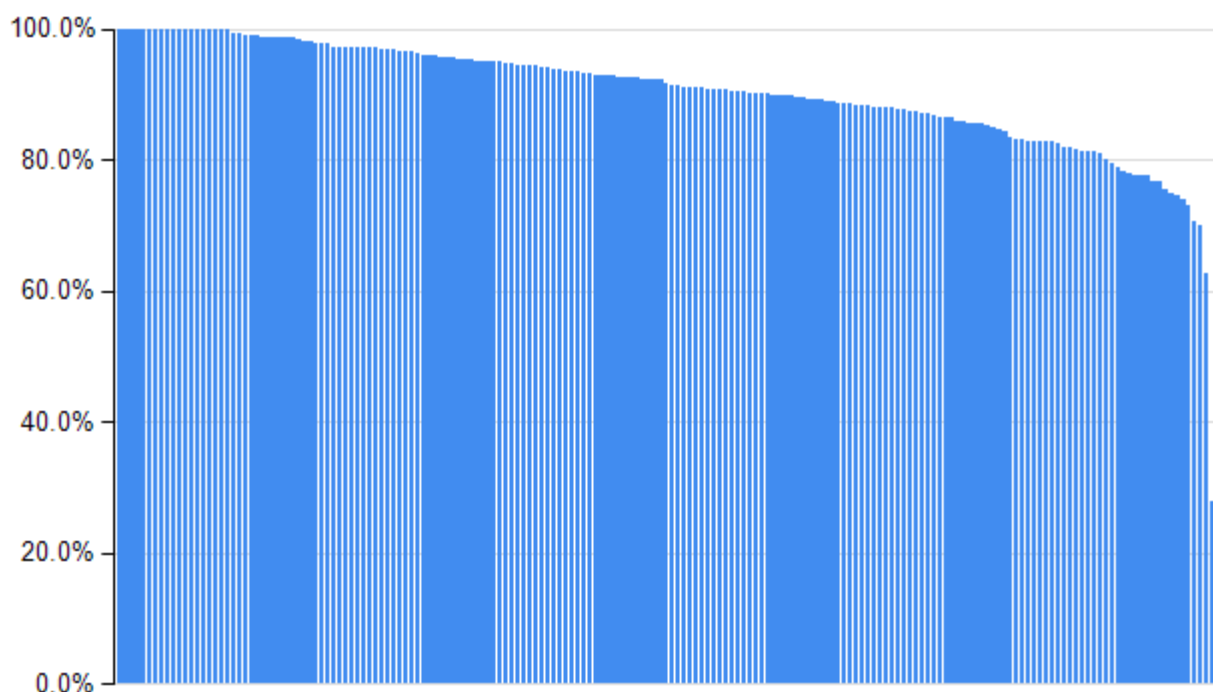
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0209
指標名	左心カテーテル手技に際し、右心カテーテル手技を同時には行っていない割合

分子：分母のうち、同日に右心カテーテル検査を受けていない症例

分母：18歳以上で左心カテーテル手技を受けたケース ※1 入院中に複数回の手技を受けた患者は、回数分算出される



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、186/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
86562	77267	89.3%

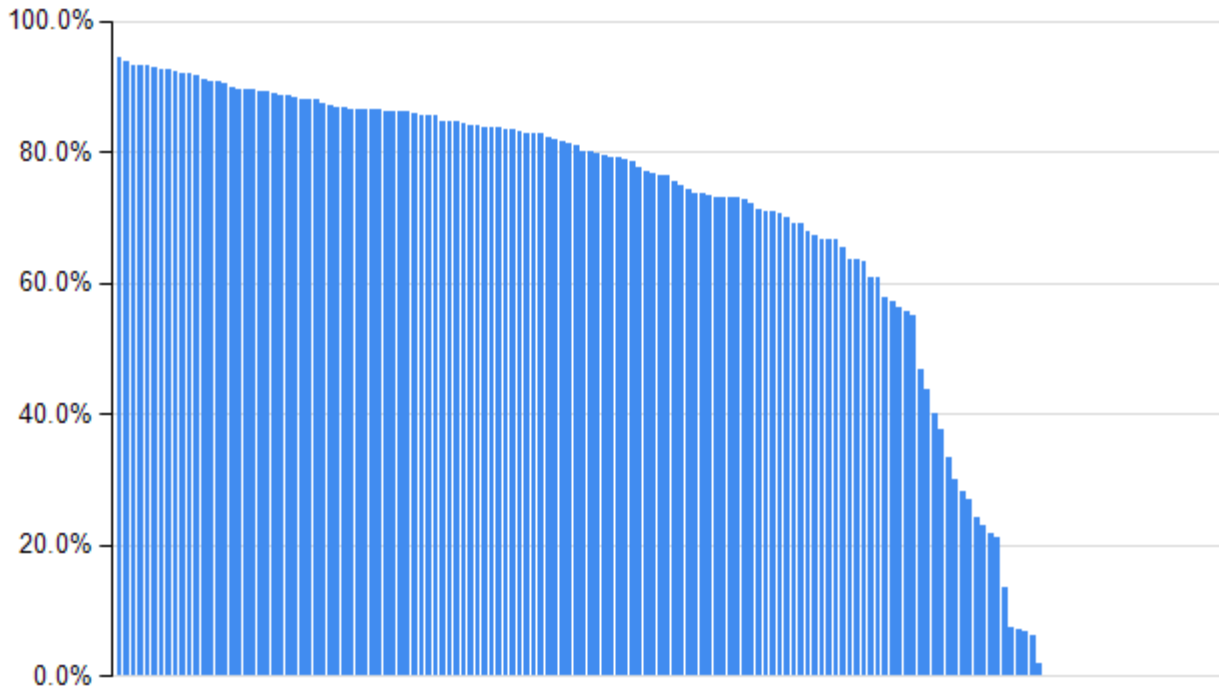
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2077
指標名	急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者に対する心臓リハビリ実施割合

分子： 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

分母： 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、157/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
10440	7026	67.3%

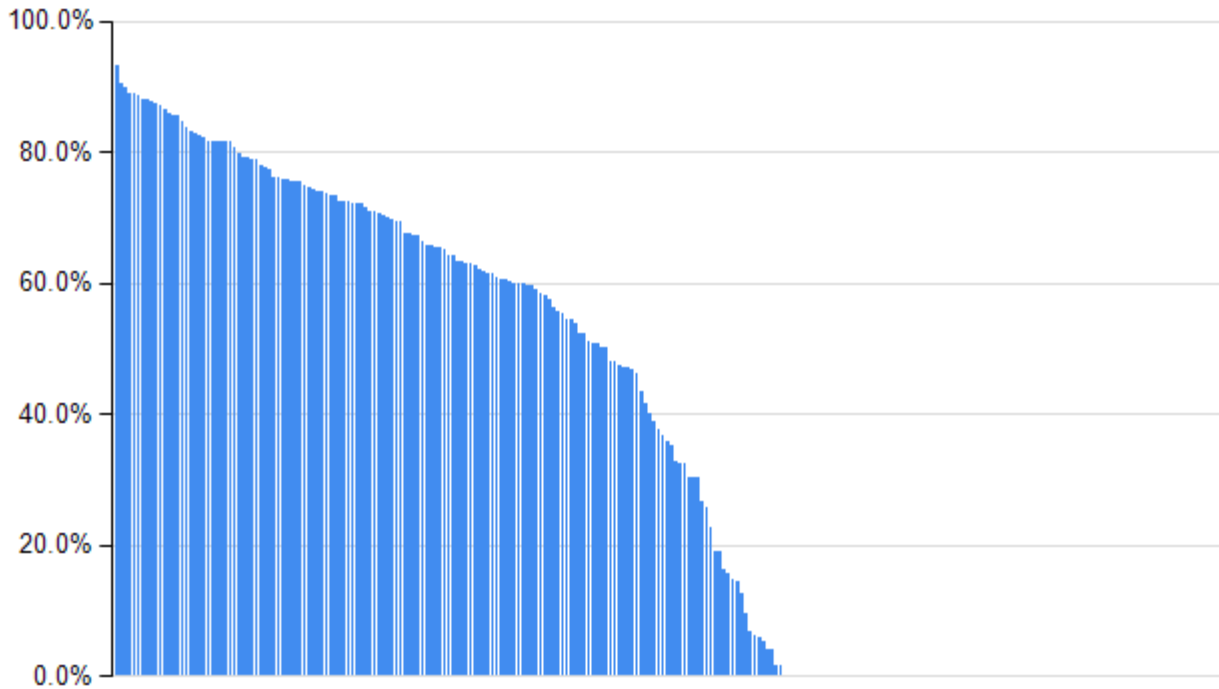
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2078
指標名	急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合

分子： 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

分母： 急性または慢性心不全で入院した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、253/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
34799	17990	51.7%

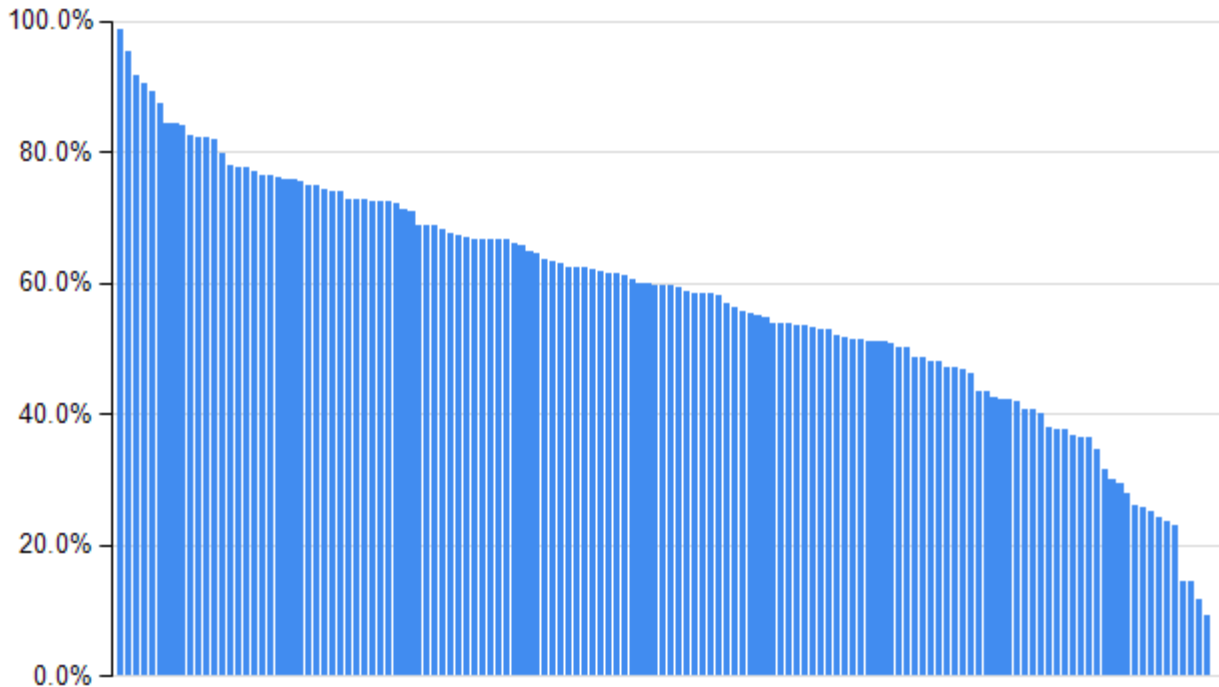
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2082
指標名	急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の初回 PCI 実施割合

分子：分母のうち、来院後 90 分以内に手技を受けた件数

分母：18 歳以上の PCI 件数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、140/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7855	4785	60.9%

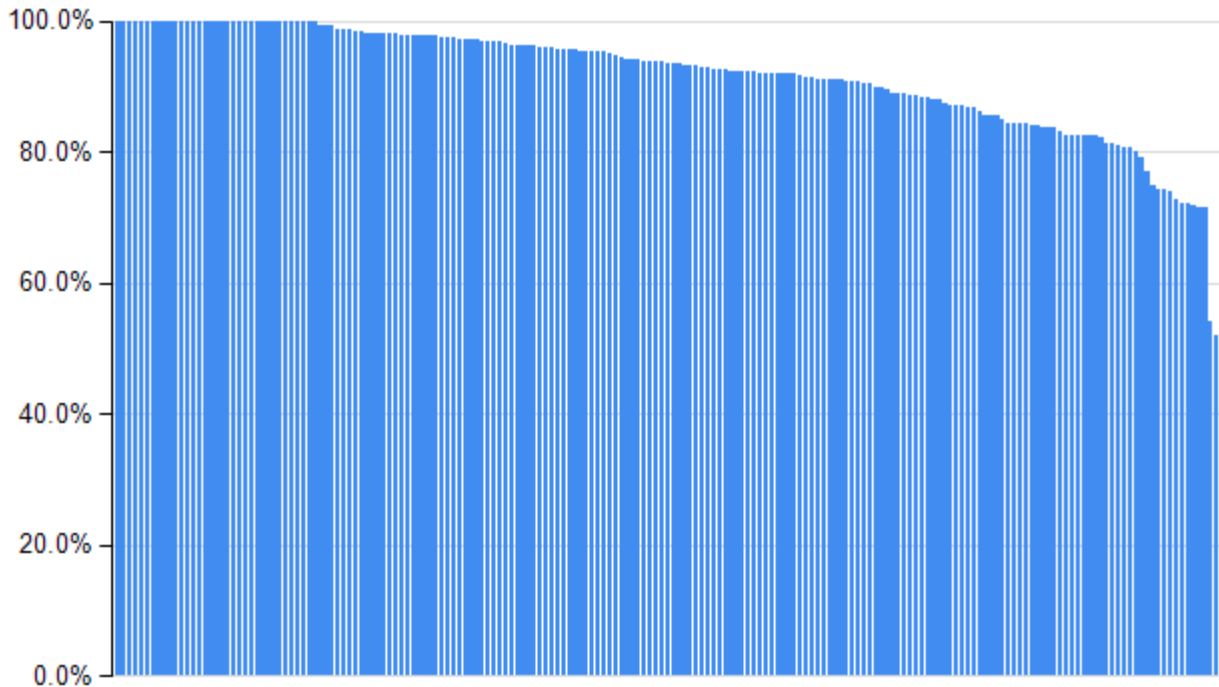
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0203
指標名	胆嚢炎・胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術率

分子：分母のうち、腹腔鏡下胆嚢摘出症例

分母：18歳以上の胆嚢炎・胆石症に対する胆嚢切除症例（周産期、産褥期、出産は除外）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、191/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12955	11947	92.2%

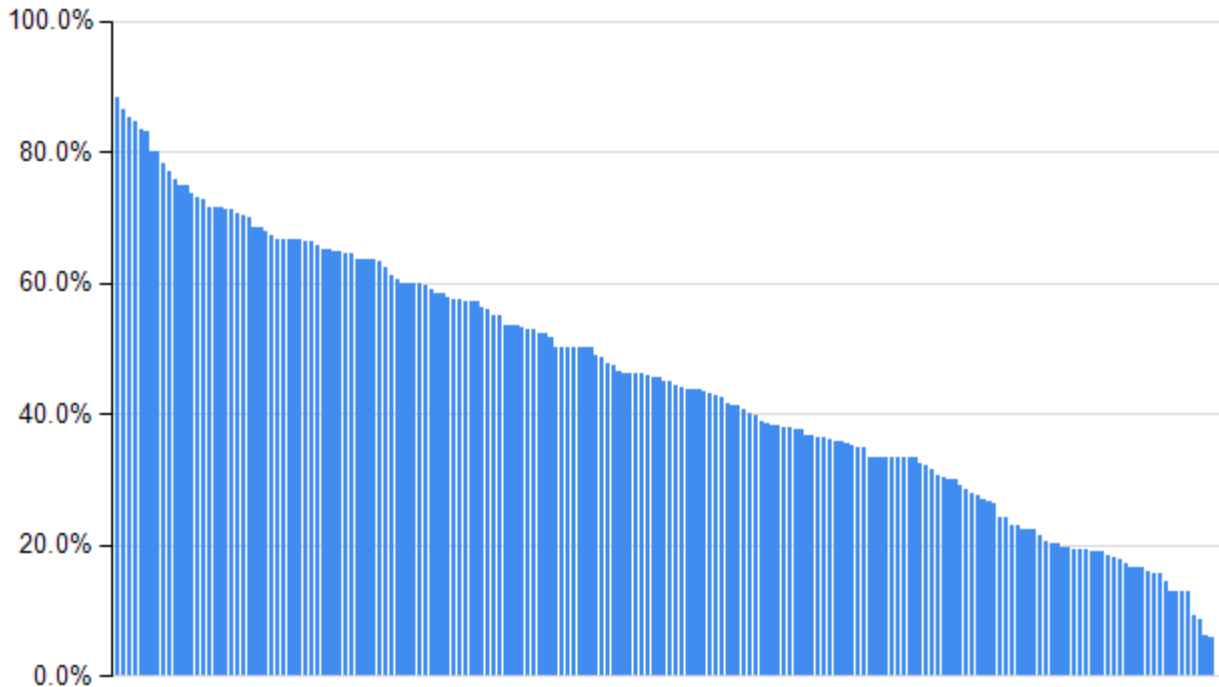
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2037
指標名	急性胆嚢炎に対する入院 2 日以内の超音波検査実施割合

分子： 分母のうち、入院日から 2 日以内に超音波検査が実施された症例

分母： 急性胆嚢炎で入院した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、194/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7815	3561	45.6%

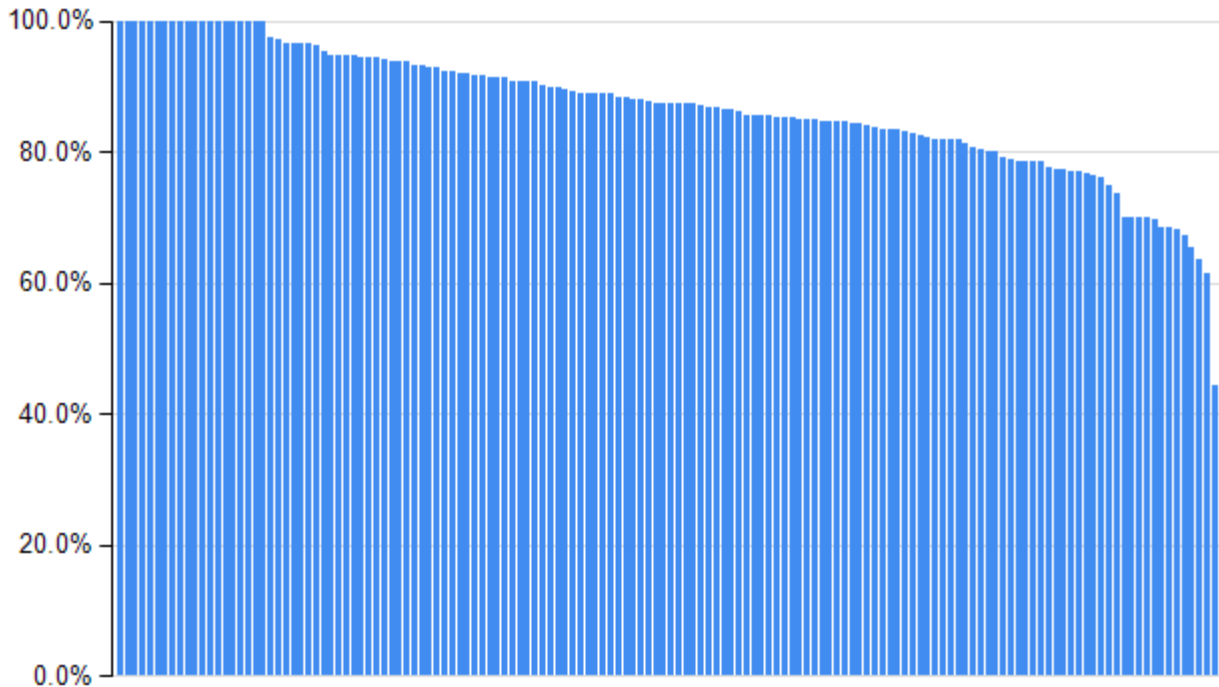
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2056
指標名	急性膵炎に対する 入院 2 日以内の CT 実施割合

分子： 分母のうち、入院日から 2 日以内に CT が施行された症例

分母： 急性膵炎で退院した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、146/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4829	4171	86.4%

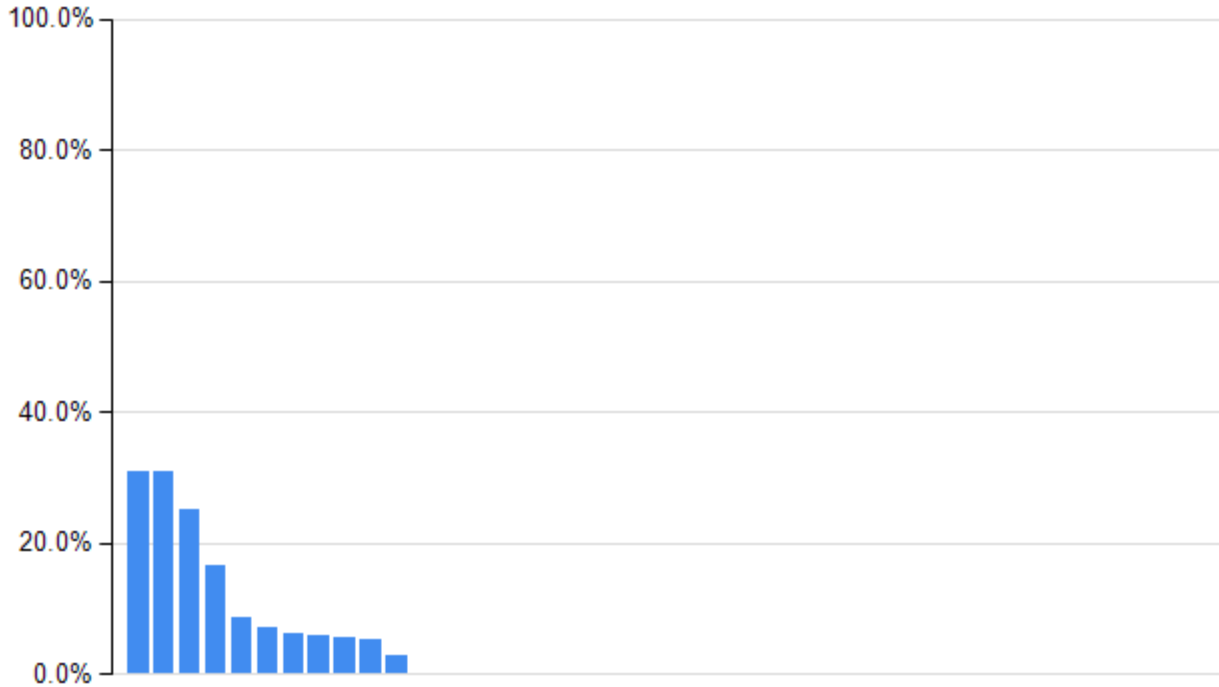
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2032
指標名	急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況

分子：入院3日以内に経腸栄養を実施された症例

分母：急性膵炎で退院した症例（軽症者を除く）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、42/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1054	36	3.4%

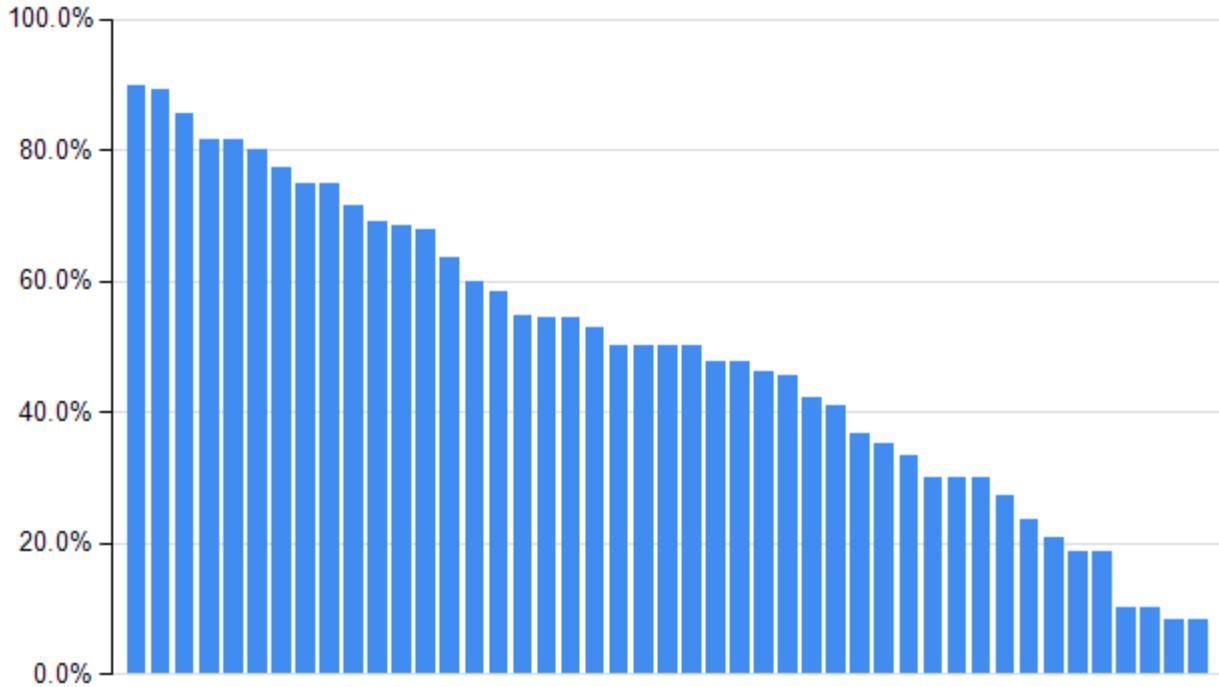
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	5002
指標名	小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合

分子： 分母のうち、入院当日に超音波検査を施行された症例

分母： 虫垂炎で入院した小児（5歳から15歳）症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、45/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1387	657	47.4%

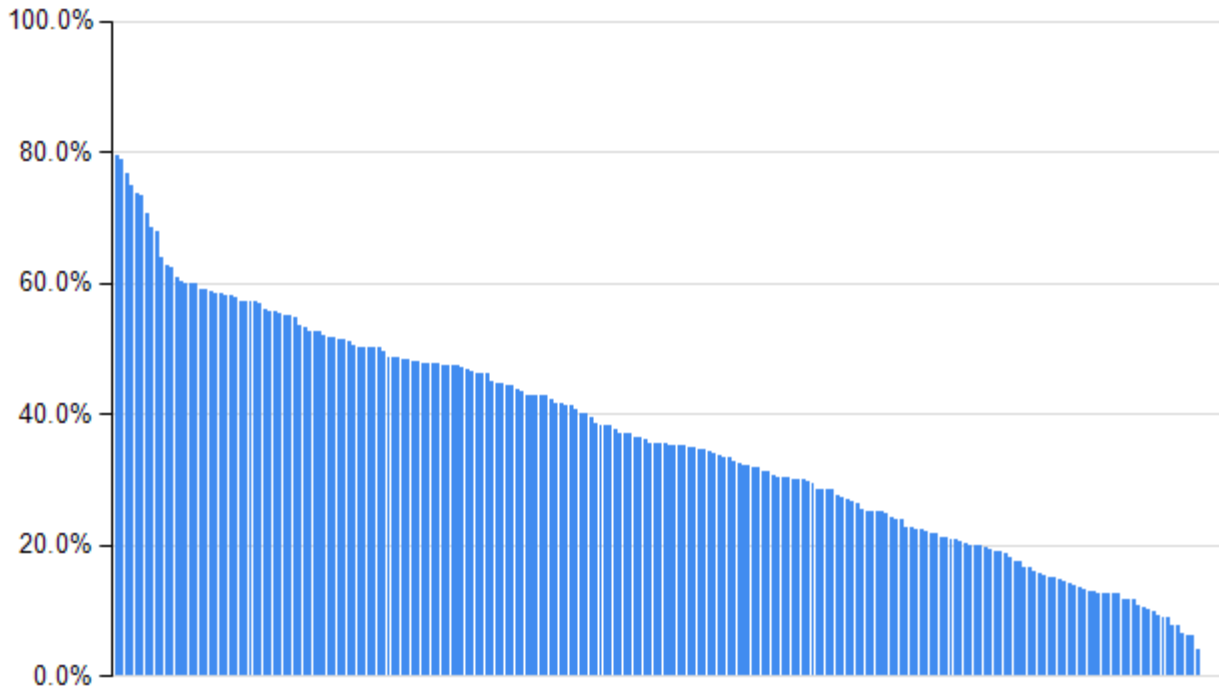
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2126
指標名	胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

分子：分母のうち、入院日から2日以内に超音波検査が実施された症例

分母：胆管炎・急性胆嚢炎で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、224/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
14727	5521	37.5%

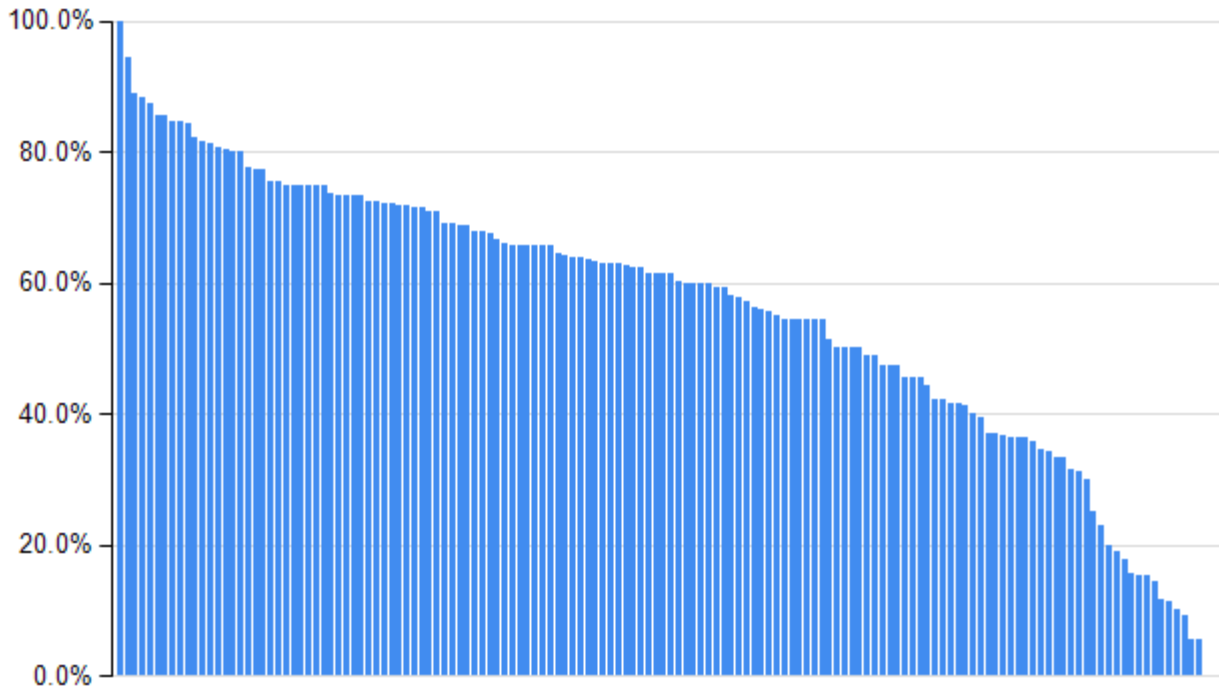
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2138
指標名	急性膵炎に対する 入院 2 日以内の造影 CT 実施割合

分子： 分母のうち、入院日から 2 日以内に造影 CT が施行された症例

分母： 急性膵炎で退院した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、146/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4829	2763	57.2%

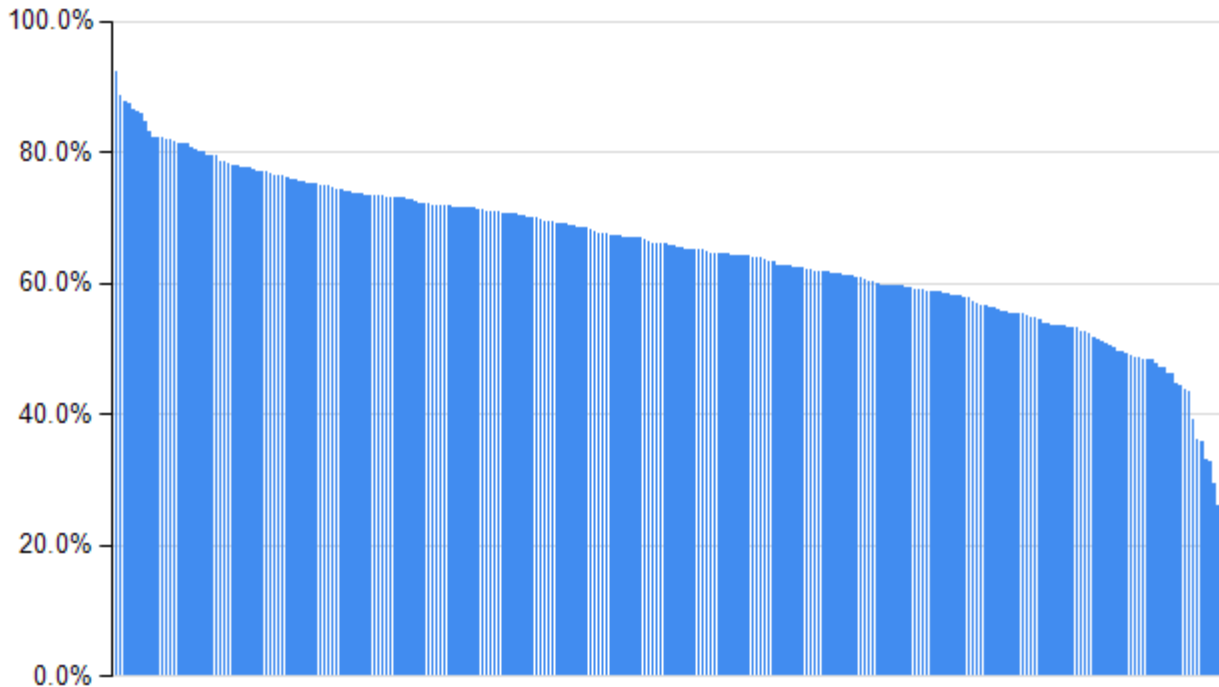
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2132
指標名	アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率

分子： 分母のうち退院時に酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）が退院時に処方された症例

分母： 退院時にアスピリン内服薬が処方されている 18 歳以上の患者



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、266/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
95273	63670	66.8%

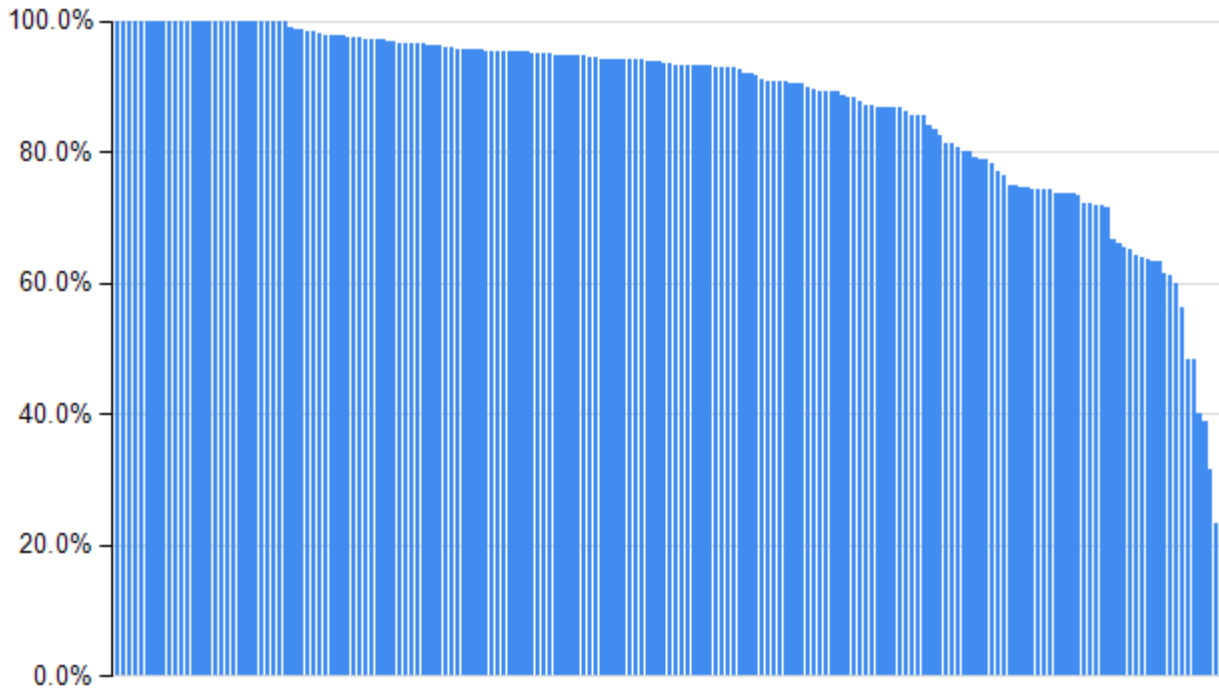
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2046
指標名	大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率

分子： 分母のうち、3日以内にリハビリを実施した症例

分母： 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、192/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9166	8115	88.5%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2047
指標名	大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率（2015年度までが対象）

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」を算定した症例

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、0/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
0	0	

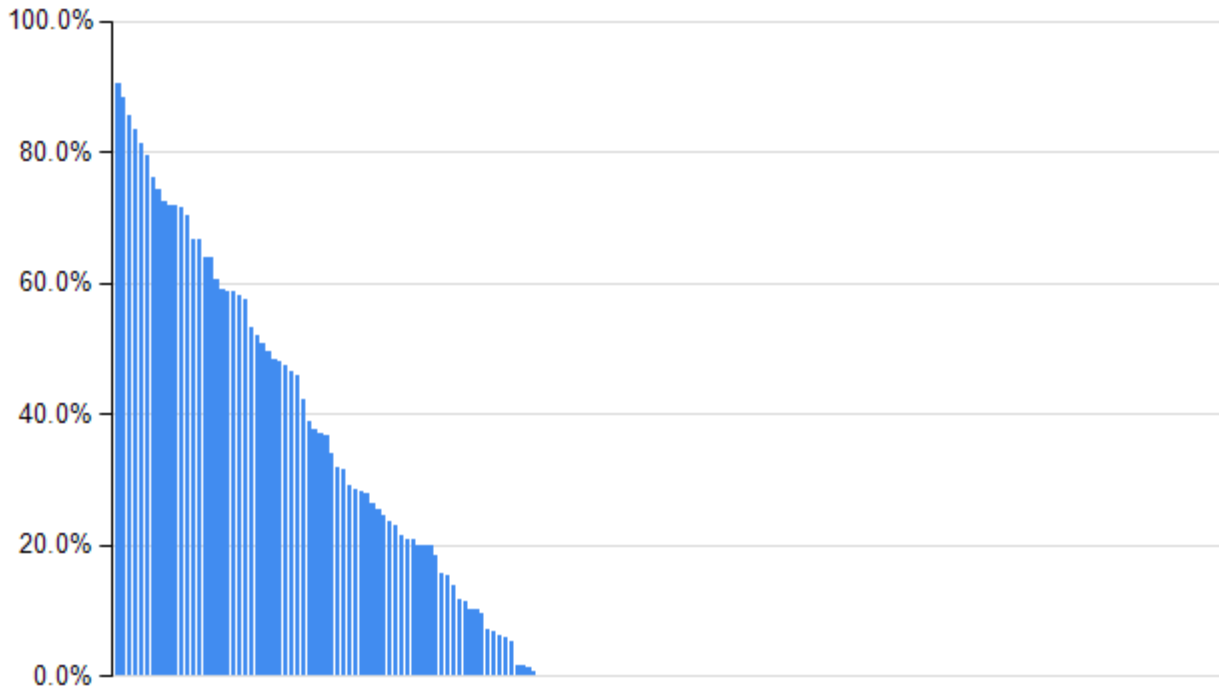
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2109
指標名	大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率（2016）

分子：分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、191/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9081	1759	19.4%

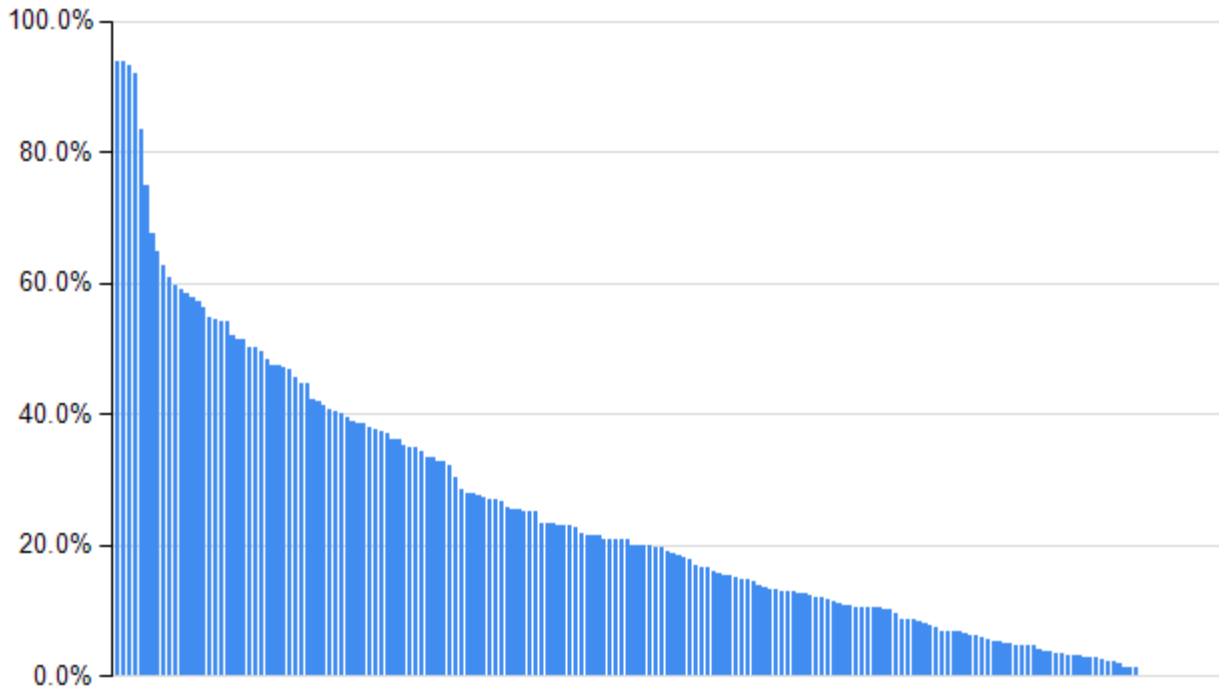
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2114
指標名	大腿骨頸部骨折の早期手術割合

分子： 分母のうち、入院 2 日以内に手術を受けた患者数

分母： 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、193/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9439	2379	25.2%

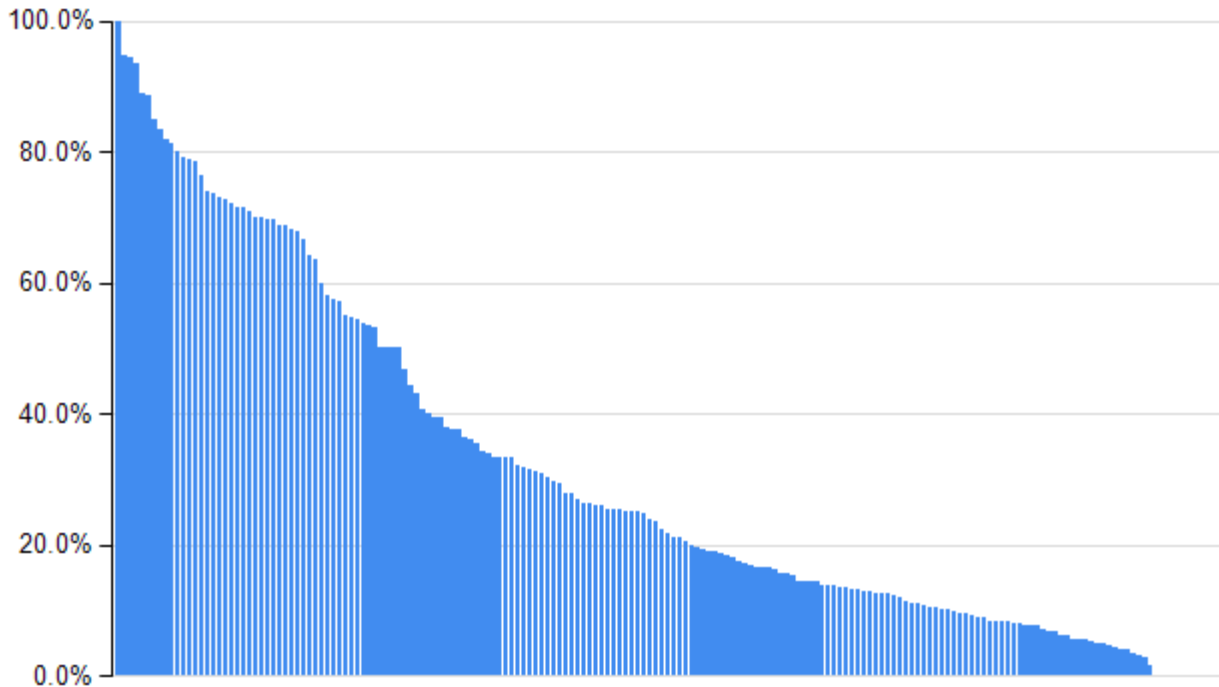
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2115
指標名	大腿骨転子部骨折の早期手術割合

分子： 分母のうち、入院 2 日以内に手術を受けた患者数

分母： 大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、185/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8830	3112	35.2%

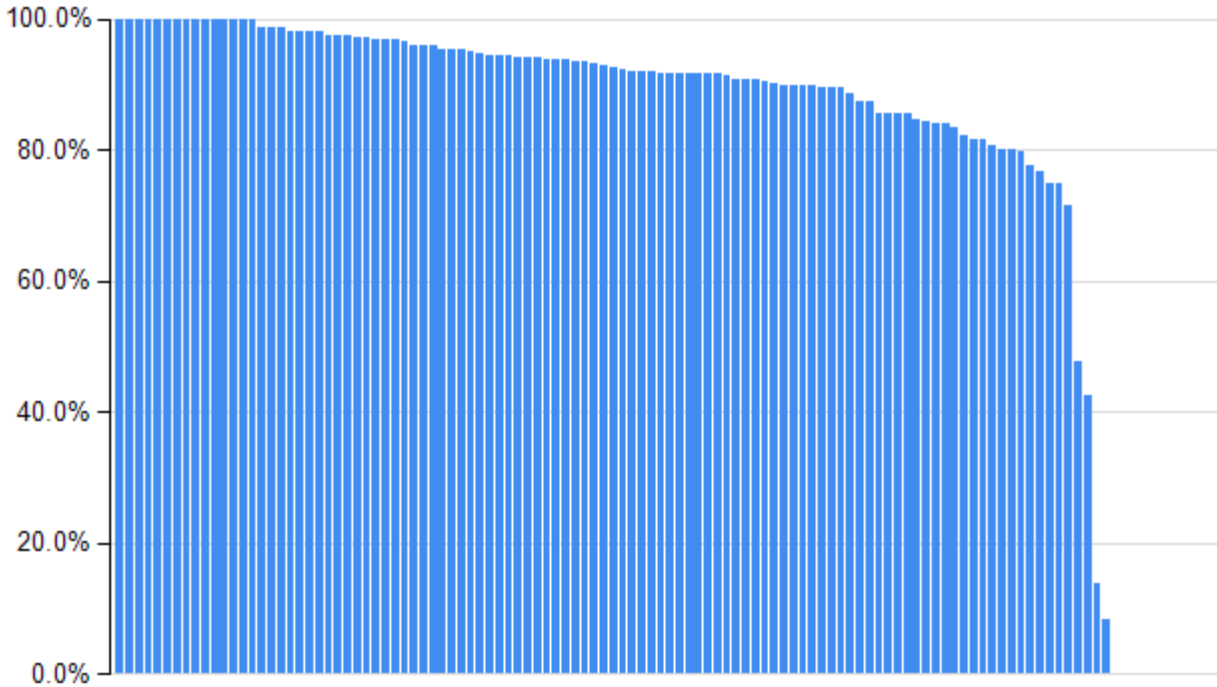
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2038
指標名	T1-2,N0M0 乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

分子：分母のうち、センチネルリンパ節生検が実施された症例数

分母：T1-2,N0M0 の乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、116/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5056	4340	85.8%

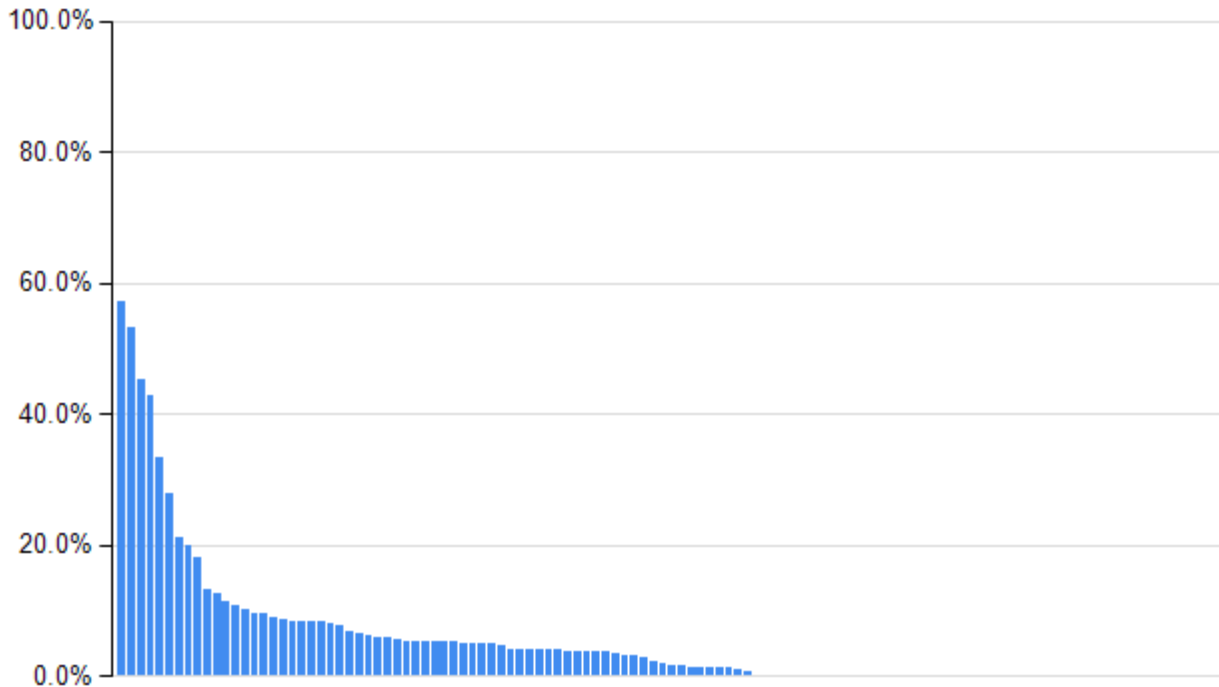
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2049
指標名	T1-2,N0M0 乳がん手術患者に対する腋下リンパ節郭清実施率

分子： 分母のうち、腋下リンパ節郭清が実施された症例数

分母： T1-2,N0M0 の乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、116/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5069	239	4.7%

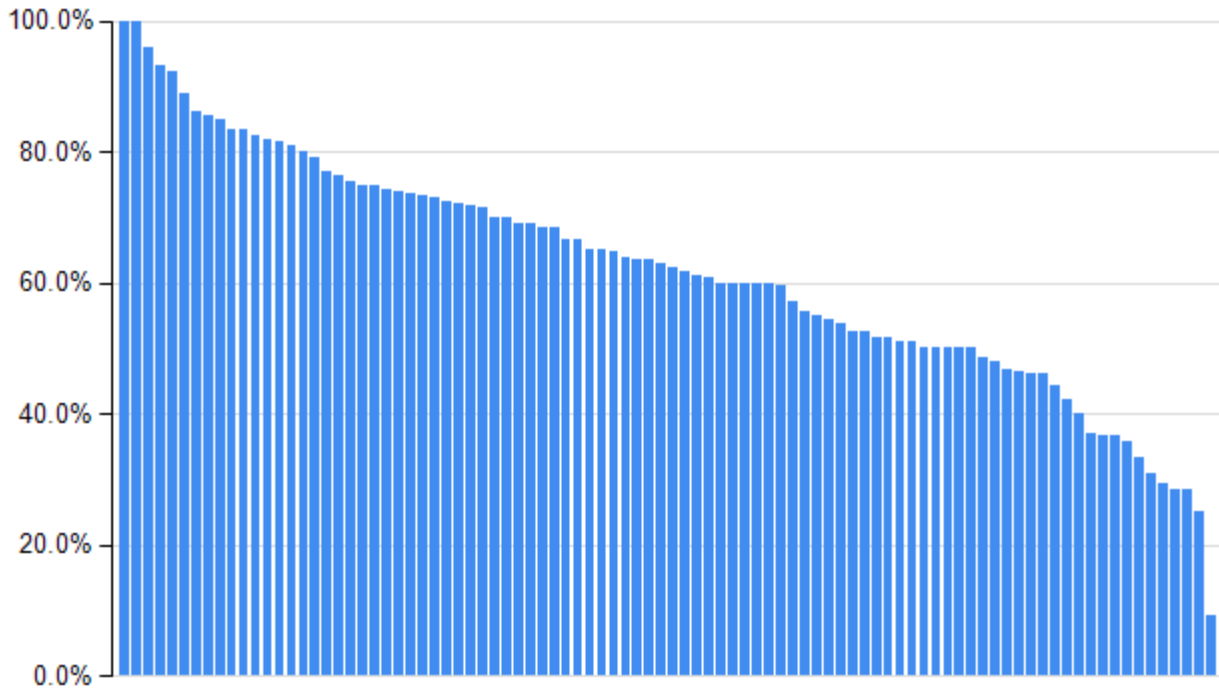
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2043
指標名	腫瘍径 2cm 以下の StageI 浸潤性乳がんに対する乳房温存手術割合

分子： 分母のうち、乳房温存手術が実施された症例数

分母： 腫瘍径 2cm 以下の Stage I 乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度 (平成 30 年度)

期間症例 10 例未満の病院を除外し、92/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
3383	2086	61.7%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2073
指標名	[測定終了] 糖尿病患者における重症低血糖発作の割合

分子：重症低血糖発作を発症した入院症例

分母：18歳以上の糖尿病で入院した症例

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、0/0病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均

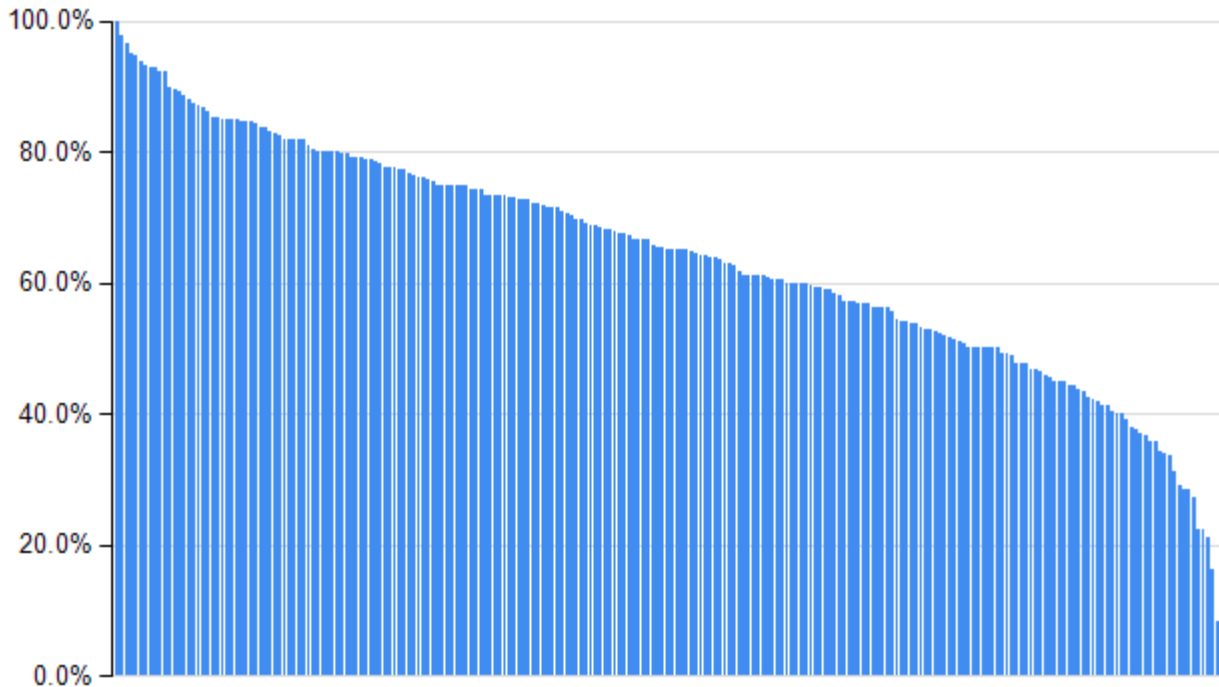
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2074
指標名	糖尿病教育入院における強化インスリン療法実施割合

分子： 分母のうち、強化インスリン療法を行った症例

分母： 糖尿病の教育入院のために入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、231/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
14725	9483	64.4%

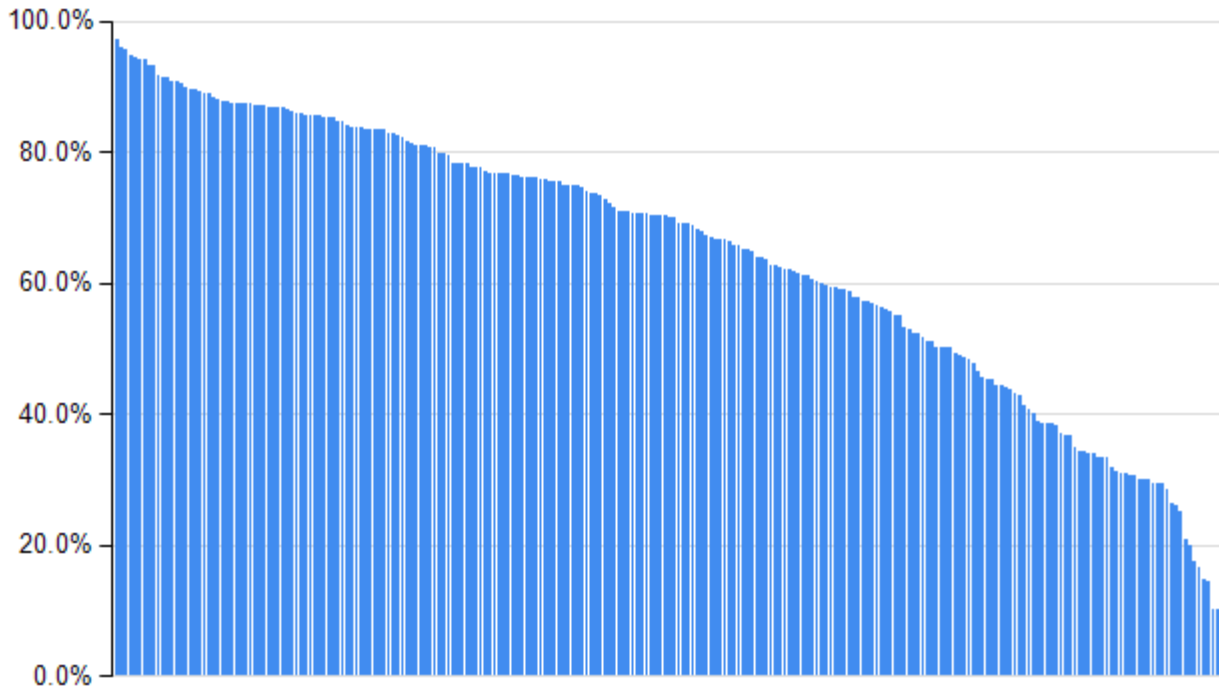
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2075
指標名	糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率

分子： 分母のうち栄養指導を行った症例

分母： 糖尿病で入院した症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、240/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
17533	12642	72.1%

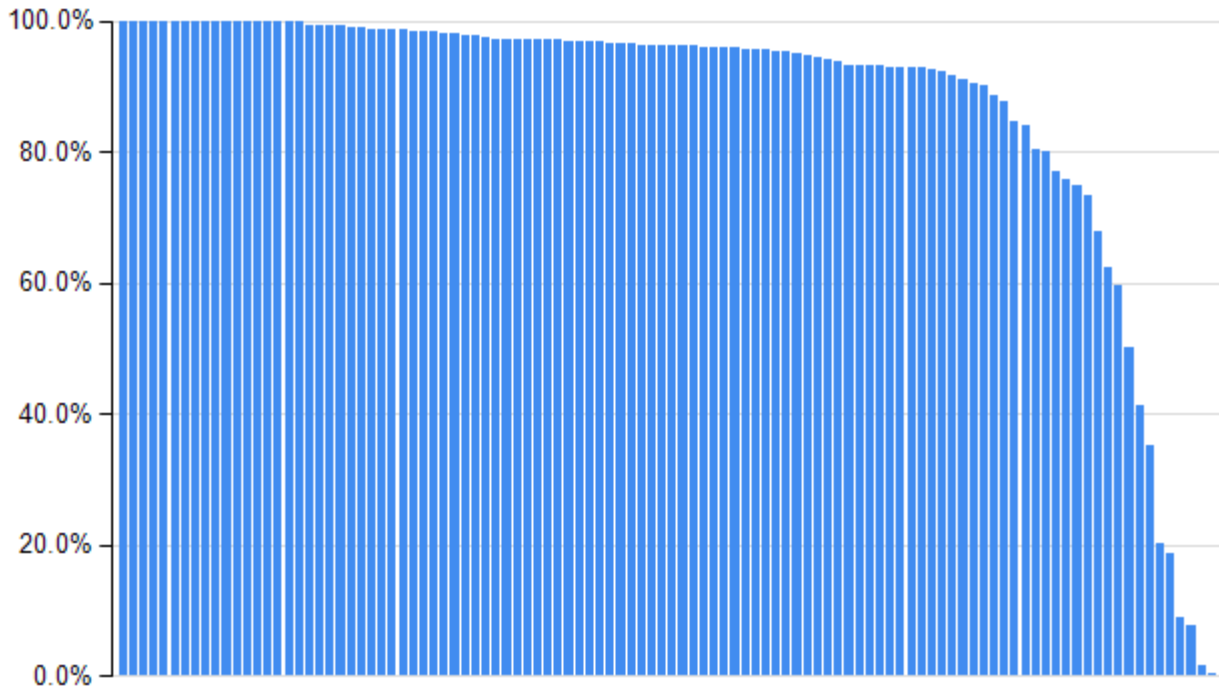
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0684
指標名	帝王切開術における全身麻酔以外の割合

分子： 分母のうち、全身麻酔以外の症例

分母： 帝王切開術を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、106/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
13199	11787	89.3%

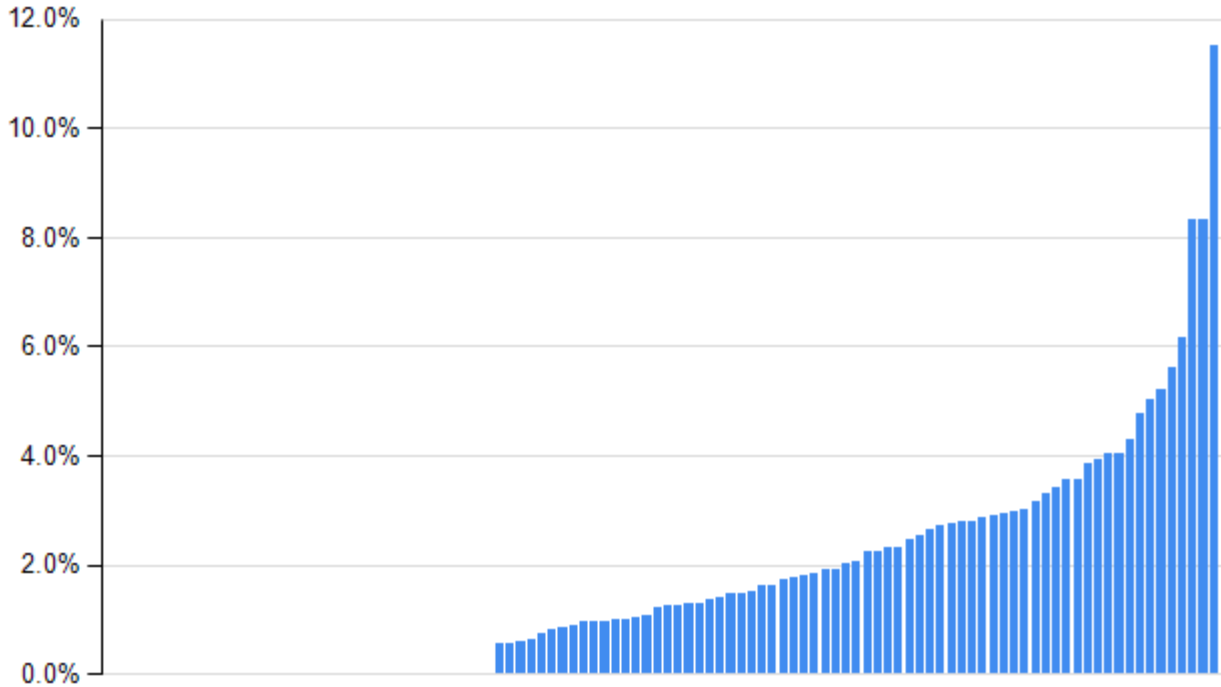
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0687
指標名	帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合

分子：分母のうち、赤血球輸血を受けた症例

分母：帝王切開術を受けた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、106/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
13199	301	2.3%

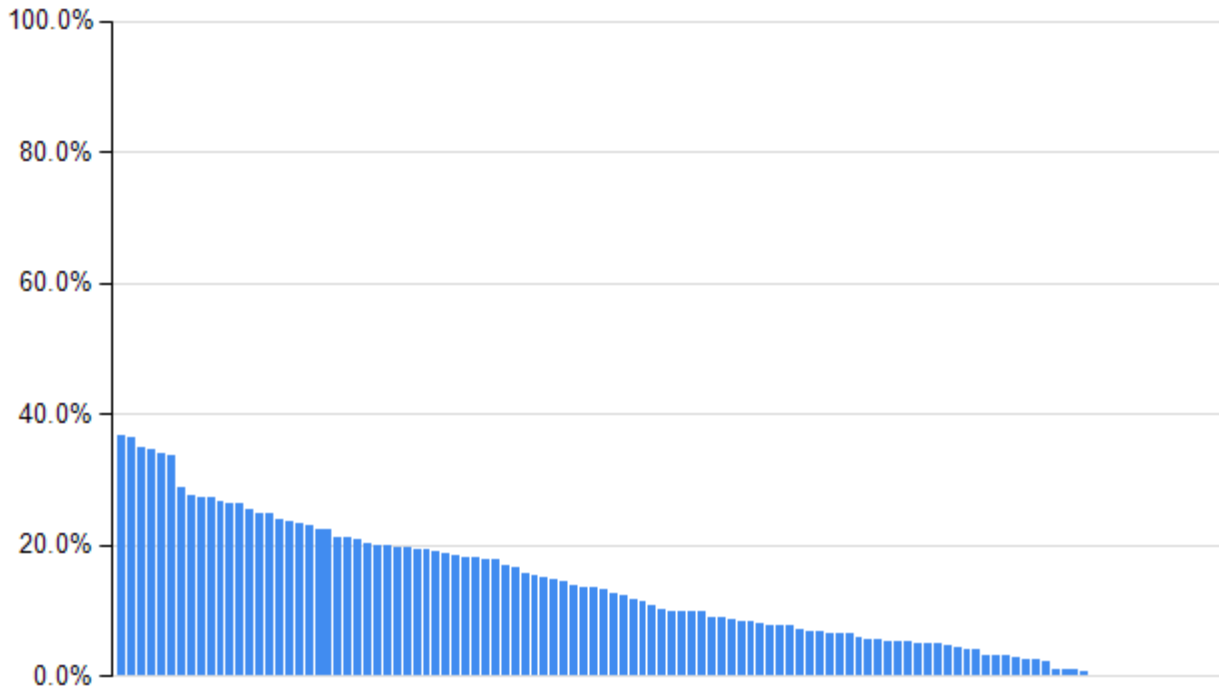
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2041
指標名	ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

分子： 分母のうち、ハイリスク妊娠・分娩管理加算を算定された症例

分母： 妊娠あるいは分娩に関連する疾病の治療・分娩のために入院した患者



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、112/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
45989	7357	16.0%

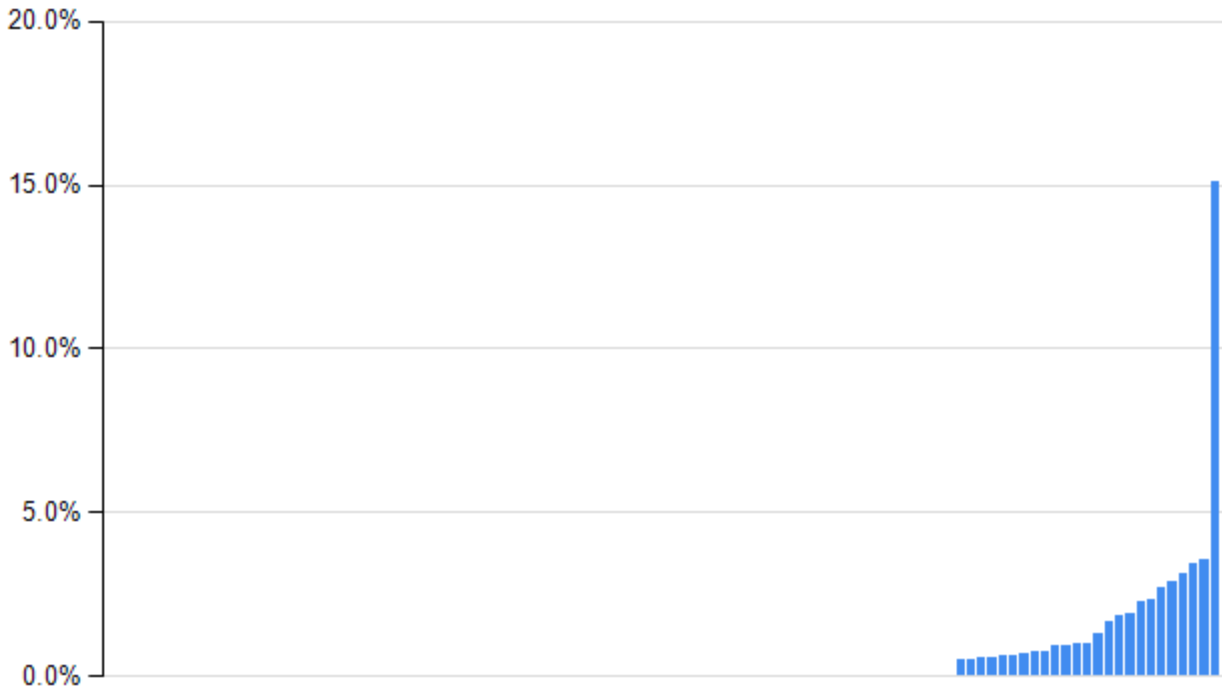
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2087
指標名	帝王切開患者における深部静脈血栓症の発生率

分子：深部静脈血栓症の発症症例

分母：帝王切開による出産症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、105/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
13072	49	0.4%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2072
指標名	[測定終了] 小児術後患者におけるアセトアミノフェンの過少量処方の割合

分子： 分母のうちアセトアミノフェンの一日用量が過少量である処方数

分母： 小児入院患者で手術ありの症例に対するアセトアミノフェンの処方数

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、0/0病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均

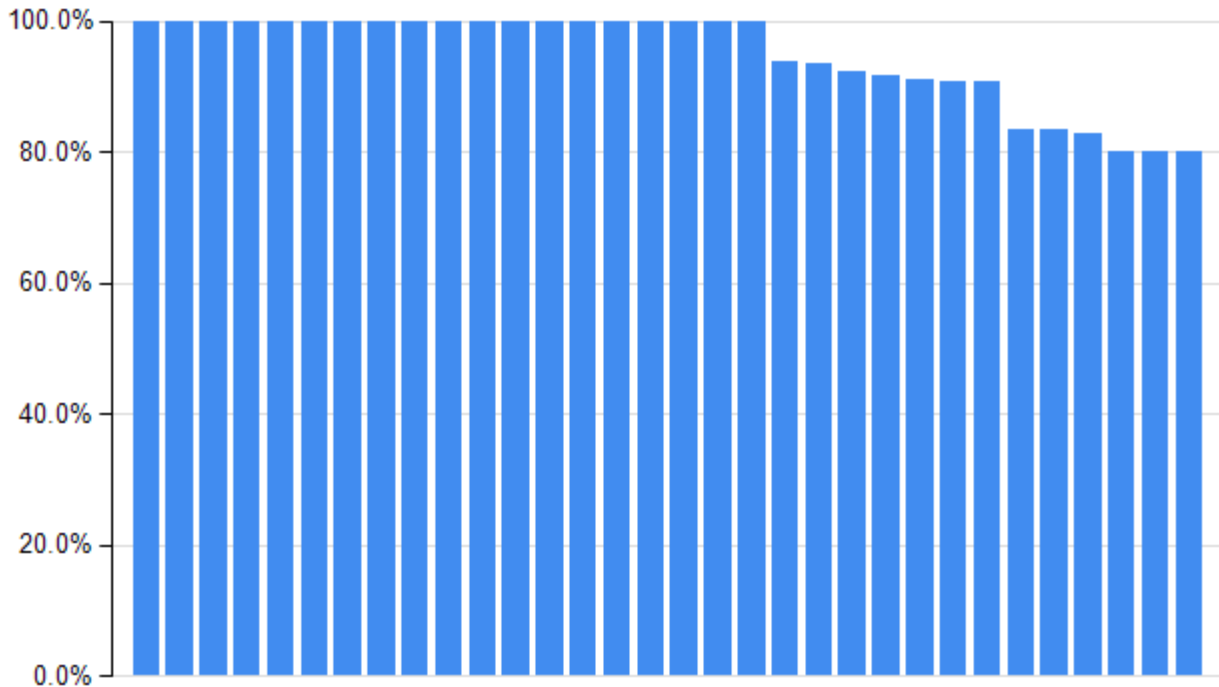
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0652
指標名	精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

分子：退院時処方に向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母：主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に向精神薬が含まれる症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、32/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1172	1119	95.5%

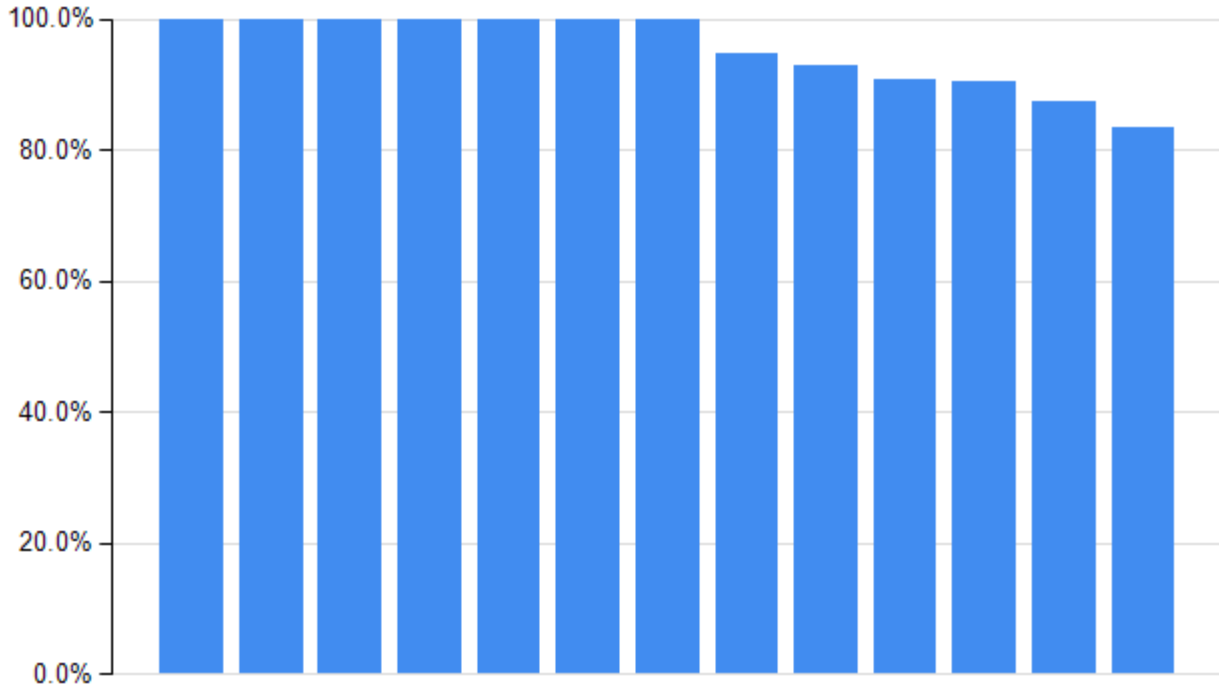
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0653
指標名	精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

分子：退院時処方に抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母：主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗精神病薬が含まれる症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、13/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
495	480	97.0%

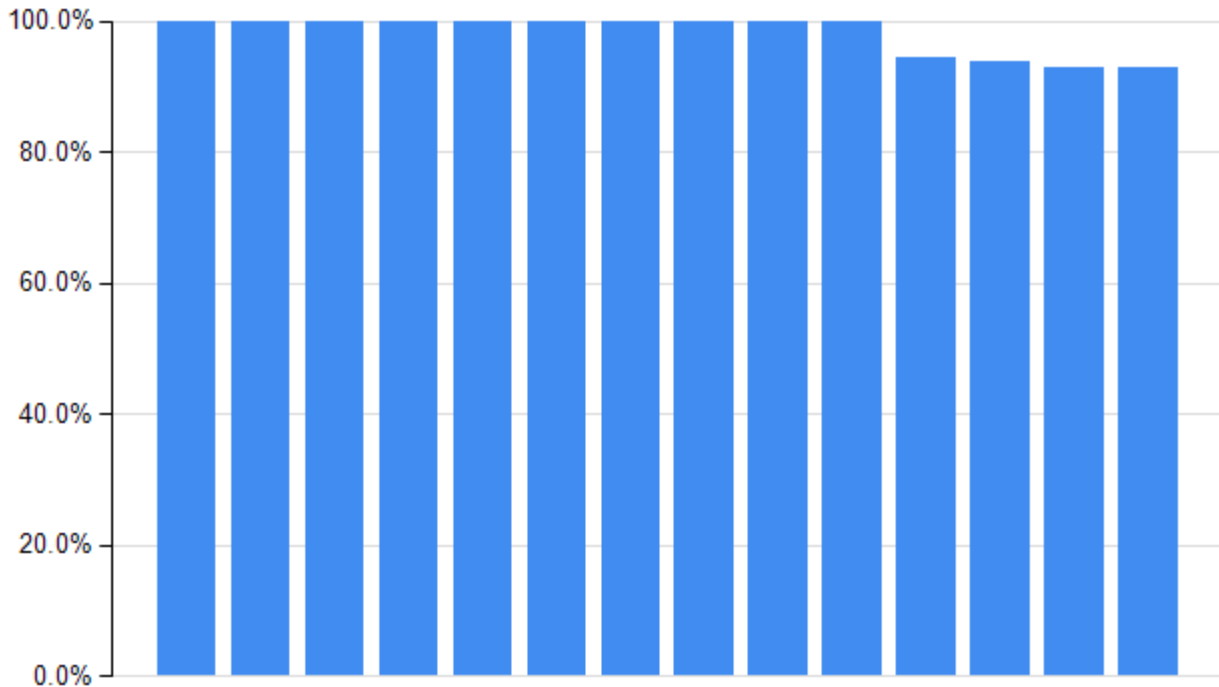
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0654
指標名	精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合

分子： 分母のうち、退院時処方に抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母： 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗精神病薬が含まれる症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、14/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
596	586	98.3%

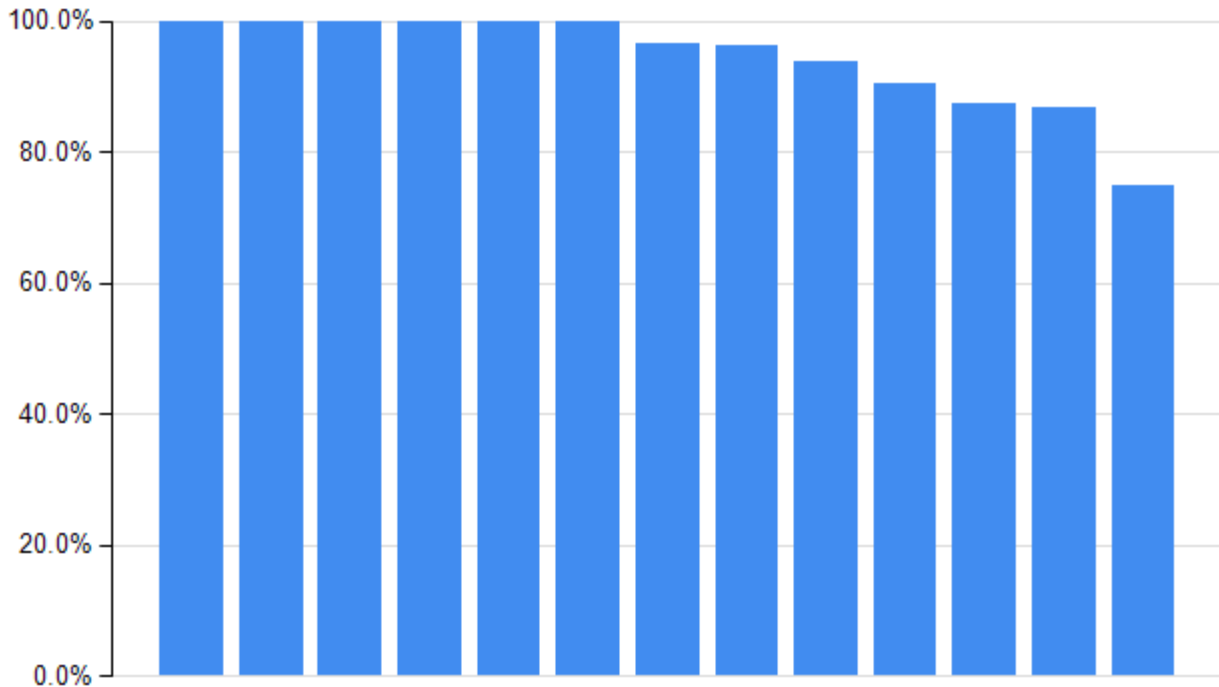
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0655
指標名	精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方単剤または2剤である割合

分子：退院時処方に睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母：主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に睡眠薬が含まれる症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、13/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
558	535	95.9%

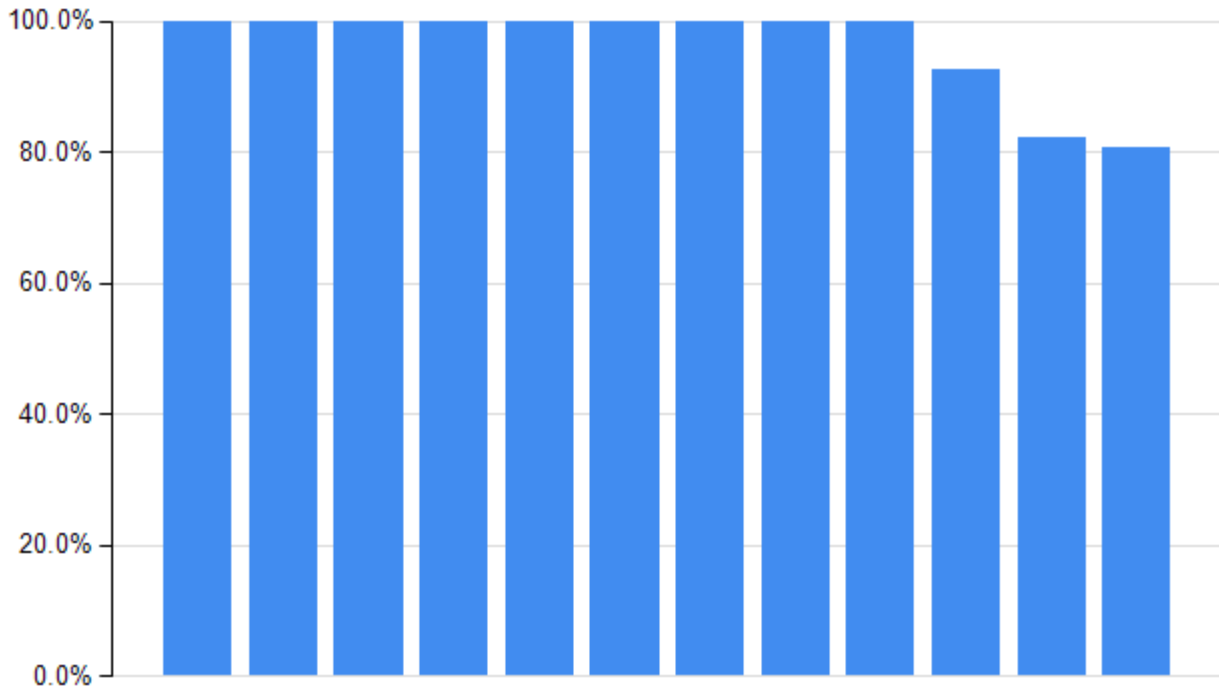
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0656
指標名	精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である割合

分子： 分母のうち、退院時処方に抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母： 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗うつ薬が含まれる症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、12/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
541	522	96.5%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2106_2
指標名	精神疾患で入院した症例における身体拘束割合（高齢者を除く、GAF30 以下）

分子：身体拘束を実施した患者数

分母：精神疾患で入院した延べ患者数（高齢者を除く、GAF30 以下）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、45/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1718	87	5.1%

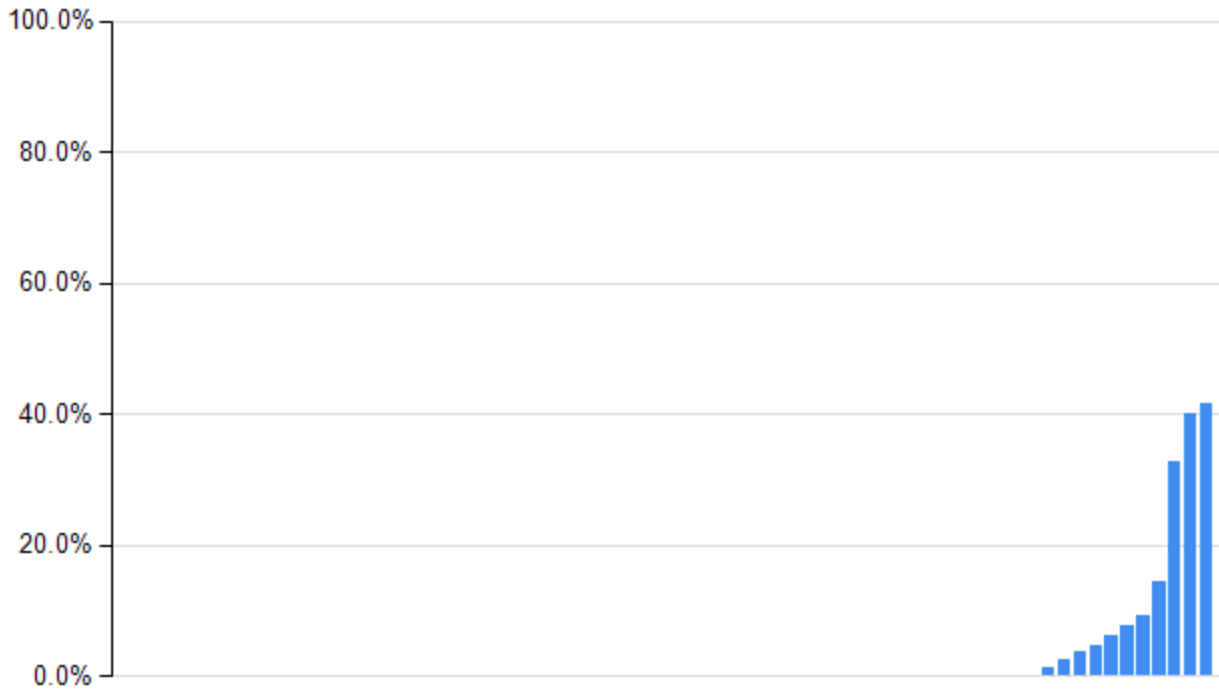
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2106_3
指標名	精神疾患で入院した症例における身体拘束割合（高齢者を除く、GAF31 以上）

分子：身体拘束を実施した患者数

分母：精神疾患で入院した延べ患者数（高齢者を除く、GAF31 以上）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、69/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2201	63	2.9%

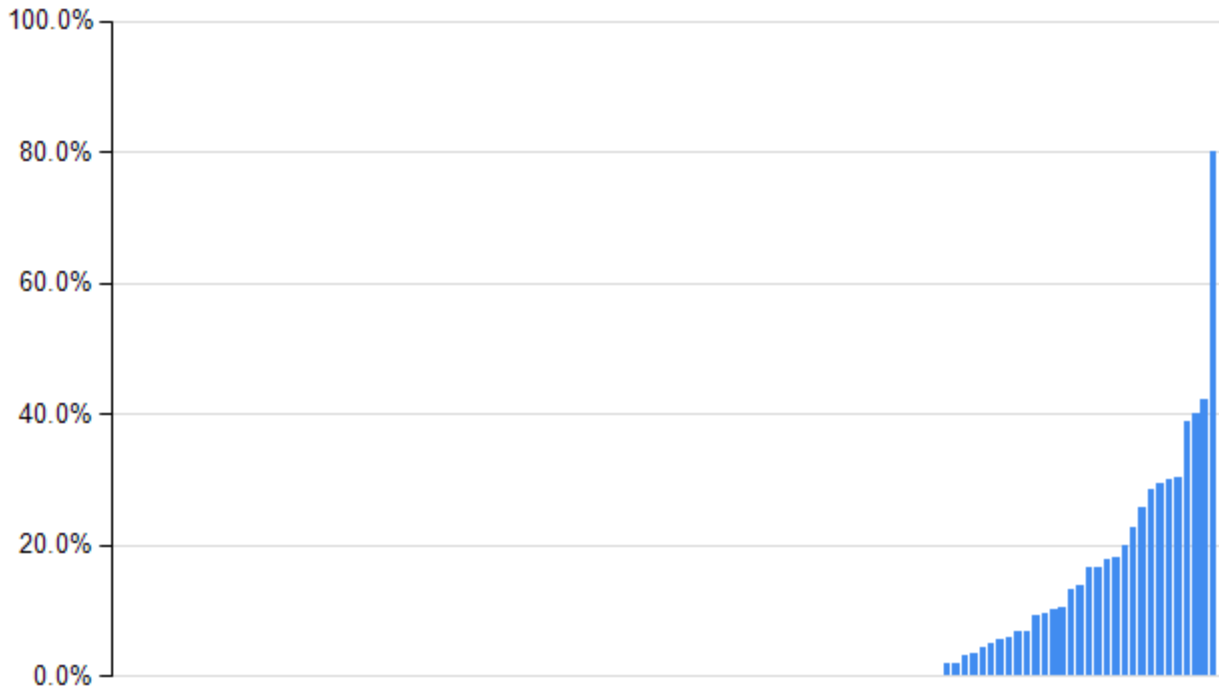
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2106
指標名	精神疾患で入院した症例における身体拘束割合（高齢者を除く）

分子：身体拘束を実施した患者数

分母：精神疾患で入院した延べ患者数（高齢者を除く）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、124/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4024	150	3.7%

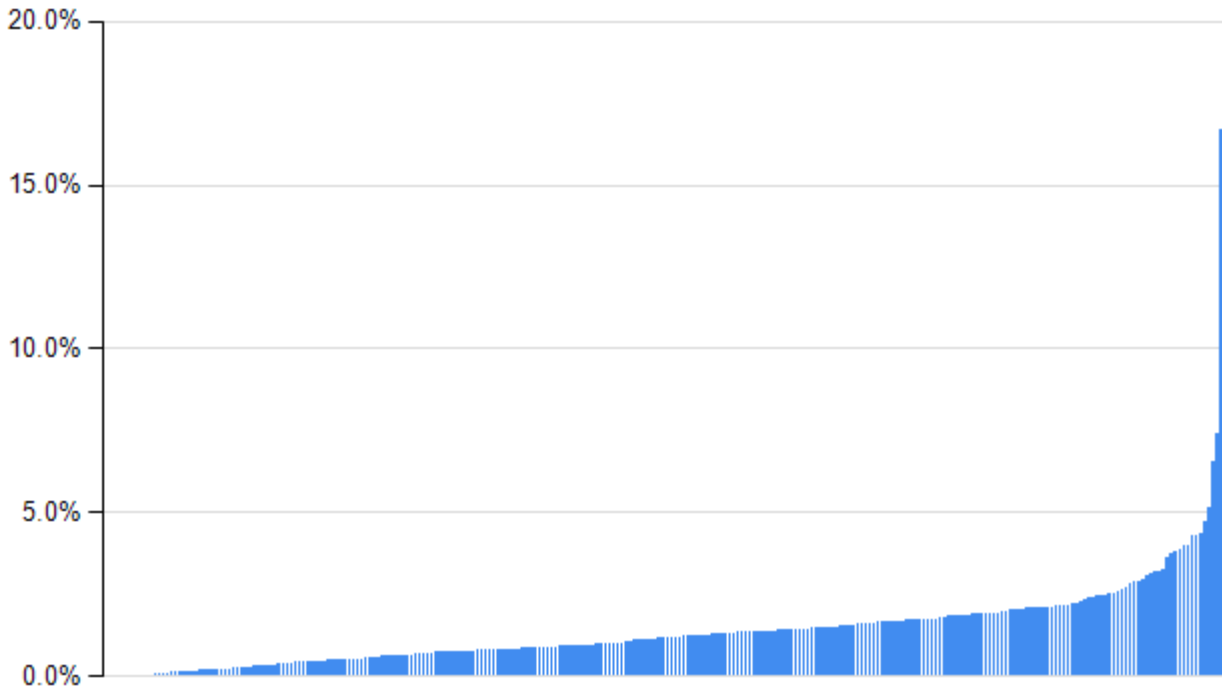
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2127_1
指標名	75歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合

分子： トリアゾラムが処方された症例

分母： 75歳以上の入院症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
593210	7878	1.3%

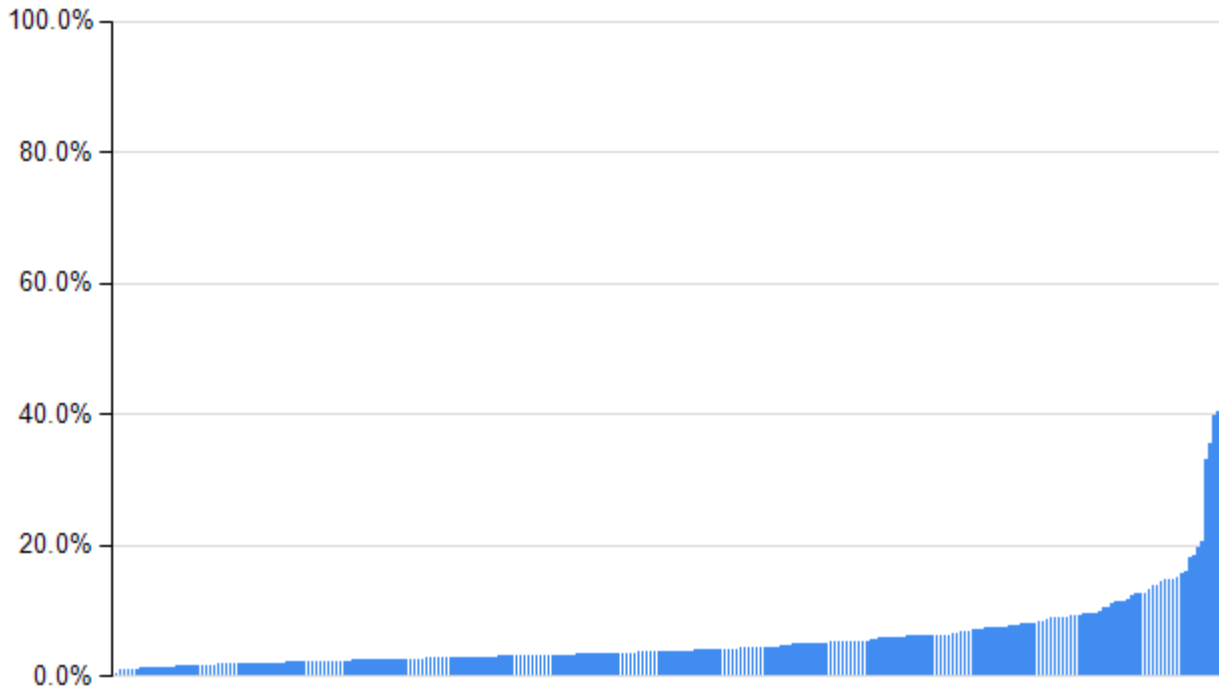
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2127_2
指標名	75歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

分子：長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

分母：75歳以上の入院症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
593210	31468	5.3%

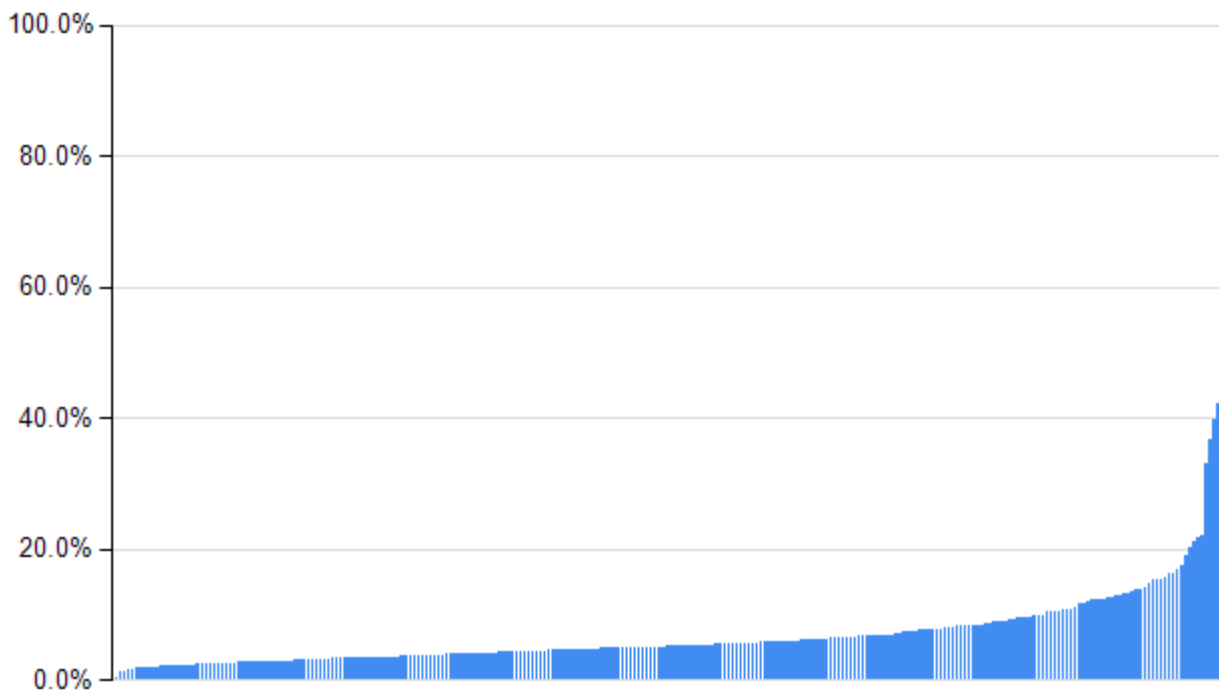
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2127_3
指標名	75歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

分子： トリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

分母： 75歳以上の入院症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
593210	38559	6.5%

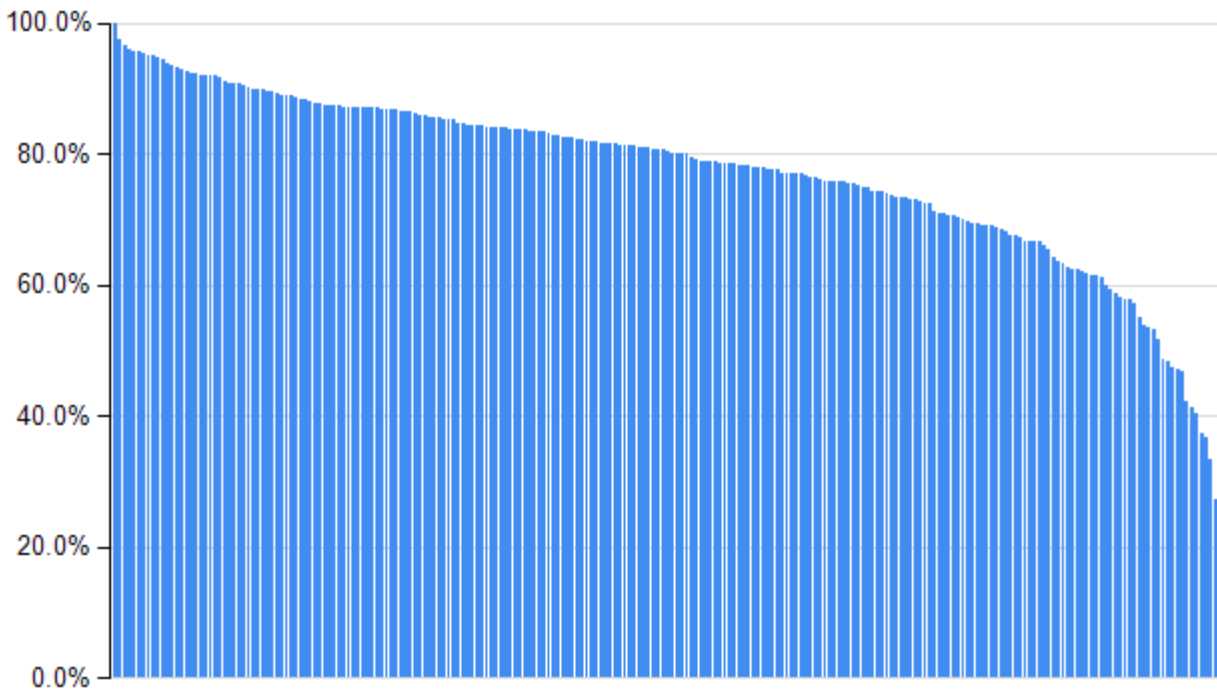
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0517
指標名	がんの疼痛管理のため、長時間作用型麻薬に加えて短時間作用型麻薬等のレスキューを頓用として処方された症例の割合

分子： 分母のうち、短時間作用型麻薬等のレスキュー（内服、座薬）を処方された症例

分母： 18歳以上の、がんと診断され、長時間作用型麻薬（内服、貼付）を処方された症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、232/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
22390	17466	78.0%

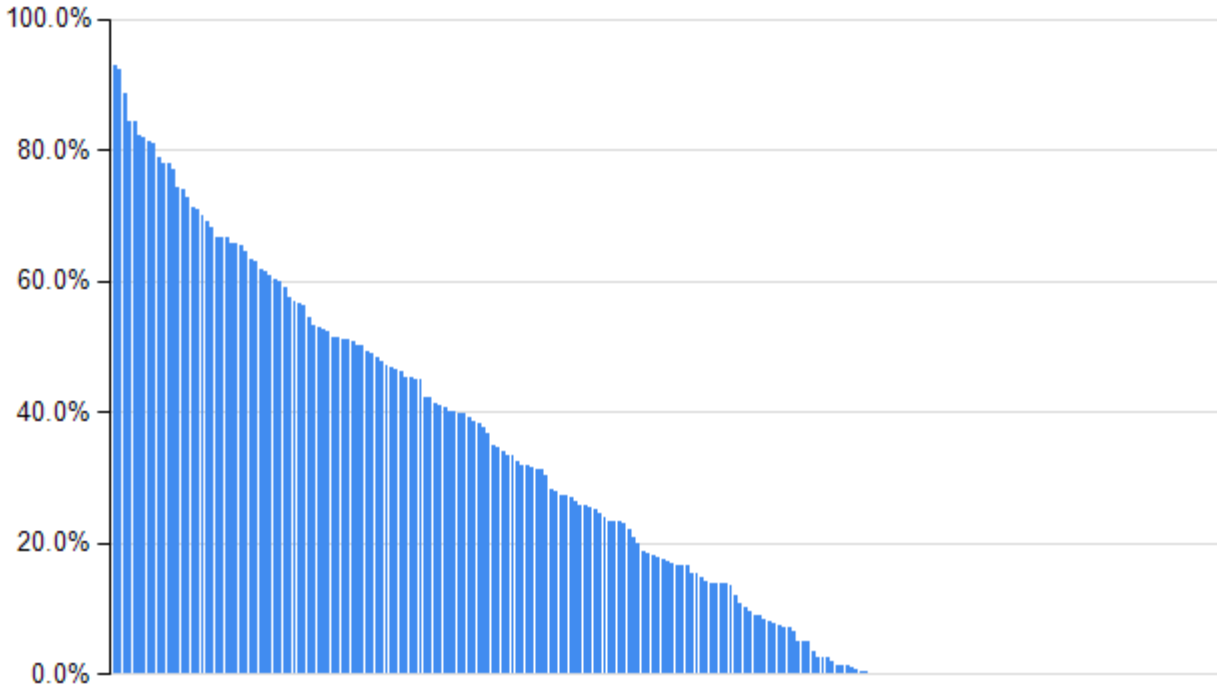
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2039
指標名	がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた症例の割合

分子：分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例

分母：18歳以上の、がんの診断を受け、麻薬を処方された症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、228/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
23917	5755	24.1%

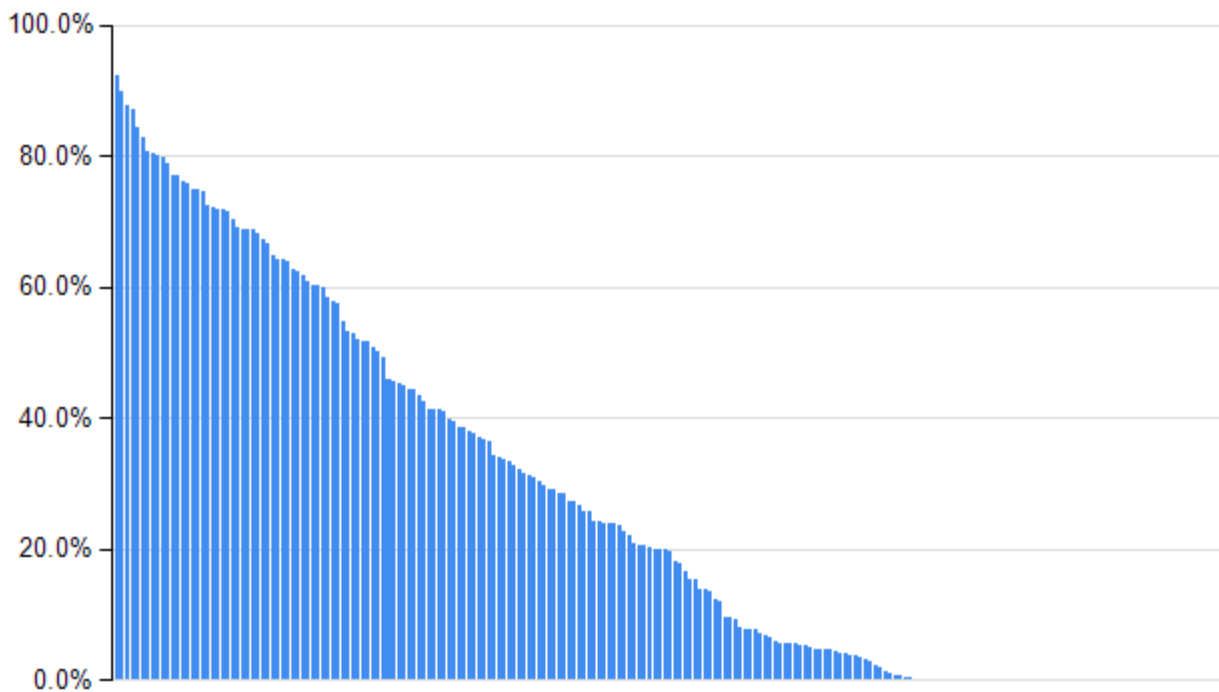
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2111
指標名	[測定終了] がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方症例）

分子：分母の月に、定量的疼痛評価を受けた症例

分母：麻薬を処方された症例の処方された月数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、220/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
90945	17157	18.9%

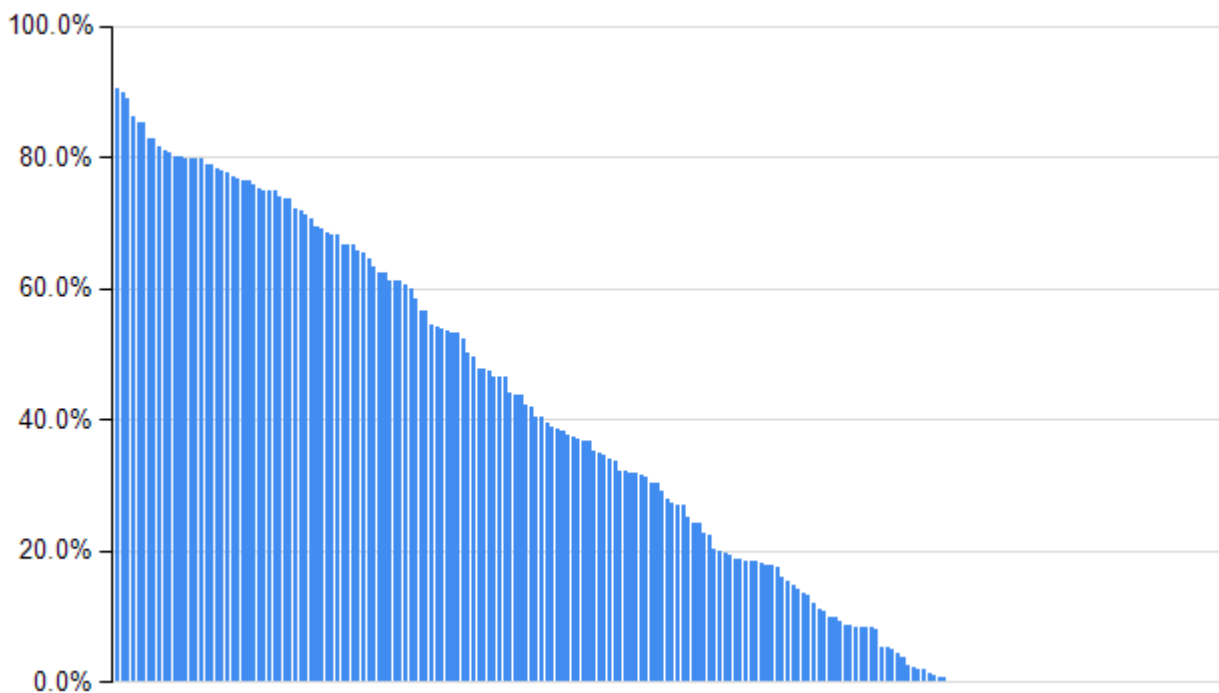
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2112
指標名	[測定終了] がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方・がん診断症例）

分子：分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例の月数

分母：麻薬を処方された症例 このうち、入院データ（前後問わない）に癌の診断がコードされている症例の月数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

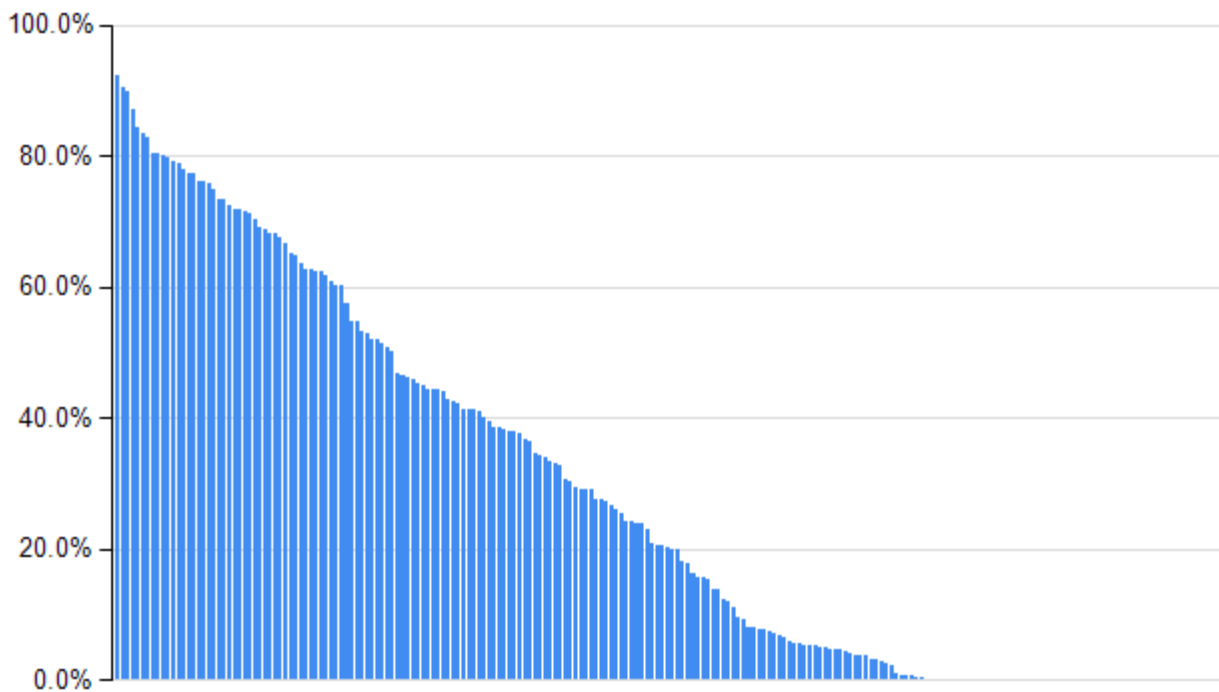
期間症例 10例未満の病院を除外し、211/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
46612	15544	33.3%

指標番号	2113
指標名	[測定終了] がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方症例 フェンタニル除く）

分子： 分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例の月数

分母： 麻薬を処方された症例（フェンタニルを除く）の月数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、217/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
88886	16958	19.1%

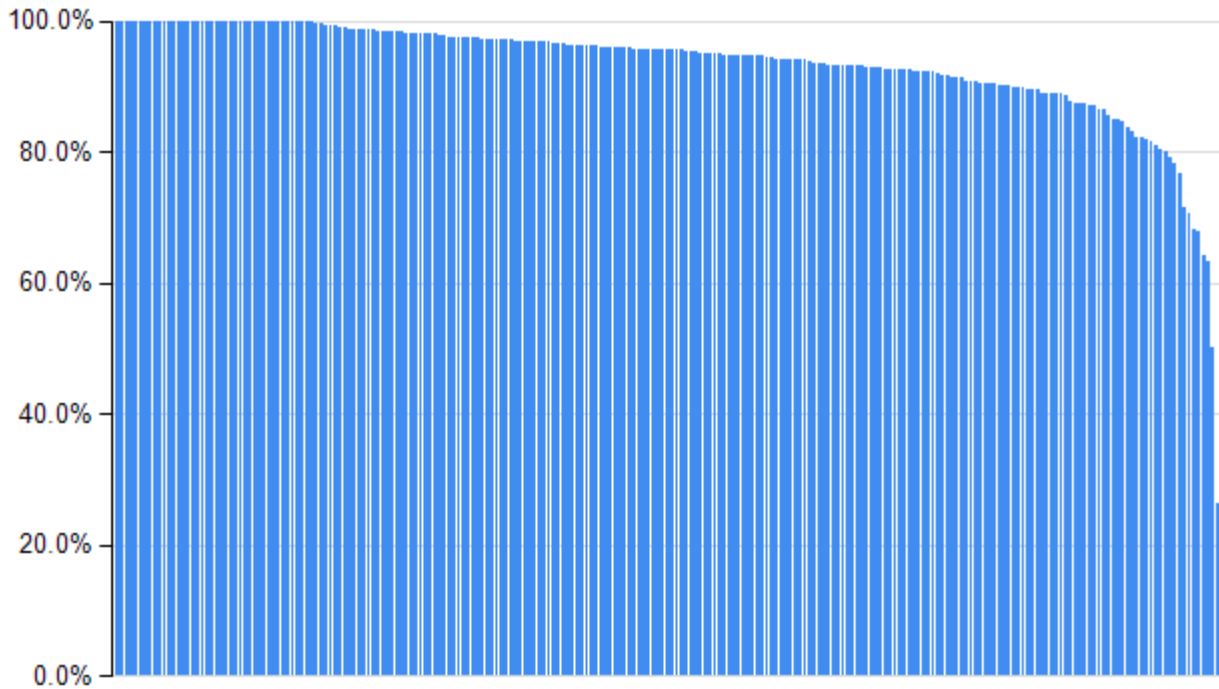
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2108
指標名	抗 MRSA 薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合

分子：分母のうち、細菌検査を測定された症例

分母：抗 MRSA 薬を投与された症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、233/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
25602	23573	92.1%

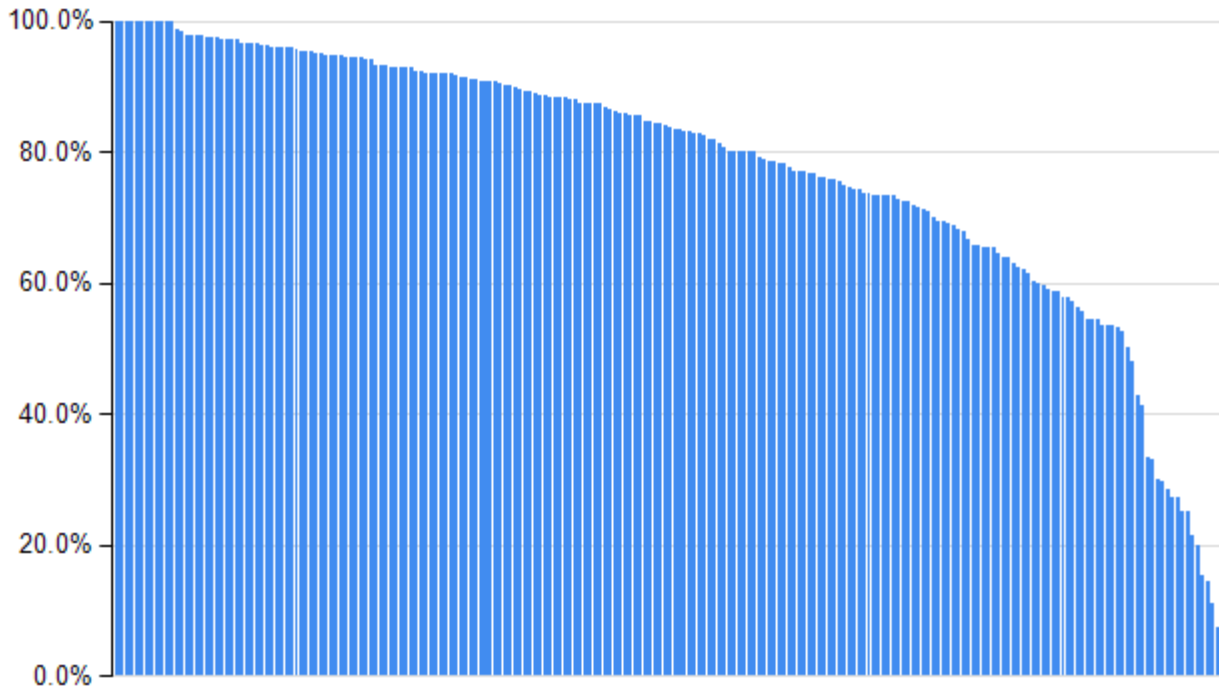
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2023
指標名	抗 MRSA 薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

分子：分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例

分母：TDM を行うべき抗 MRSA 薬を投与された症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、222/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
15528	12280	79.1%

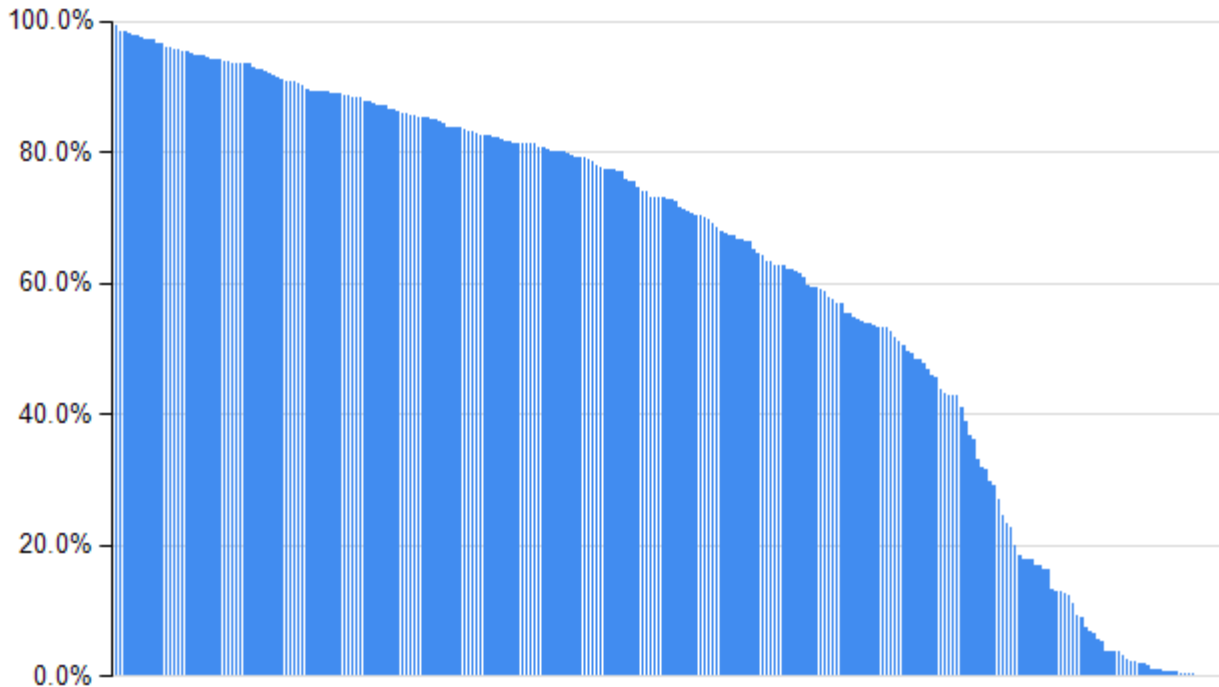
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2107
指標名	血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合

分子：血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数（人日）

分母：血液培養のオーダー日数（人日）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、267/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
320933	202597	63.1%

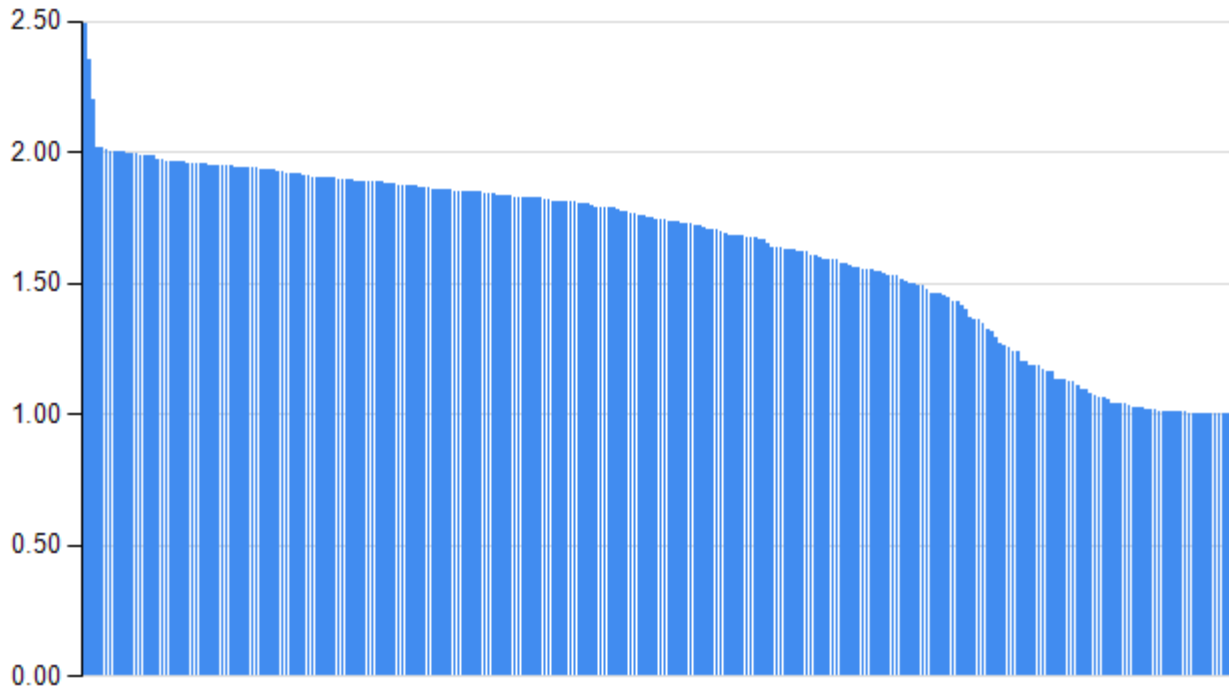
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2022
指標名	[測定終了予定] 血液培養 1 患者 1 日当たりの平均実施セット数

分子：血液培養オーダー回数

分母：血液培養のオーダー日数（人日）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、267/269 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
320933	530013	1.65

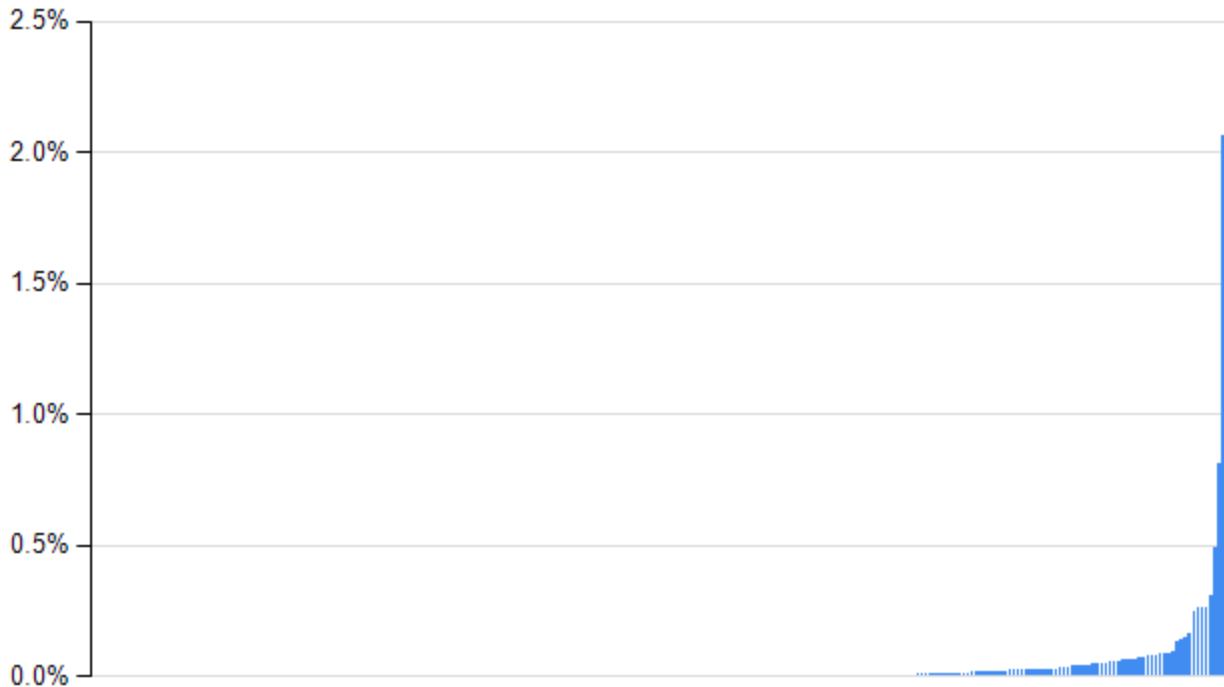
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2021
指標名	全退院症例中、カテーテル留置による尿路感染症の発症率

分子：入院後、カテーテル留置による尿路感染症の発生した症例

分母：全退院症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1467931	239	0.0%

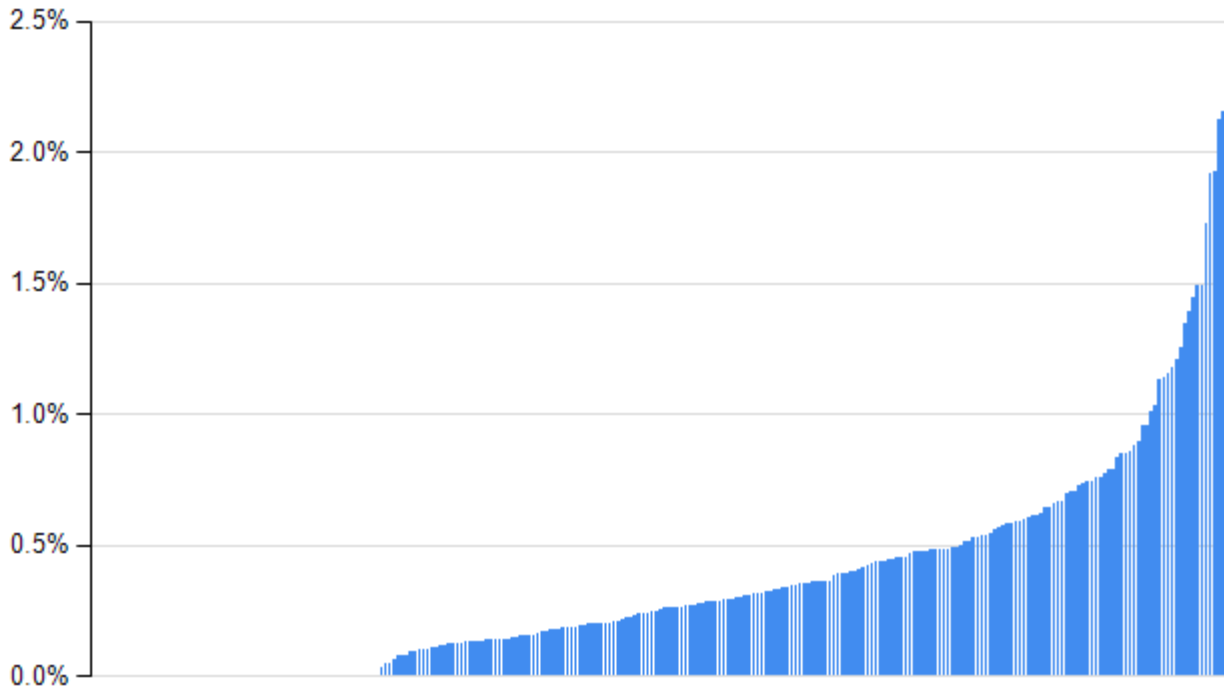
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0274
指標名	術後敗血症発症率（緊急手術を除く）

分子：分母のうち、術後敗血症のある症例（入院後発症した傷病名に敗血症の見られる症例）

分母：18歳以上の手術（緊急手術を除く）を行い退院した症例（周産期、産褥期、出産は除外）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、268/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
346818	1215	0.4%

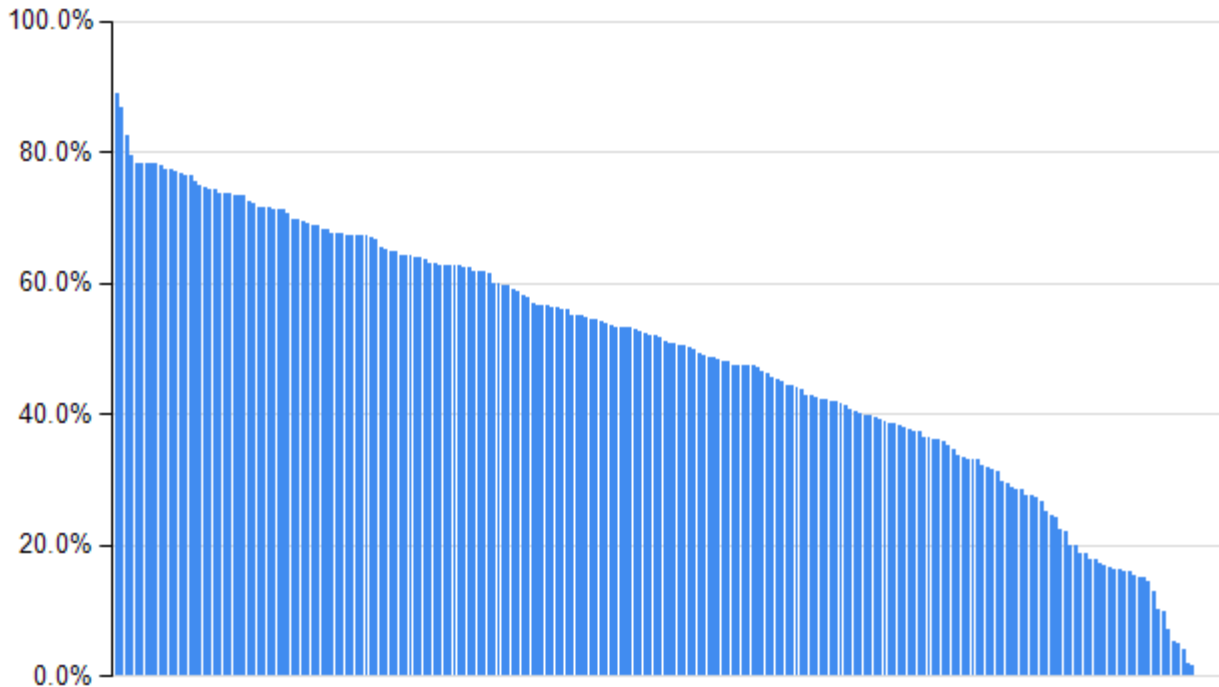
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2031_4
指標名	市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

分子：尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

分母：18歳以上の市中肺炎症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、226/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
35760	18212	50.9%

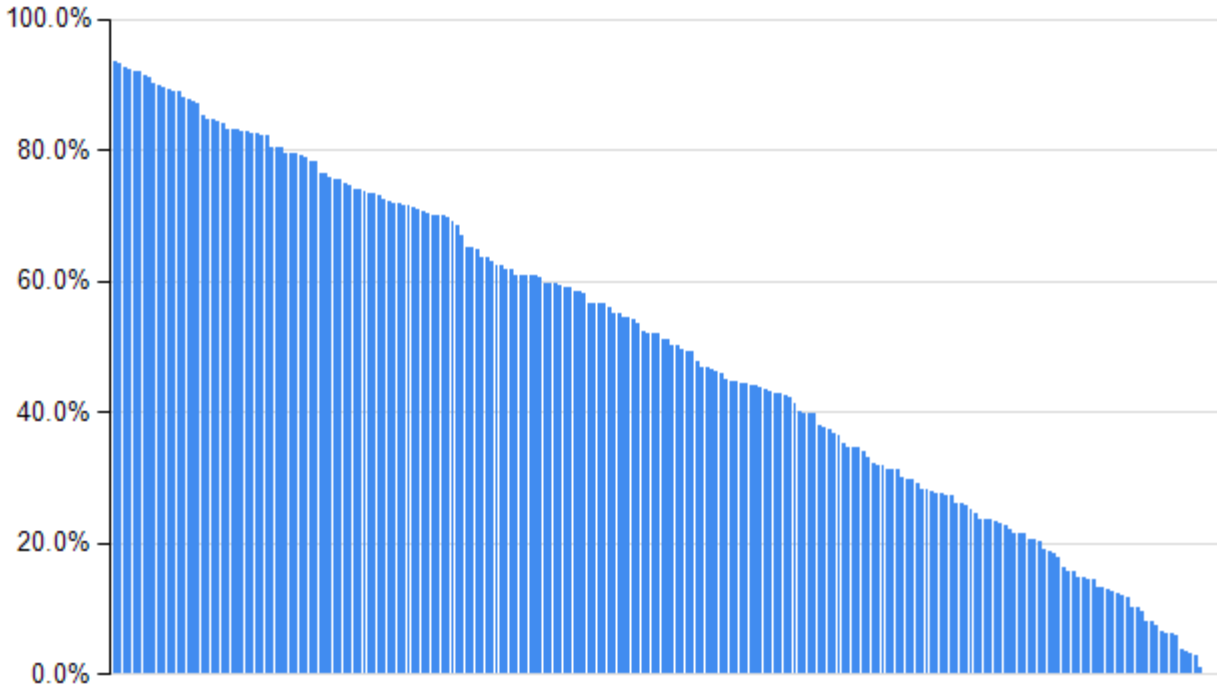
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2031_5
指標名	市中肺炎症例に対し、血液培養検査を受けた症例

分子：血液培養検査を受けた症例

分母：18歳以上の市中肺炎症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、226/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
35760	20232	56.6%

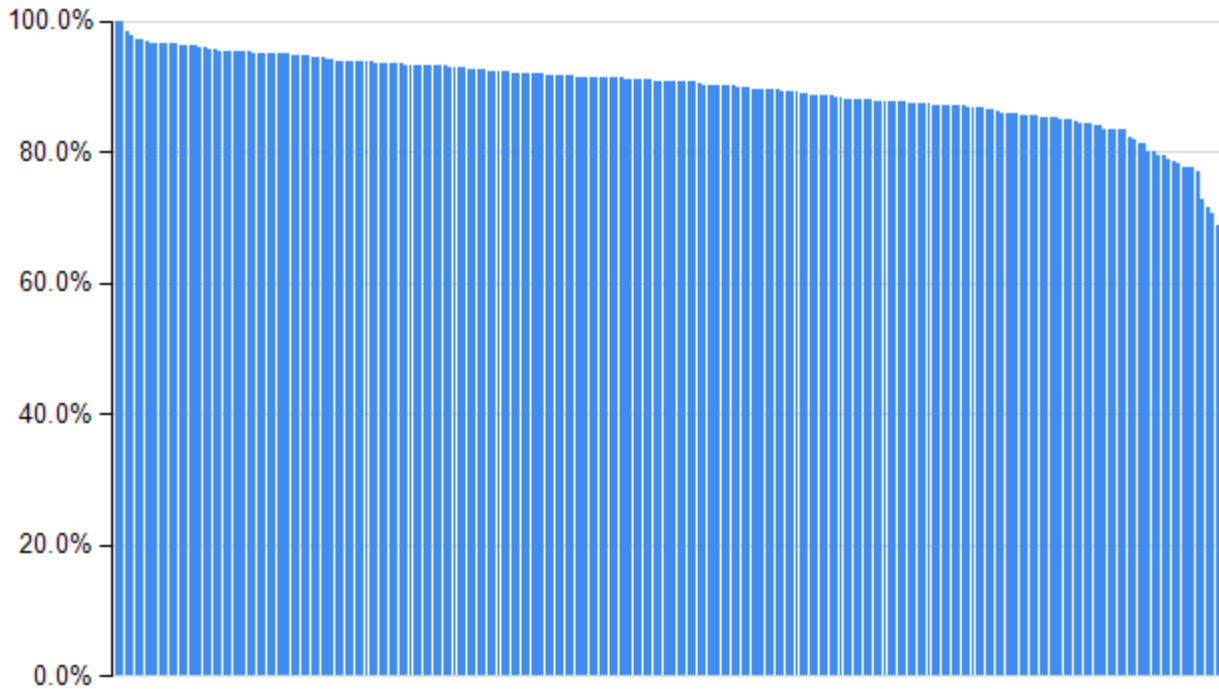
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2031_6
指標名	市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例

分子：入院当日から抗生物質を投与された症例

分母：18歳以上の市中肺炎症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、226/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
35760	32134	89.9%

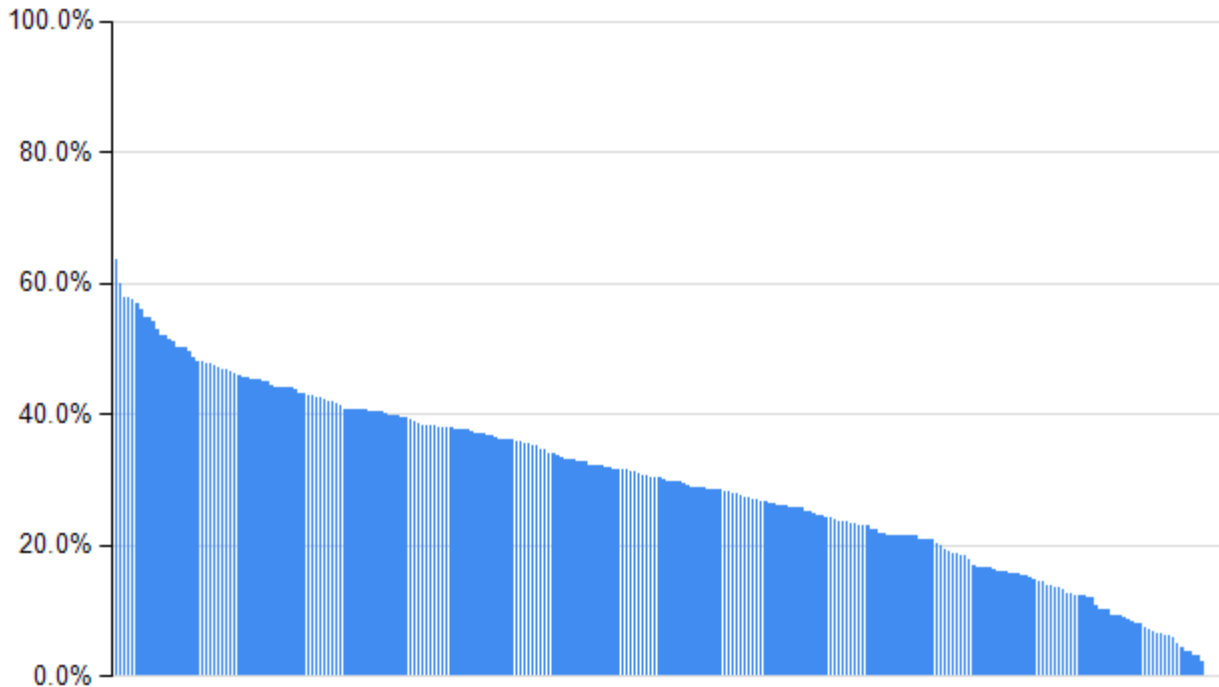
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2124_w
指標名	血液培養の実施 a. 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率（共通定義）

分子： 分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した数

分母： 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
74688	26694	35.7%

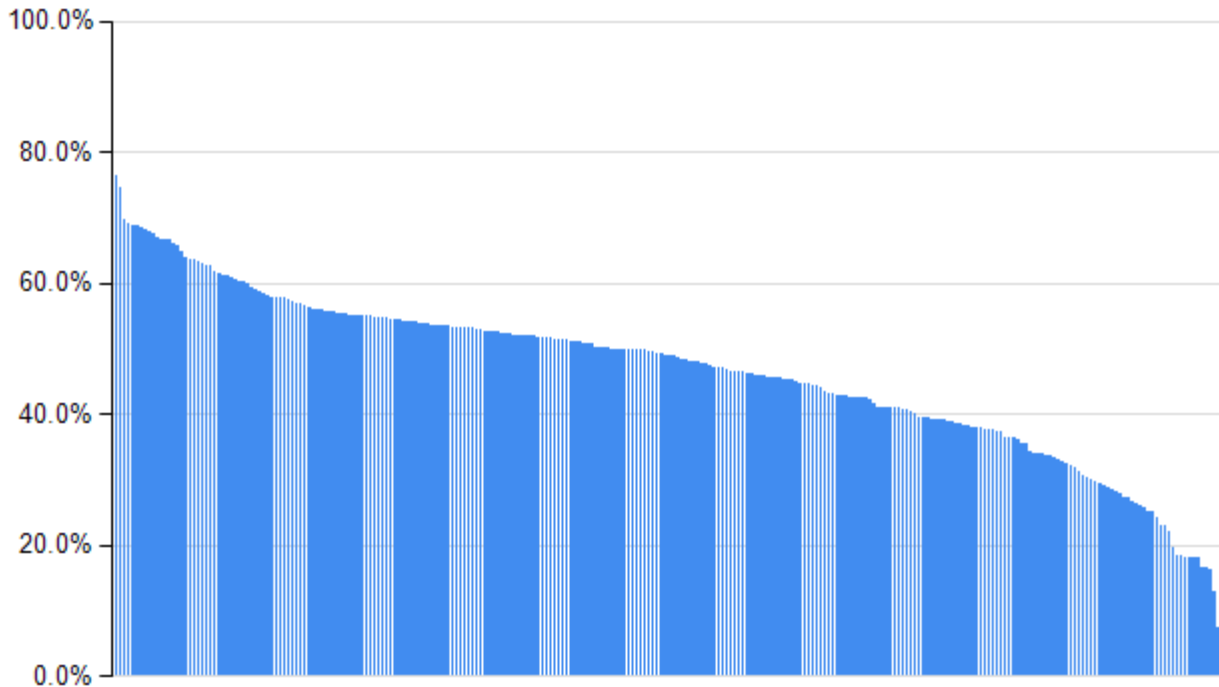
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2124_2
指標名	広域抗菌薬使用までの培養検査実施率

分子： 分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した数

分母： 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、270/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
72987	37276	51.1%

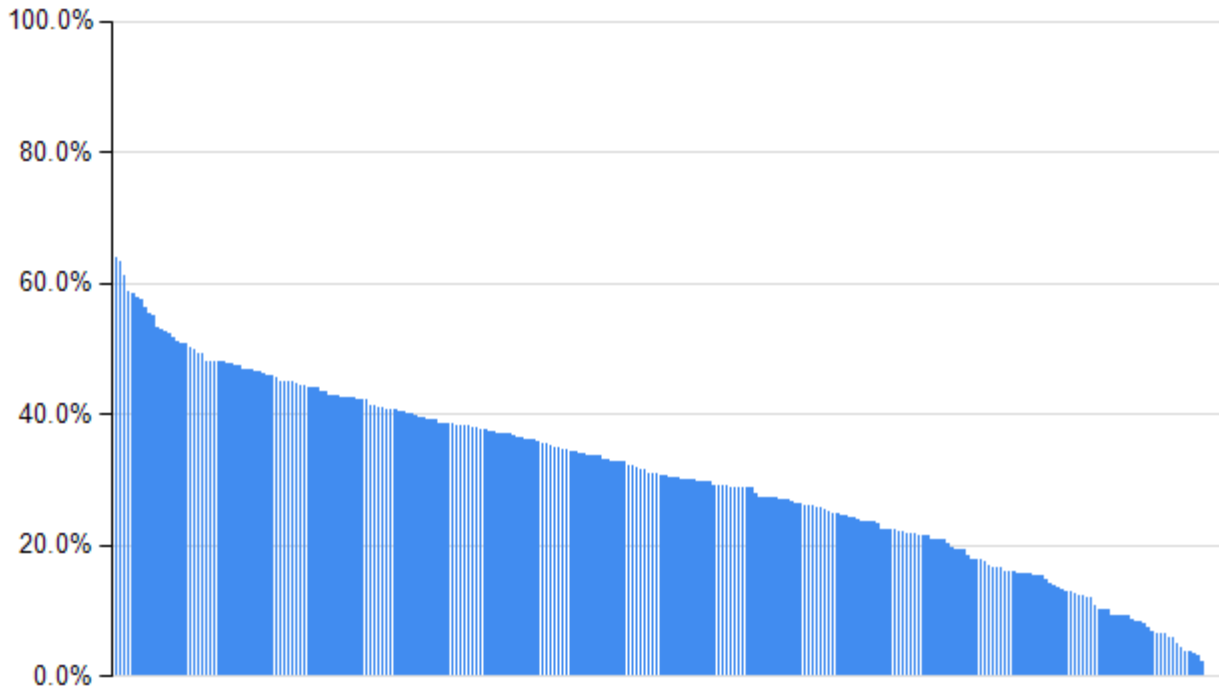
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2124
指標名	広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

分子： 分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した数

分母： 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、270/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
72987	26616	36.5%

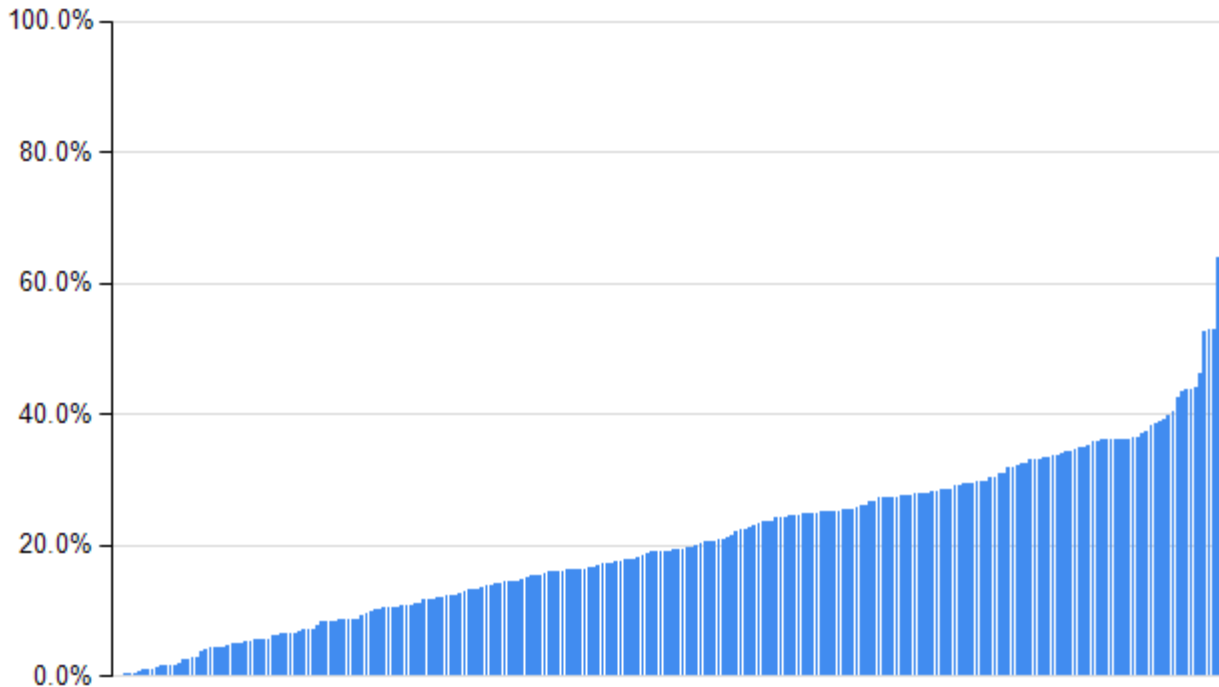
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2128
指標名	経口第3世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合

分子：外来にて経口第3世代セフェム処方の含まれる処方が実施された人日

分母：外来にて経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、248/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1258905	221926	17.6%

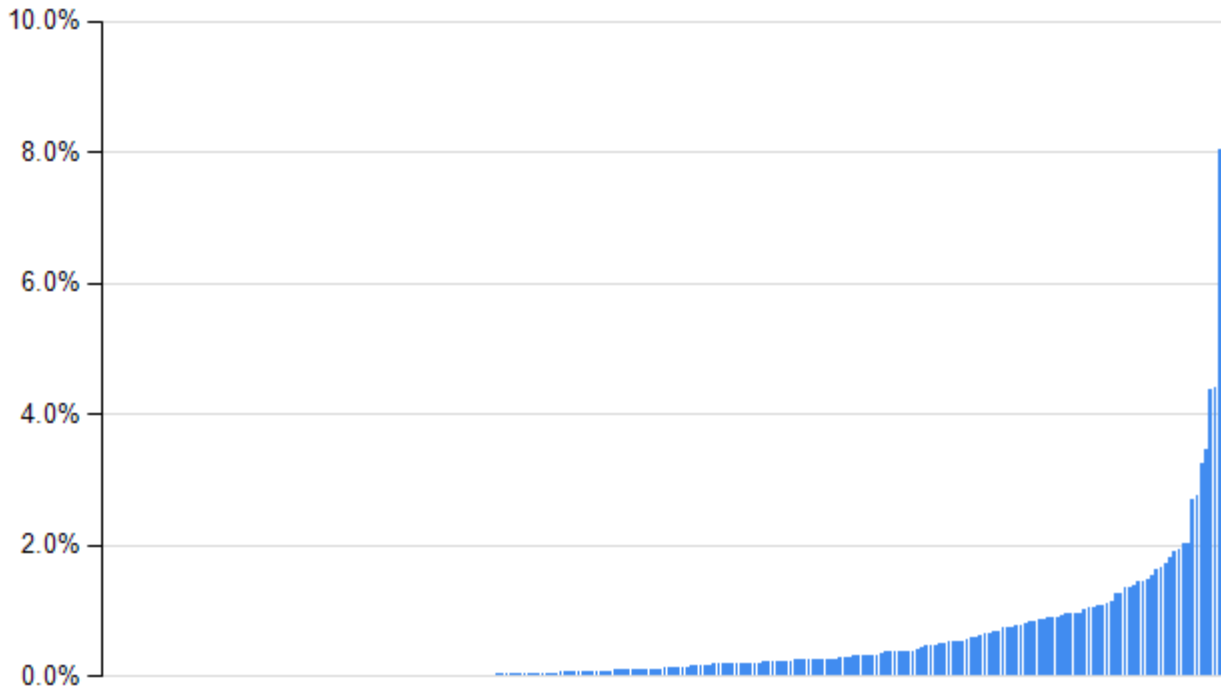
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2129
指標名	経口カルバペネム処方数が経口抗菌薬全体に占める割合

分子：外来にて経口カルバペネム処方の含まれる処方が実施された人日

分母：外来にて経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、248/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1258905	6194	0.5%

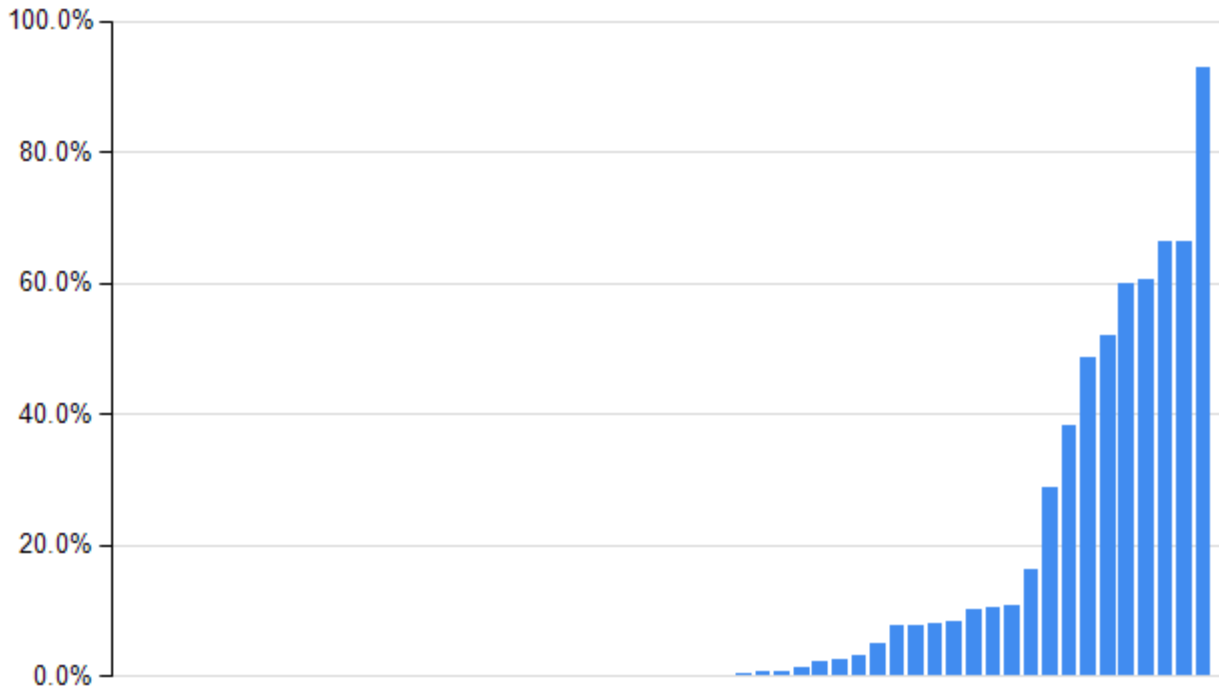
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2130
指標名	外来における小児抗菌薬適正使用支援加算の全体数と実施割合

分子：分母で特定した傷病の診療開始日と同日に小児抗菌薬適正使用支援加算の算定をされている症例

分母：急性上気道炎、急性胃腸炎、急性下痢症と診断された小児症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、57/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
23492	3324	14.1%

2019/07/26 出力

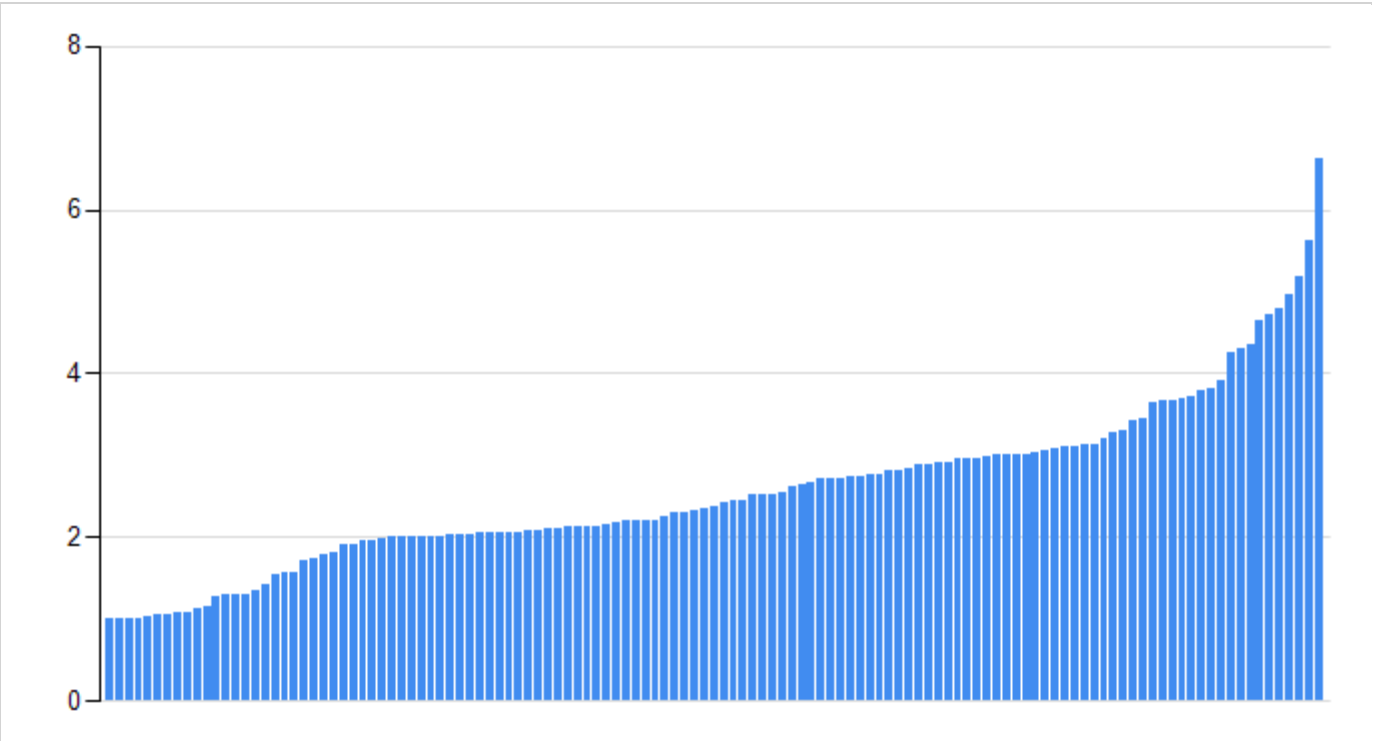
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3010
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－頭蓋内血腫除去術

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 頭蓋内血腫除去術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

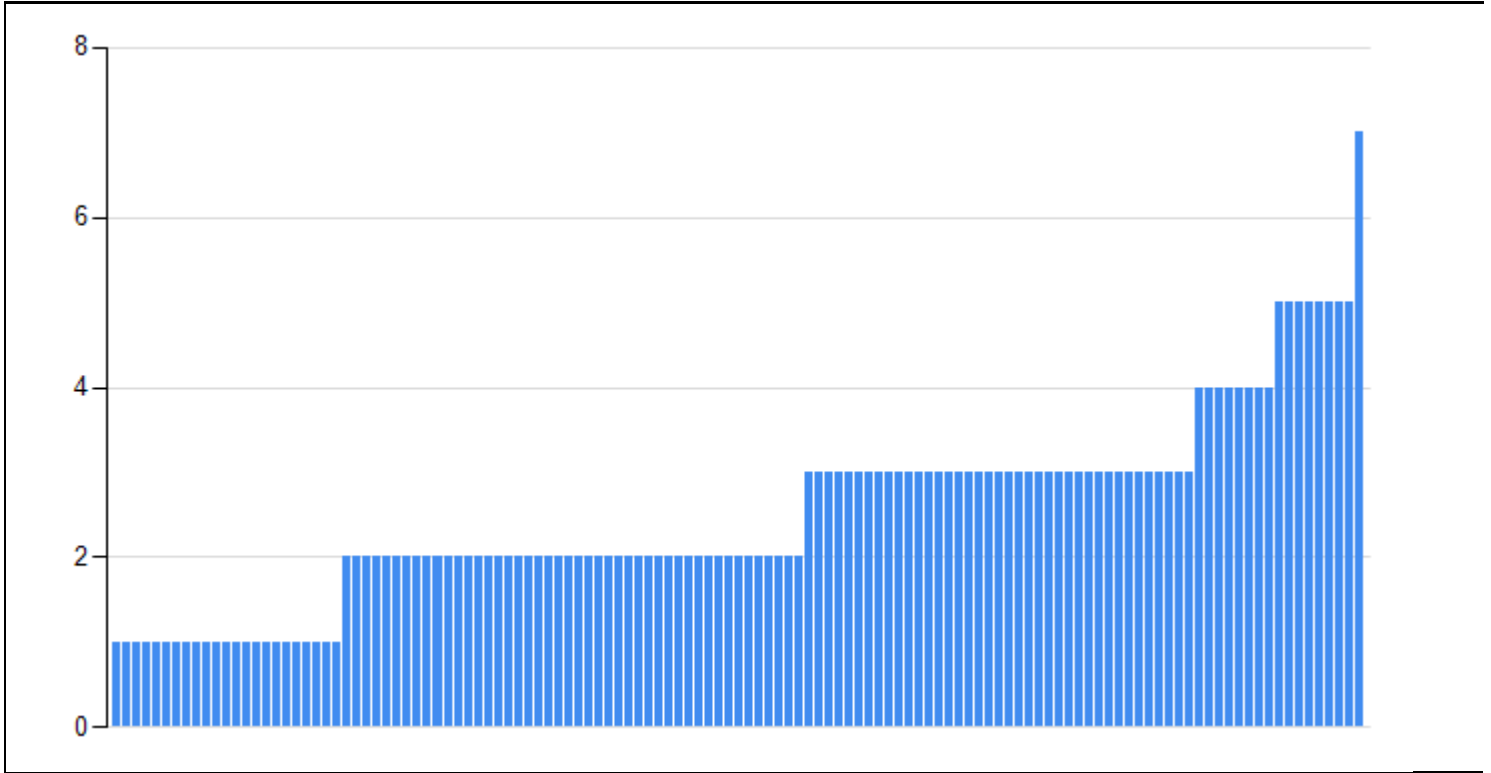
2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、125/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
5087.00	12646	2.49

医療の質の指標

指標番号	3011
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 頭蓋内血腫除去術



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、125/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
5087	2

2019/07/26 出力

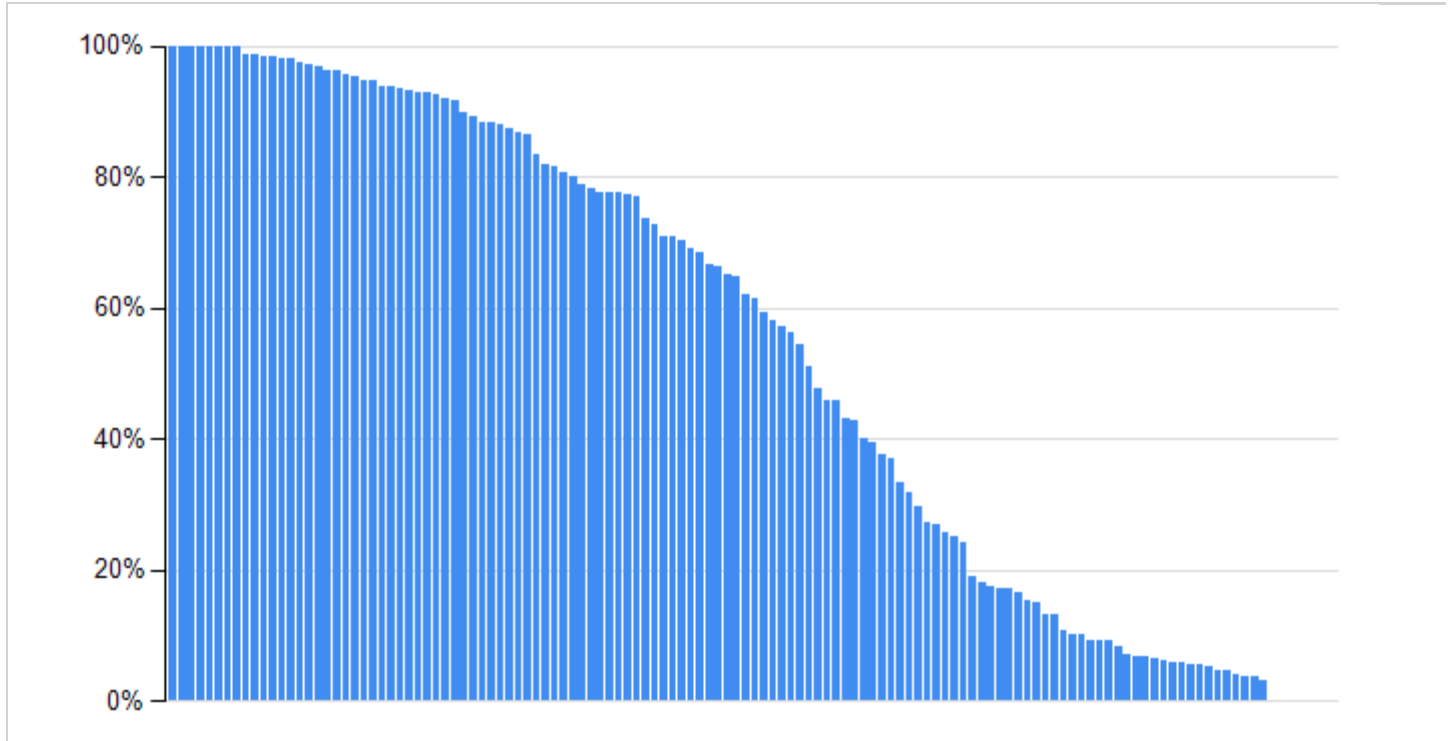
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3012
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－頭蓋内血腫除去術

分子： 抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母： 頭蓋内血腫除去術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、128/271病院を表示

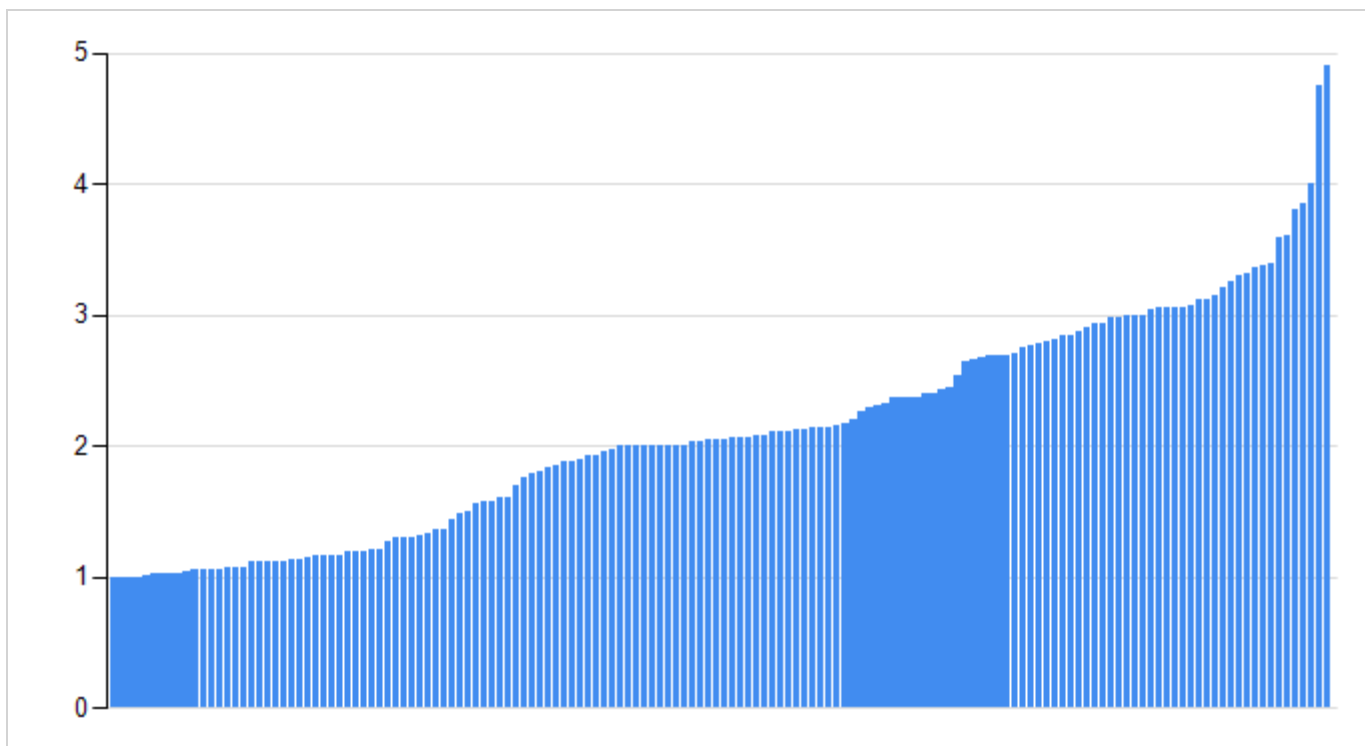
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
5309	2908	54.8%

医療の質の指標

指標番号	3020
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 – 胃切除

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 胃切除術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

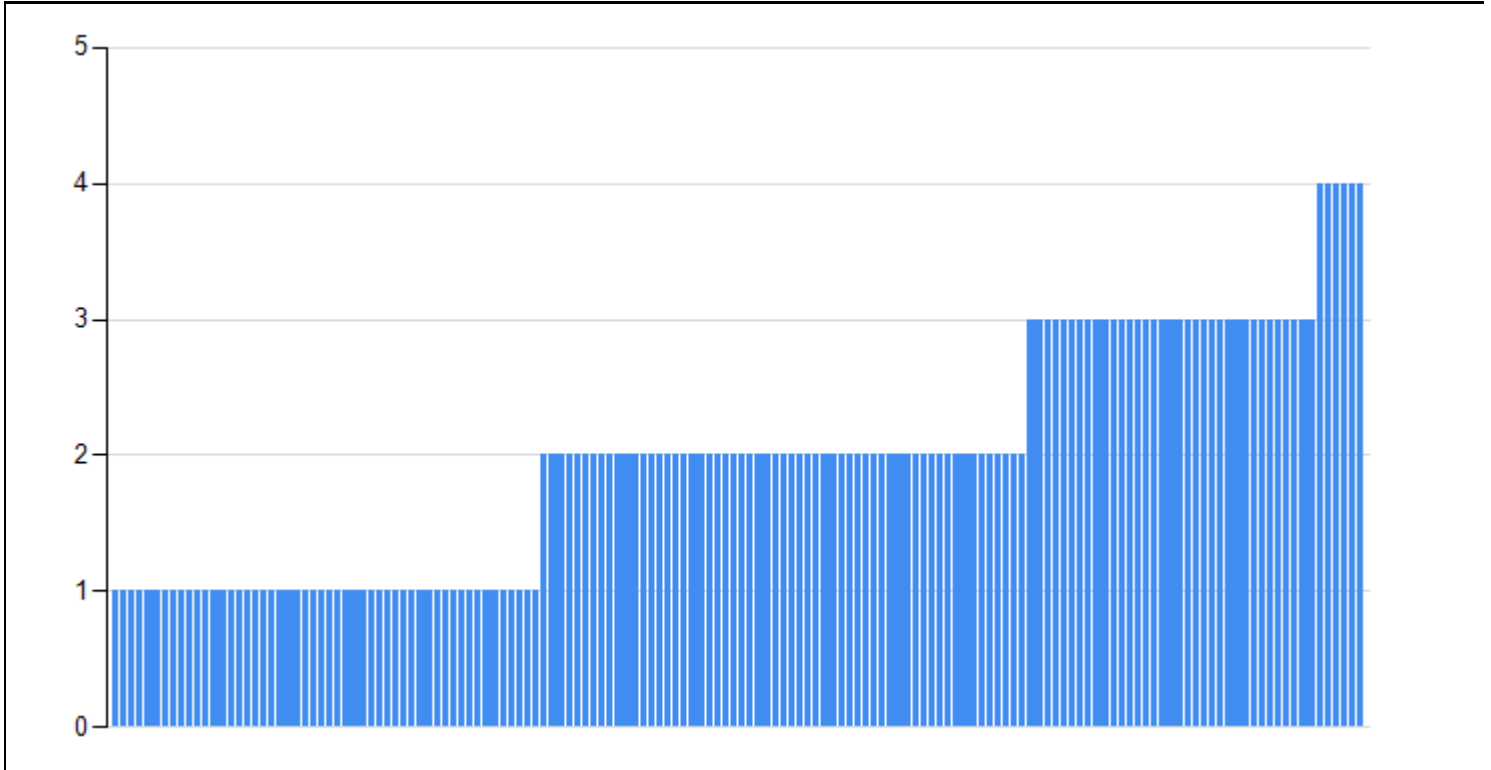
2018年度（平成30年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、152/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
5212.00	9901	1.90

医療の質の指標

指標番号	3021
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 胃切除



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、152/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
5212	2

2019/07/26 出力

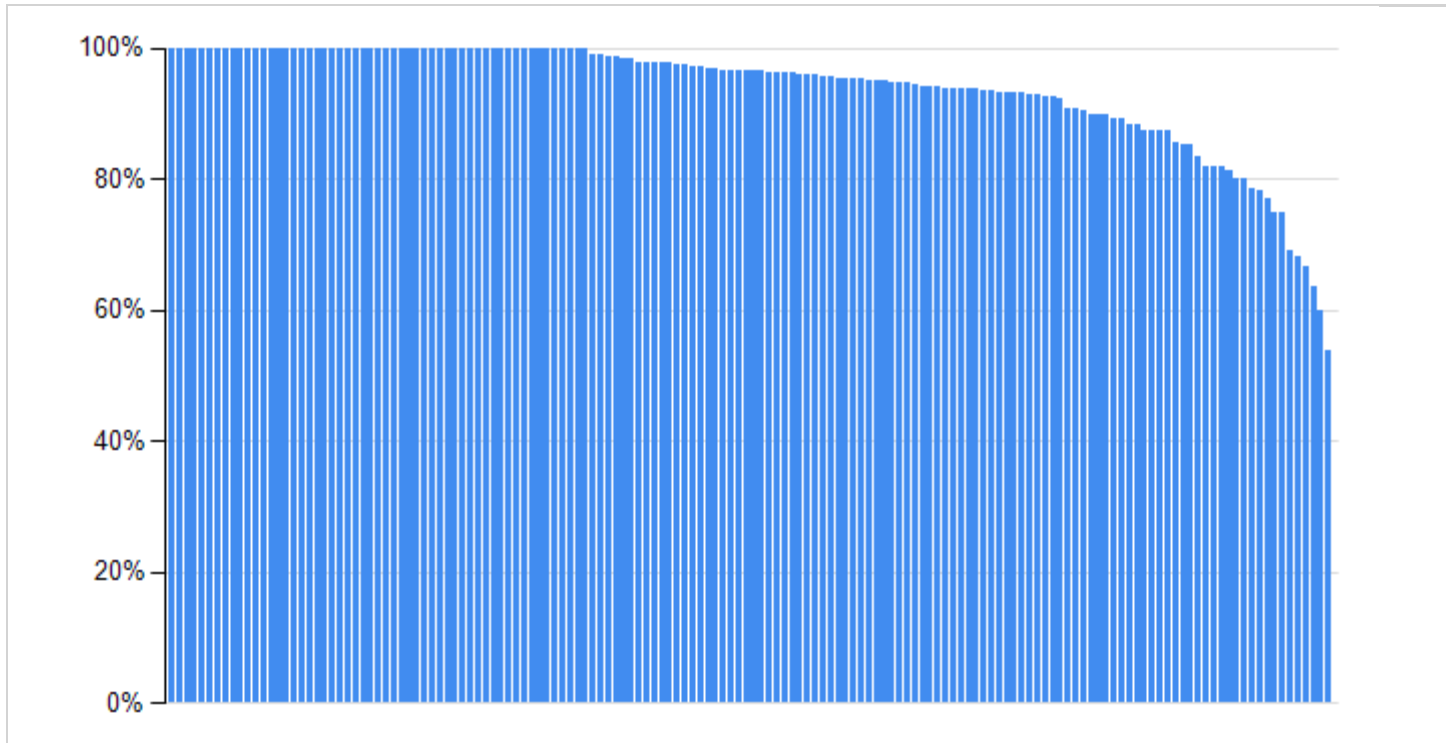
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3022
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－胃切除

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 胃切除術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、152/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
5339	5057	94.7%

2019/07/26 出力

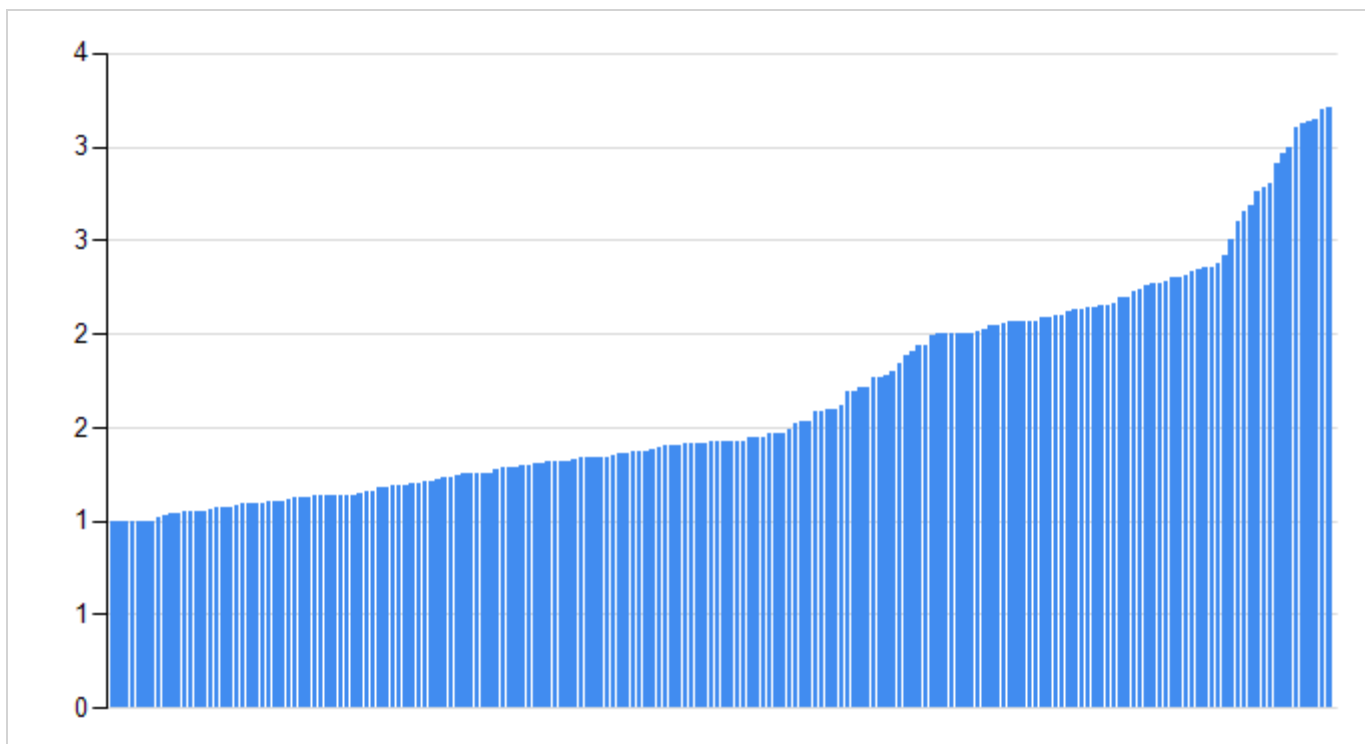
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3030
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胆嚢摘出

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 胆嚢摘出を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、188/271病院を表示

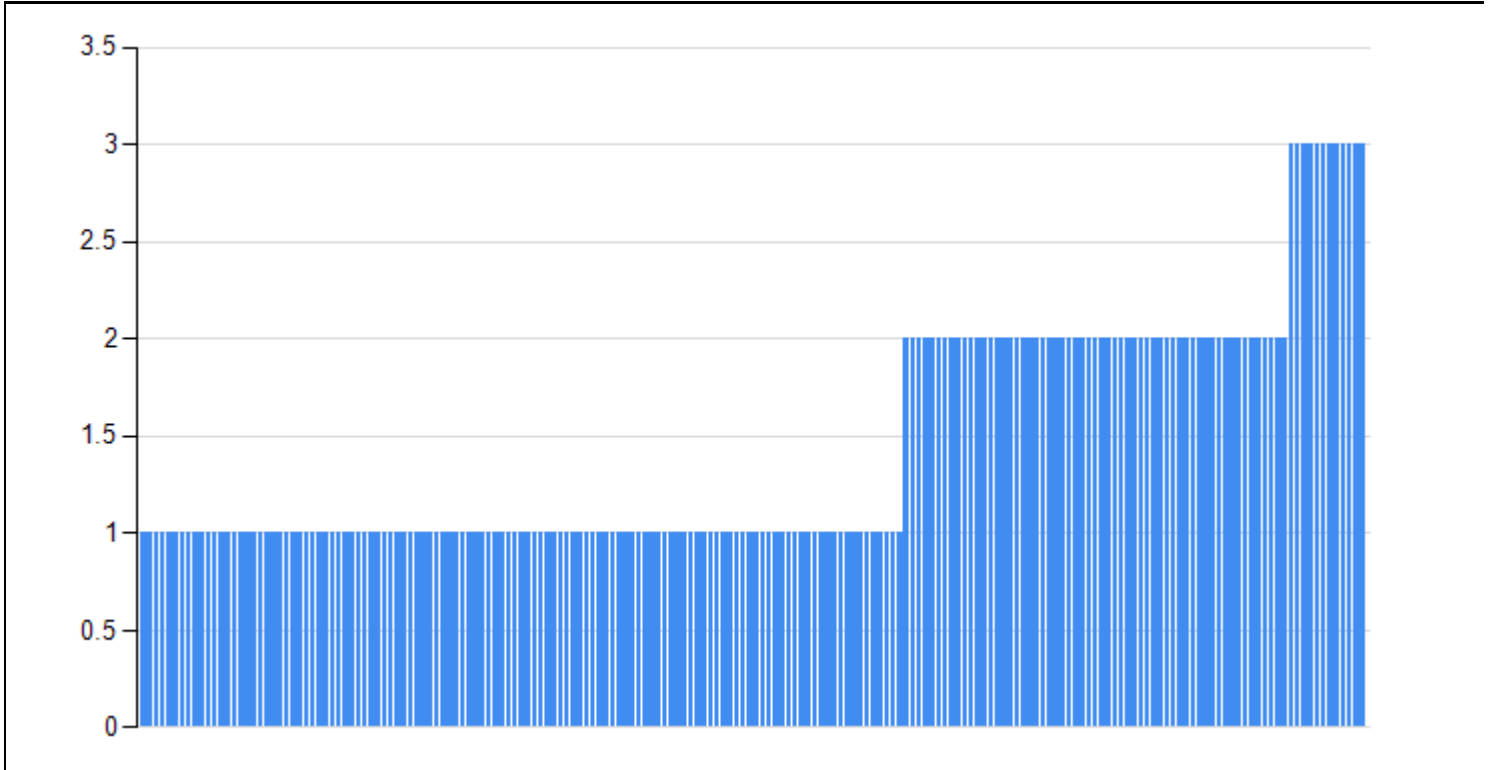
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
11743.00	18405	1.57

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3031
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 胆嚢摘出



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、188/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
11743	1

2019/07/26 出力

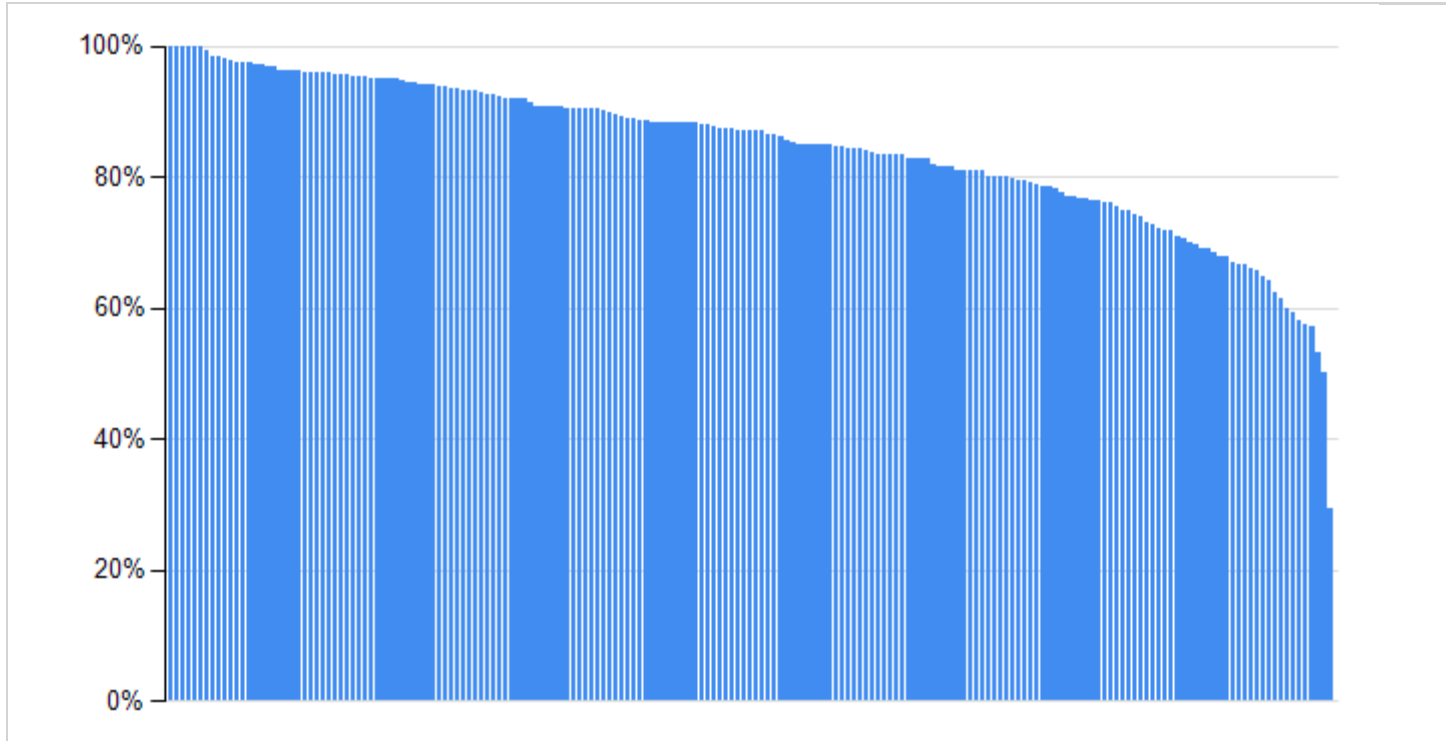
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3032
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－胆嚢摘出

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 胆嚢摘出を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例10例未満の病院を除外し、191/271病院を表示

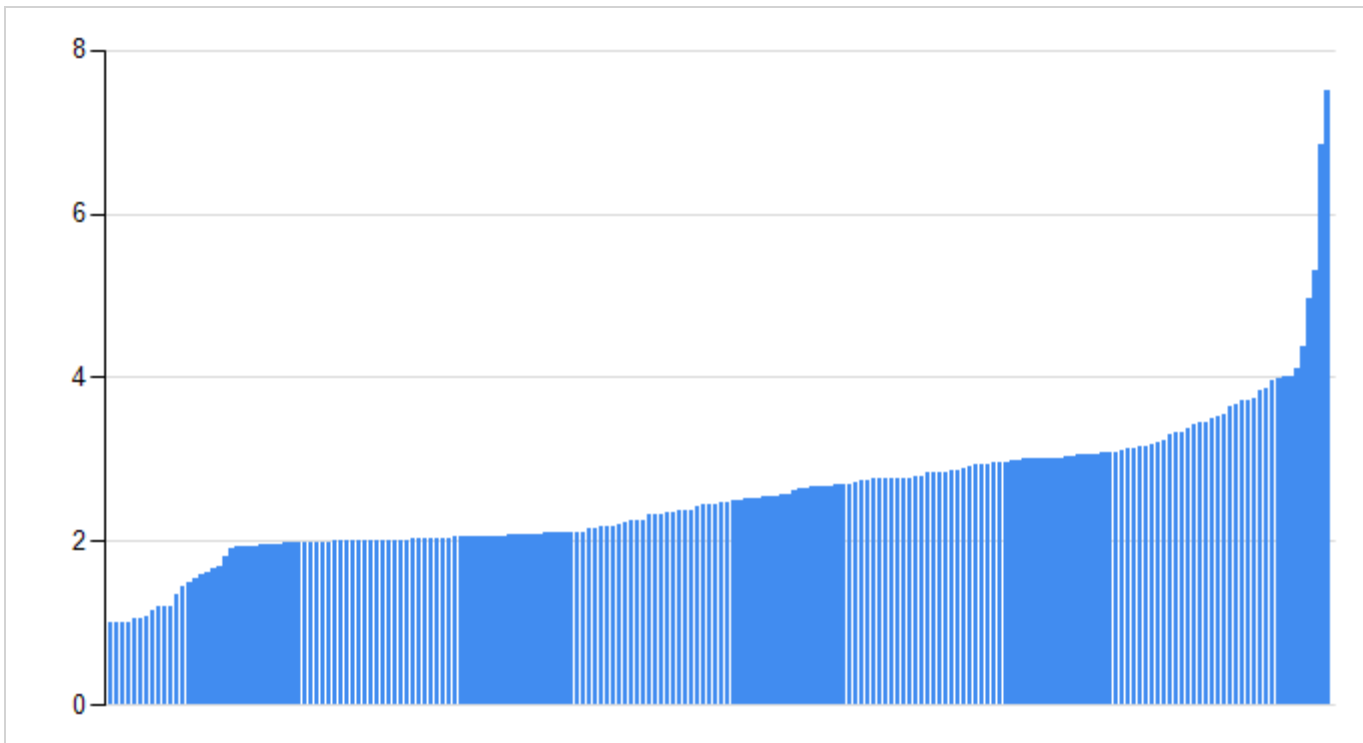
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
13699	11620	84.8%

医療の質の指標

指標番号	3040
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－人工股関節置換術

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 人工股関節置換を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

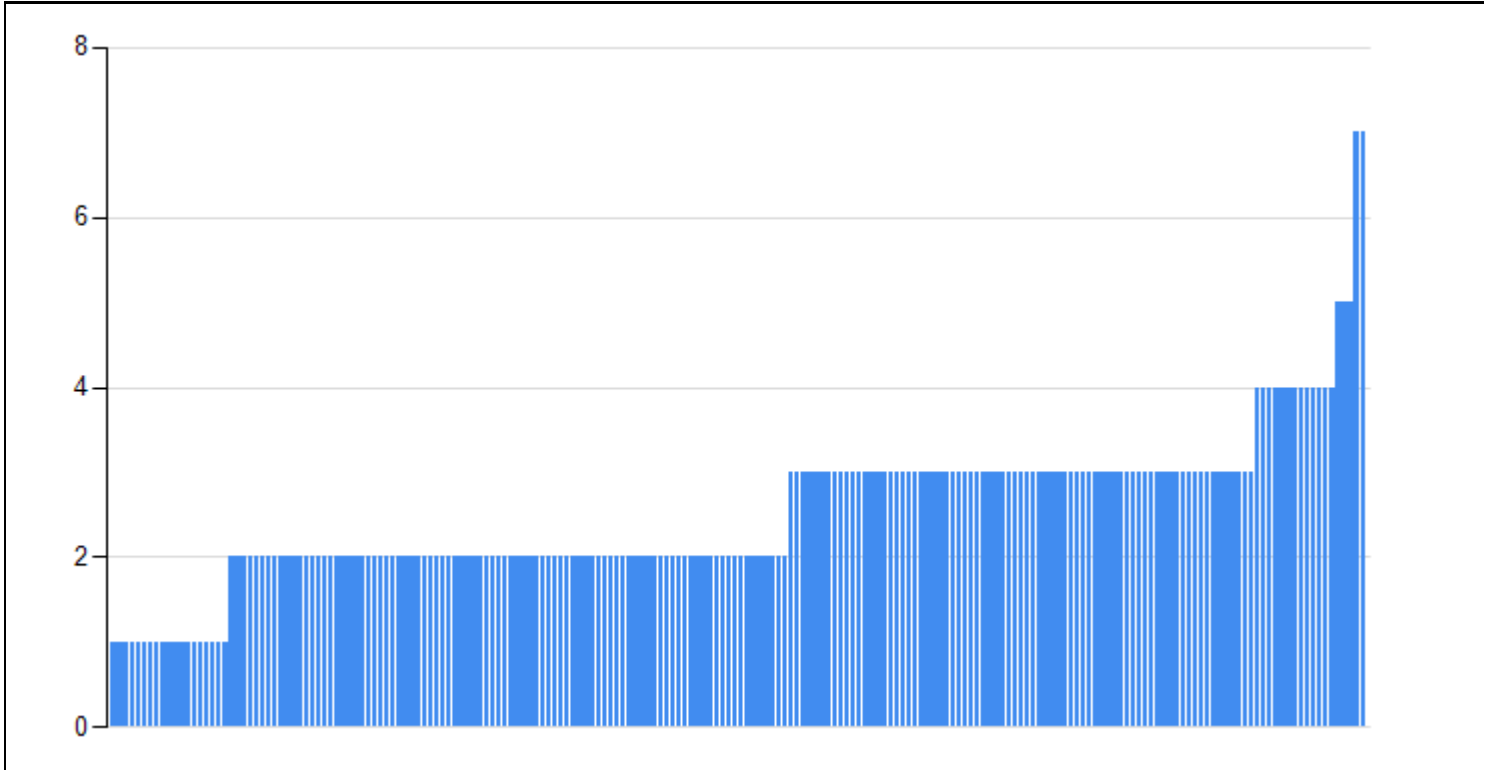
2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、202/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
19063.00	47287	2.48

医療の質の指標

指標番号	3041
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 人工股関節置換術



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、202/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
19063	2

2019/07/26 出力

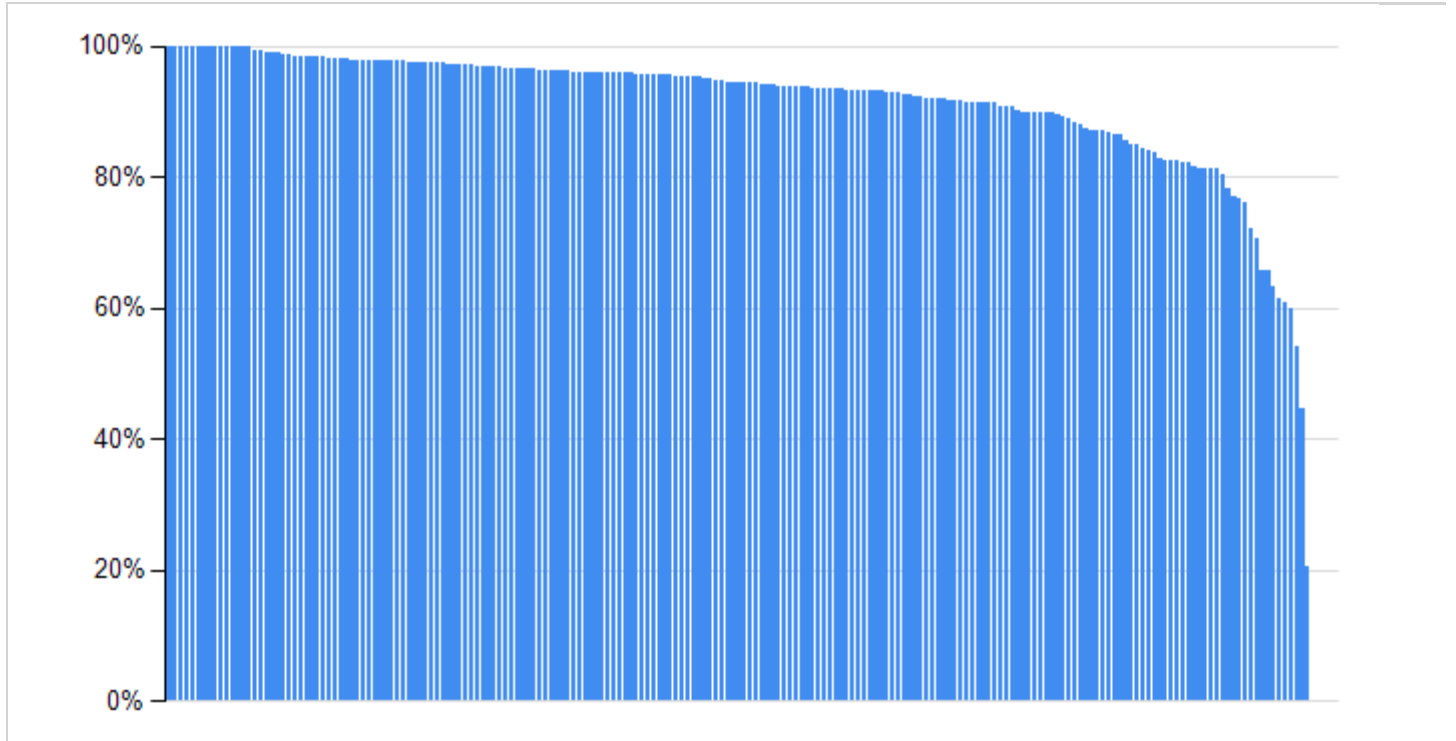
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3042
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－人工股関節置換術

分子： 抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母： 人工股関節置換を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、205/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
19888	18589	93.5%

2019/07/26 出力

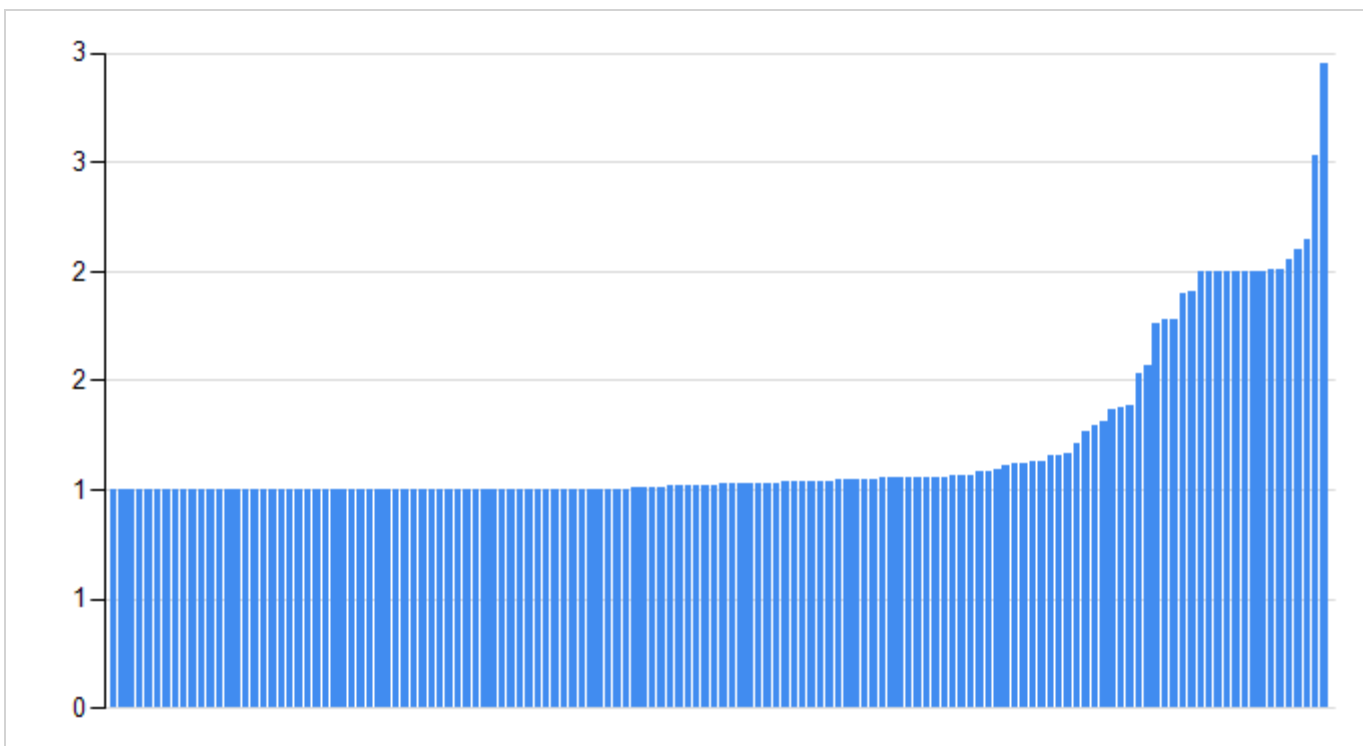
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3050
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－乳房切除

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 乳房切除を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

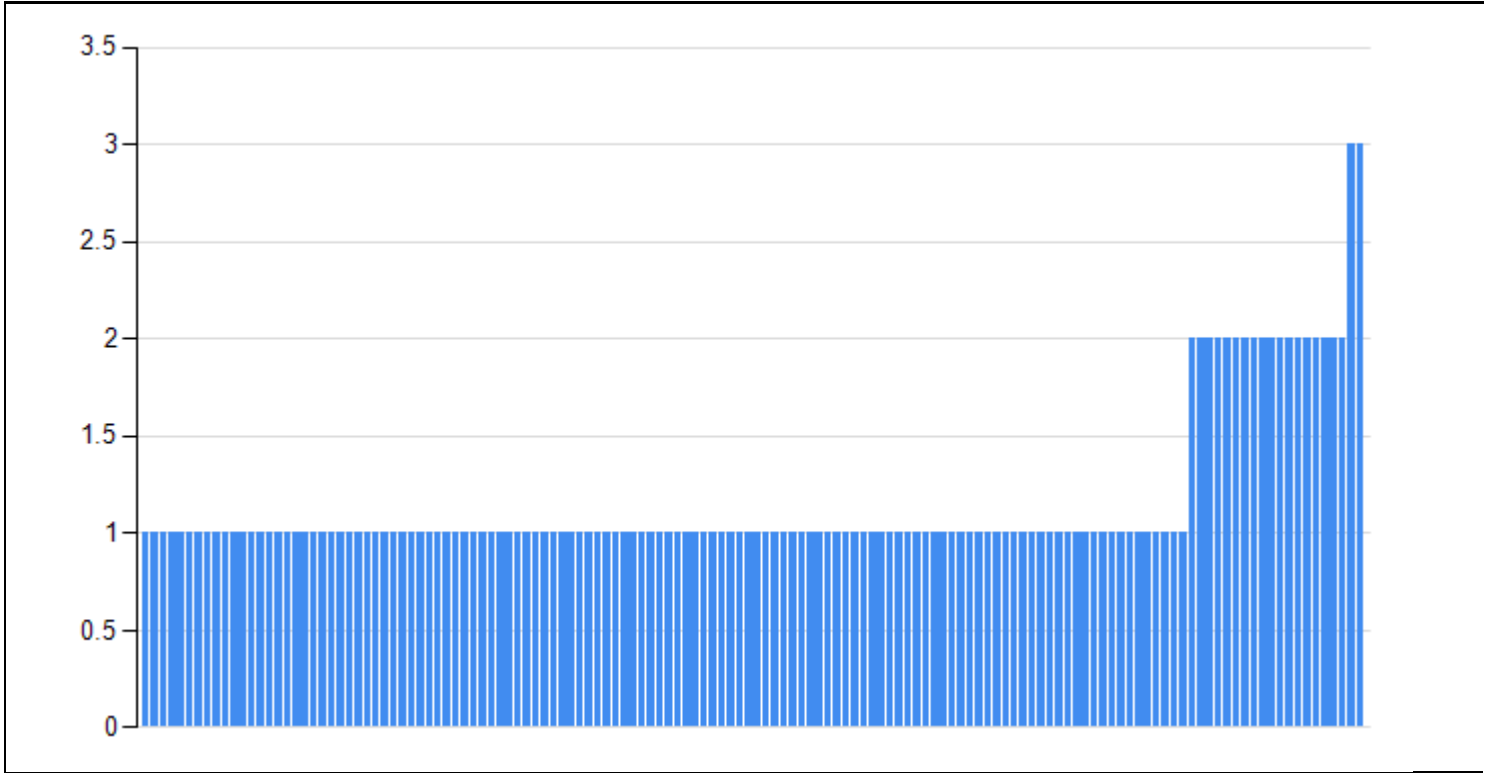
2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、138/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
7999.00	9365	1.17

医療の質の指標

指標番号	3051
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 乳房切除



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、138/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
7999	1

2019/07/26 出力

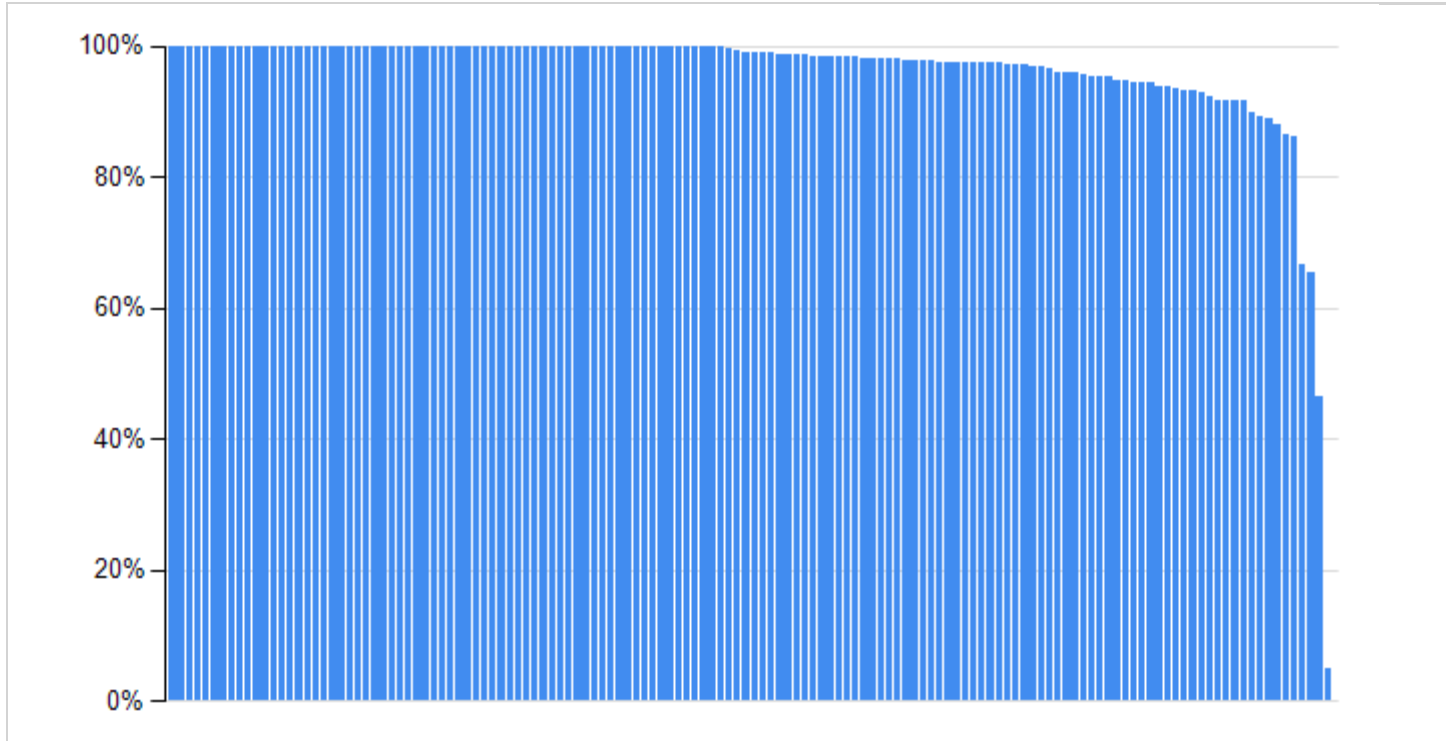
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3052
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－乳房切除

分子： 抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母： 乳房切除を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、138/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
8084	7780	96.2%

2019/07/26 出力

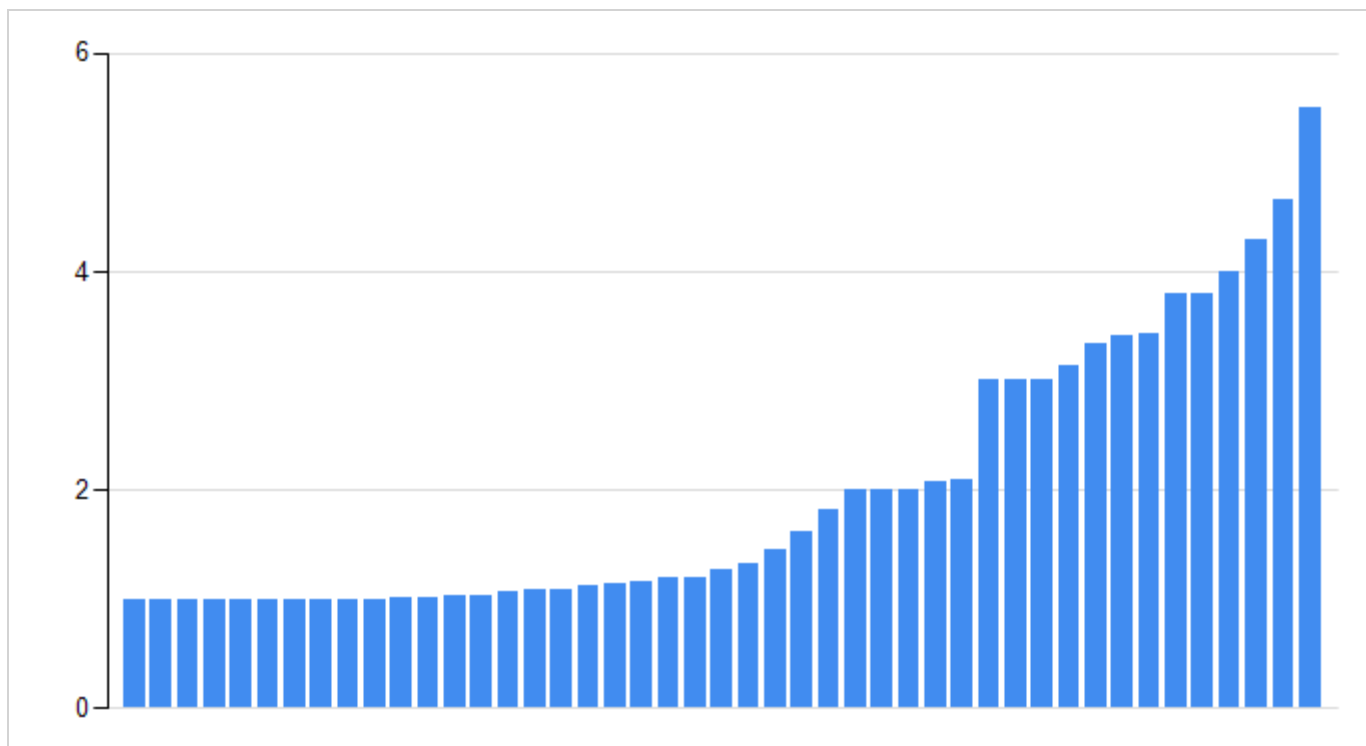
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3060
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－甲状腺手術

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 甲状腺手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

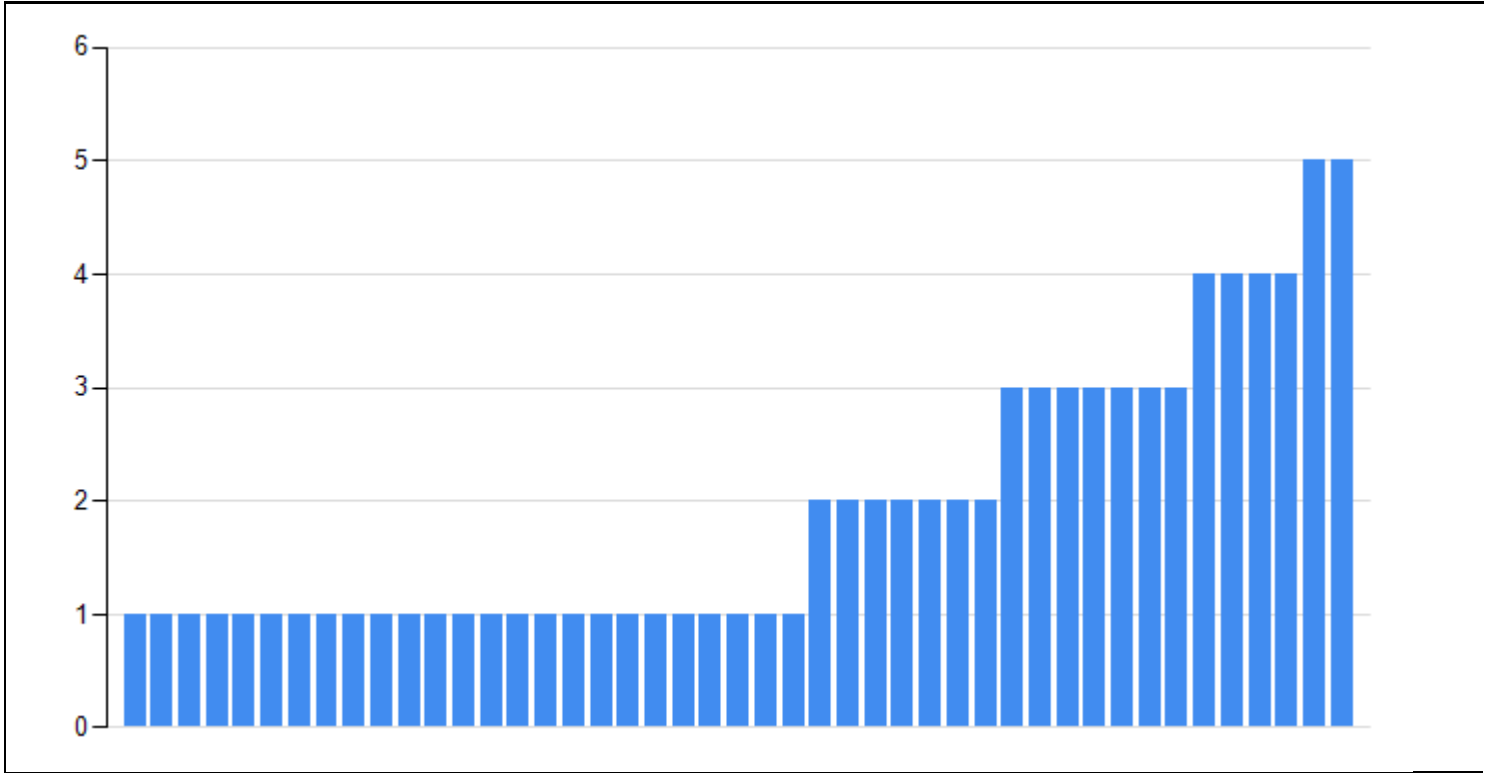
2018年度（平成30年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、45/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
1223.00	2243	1.83

医療の質の指標

指標番号	3061
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 甲状腺手術



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、45/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
1223	1

2019/07/26 出力

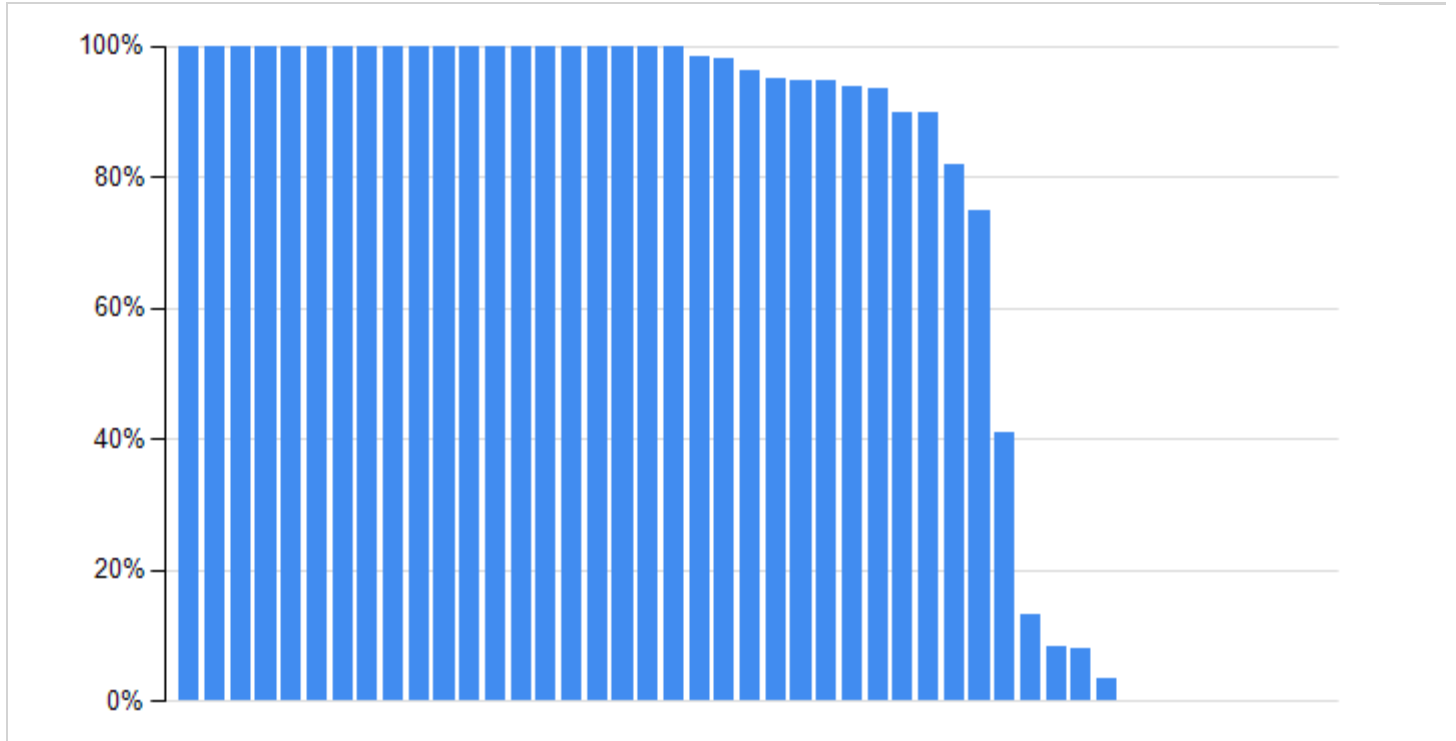
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3062
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－甲状腺手術

分子： 抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母： 甲状腺手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、45/271病院を表示

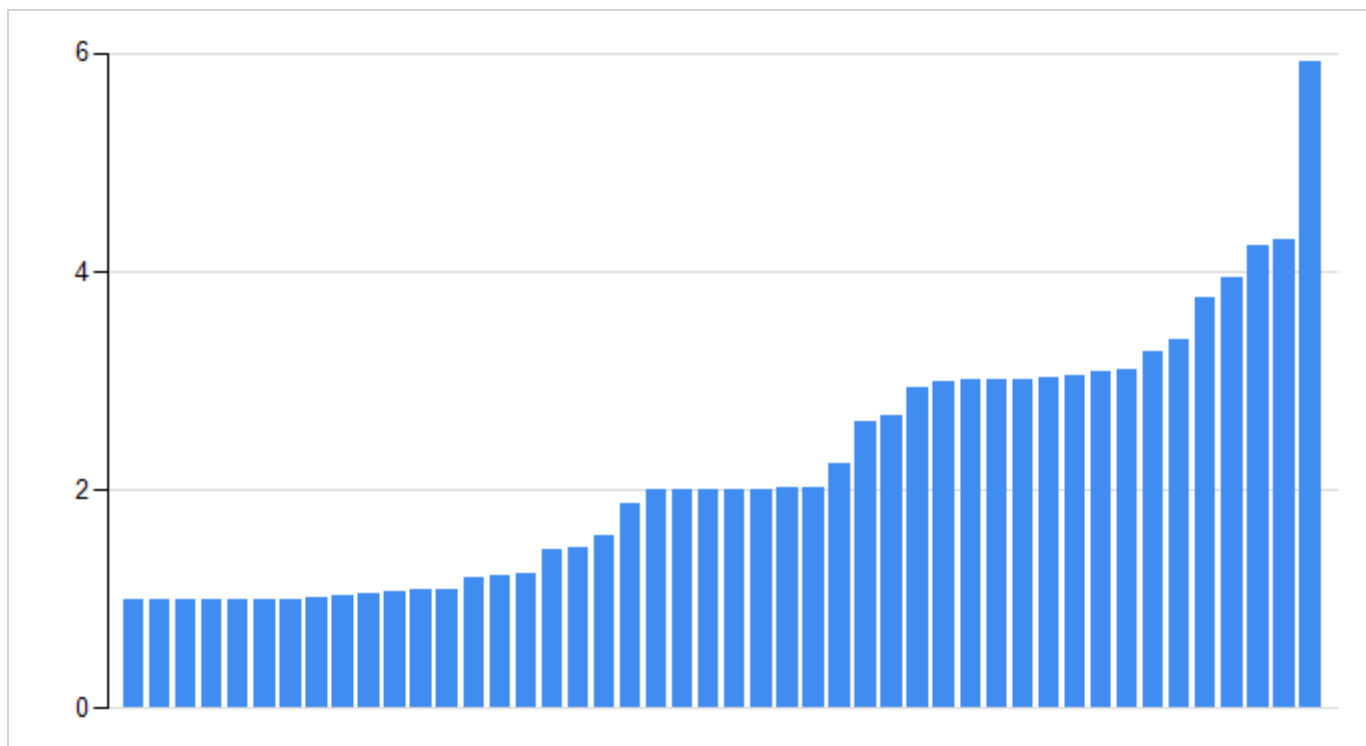
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
1239	923	74.5%

医療の質の指標

指標番号	3070
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 前立腺がん

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 前立腺がんて手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

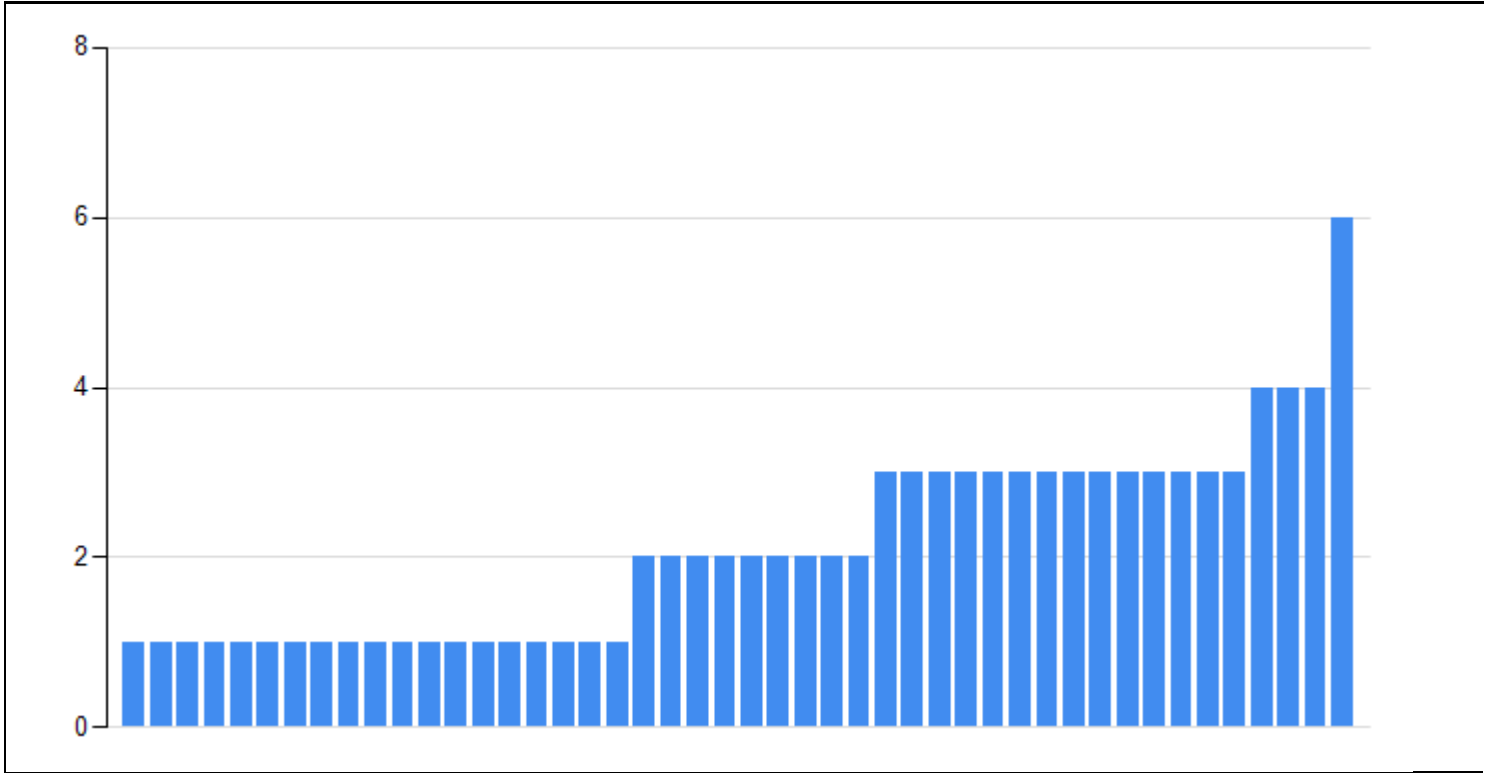
2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、46/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
2477.00	5141	2.08

医療の質の指標

指標番号	3071
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 前立腺がん



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、46/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
2477	2

2019/07/26 出力

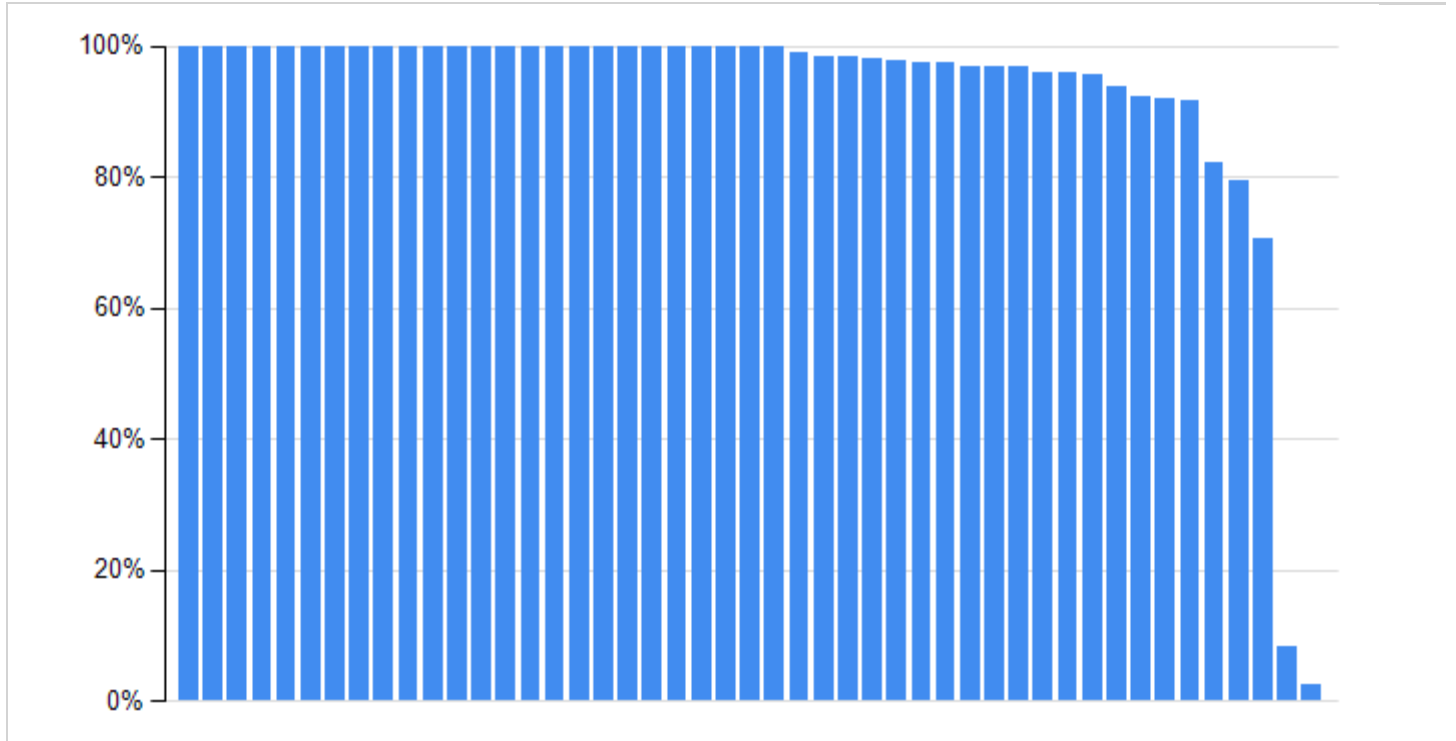
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3072
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－前立腺がん

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 前立腺がんて手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、47/271病院を表示

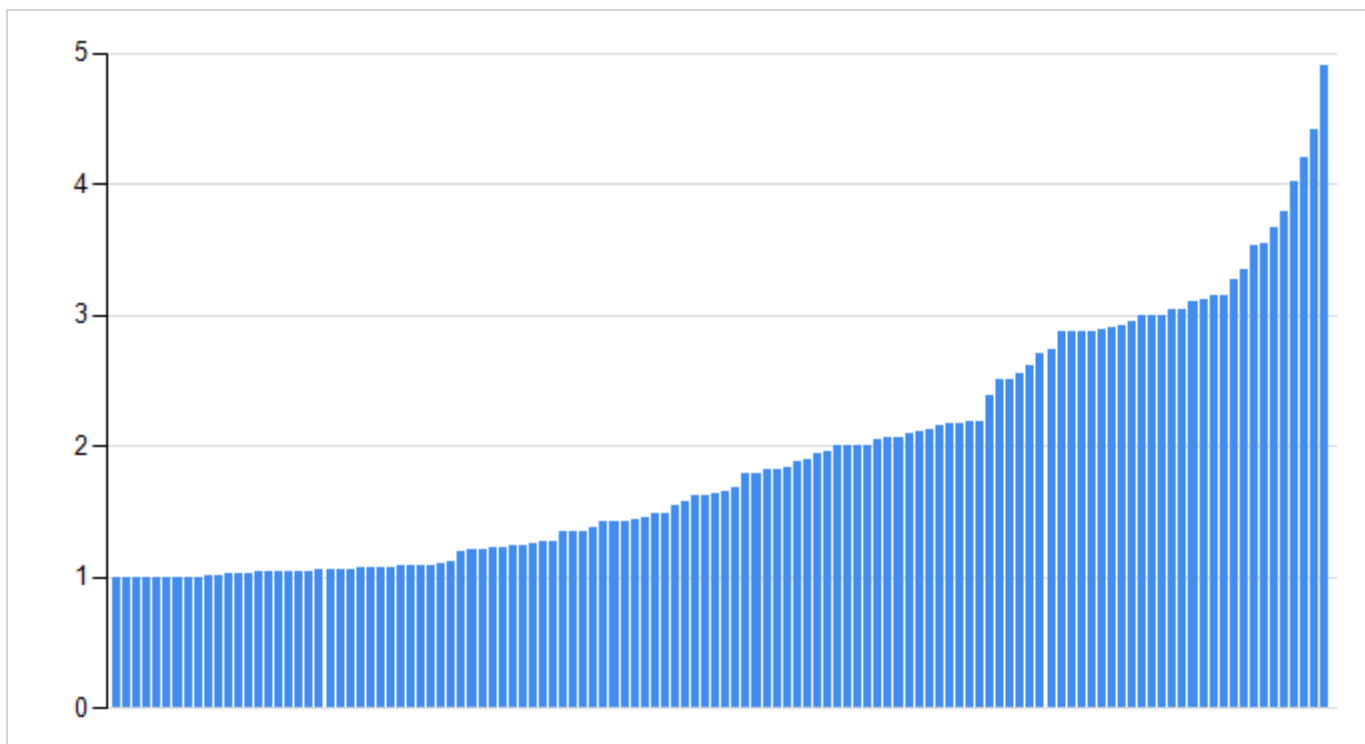
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
2533	2417	95.4%

医療の質の指標

指標番号	3080
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮筋腫

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 子宮筋腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

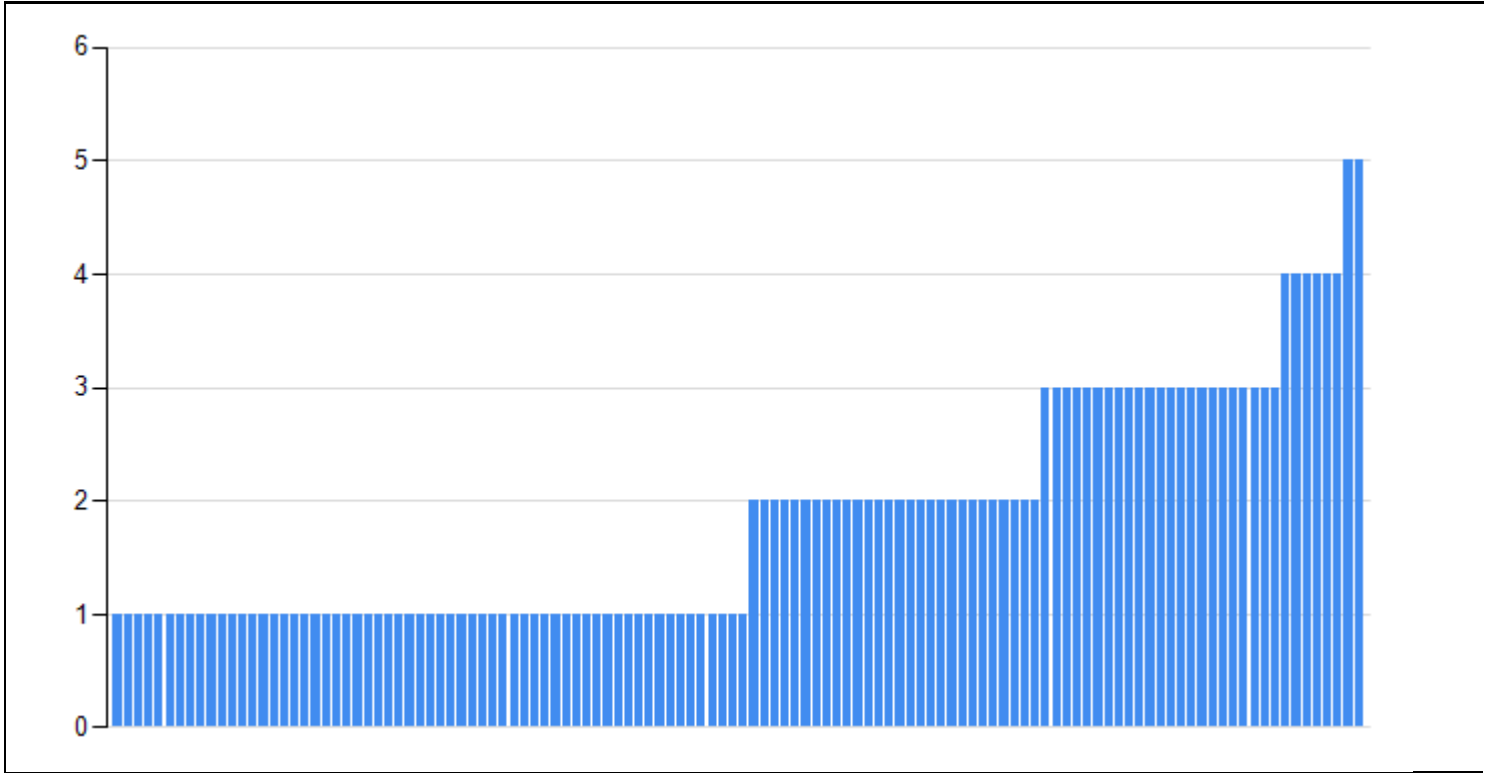
2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、120/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
11115.00	19293	1.74

医療の質の指標

指標番号	3081
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 子宮筋腫



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、120/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
11115	2

2019/07/26 出力

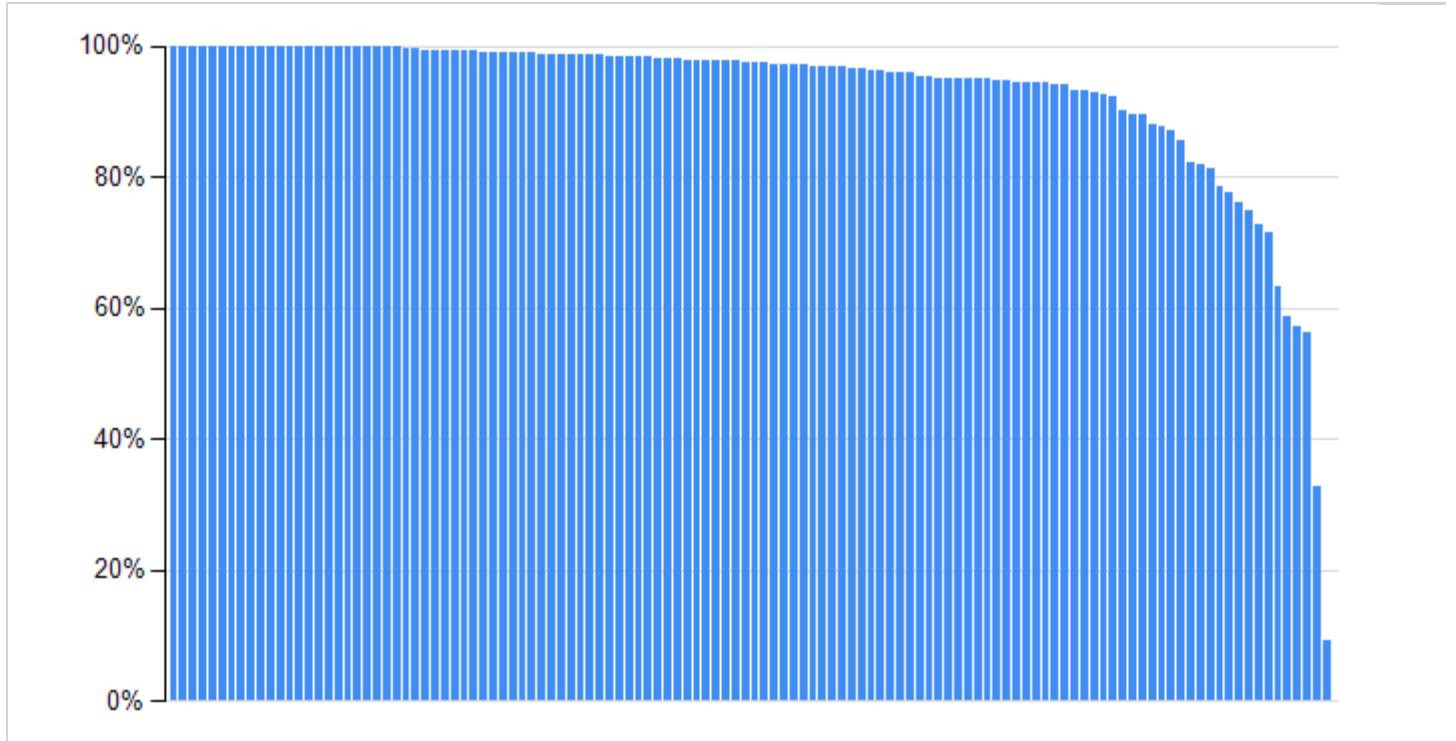
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3082
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－子宮筋腫

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 子宮筋腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、120/271病院を表示

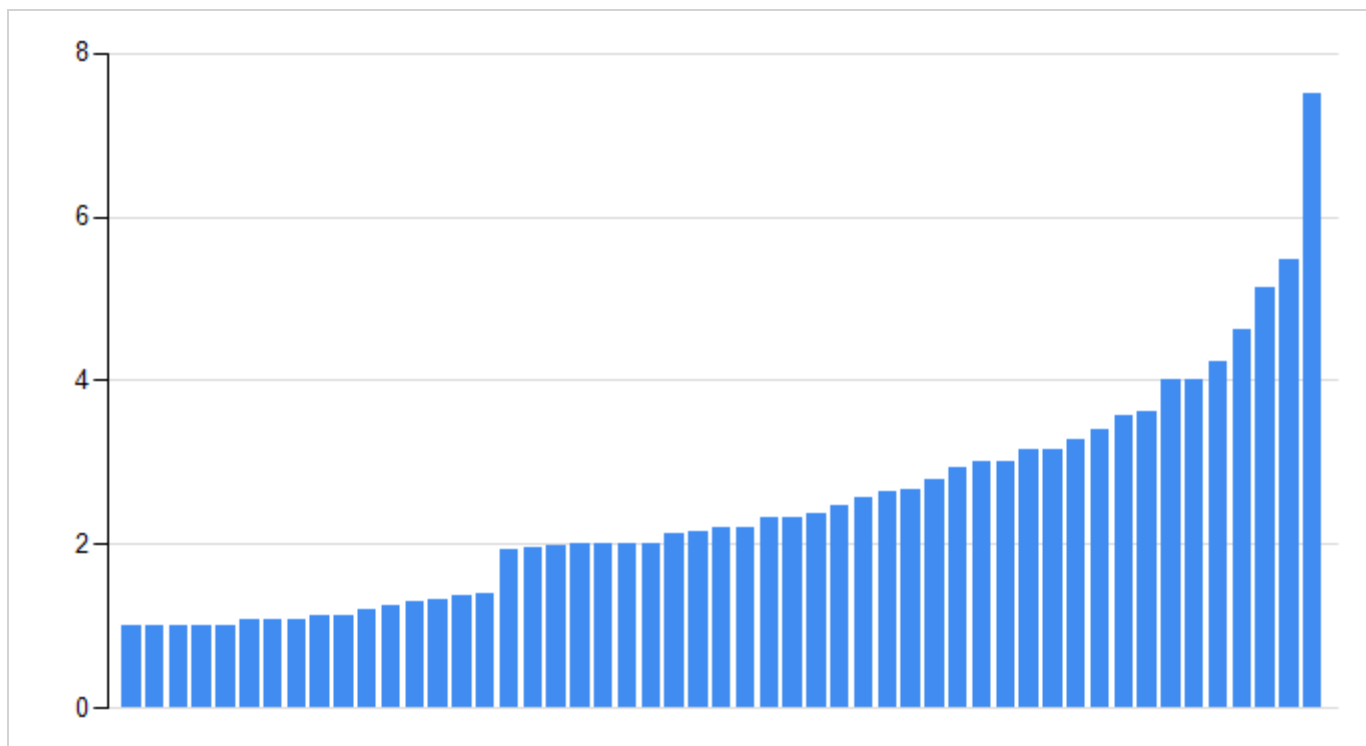
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
11402	10828	95.0%

医療の質の指標

指標番号	3090
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮がん

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 子宮がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

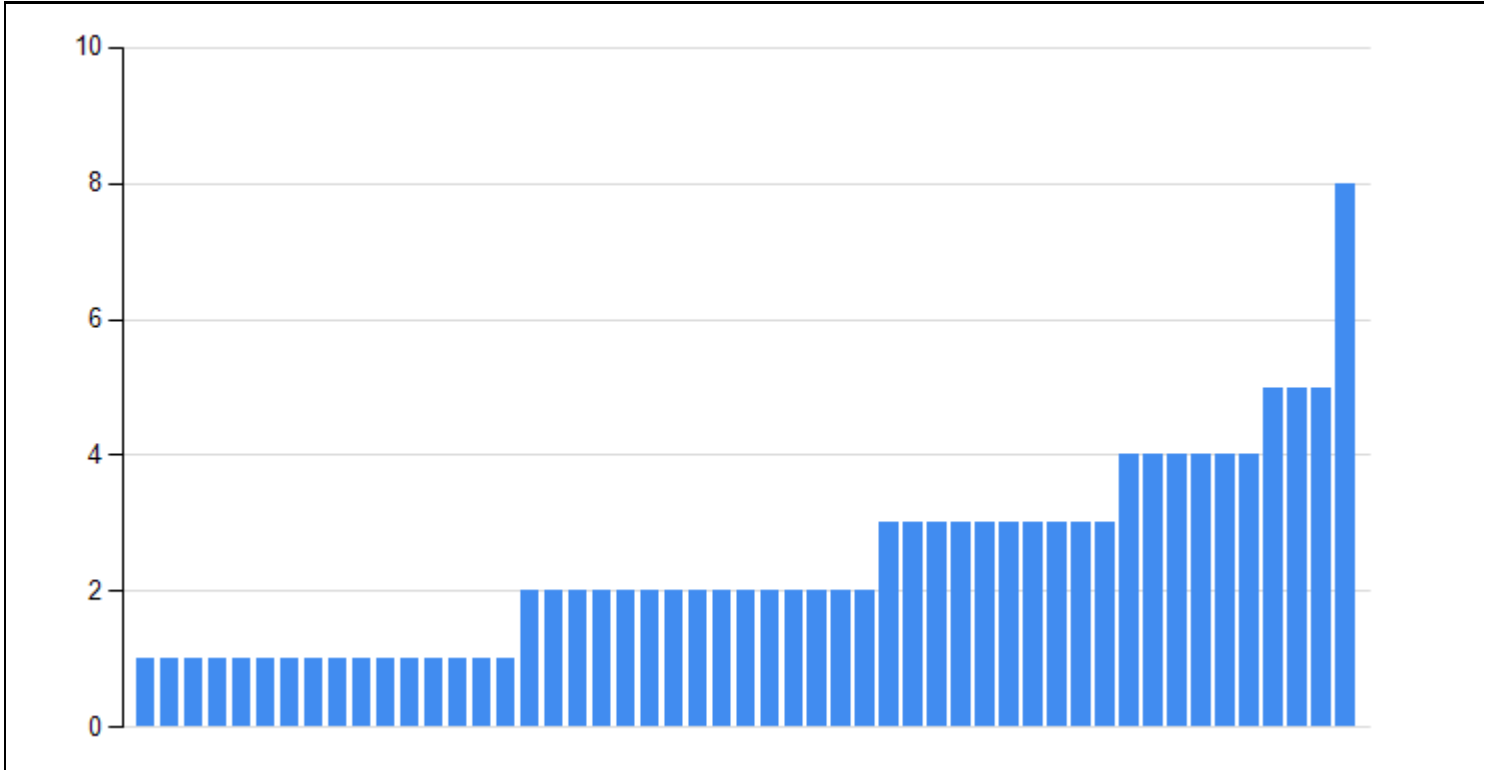
2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、51/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
1387.00	3254	2.35

医療の質の指標

指標番号	3091
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮がん



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、51/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
1387	2

2019/07/26 出力

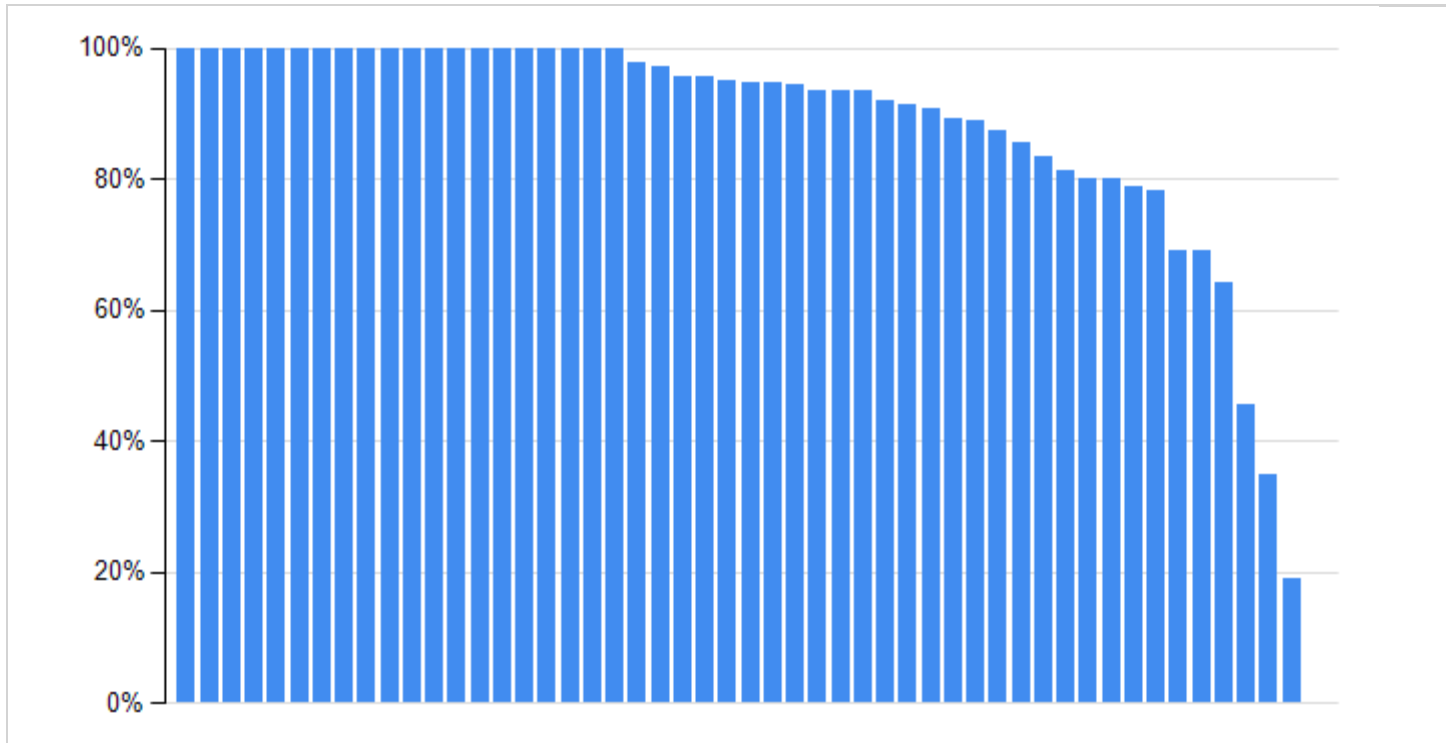
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3092
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－子宮がん

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 子宮がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、51/271病院を表示

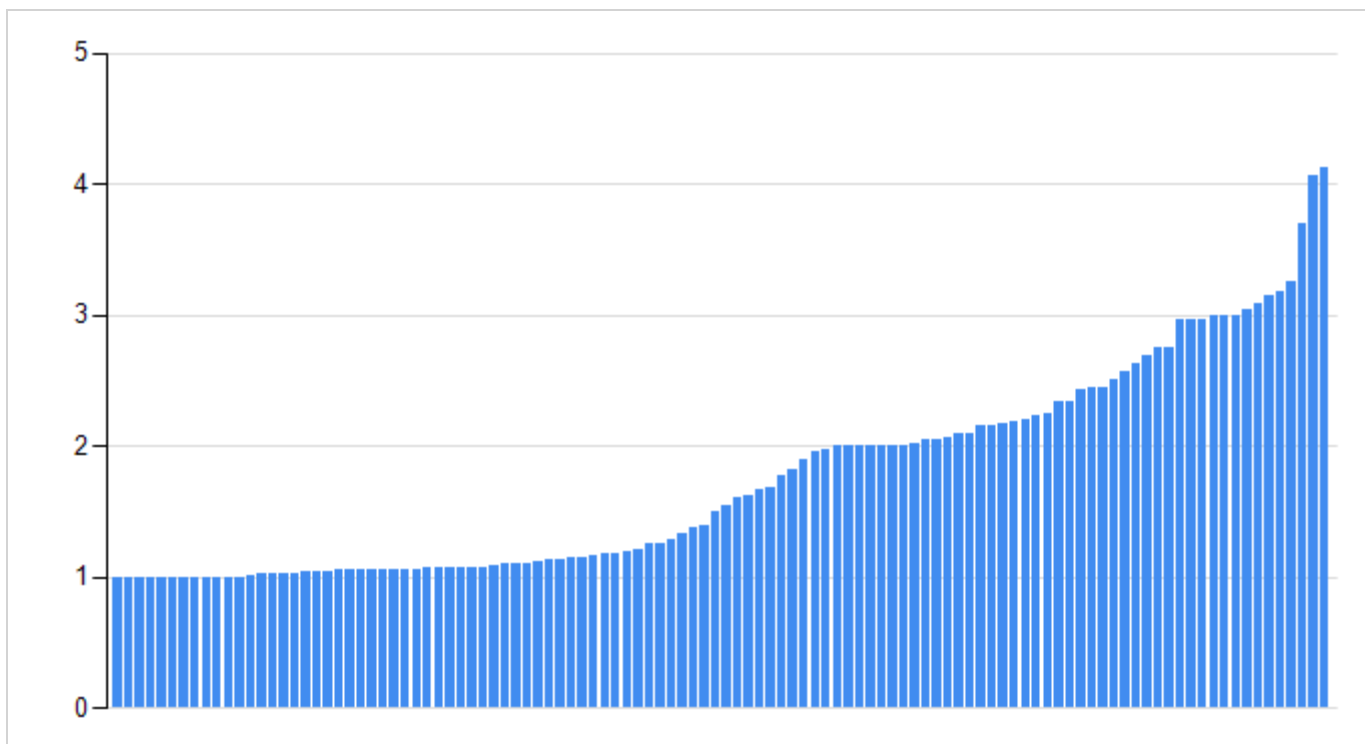
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
1432	1275	89.0%

医療の質の指標

指標番号	3100
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣嚢腫

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 卵巣嚢腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

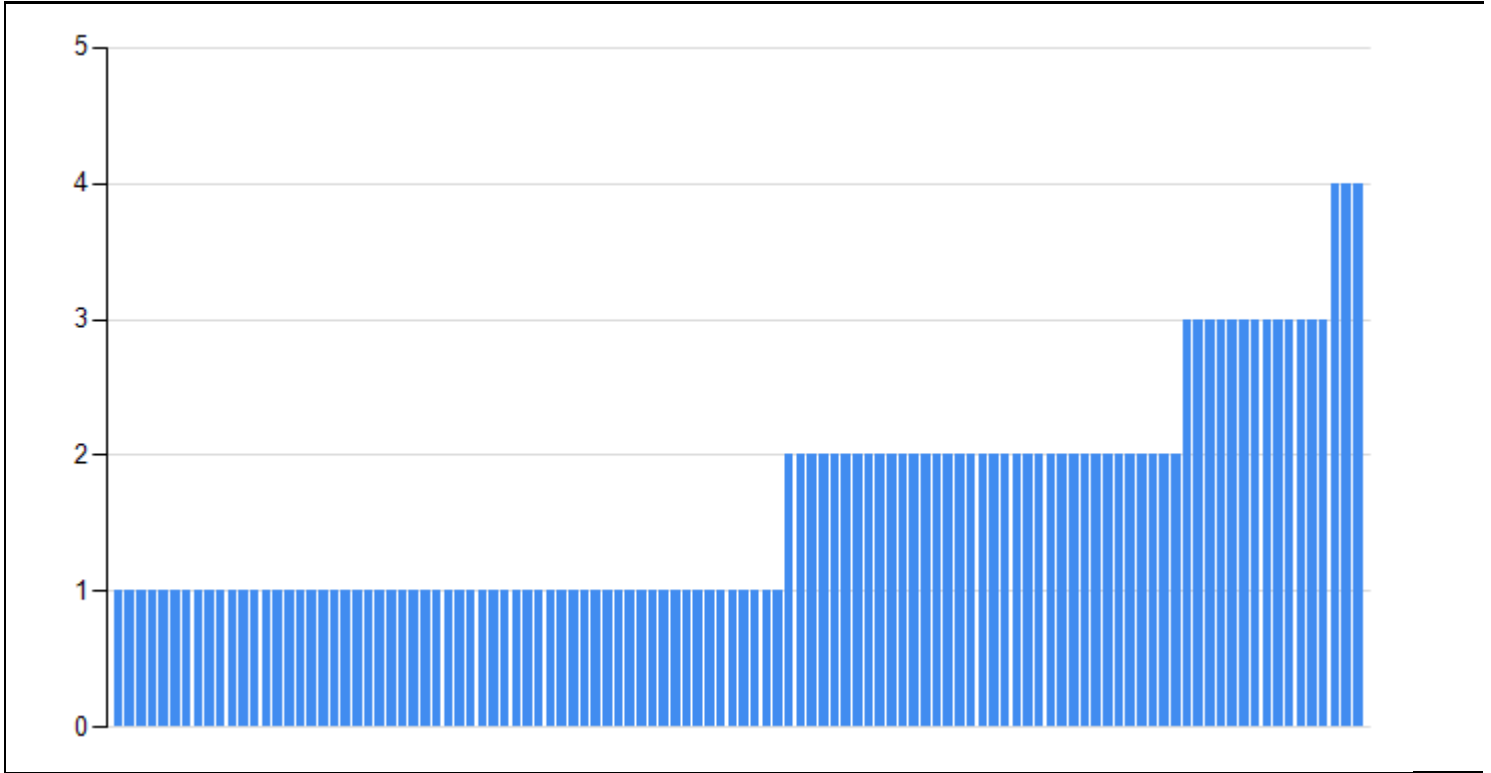
2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、110/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
6416.00	10341	1.61

医療の質の指標

指標番号	3101
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 – 卵巣嚢腫



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、110/271病院を表示

分母全病院合計	中央値の中央値
6416	2

2019/07/26 出力

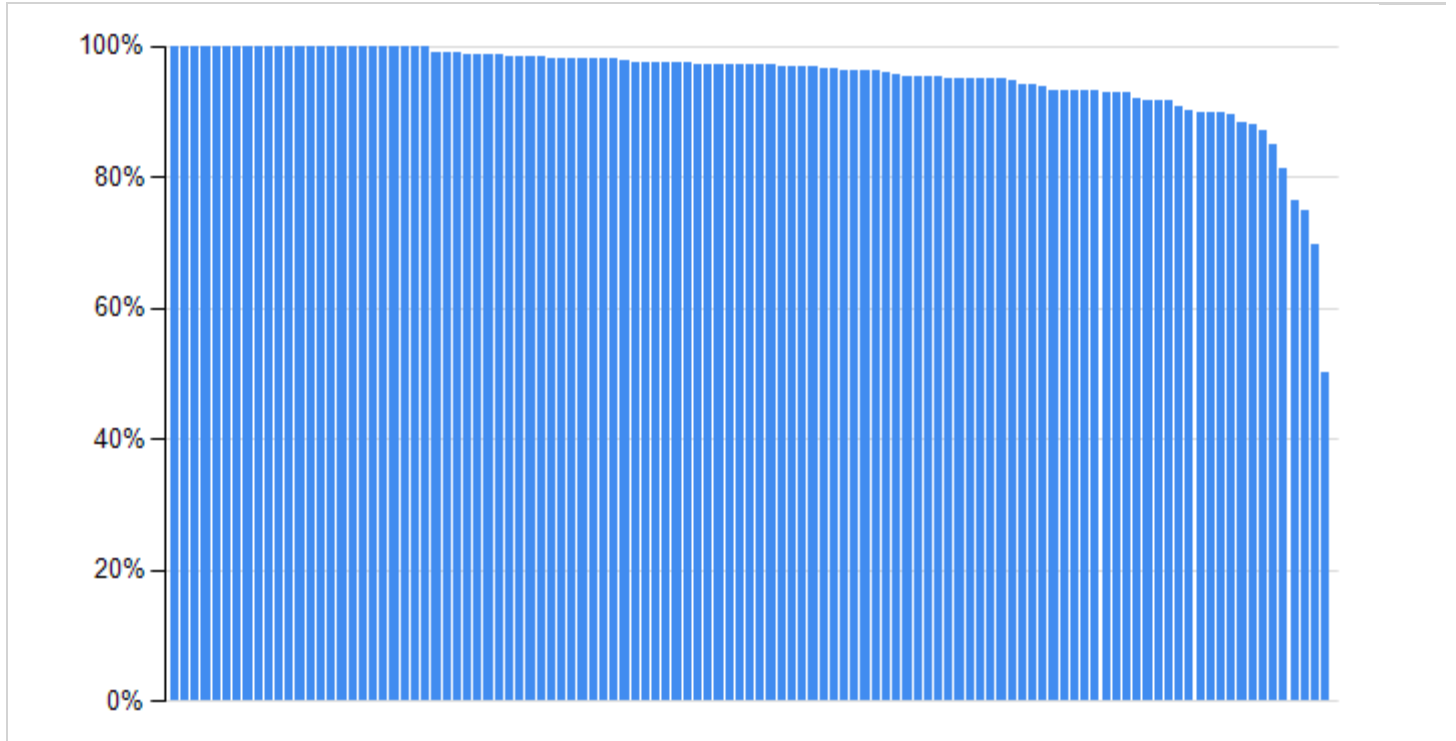
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3102
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－卵巣嚢腫

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 卵巣嚢腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、111/271病院を表示

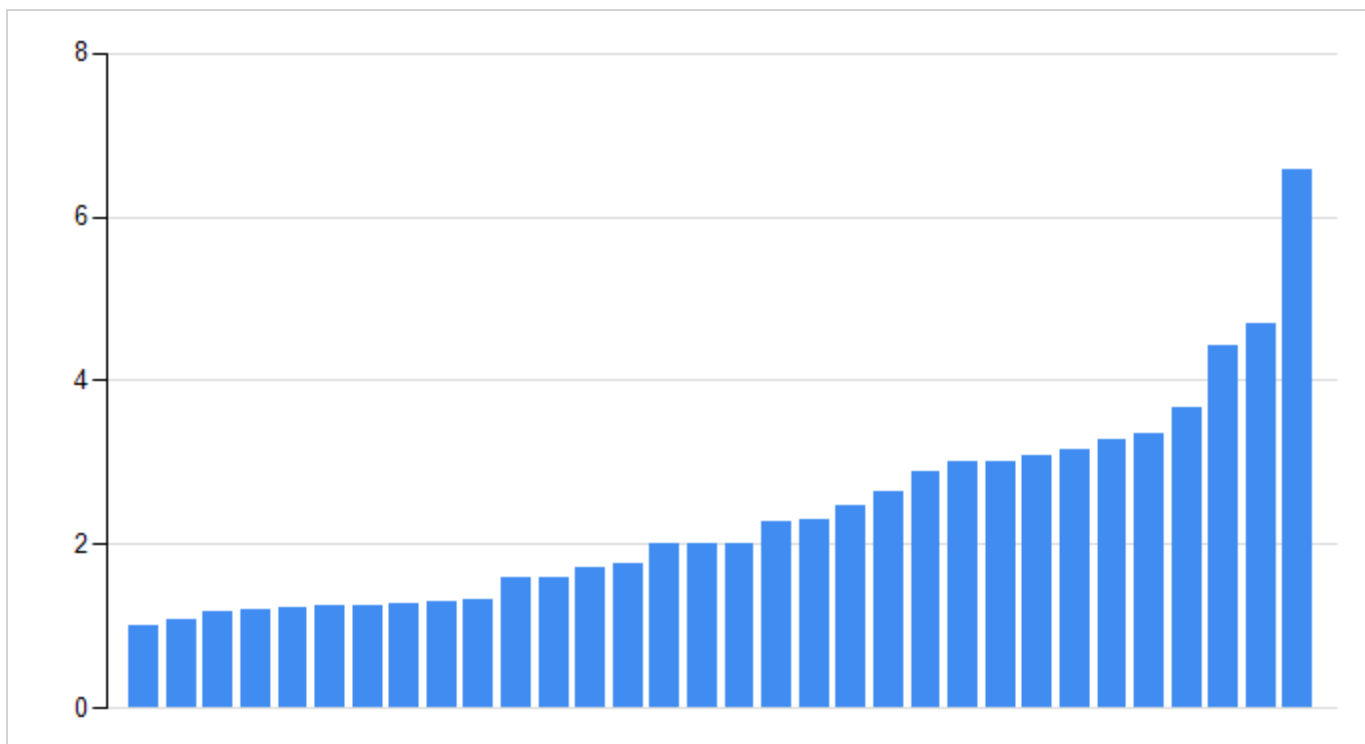
分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
6643	6364	95.8%

医療の質の指標

指標番号	3110
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣がん

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 卵巣がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分

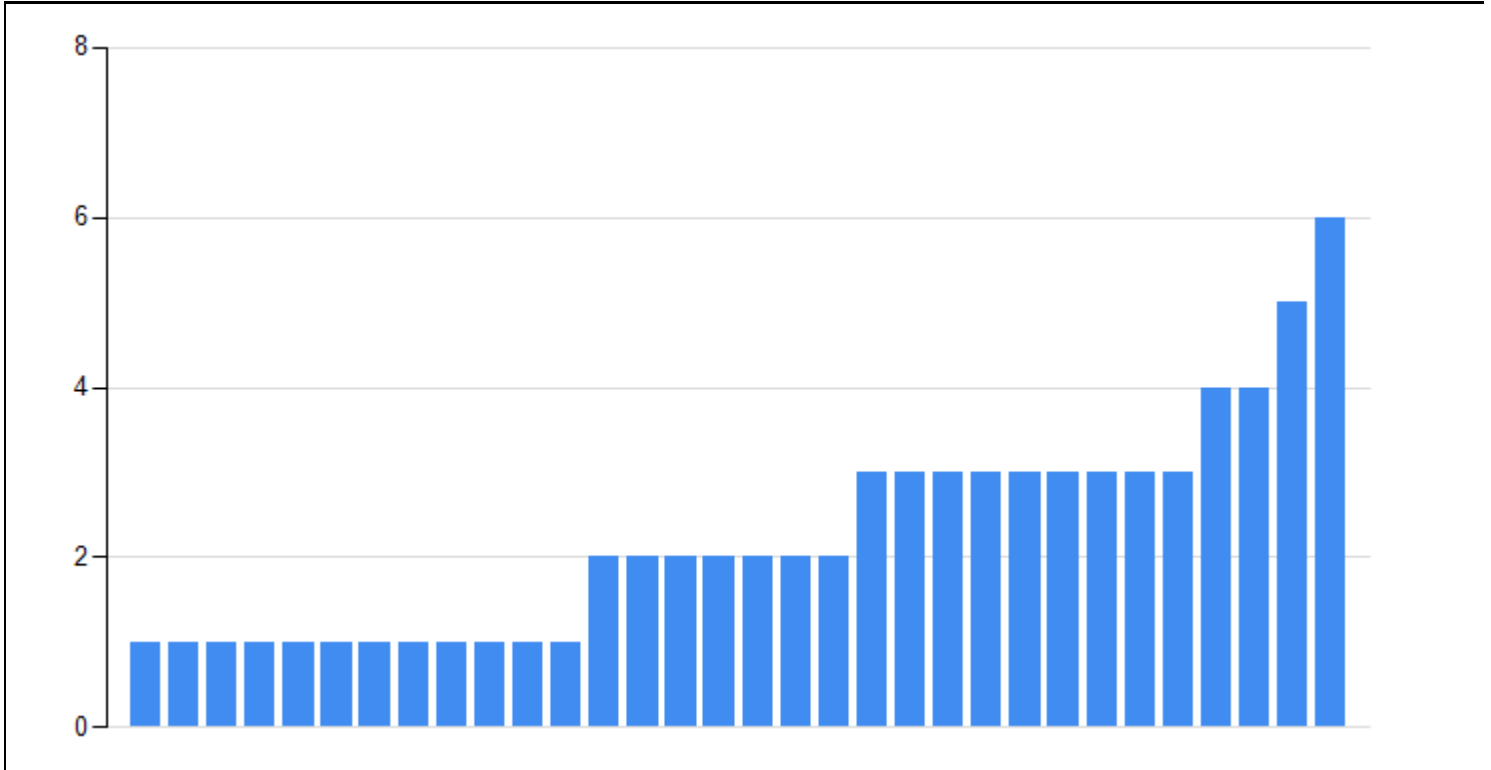
2018年度（平成30年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、32/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数[日/人]
818.00	1962	2.40

医療の質の指標

指標番号	3111
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 卵巣がん



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例10例未満の病院を除外し、32/271病院を表示

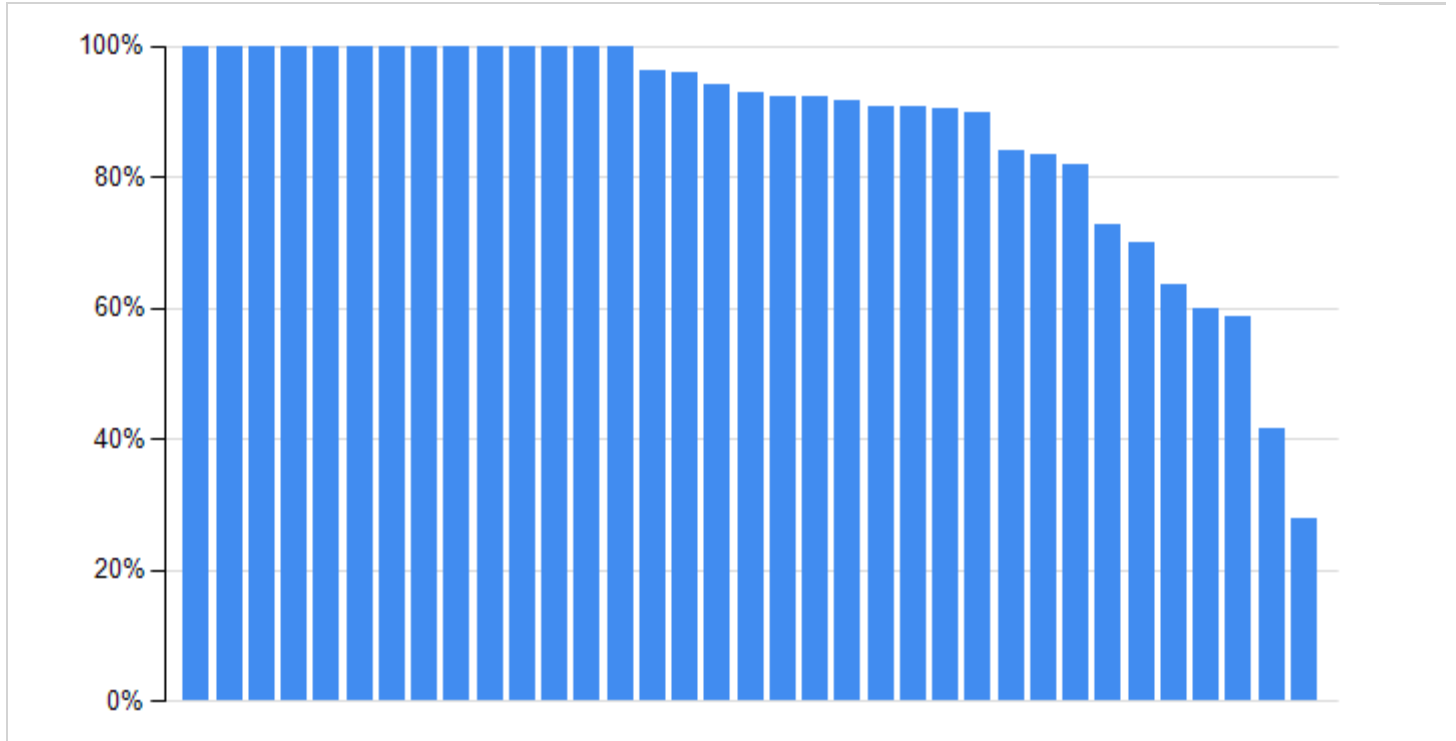
分母全病院合計	中央値の中央値
818	2

医療の質の指標

指標番号	3112
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－卵巣がん

分子： 抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母： 卵巣がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

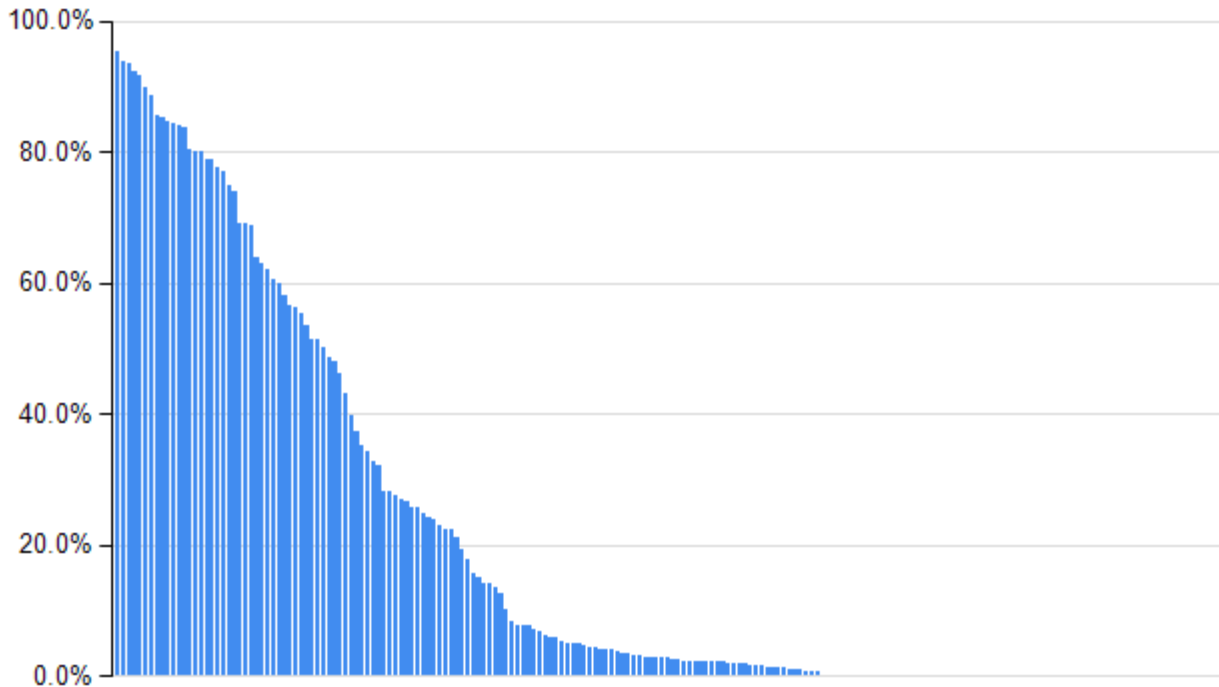
期間症例 10例未満の病院を除外し、35/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均[%]
848	751	88.6%

指標番号	2118_1
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（大腸手術）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（大腸手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、199/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
14308	3634	25.4%

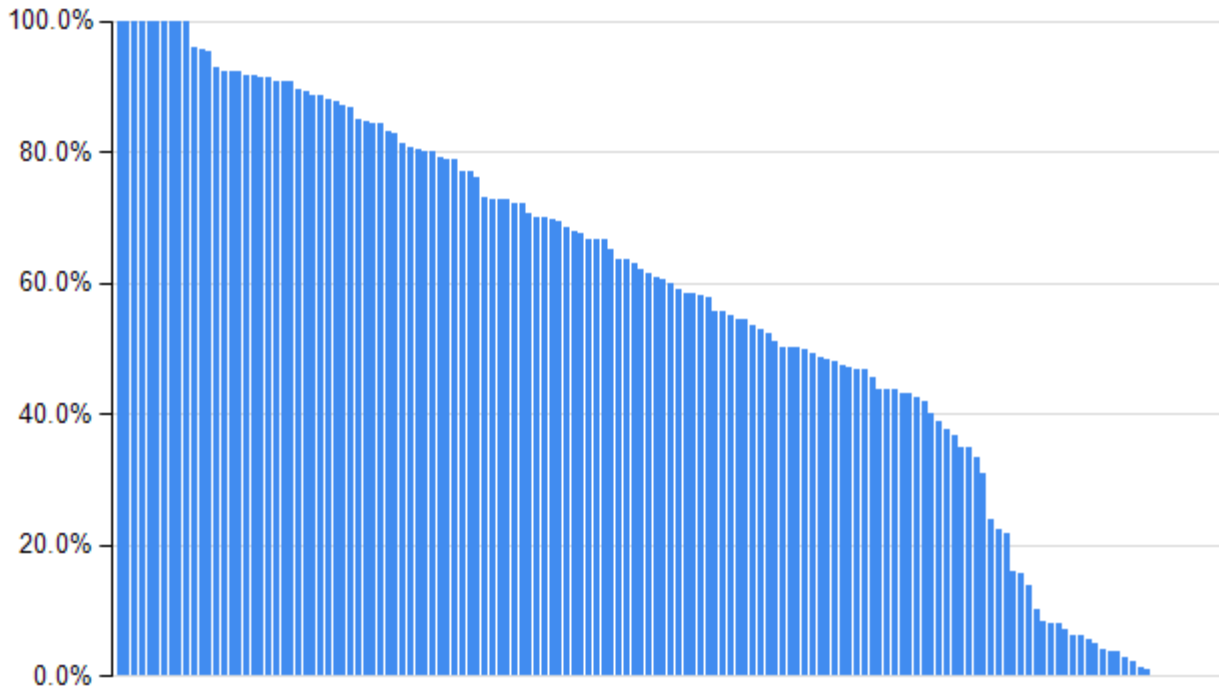
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_5
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（血管手術）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（血管手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、148/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8425	4486	53.2%

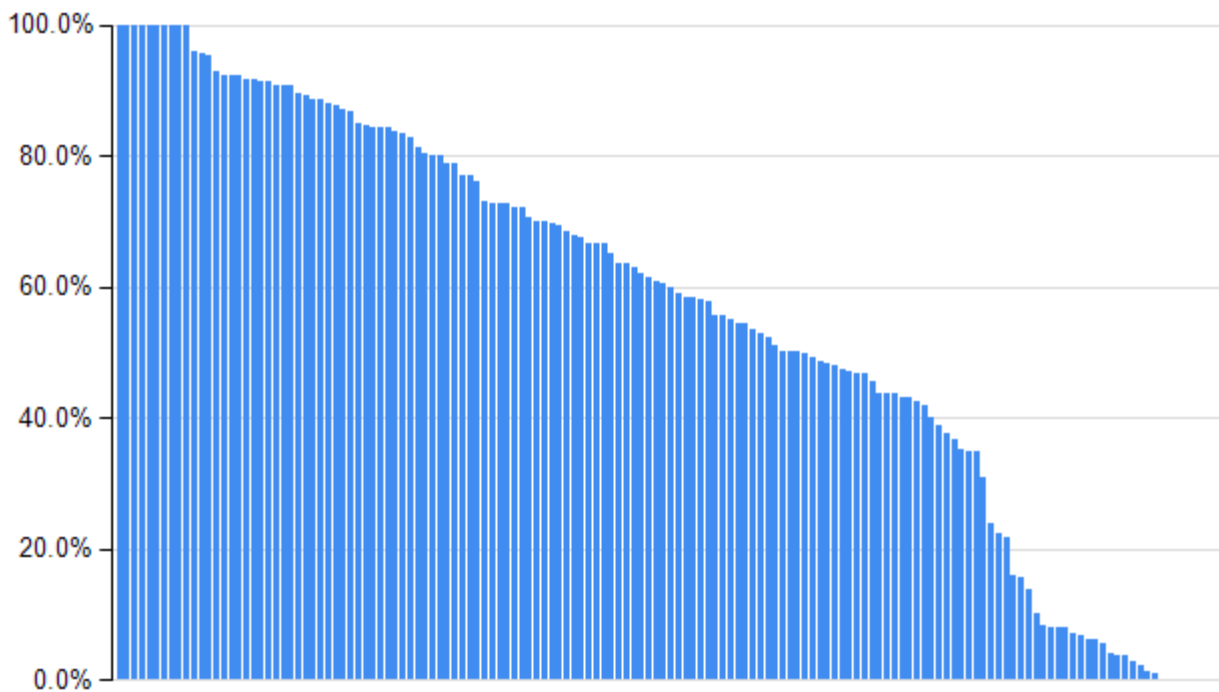
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_w_5
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（血管手術）（共通定義）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（血管手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、148/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8425	4494	53.3%

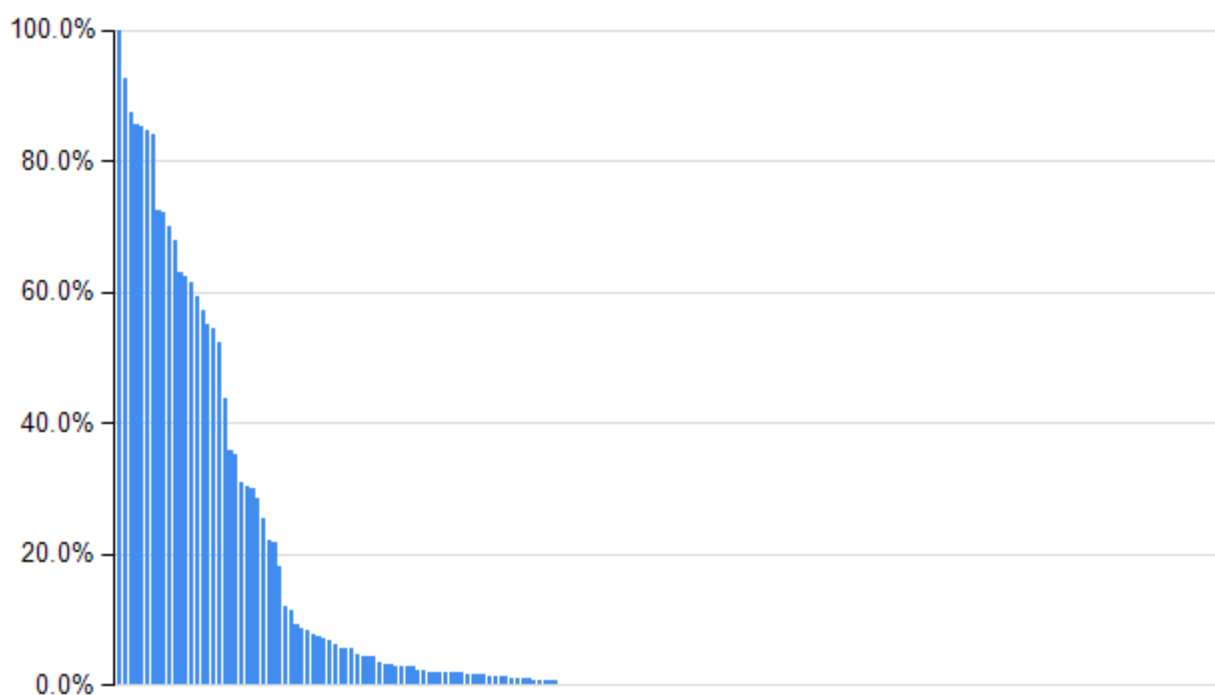
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_2
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（股関節人工骨頭置換術）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（股関節人工骨頭置換術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、200/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12857	1008	7.8%

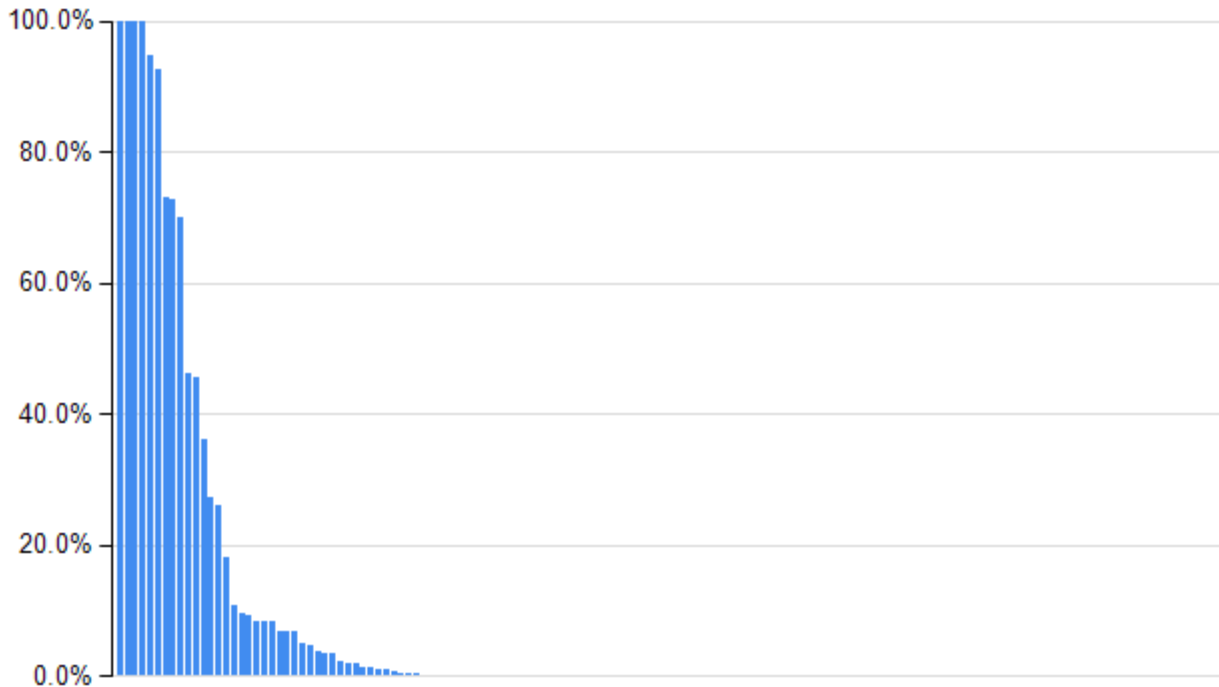
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_3
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（膝関節置換術）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（膝関節置換術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、145/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7526	327	4.3%

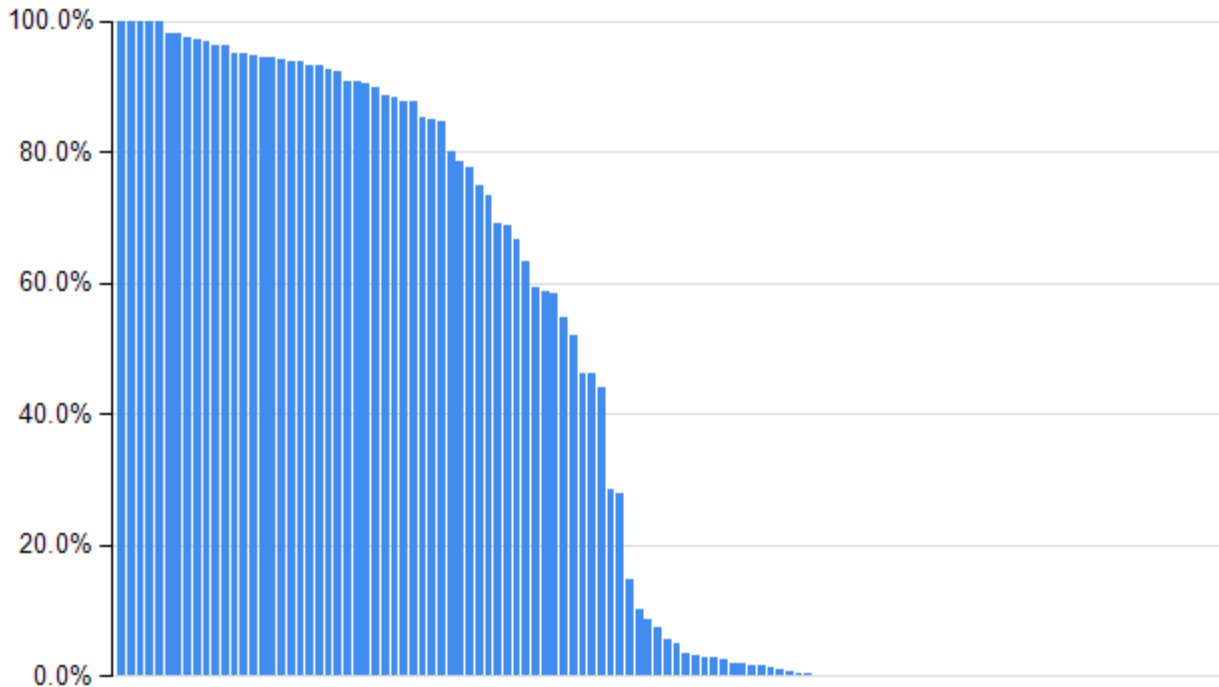
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_4
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（子宮全摘除術）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（子宮全摘除術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、117/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7325	3489	47.6%

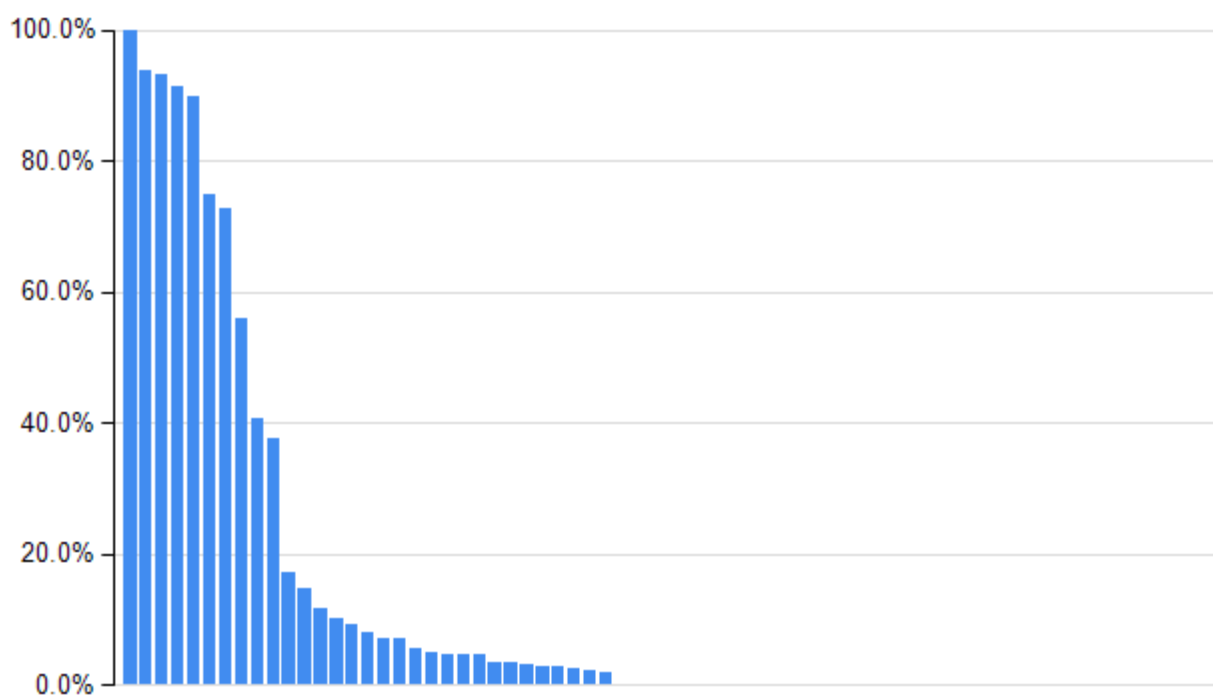
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2119_1
指標名	予防的抗菌薬 c. 術後 48 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（冠動脈バイパス手術）

分子： 分母のうち術後 2 日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（冠動脈バイパス手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、69/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2280	353	15.5%

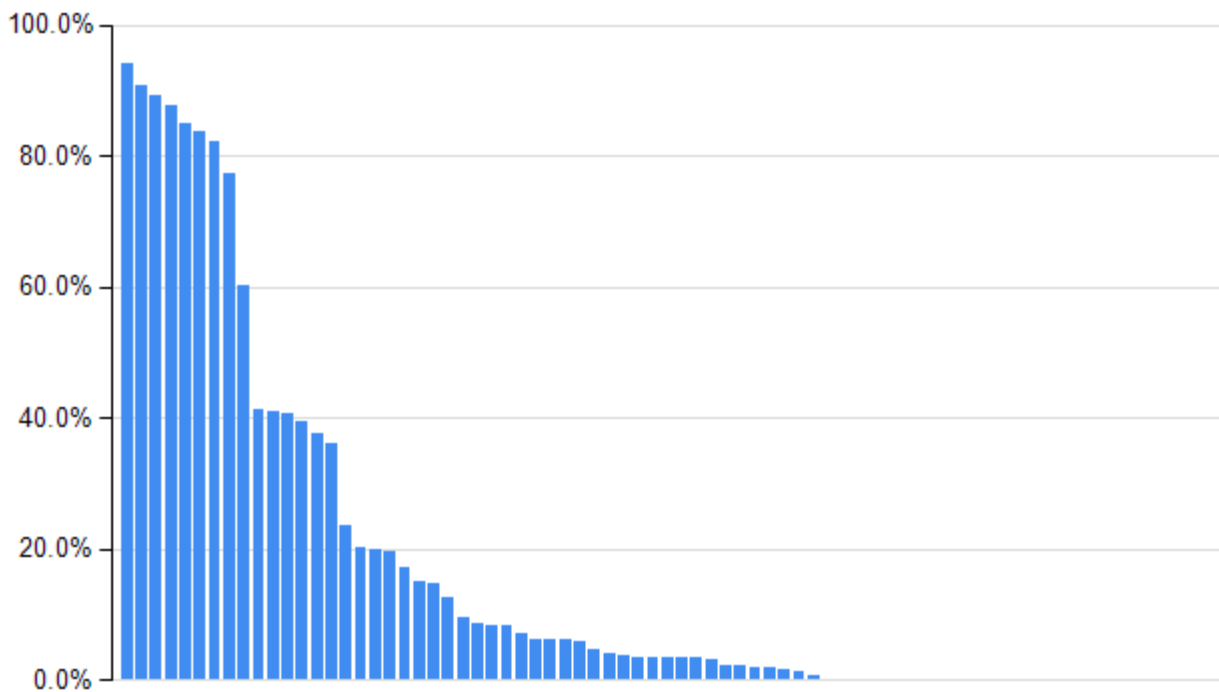
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2119_2
指標名	予防的抗菌薬 c. 術後 48 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（そのほかの心臓手術）

分子： 分母のうち術後 2 日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（そのほかの心臓手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、75/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4241	1140	26.9%

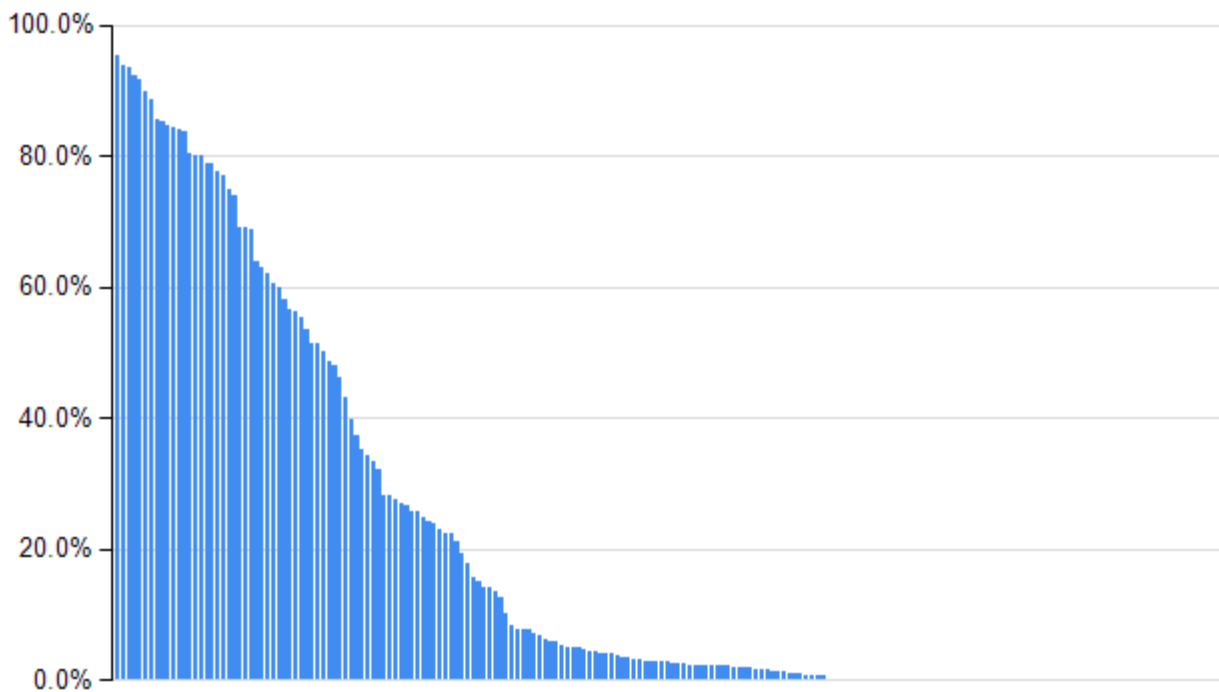
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_w_1
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（大腸手術）（共通定義）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（大腸手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、199/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
14308	3638	25.4%

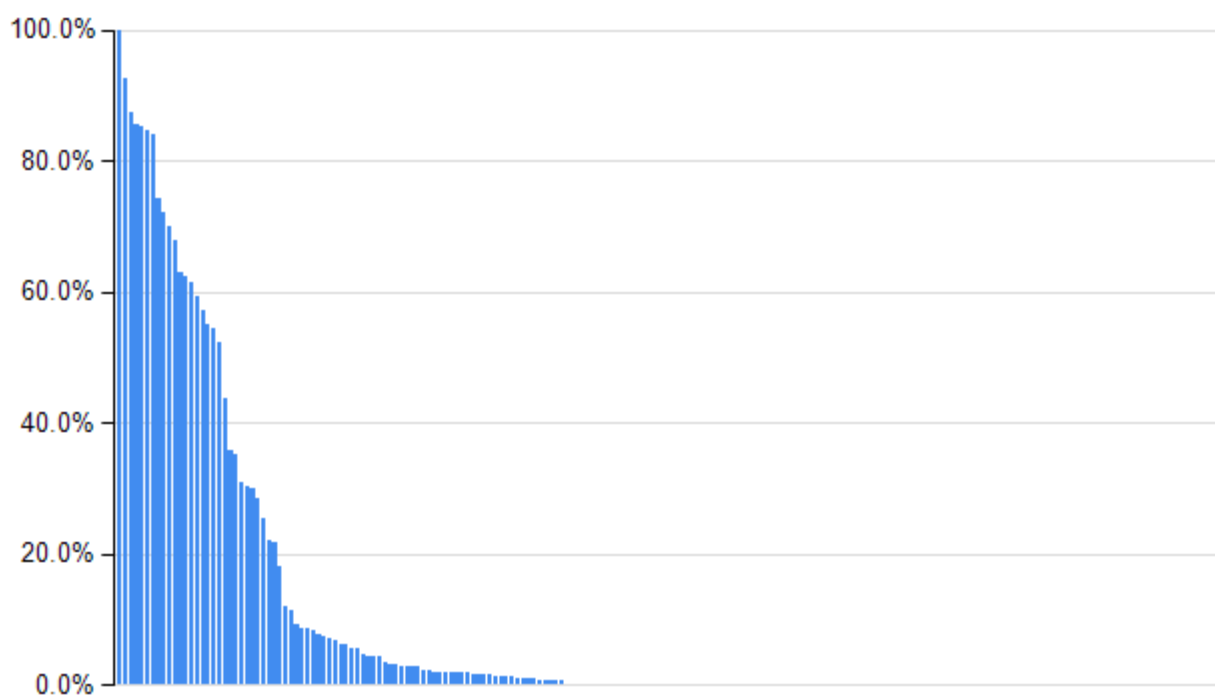
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_w_2
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（股関節人工骨頭置換術）（共通定義）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（股関節人工骨頭置換術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、200/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12857	1011	7.9%

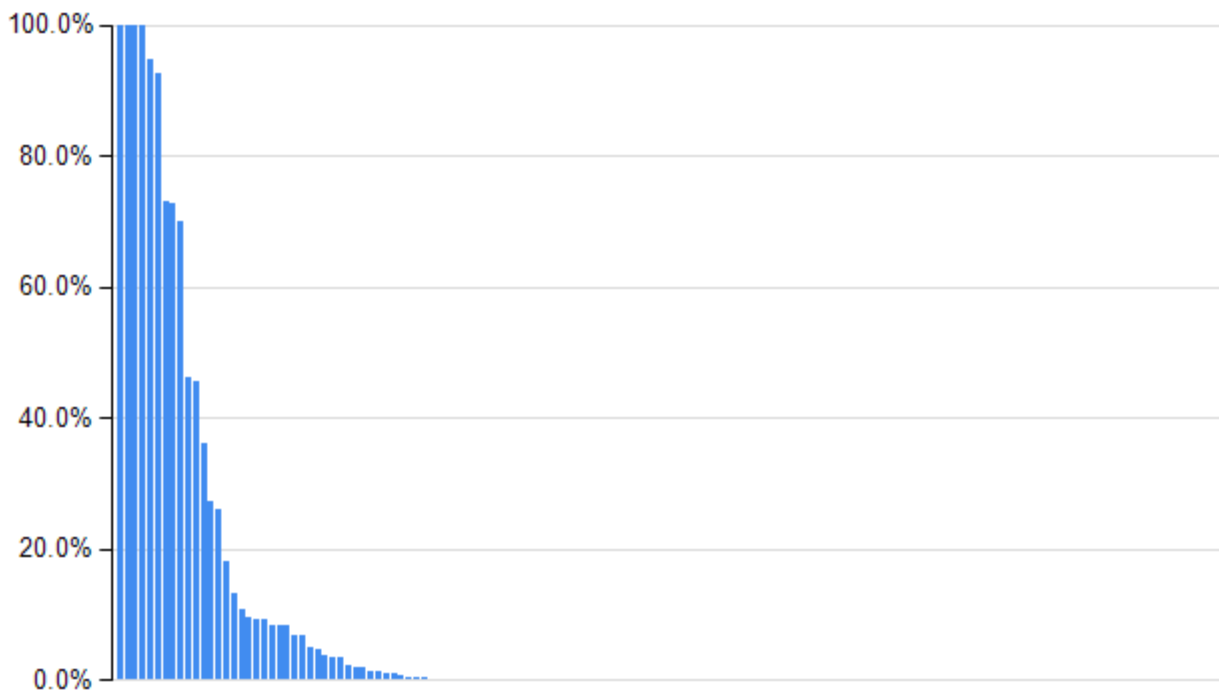
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_w_3
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（膝関節置換術）（共通定義）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（膝関節置換術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、145/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7526	329	4.4%

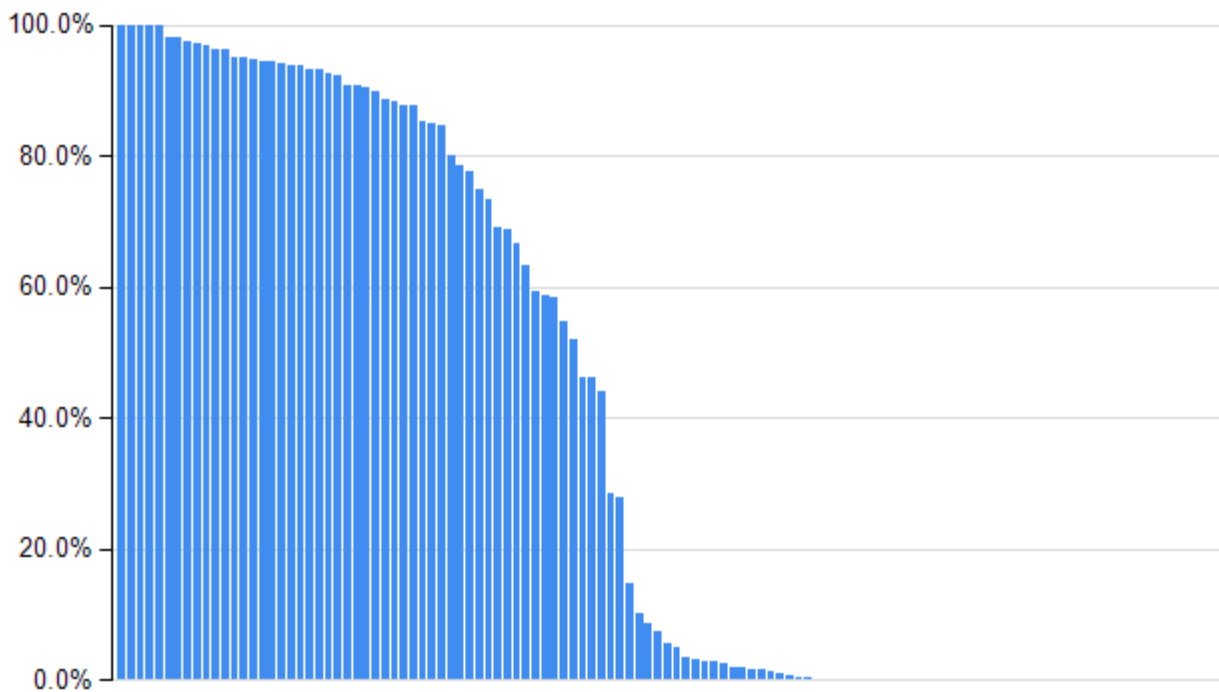
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2118_w_4
指標名	予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（子宮全摘除術）（共通定義）

分子： 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（子宮全摘除術）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、117/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7325	3489	47.6%

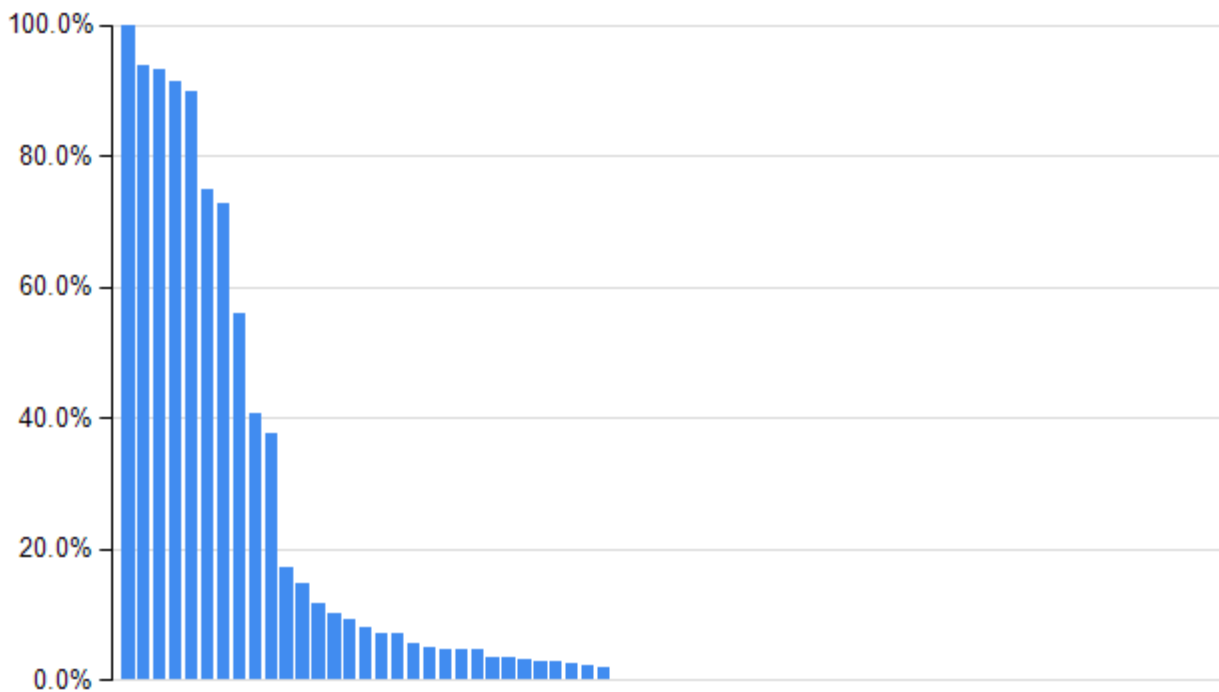
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2119_w_1
指標名	予防的抗菌薬 c. 術後 48 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（冠動脈バイパス手術）（共通定義）

分子： 分母のうち術後 2 日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（冠動脈バイパス手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、69/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2280	353	15.5%

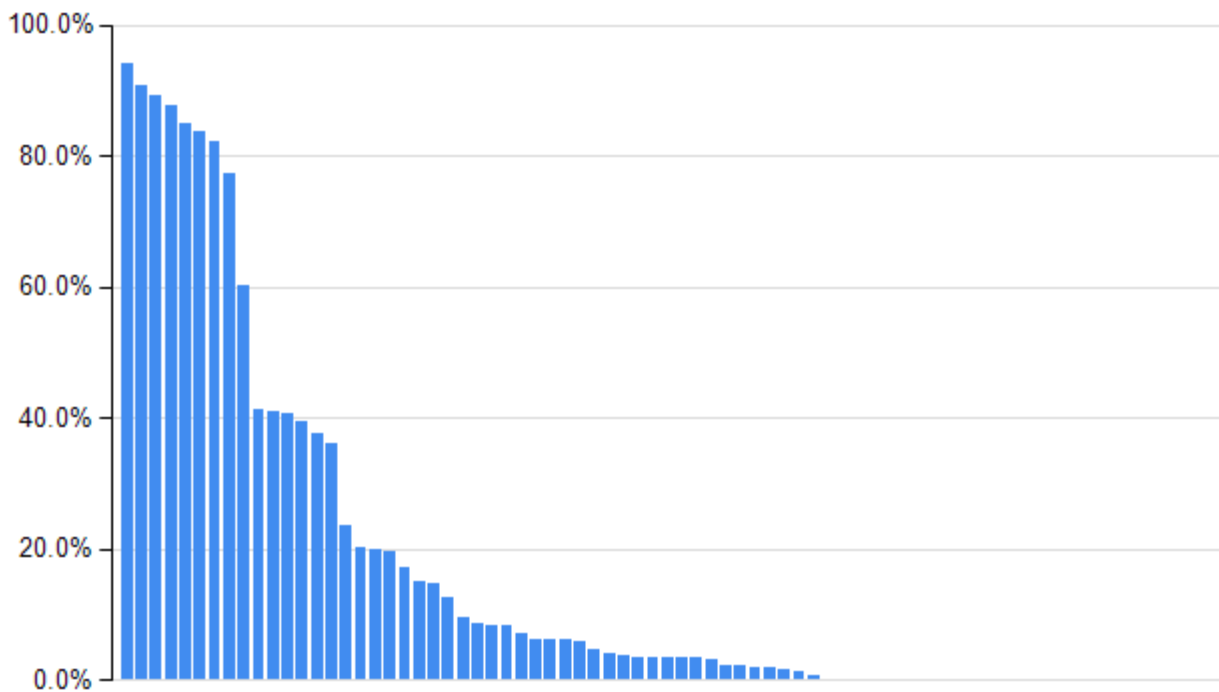
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2119_w_2
指標名	予防的抗菌薬 c. 術後 48 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（そのほかの心臓手術）（共通定義）

分子： 分母のうち術後 2 日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母： 入院手術件数（そのほかの心臓手術）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、75/274 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4241	1140	26.9%

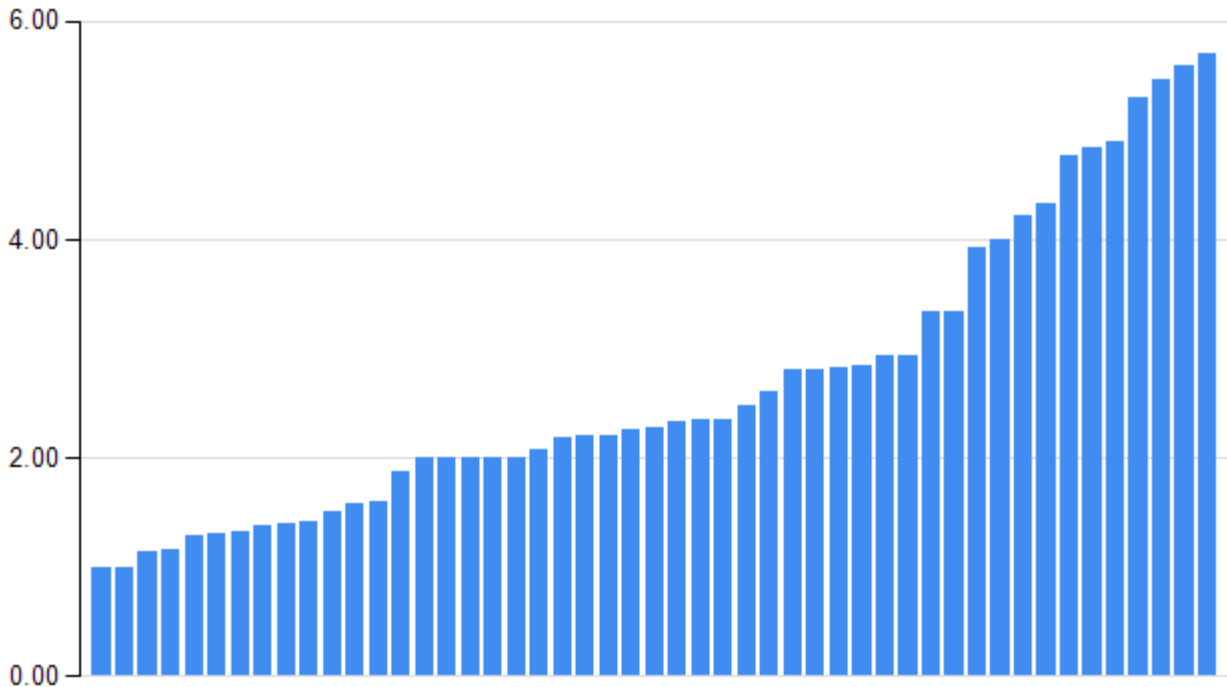
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3311
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 胃全摘術（開腹/腹腔鏡下）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、49/195病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1431	3932	2.75

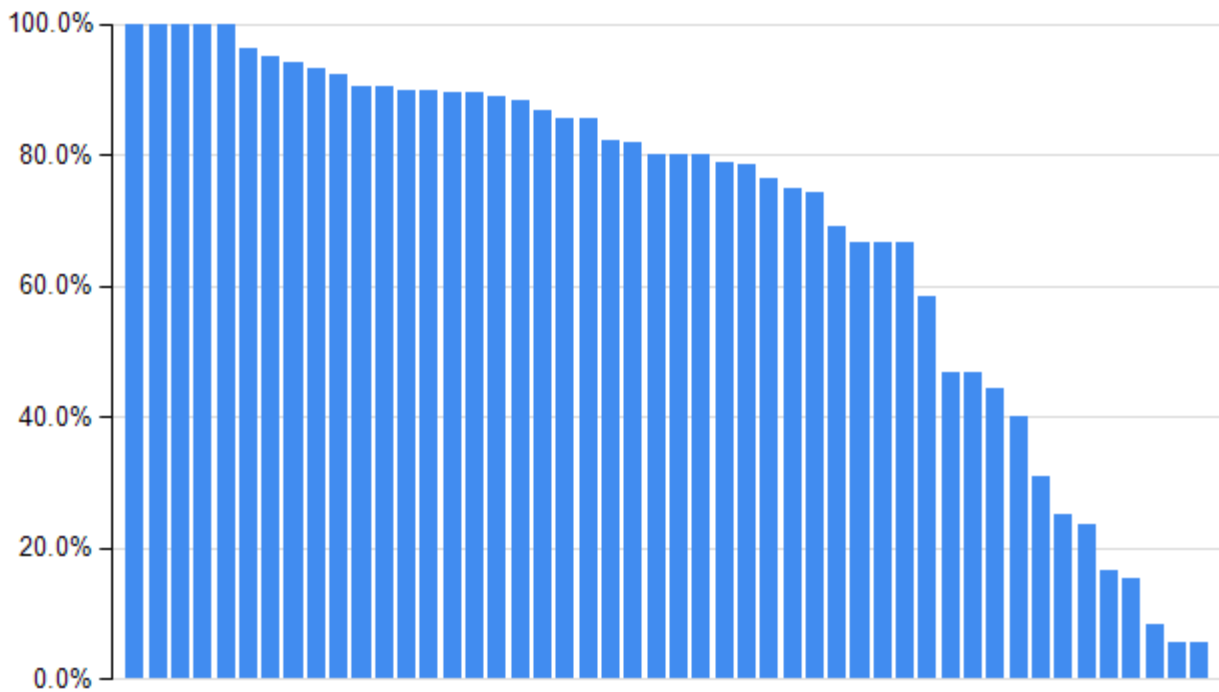
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3312
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術）

分子：手術実施日の翌々日（手術実施日+2）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、48/150病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1285	932	72.5%

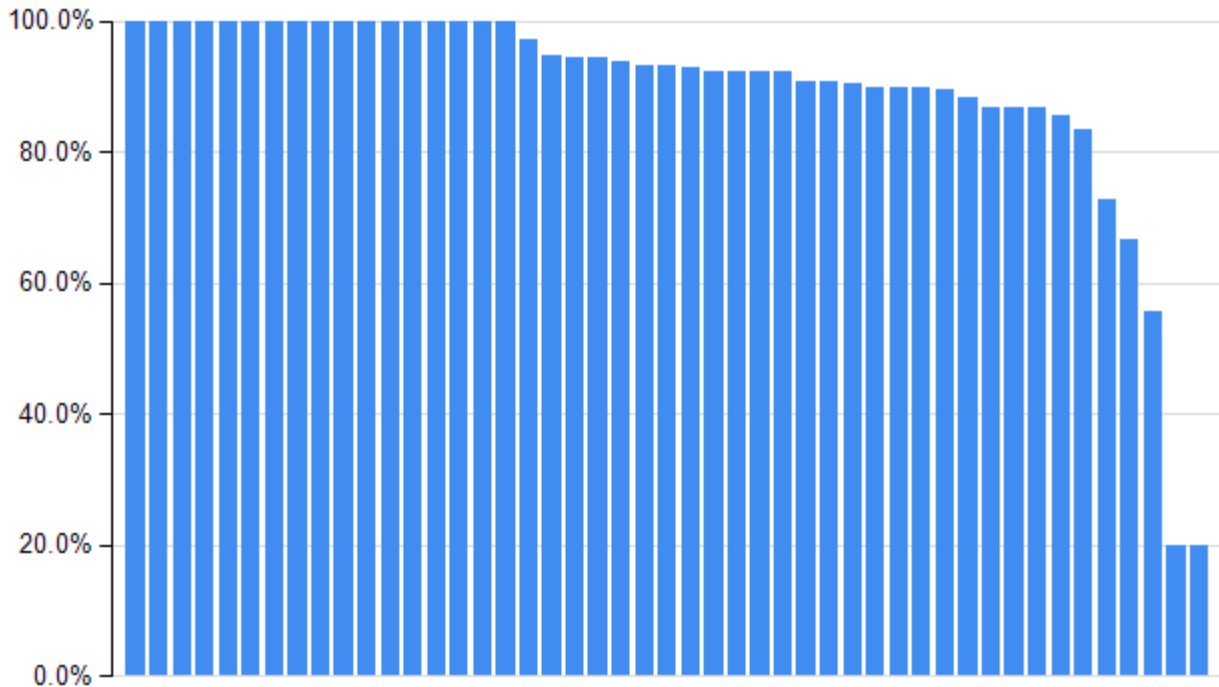
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3313
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、47/176病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1365	1198	87.8%

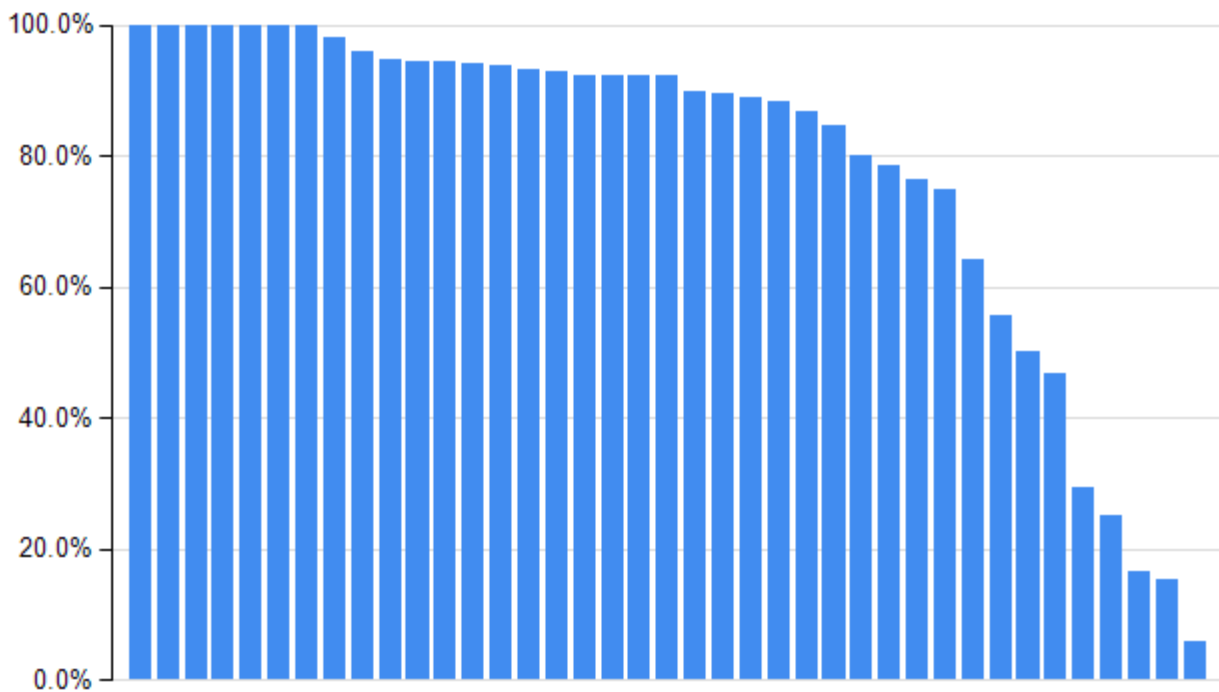
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3314
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術）

分子：手術実施日の翌々日（手術実施日+2）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、39/143病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1102	896	81.3%

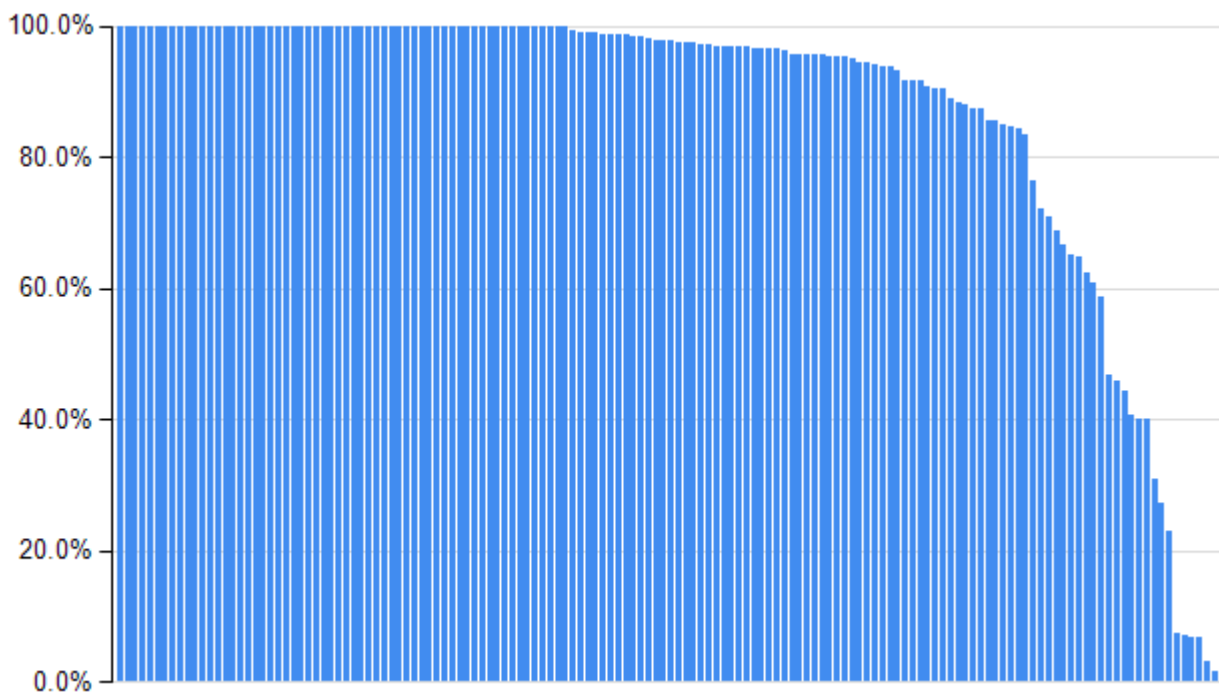
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3394
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）日に抗菌薬の投与が開始されている手術件数のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

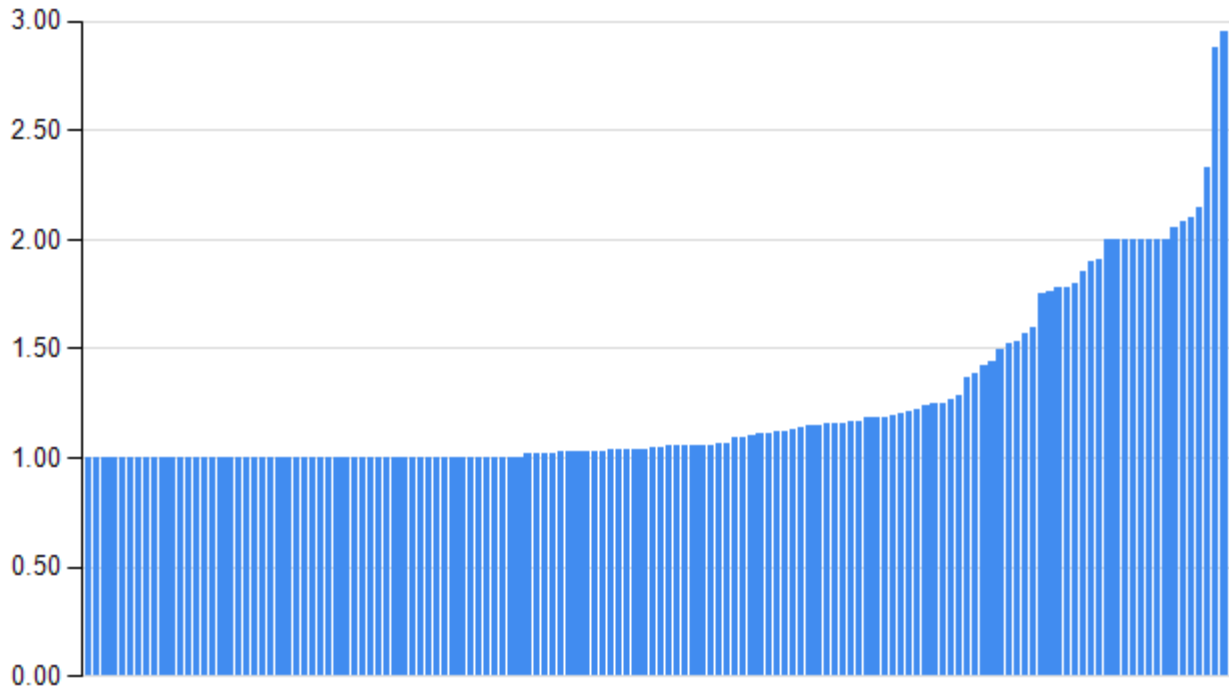
期間症例 10例未満の病院を除外し、146/195病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
6667	6053	90.8%

指標番号	3321
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：乳房切除術

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 乳房切除術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、138/189病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8321	10492	1.26

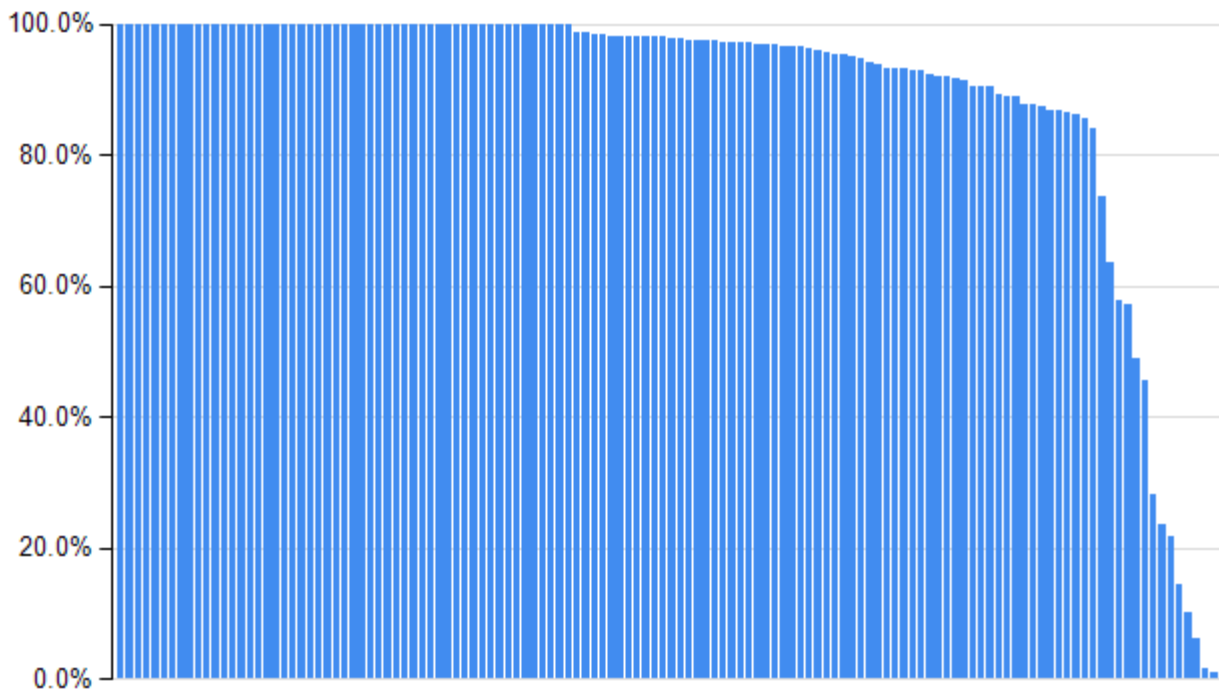
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3322
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：乳房切除術

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：乳房切除術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、128/162病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7916	7079	89.4%

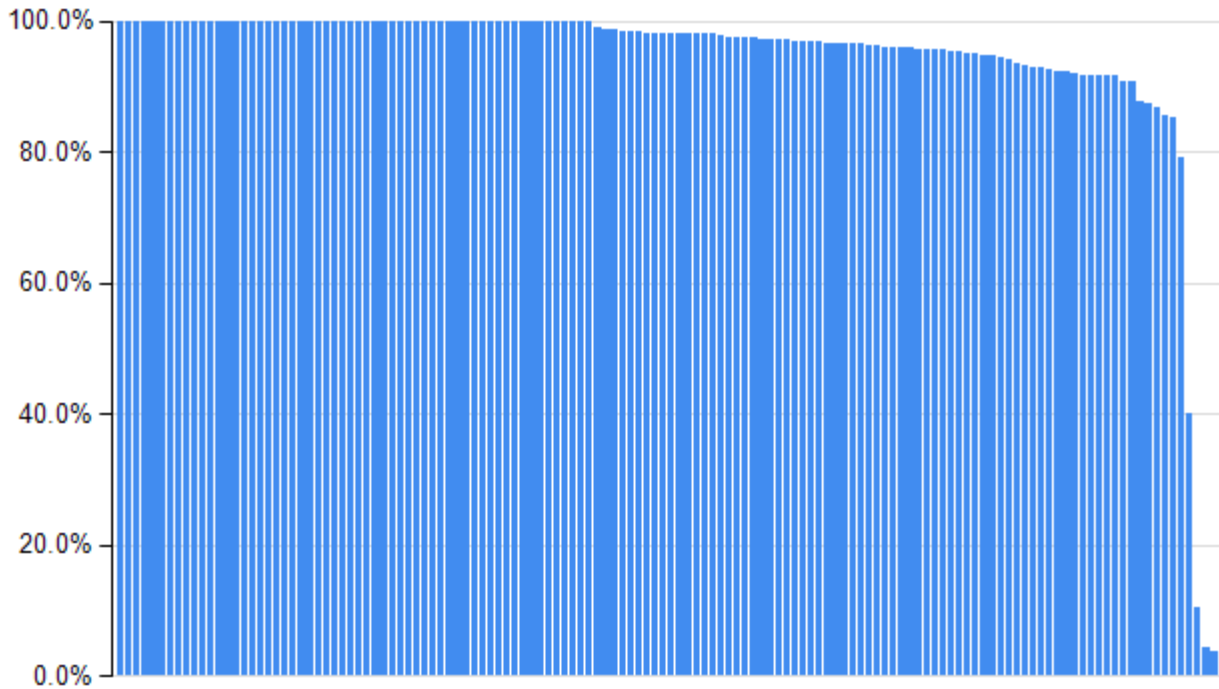
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3323
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：乳房切除術

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：乳房切除術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、134/181病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8044	7650	95.1%

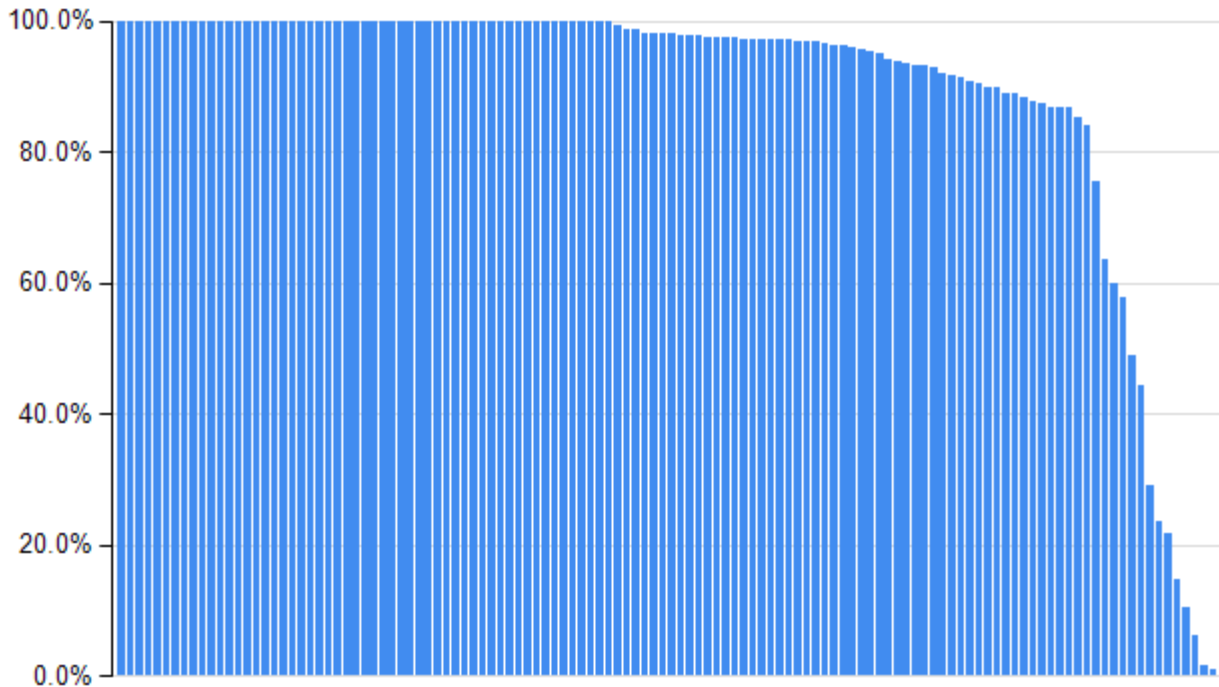
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3324
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：乳房切除術

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：乳房切除術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、122/157病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7307	6536	89.4%

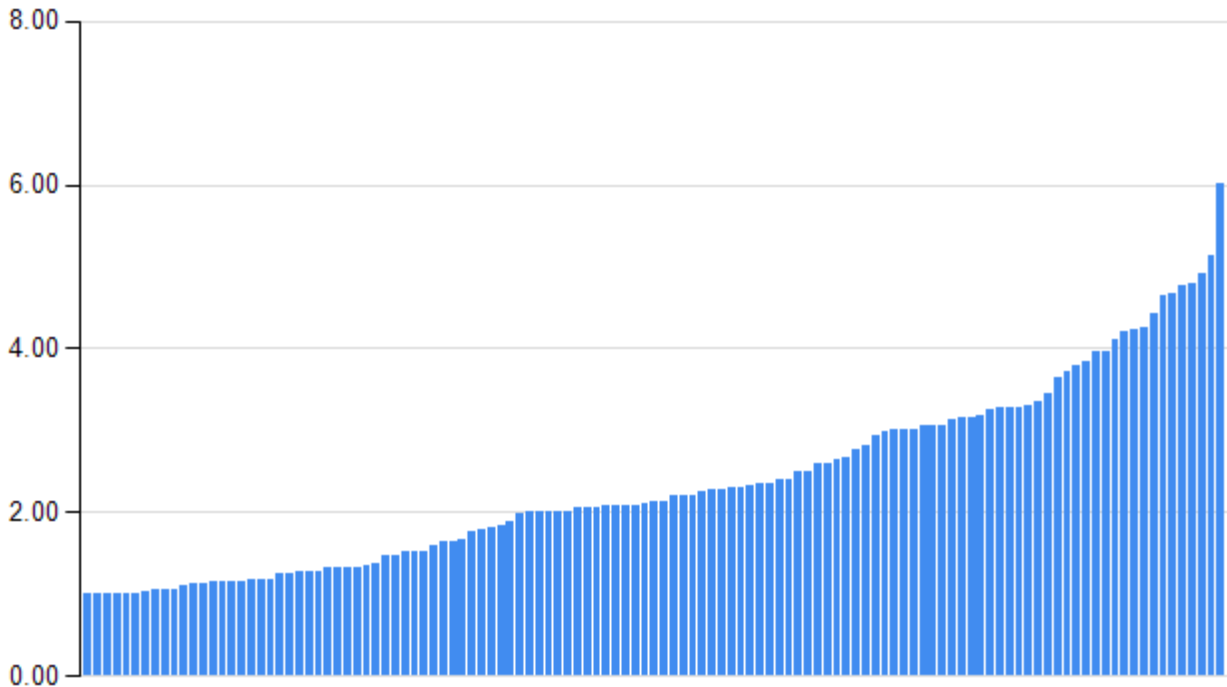
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3331
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：腹式子宮摘出術（開腹）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、119/129病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5696	13355	2.34

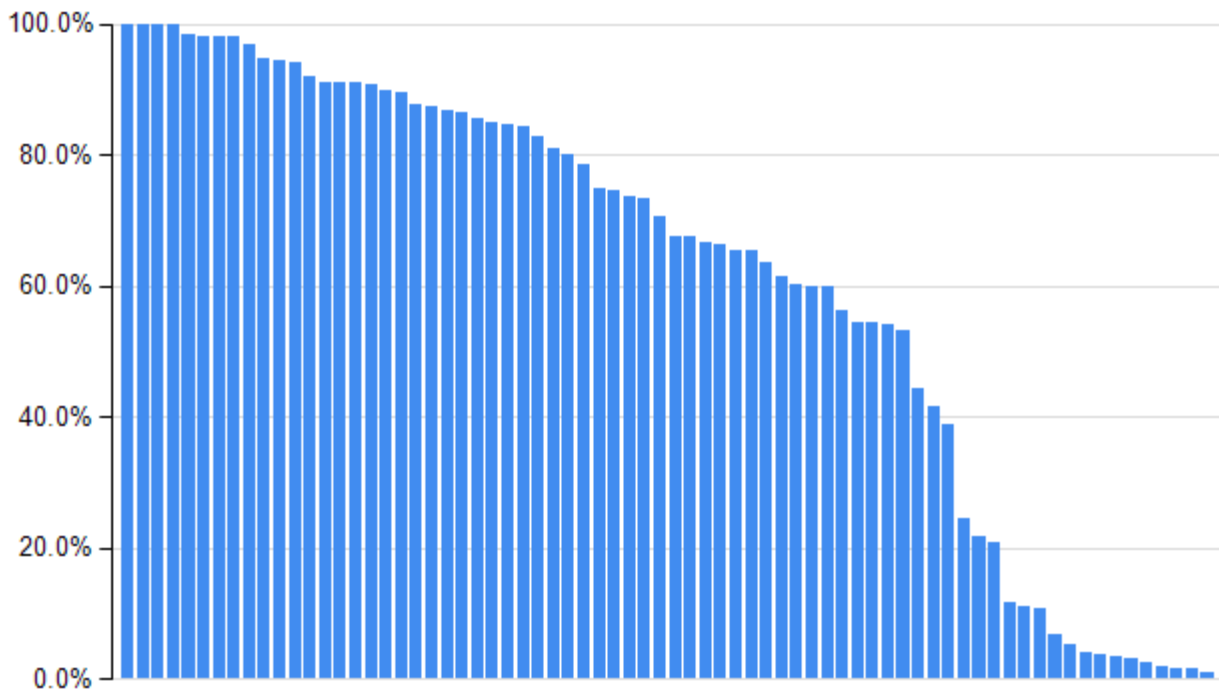
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3332
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、72/74病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
3801	2277	59.9%

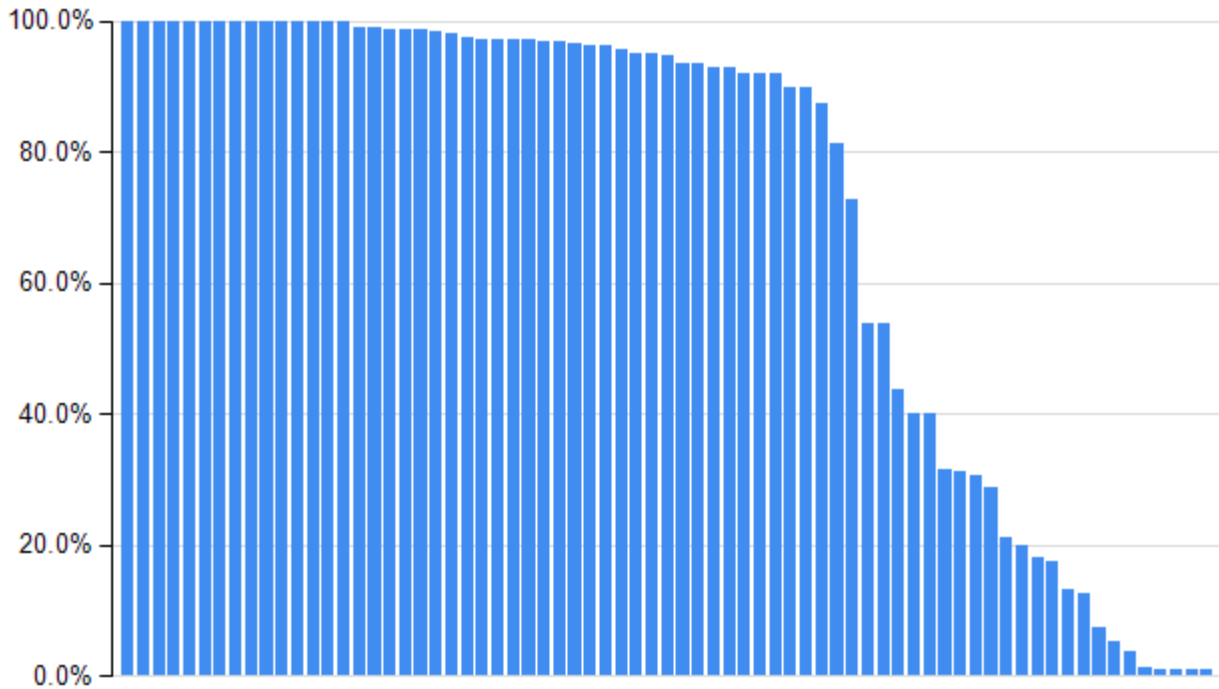
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3333
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、71/74病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
3992	2707	67.8%

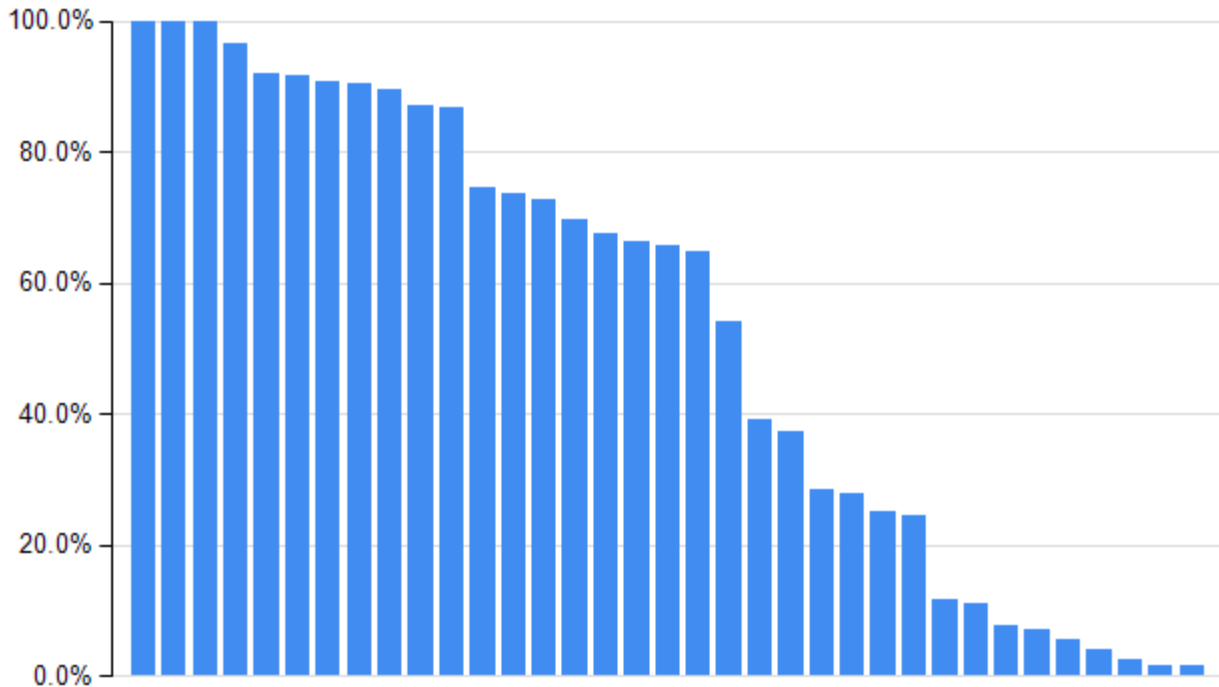
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3334
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、35/42病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1737	944	54.3%

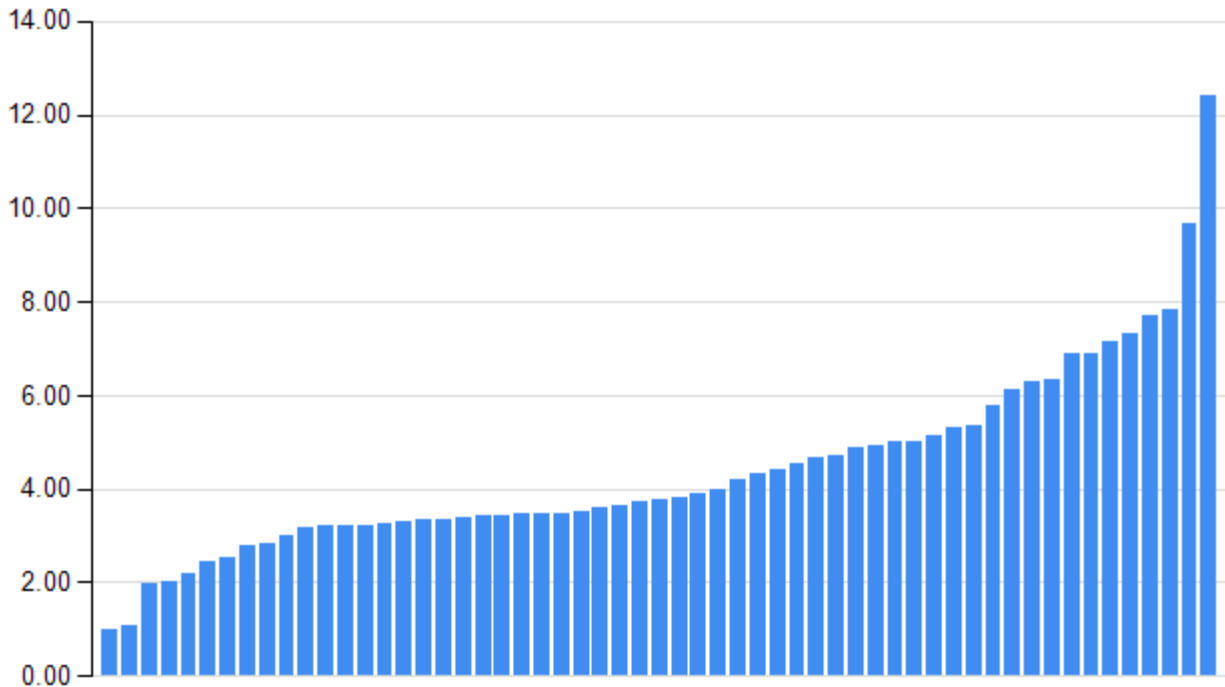
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3341
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：冠動脈バイパス手術

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 冠動脈バイパス手術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、57/81病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1678	7109	4.24

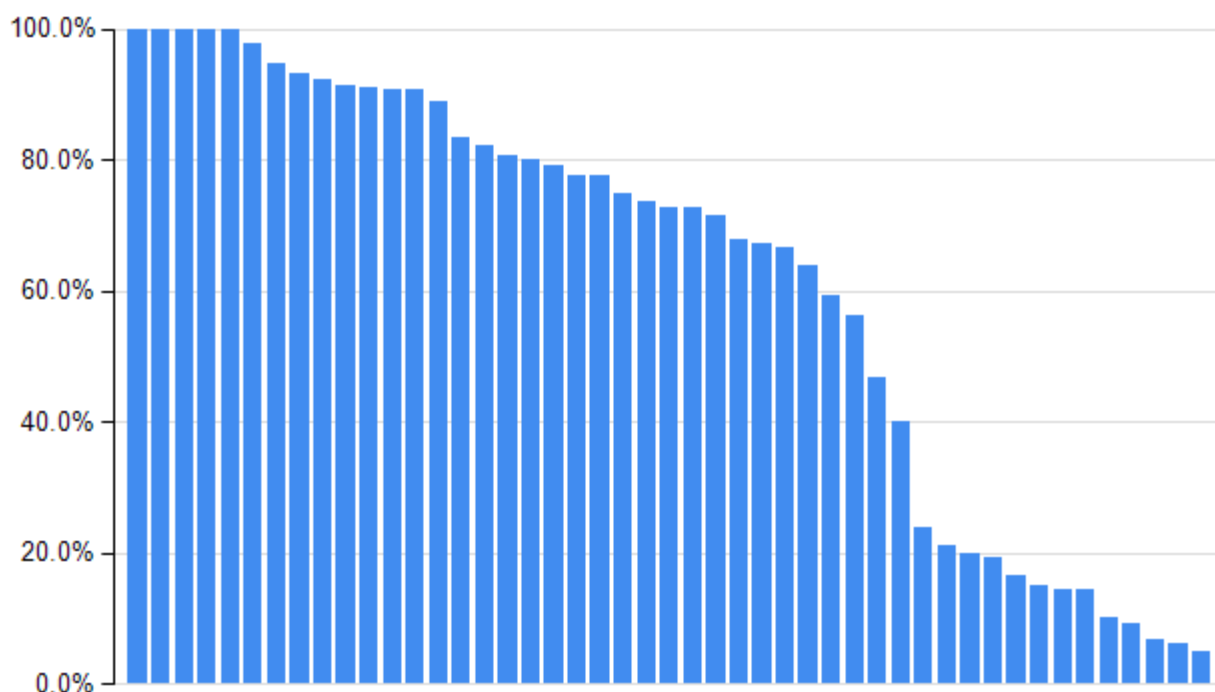
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3342
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：冠動脈バイパス手術

分子：手術実施日の翌々々日（手術実施日+3）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：冠動脈バイパス手術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、47/58病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1426	934	65.5%

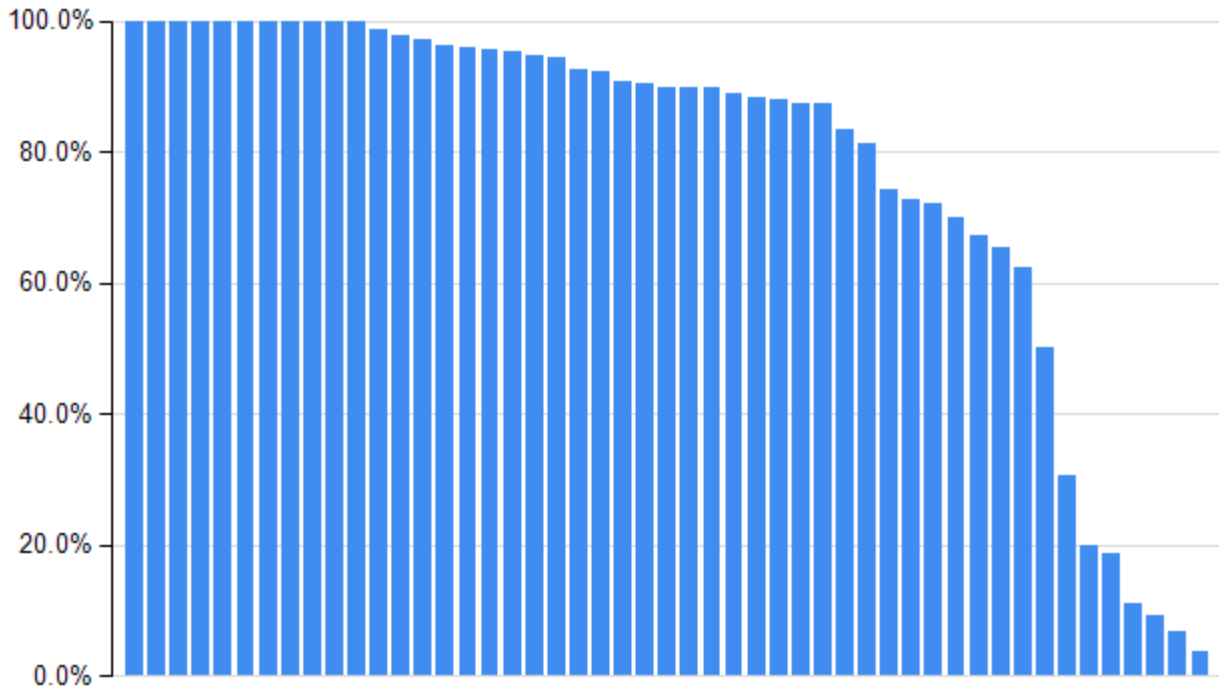
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3343
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：冠動脈バイパス手術

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：冠動脈バイパス手術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、49/67病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1489	1201	80.7%

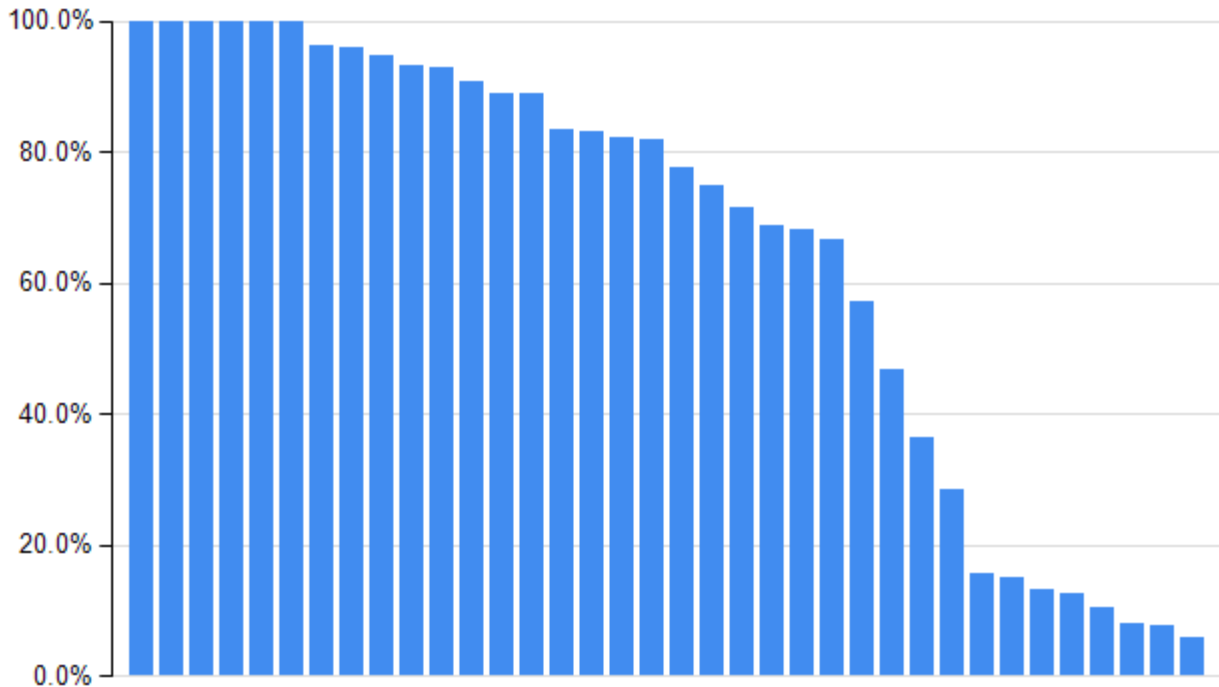
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3344
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：冠動脈バイパス手術

分子：手術実施日の翌々々日（手術実施日+3）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：冠動脈バイパス手術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、36/53病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1105	776	70.2%

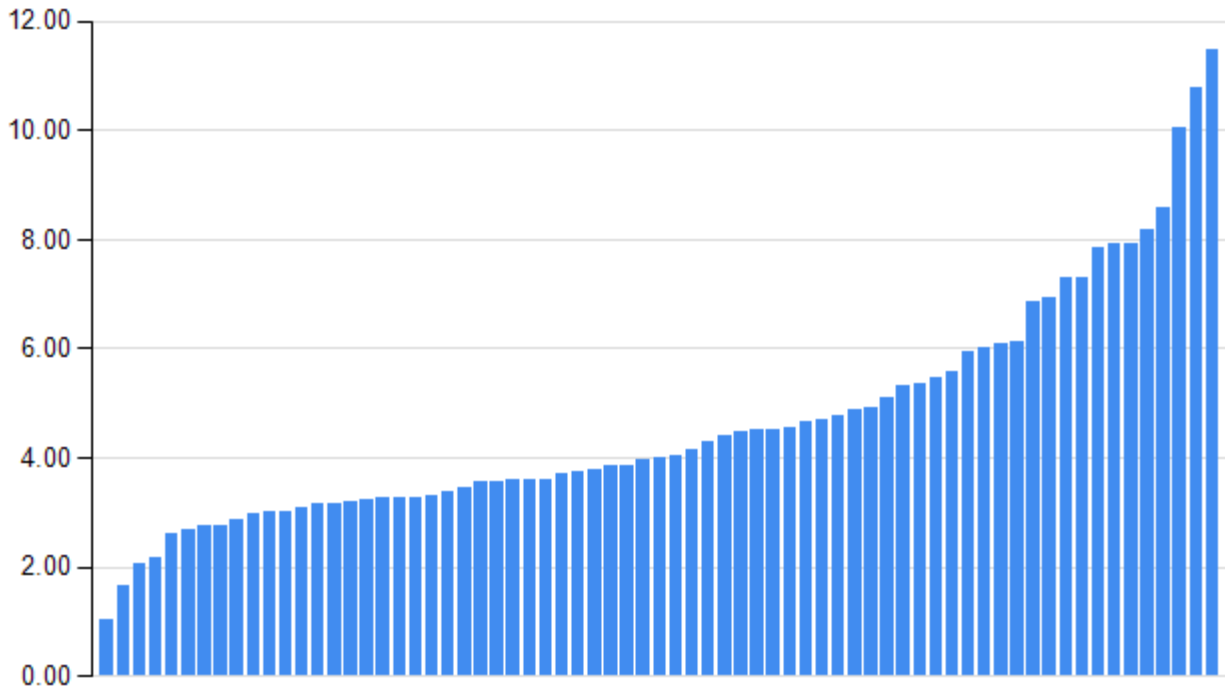
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3351
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、69/82病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2119	9397	4.43

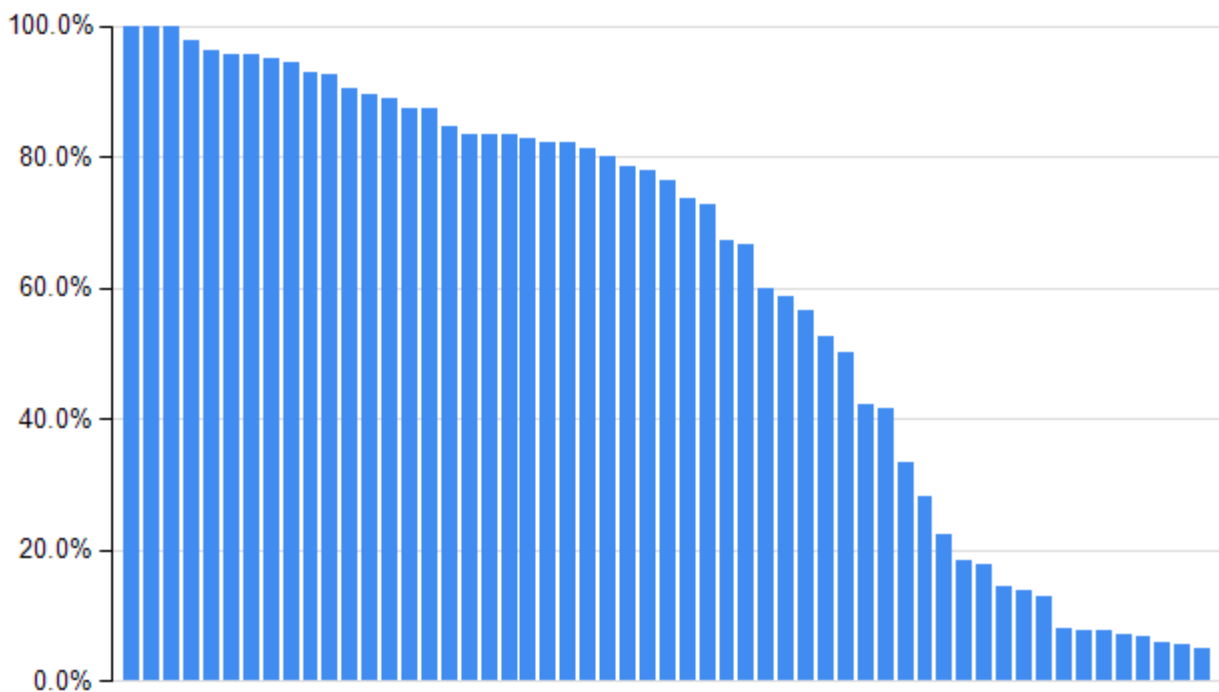
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3352
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）

分子：手術実施日の翌々々日（手術実施日+3）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、55/61病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1789	1187	66.3%

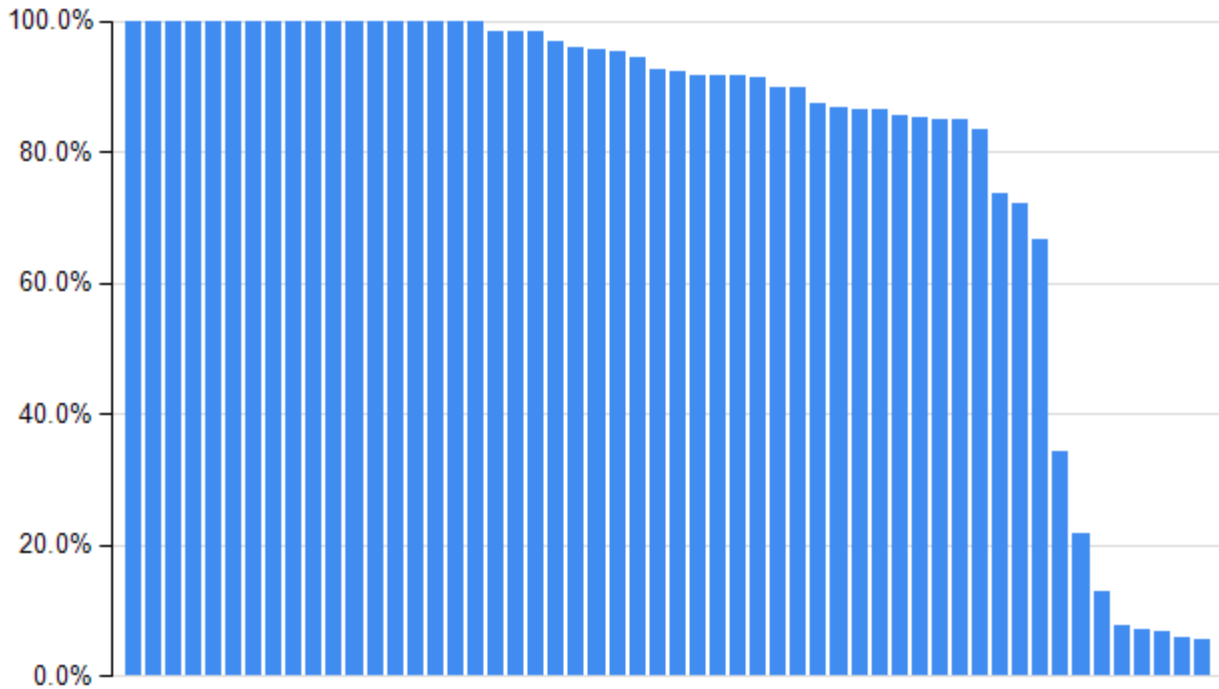
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3353
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、54/62病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1686	1402	83.2%

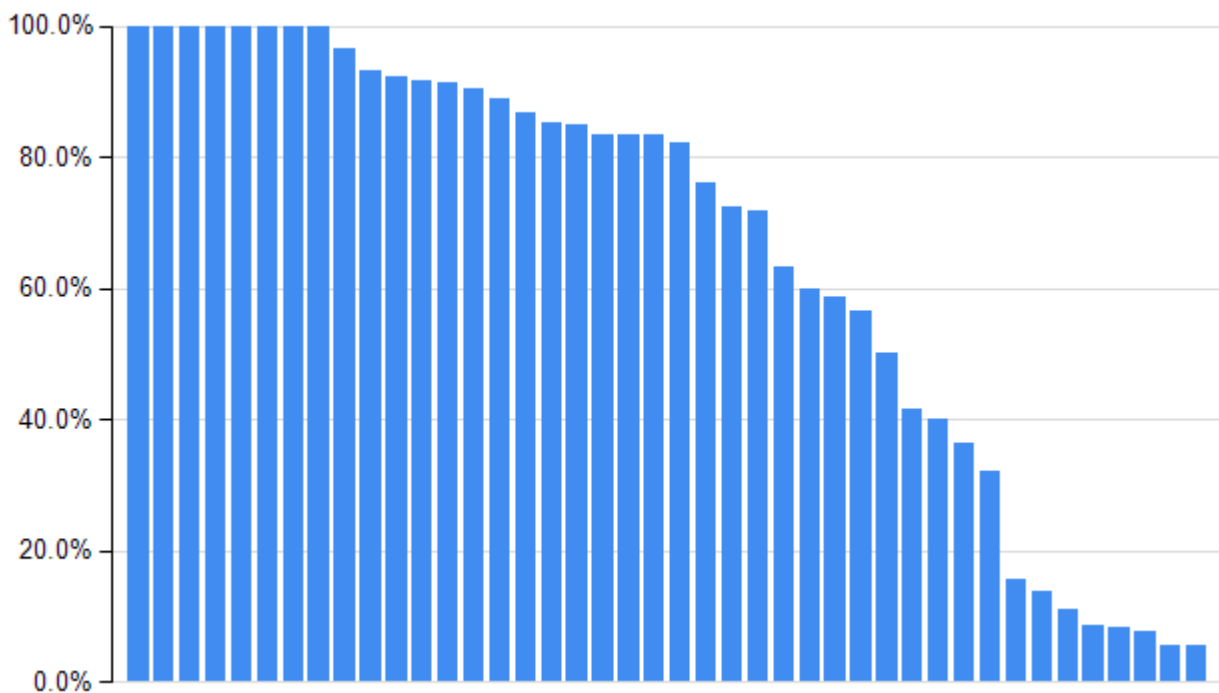
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3354
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）

分子：手術実施日の翌々々日（手術実施日+3）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

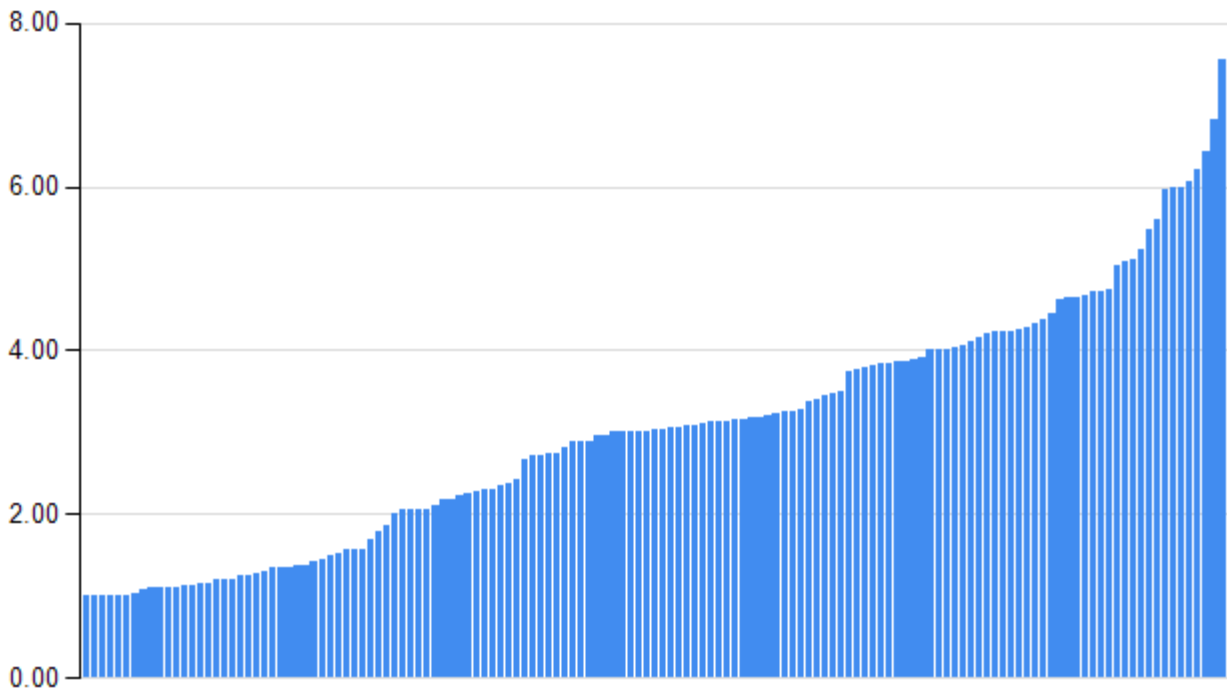
期間症例 10例未満の病院を除外し、42/49病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1275	911	71.5%

指標番号	3361
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、141/202病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5338	15664	2.93

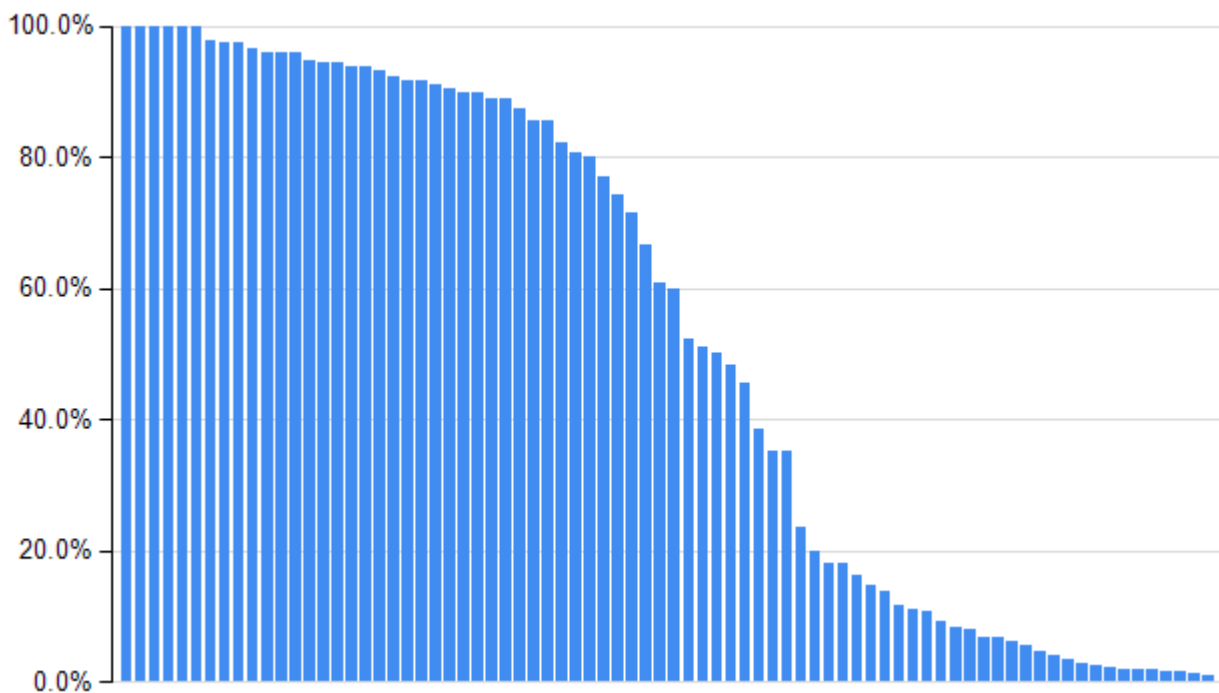
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3362
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

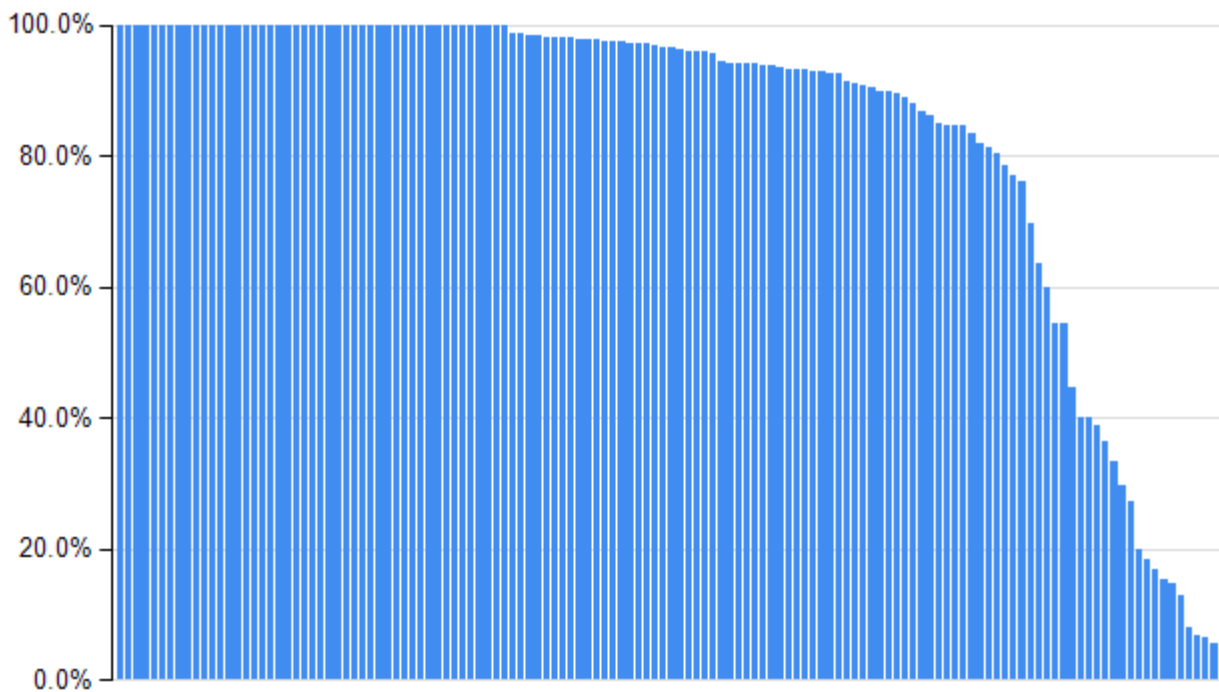
期間症例 10例未満の病院を除外し、78/92病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
3371	1591	47.2%

指標番号	3363
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、132/187病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5150	4337	84.2%

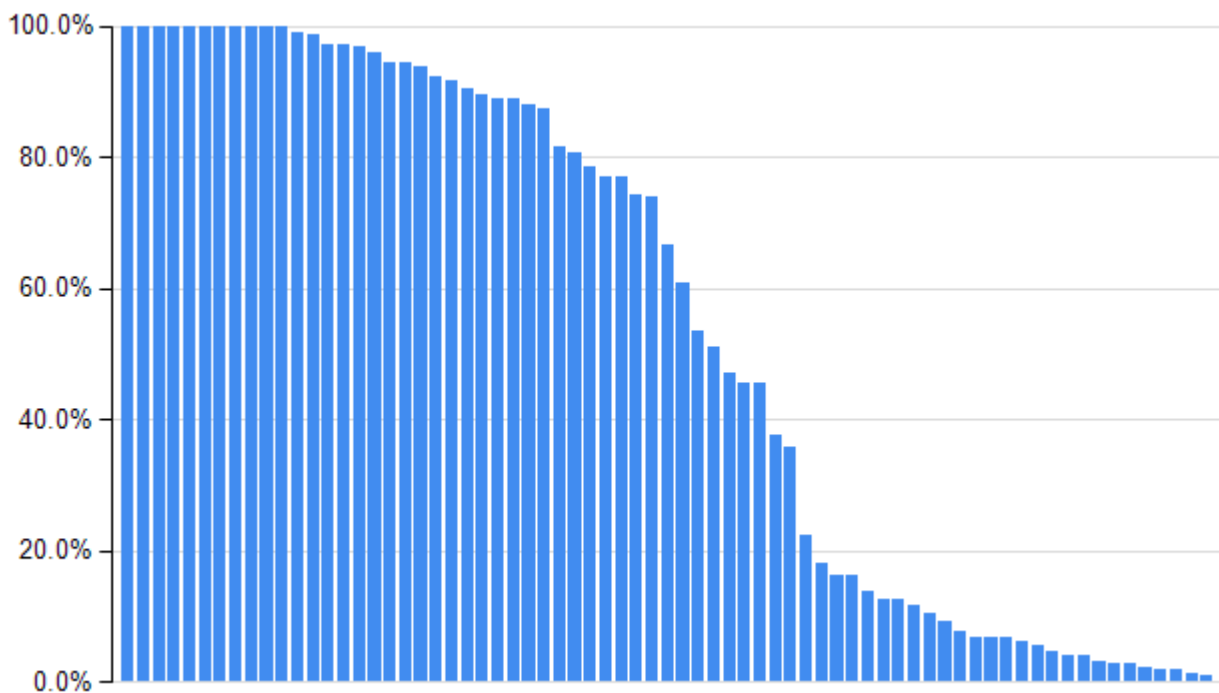
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3364
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

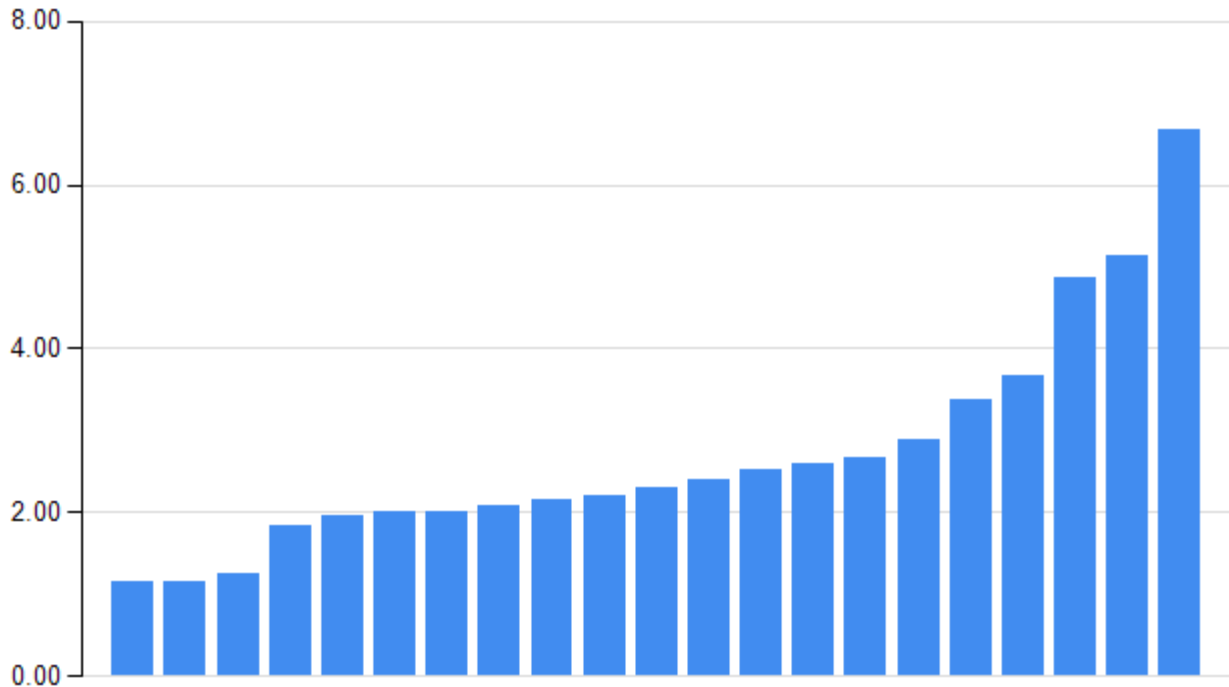
期間症例 10例未満の病院を除外し、71/87病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2813	1340	47.6%

指標番号	3371
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：肺切除術（開腹）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 肺切除術（開腹）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、21/87病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
805	2294	2.85

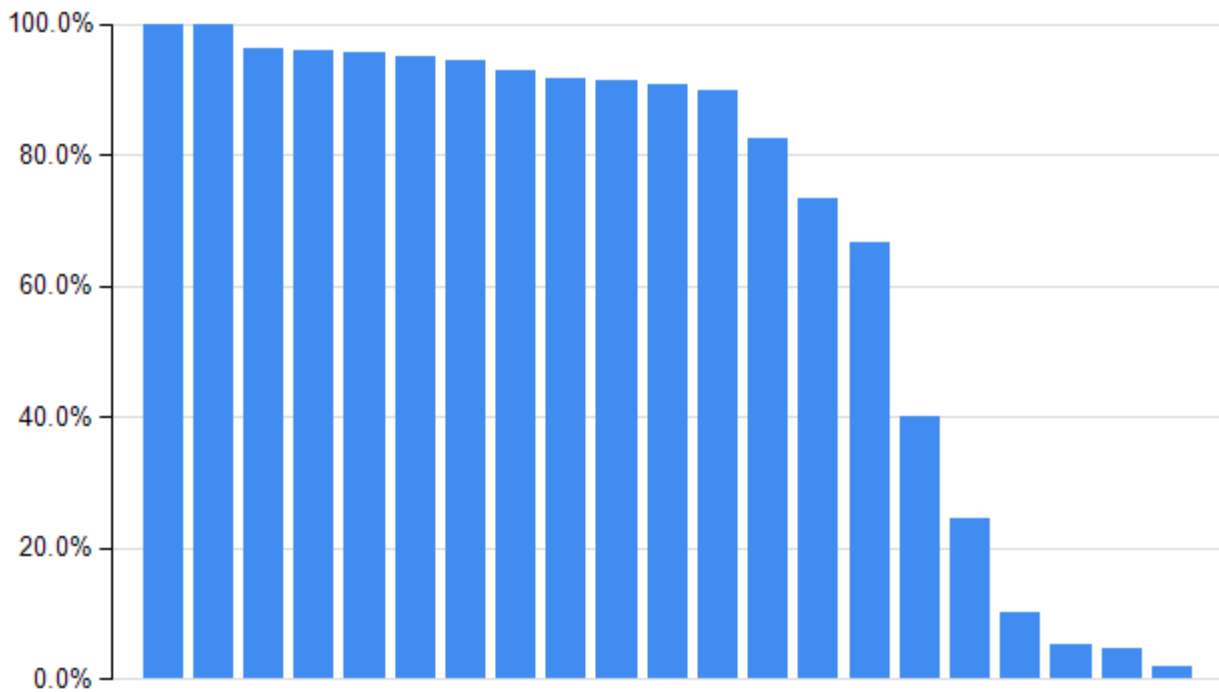
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3372
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：肺切除術（開腹）

分子：手術実施日の翌々日（手術実施日+2）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：肺切除術（開腹）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、21/73病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
762	530	69.6%

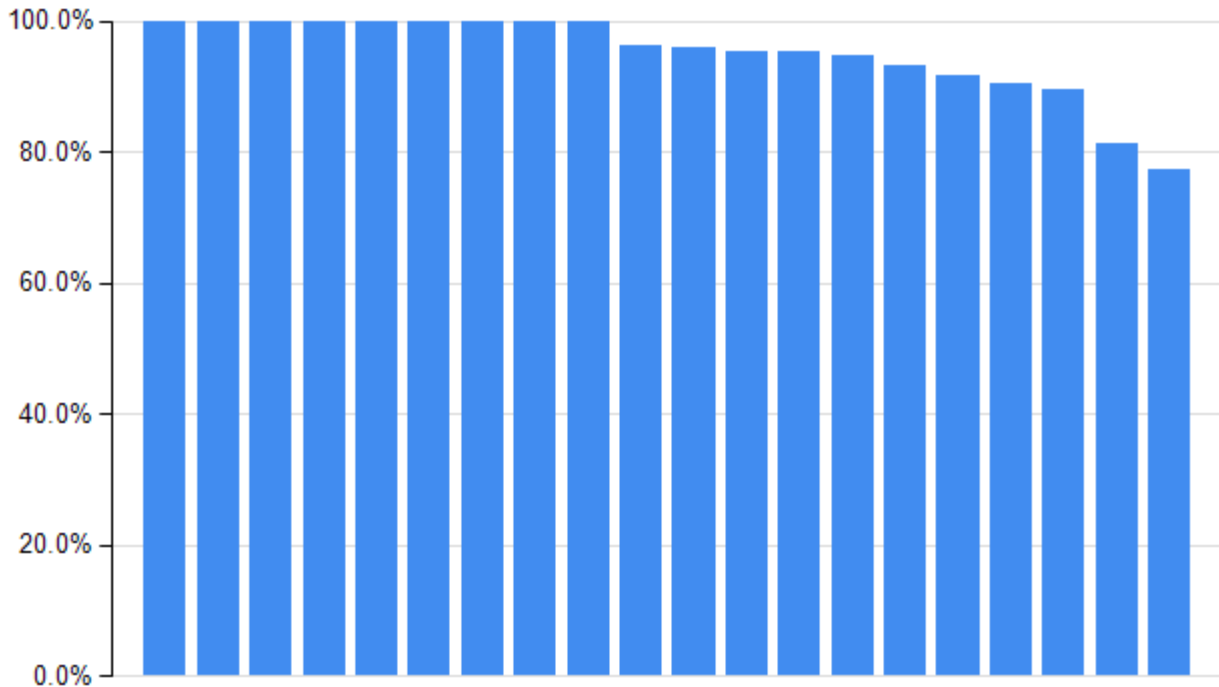
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3373
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：肺切除術（開腹）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：肺切除術（開腹）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、20/80病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
799	754	94.4%

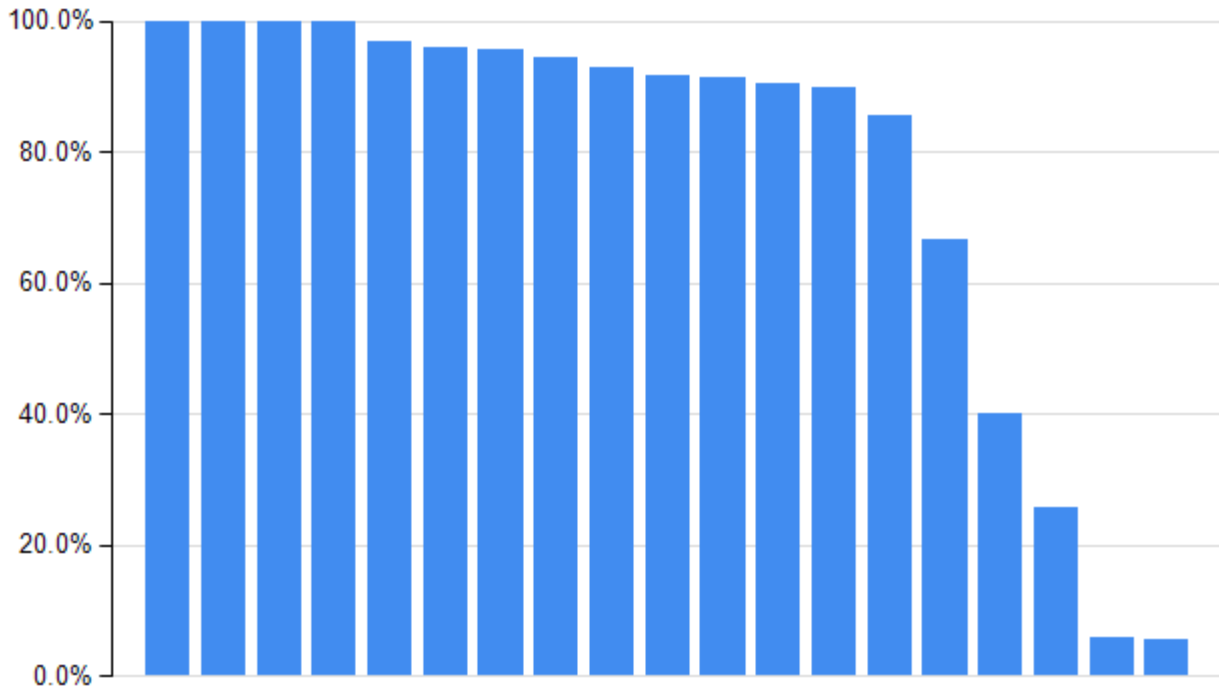
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3374
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：肺切除術（開腹）

分子：手術実施日の翌々日（手術実施日+2）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：肺切除術（開腹）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、19/66病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
694	522	75.2%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3381
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：顎変形症手術

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 顎変形症手術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、2/9病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
37	105	2.84

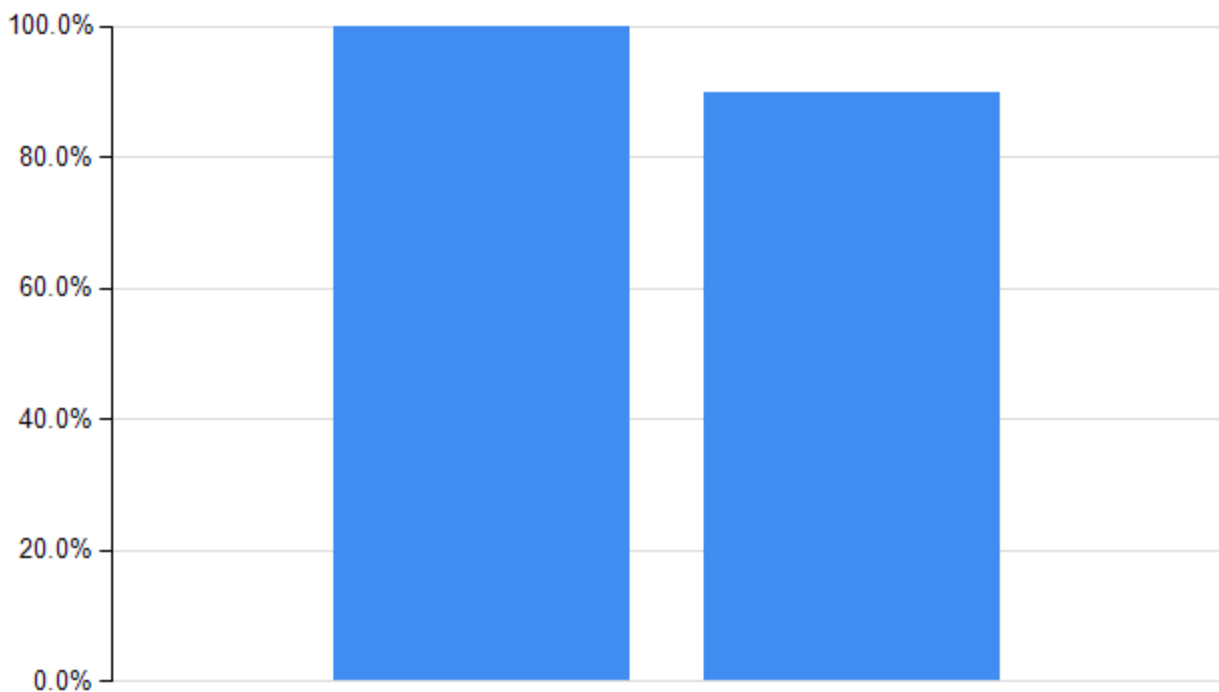
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3382
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：顎変形症手術

分子：手術実施日の翌々々日（手術実施日+3）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：顎変形症手術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、2/6病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
32	28	87.5%

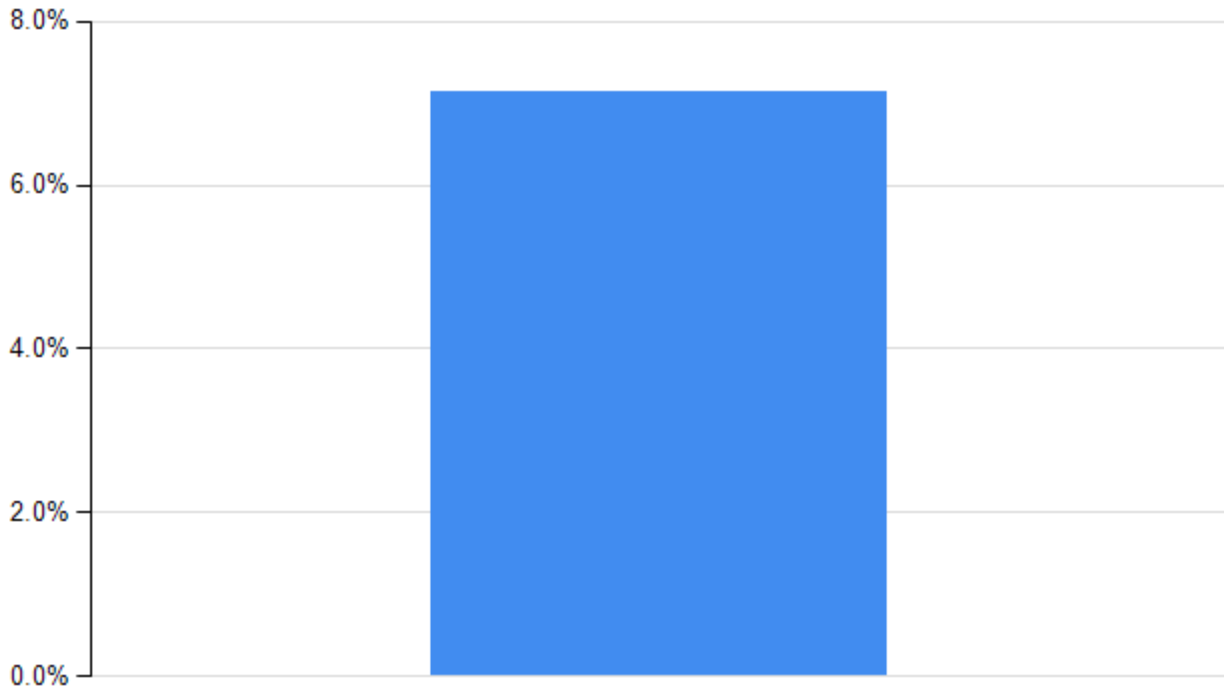
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3383
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：顎変形症手術

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：顎変形症手術が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、1/4病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
21	4	19.0%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3384
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：顎変形症手術

分子：手術実施日の翌々々日（手術実施日+3）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：顎変形症手術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、0/2病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2	2	100.0%

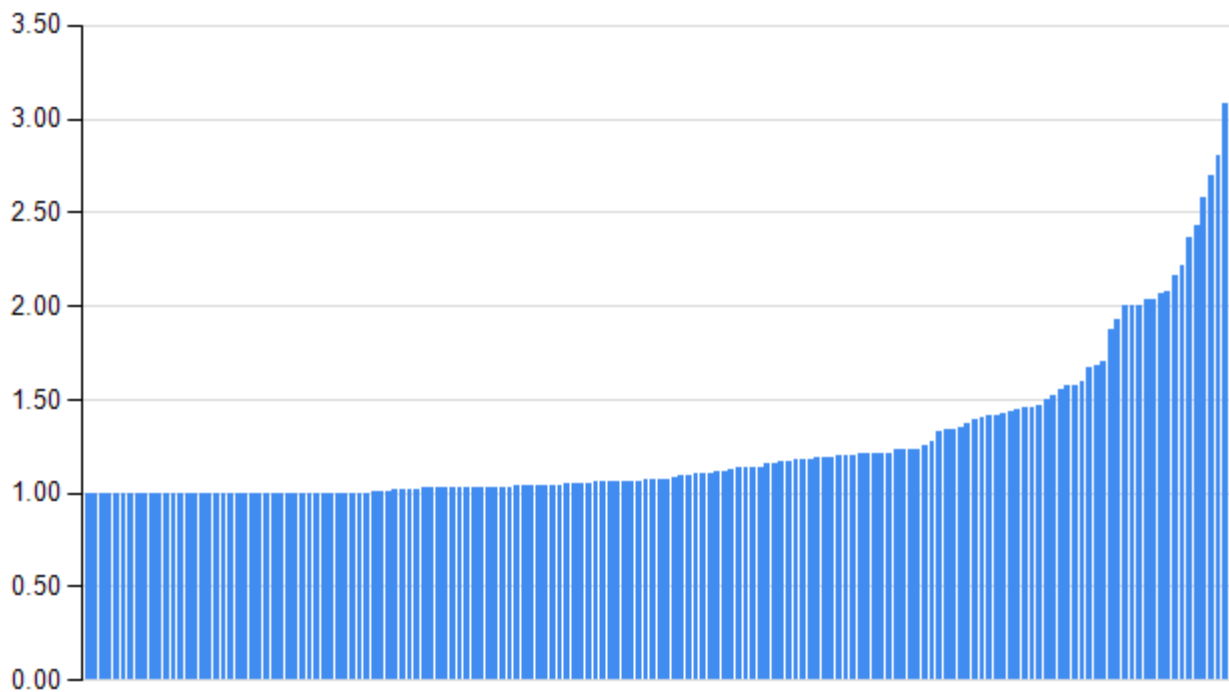
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3391
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、160/215病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7261	8601	1.18

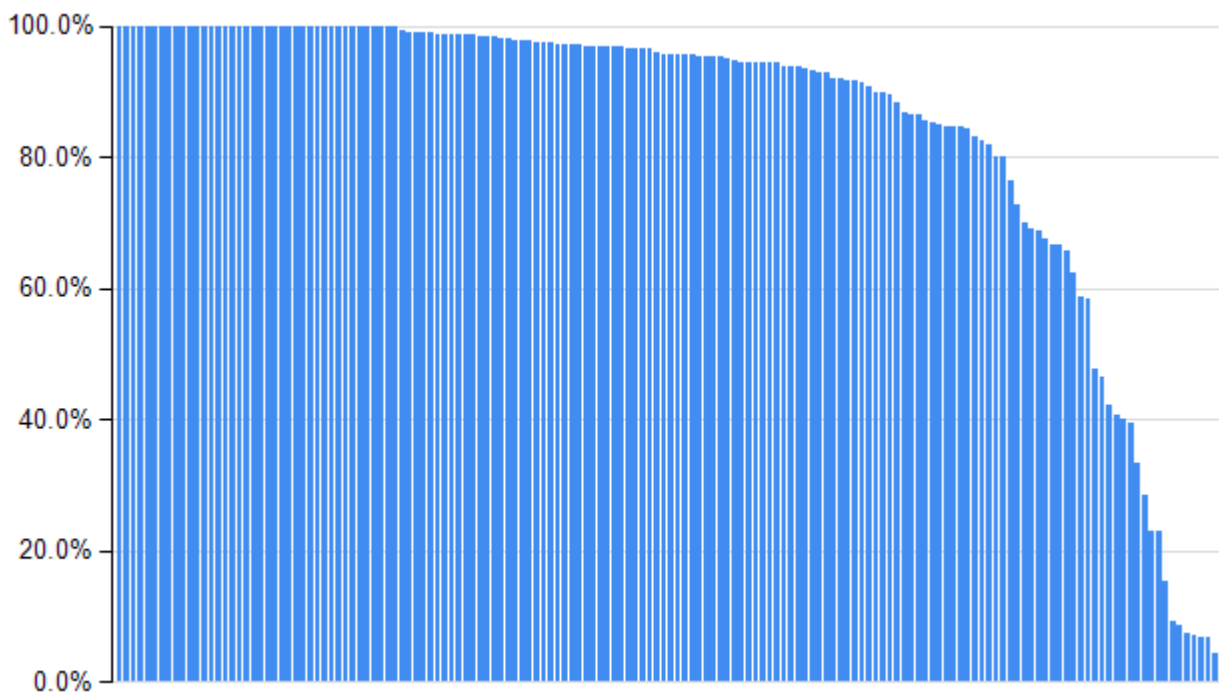
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3392
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

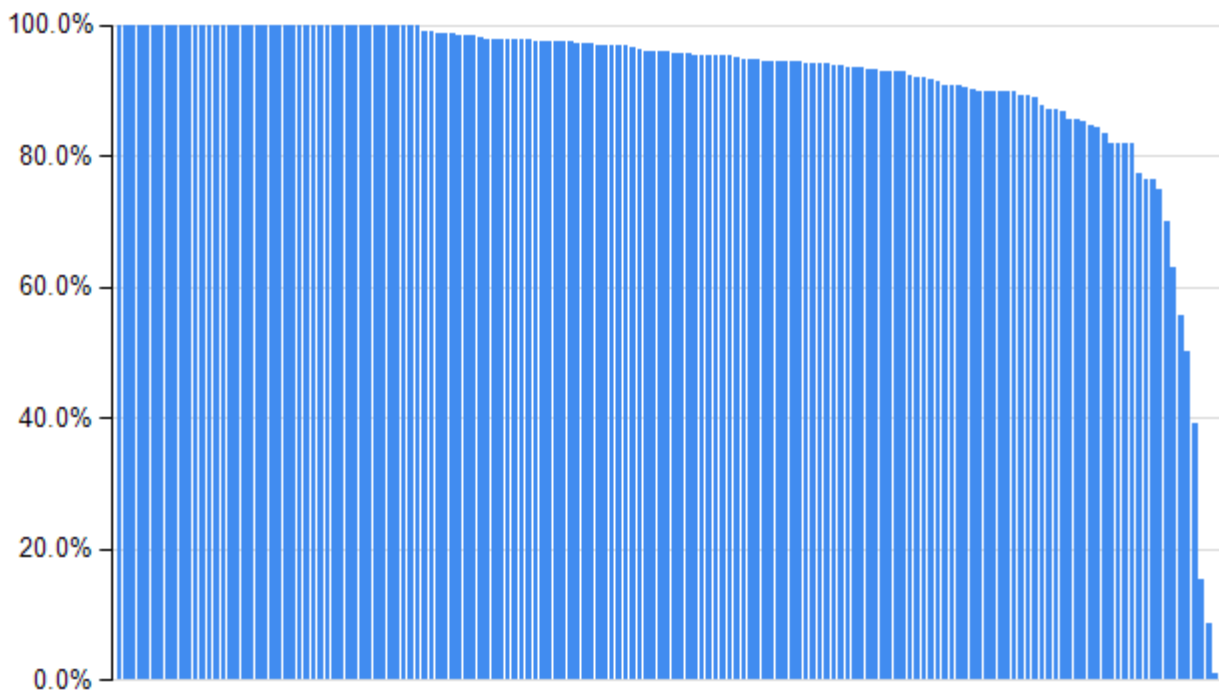
期間症例 10例未満の病院を除外し、156/203 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7125	6395	89.8%

指標番号	3393
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、159/207病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7380	6757	91.6%

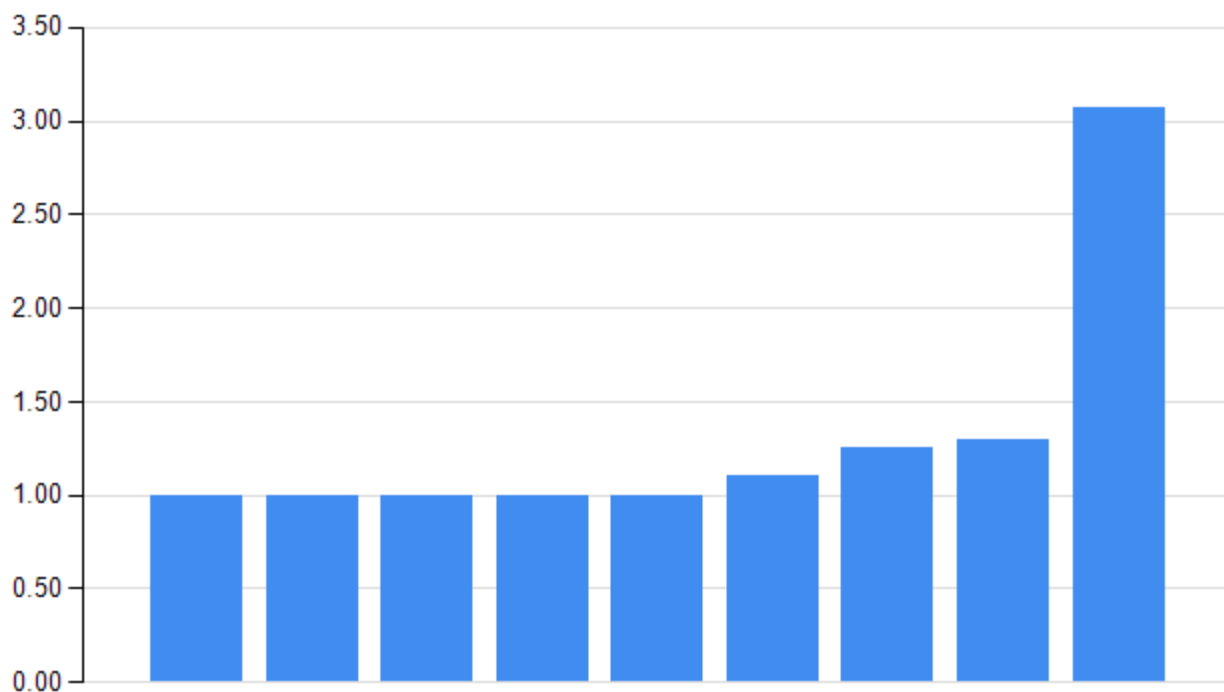
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3401
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、9/129病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
507	707	1.39

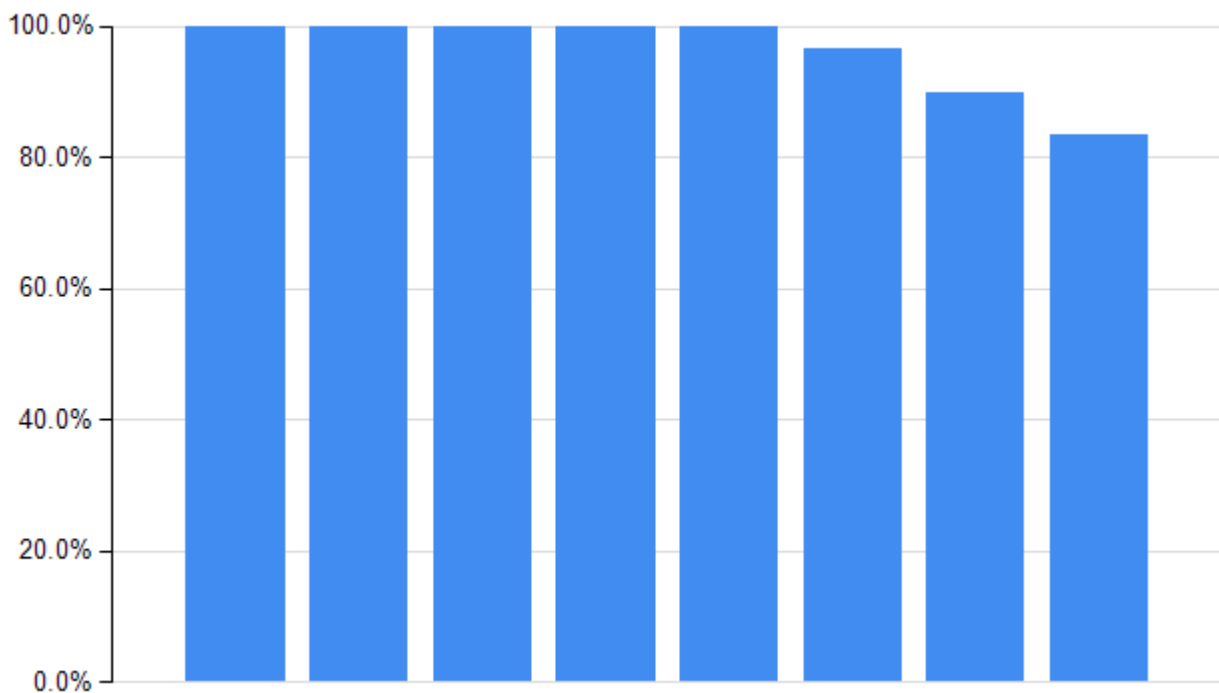
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3402
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

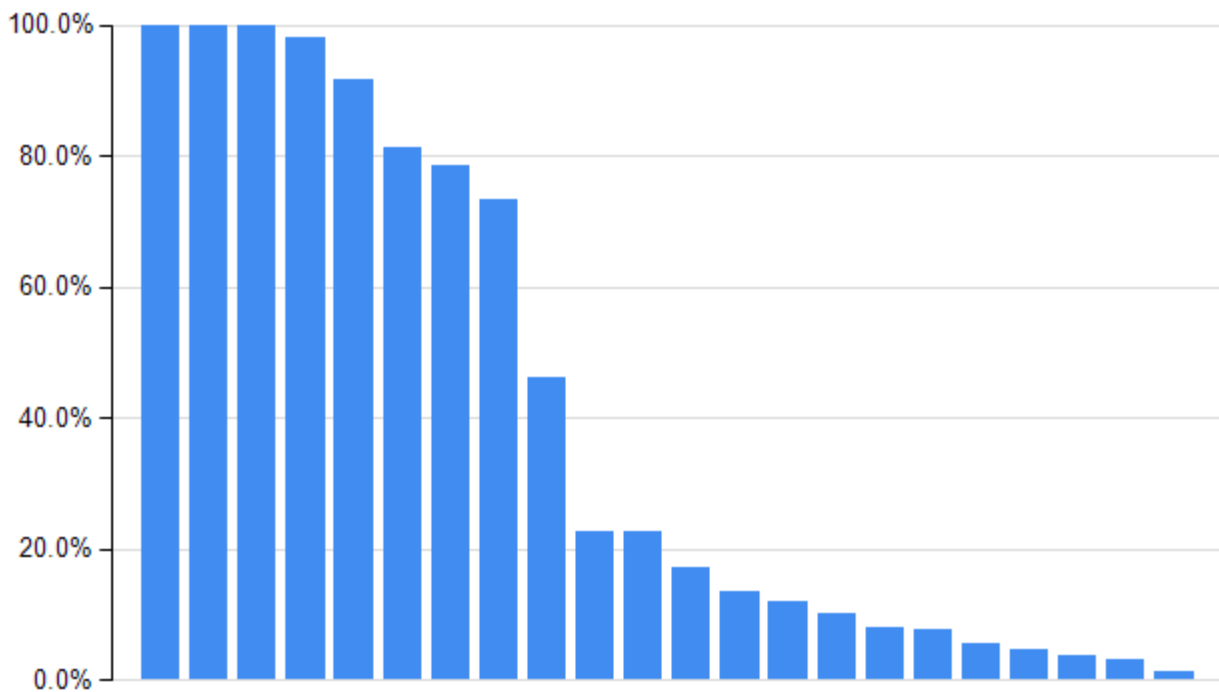
期間症例 10例未満の病院を除外し、8/108病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
457	423	92.6%

指標番号	3403
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）が行われた症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、22/123病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1011	460	45.5%

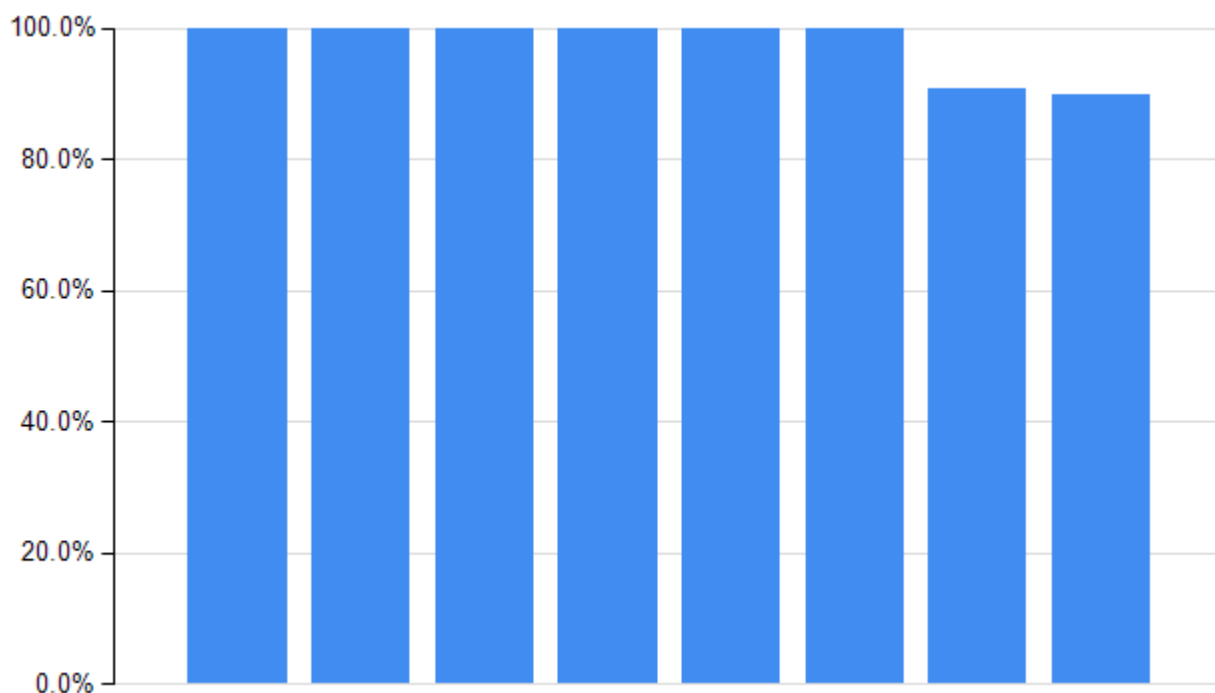
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3404
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）日に抗菌薬の投与が開始されている手術件数のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

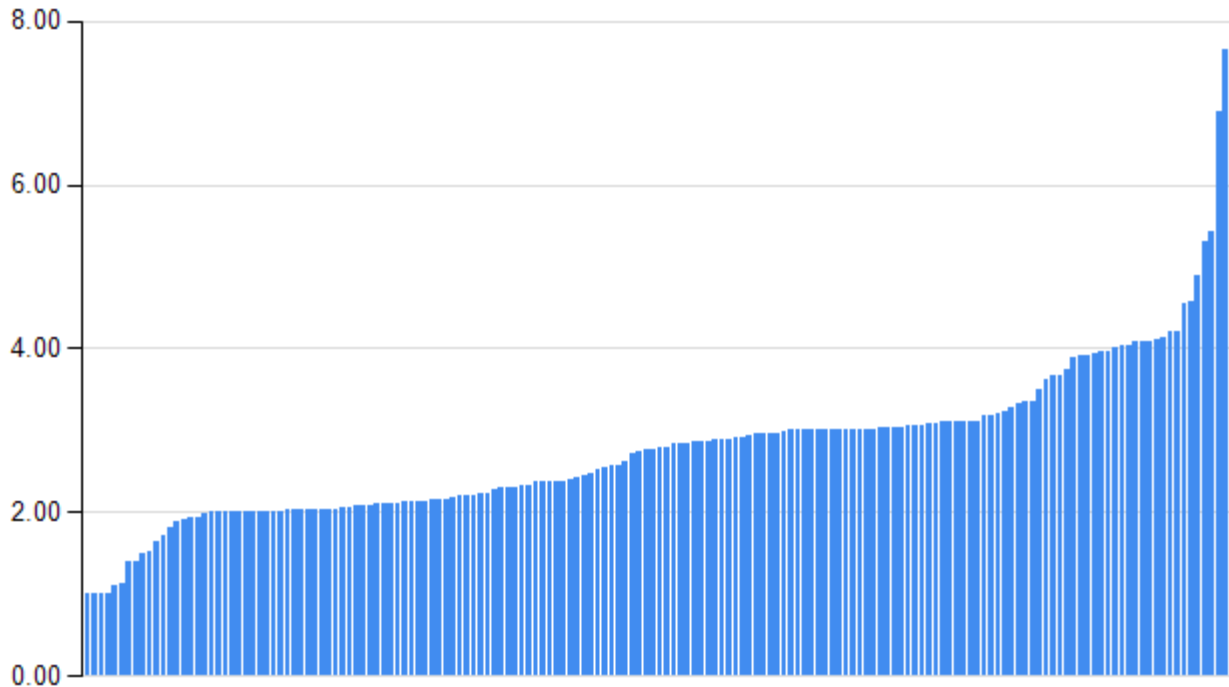
期間症例 10例未満の病院を除外し、8/106病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
421	404	96.0%

指標番号	3411
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：人工関節置換術

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 人工関節置換術日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、166/199病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
13521	36388	2.69

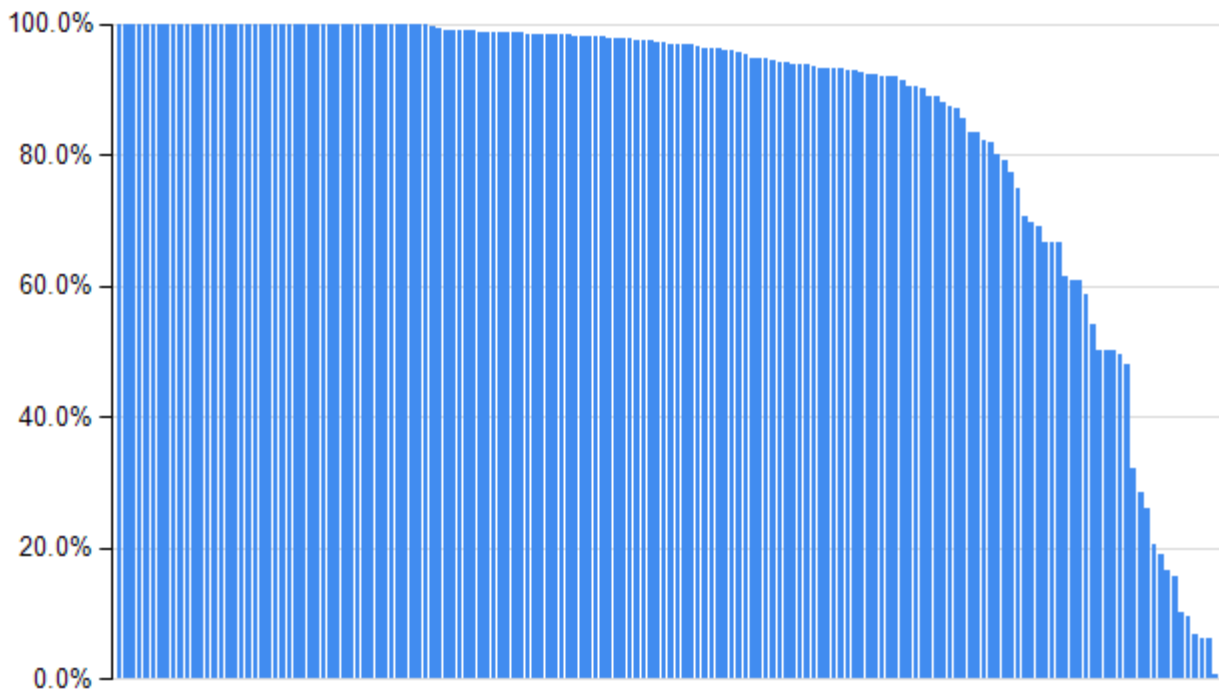
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3412
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：人工関節置換術

分子：手術実施日の翌日（手術実施日+3）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：人工関節置換術日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、162/190病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
13348	11773	88.2%

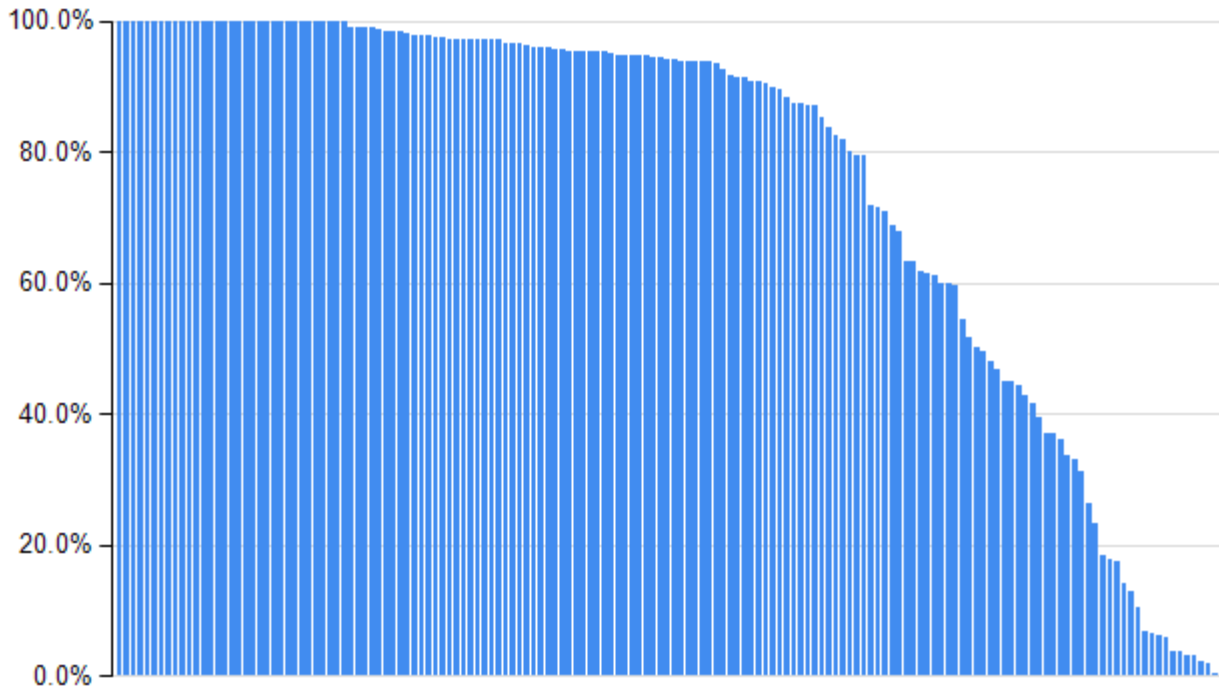
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3413
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：人工関節置換術

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：人工関節置換術日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、157/184病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
13032	8998	69.0%

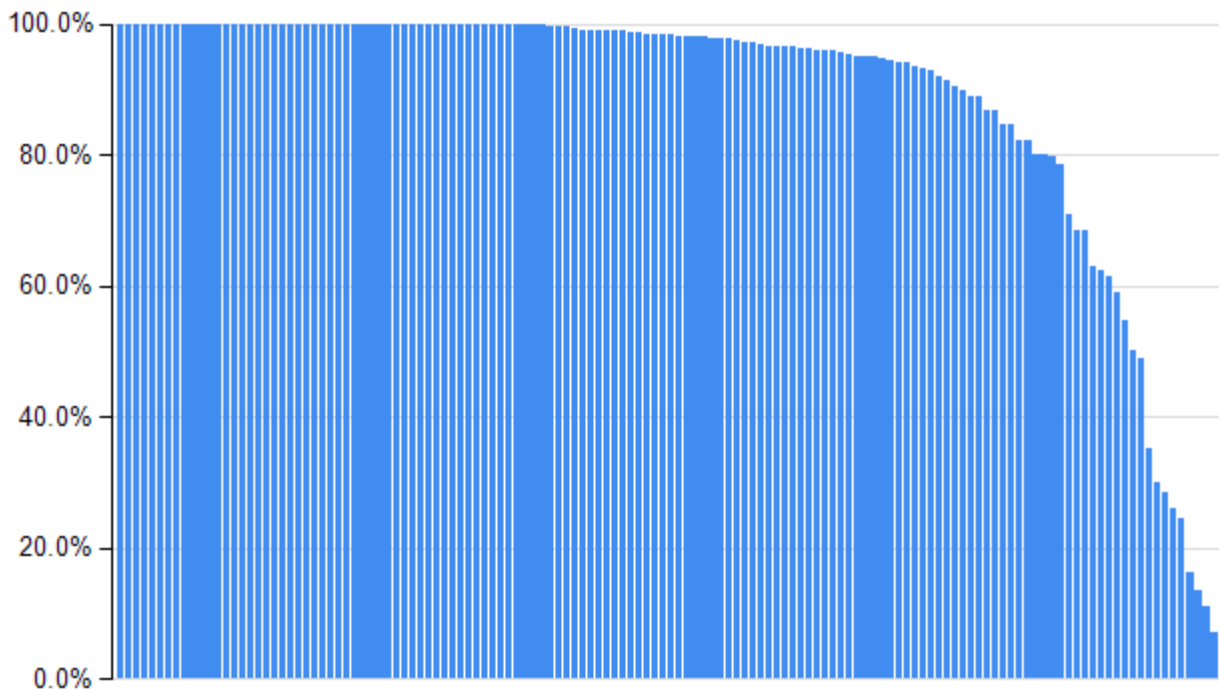
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3414
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：人工関節置換術

分子：手術実施日の3日目（手術実施日+3）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

分母：人工関節置換術日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、136/177病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
8944	8159	91.2%

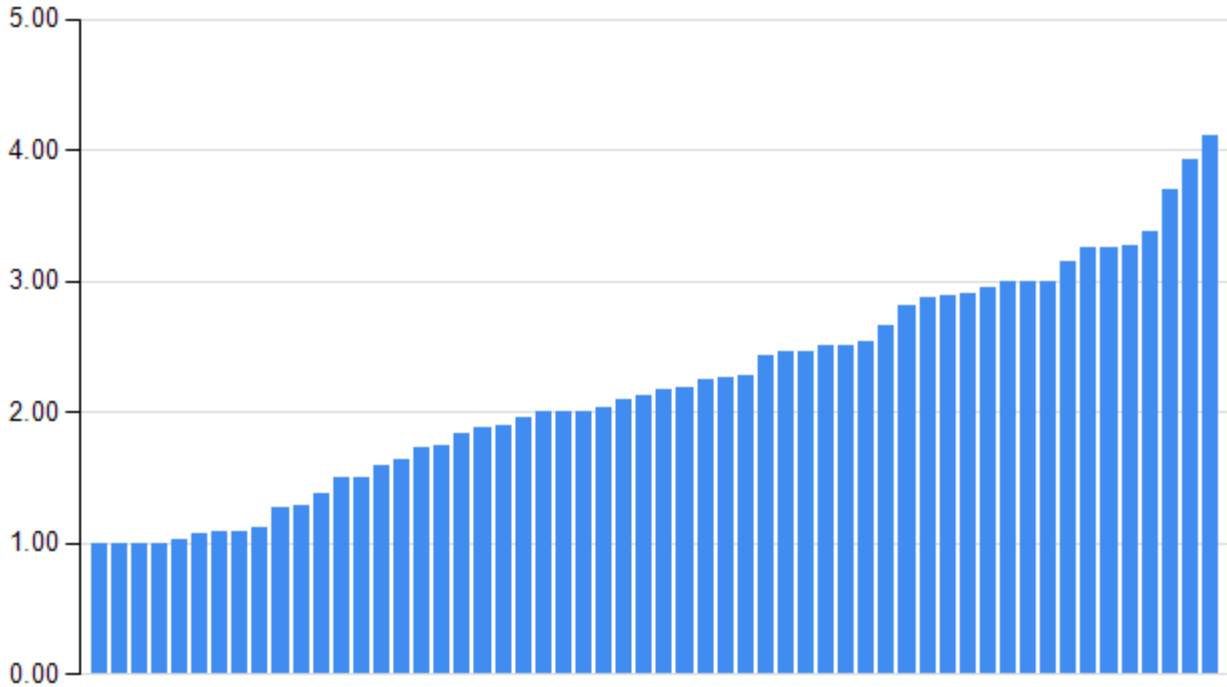
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3421
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：経尿道的前立腺切除術（TURP）

分子： 抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

分母： 経尿道的前立腺切除術（TURP）日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、56/135病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1435	3108	2.17

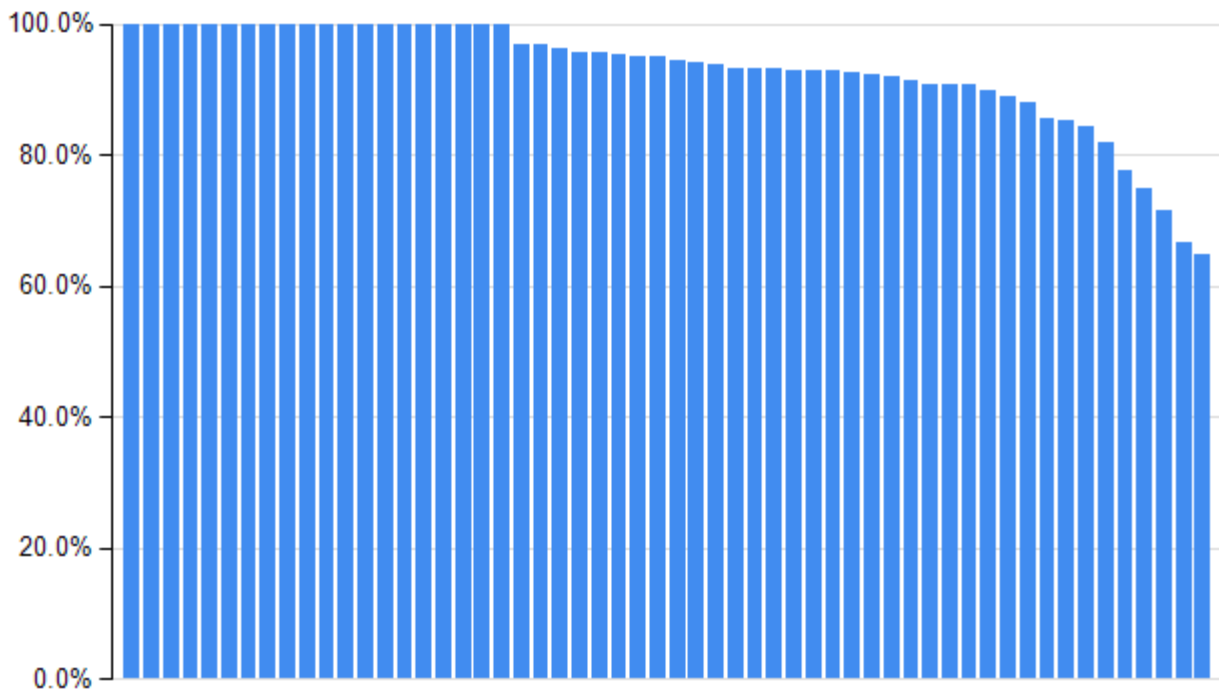
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3422
指標名	周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：経尿道的前立腺切除術（TURP）

分子：手術実施日の4日目（手術実施日+4）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

分母：経尿道的前立腺切除術（TURP）日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

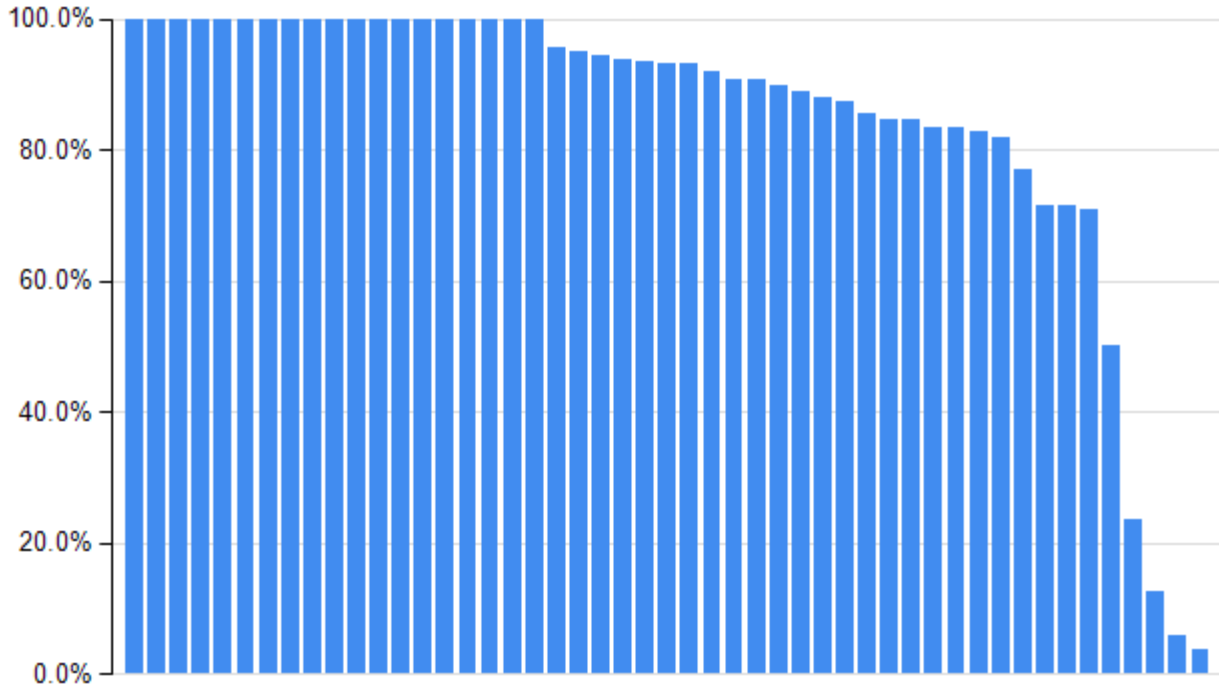
期間症例10例未満の病院を除外し、56/133病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1430	1331	93.1%

指標番号	3423
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：経尿道的前立腺切除術（TURP）

分子：手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

分母：経尿道的前立腺切除術（TURP）日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、49/109病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1234	1051	85.2%

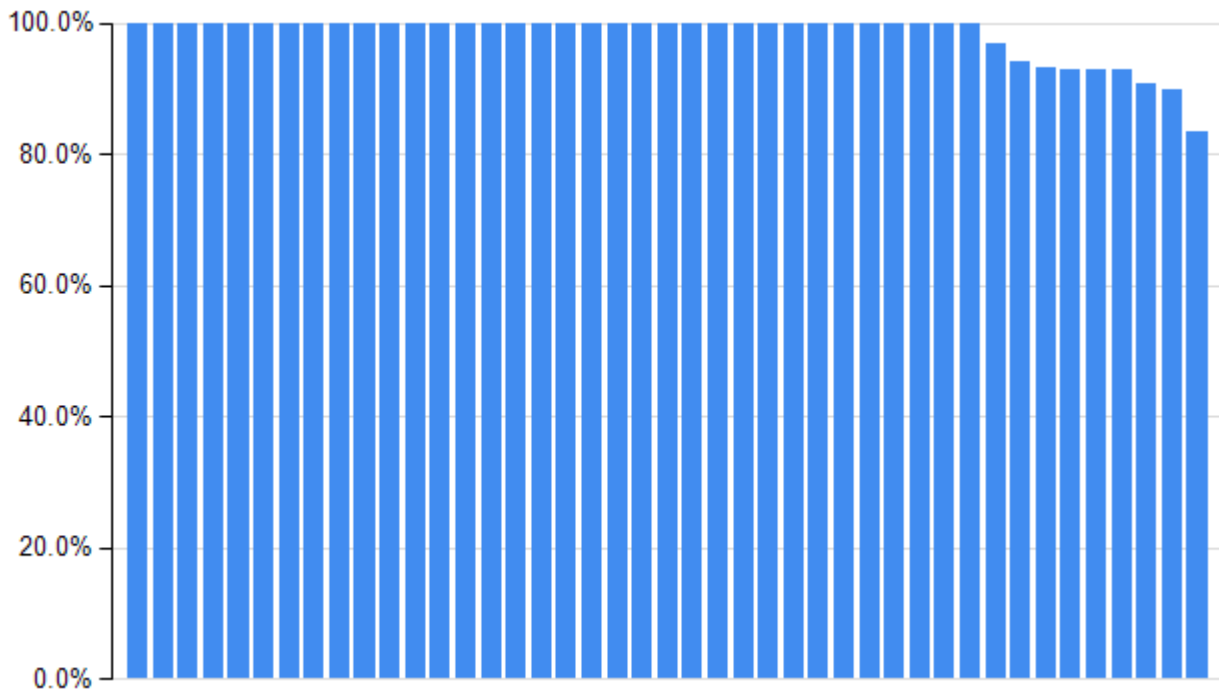
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	3424
指標名	周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：経尿道的前立腺切除術 (TURP)

分子：手術実施日の4日目（手術実施日+4）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

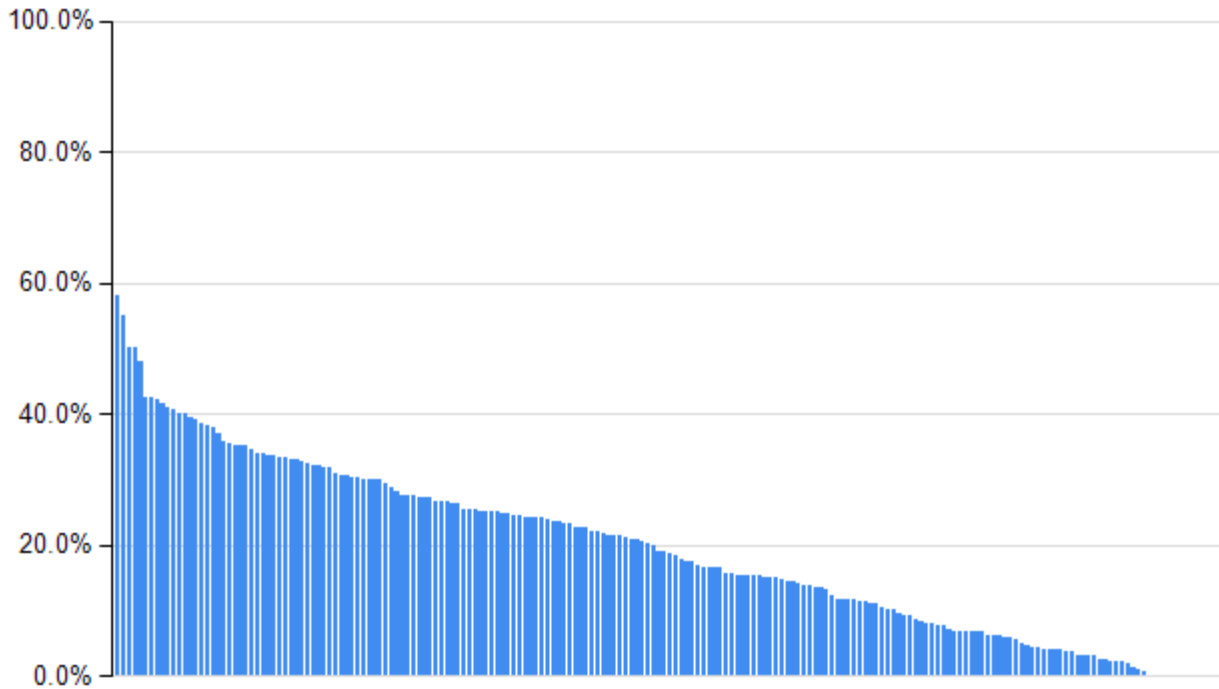
分母：経尿道的前立腺切除術（TURP）日に抗菌薬の投与が開始されている入院手術件数のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例



指標番号	2042
指標名	小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合

分子： 分母のうち、時間外または深夜に緊急入院した症例（分子の数値も指標）

分母： 15歳以下の退院症例、院内出生症例を除く



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、198/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
95048	24168	25.4%

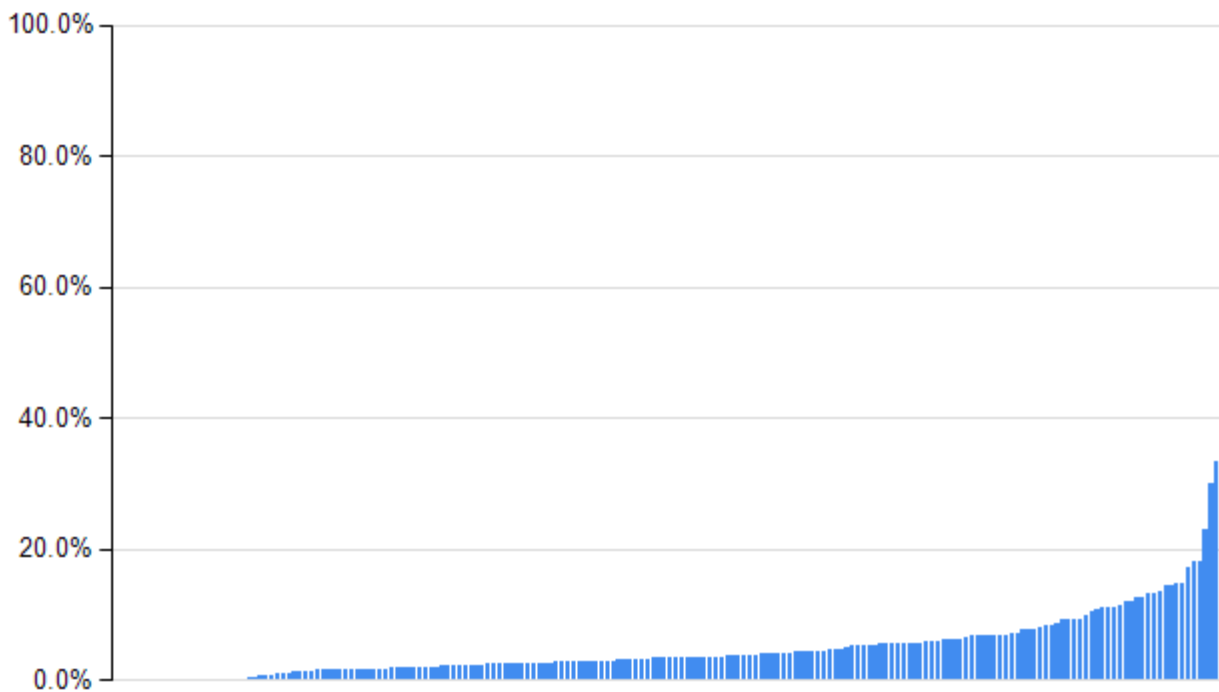
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2060
指標名	[測定終了] 4大癌・悪性腫瘍手術症例における大量輸血の割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん）

分子： 分母のうち、大量に輸血の実施された症例

分母： 4大癌・悪性腫瘍に対する手術症例（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、194/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
22749	769	3.4%

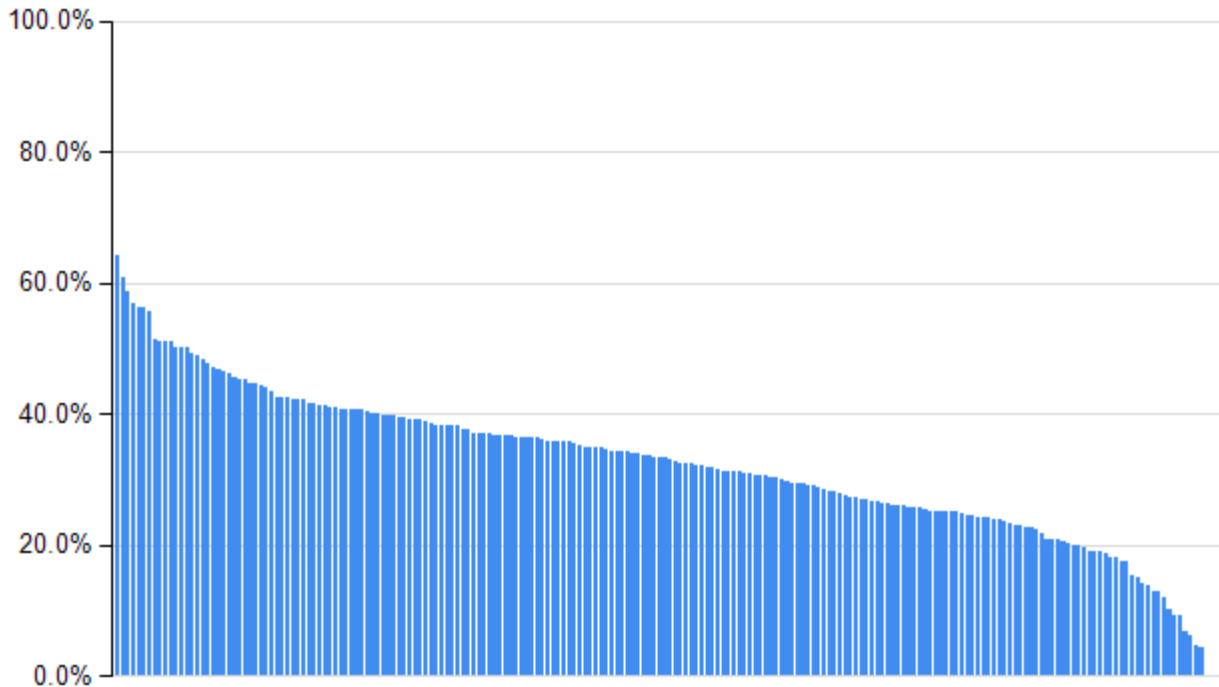
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2064
指標名	[測定終了] 5大癌初発に対する入院のうち StageI までの割合

分子： 分母のうち、StageI までの割合

分母： 5大癌初発に対する初回入院（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、208/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
44574	16090	36.1%

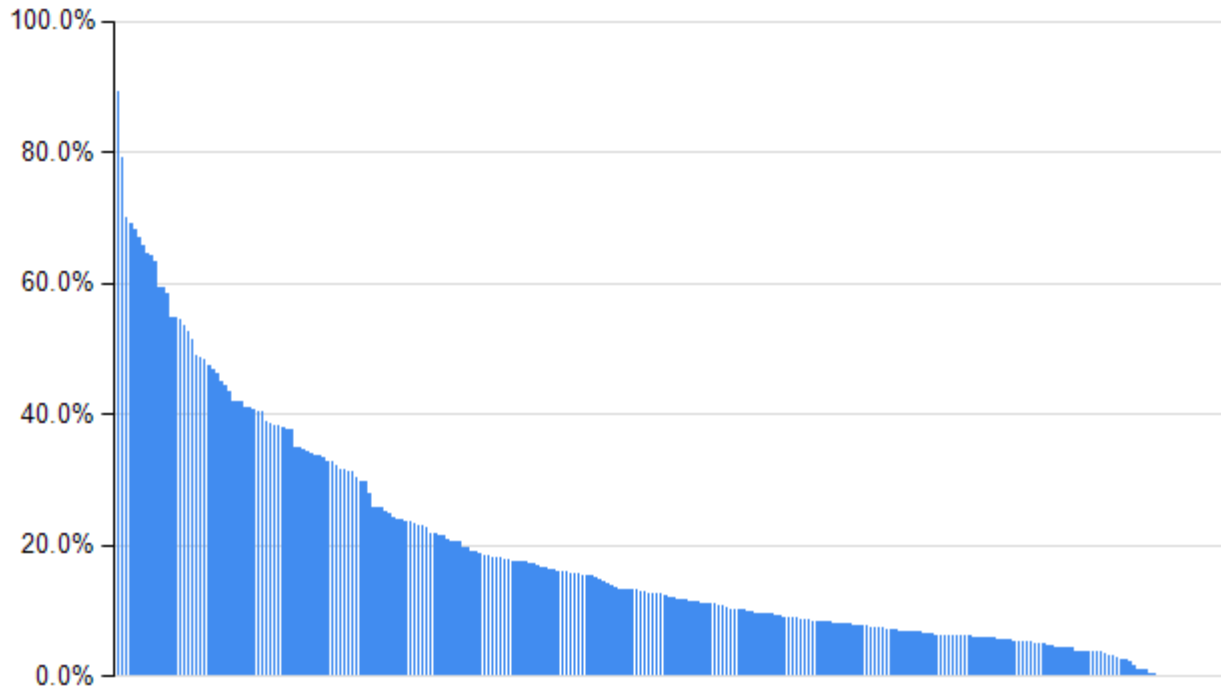
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2071
指標名	悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合

分子： 分母のうち、退院調整を行った症例

分母： 悪性腫瘍入院症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、269/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
299171	57219	19.1%

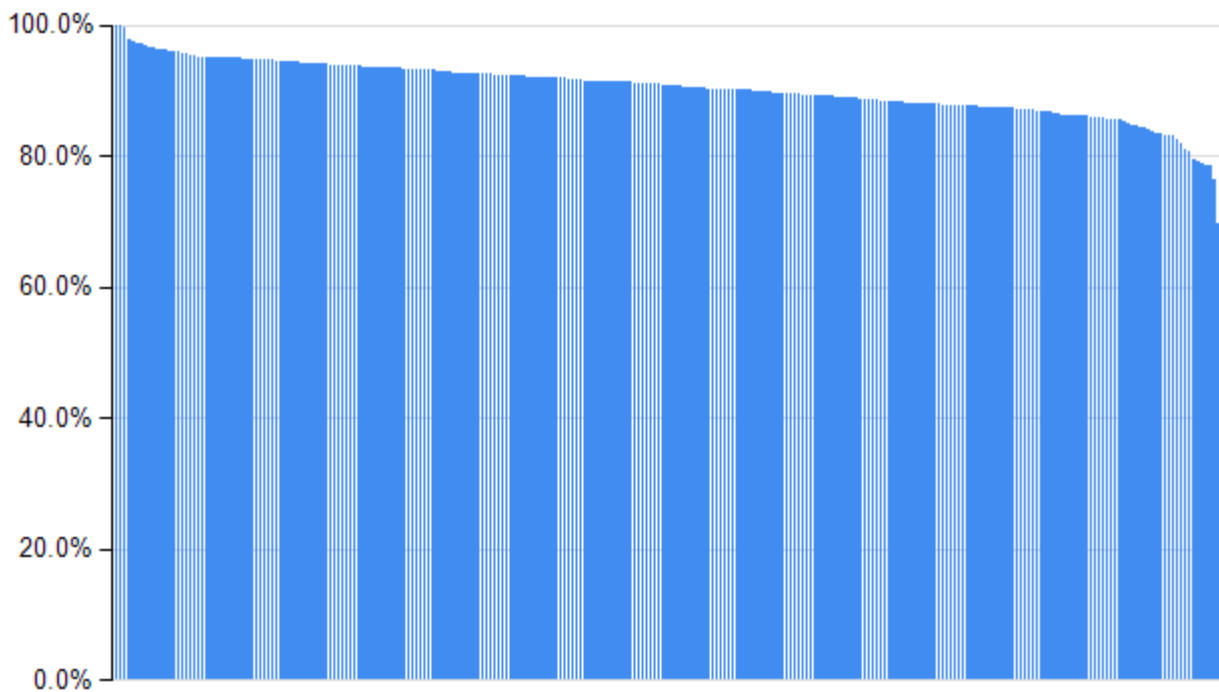
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2028
指標名	[測定終了予定]救急搬送により入院した症例の救命率（31 日後生存/救急搬送入院）

分子： 分母のうち、生存退院もしくは入院日数が 31 日以上であった症例数

分母： 救急搬送により入院した症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、269/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
298276	268726	90.1%

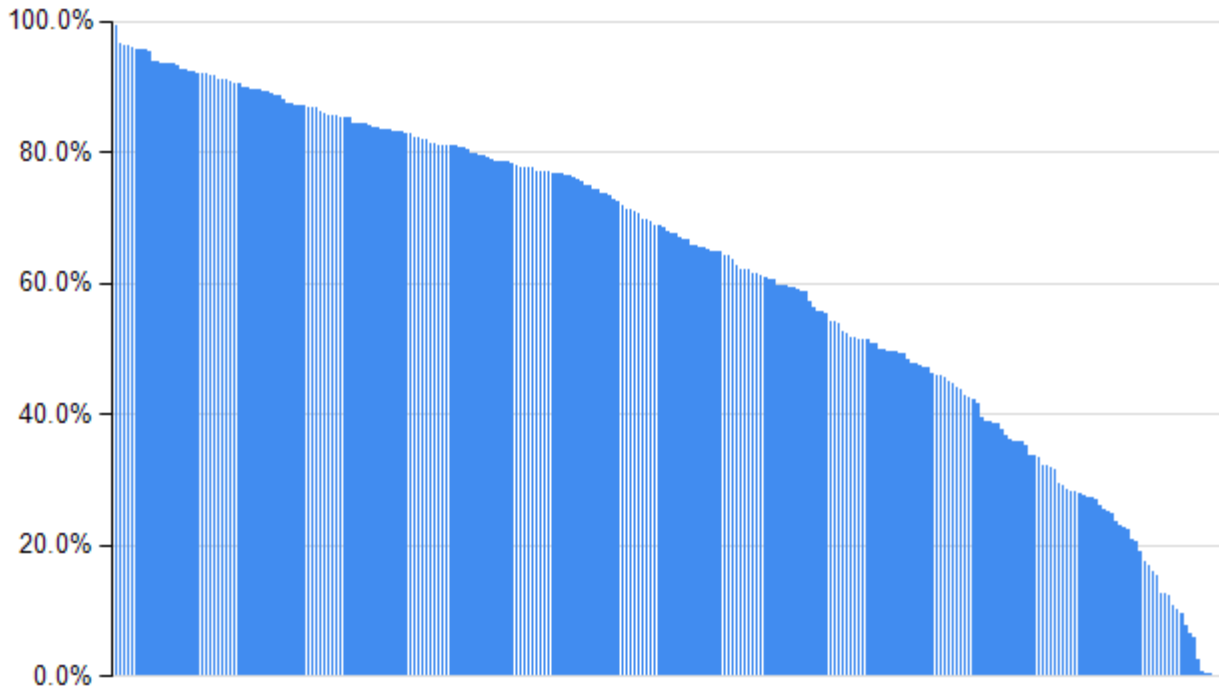
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2048
指標名	薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）

分子：分母のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

分母：入院症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1467931	974690	66.4%

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2054
指標名	[測定終了] 退院前 30 日間に、何らかの検査は行われている割合

分子： 分母のうち、退院前 30 日間に検査実施がない症例数

分母： 退院患者数

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、0/0 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均

2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2055
指標名	[測定終了] 退院前 1 週間に、何らかの検査は行われている割合

分子： 分母のうち、退院前 7 日間に、検査実施が 1 以上はある症例数

分母： 退院患者数

使用できるデータはありません

データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、0/0 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均

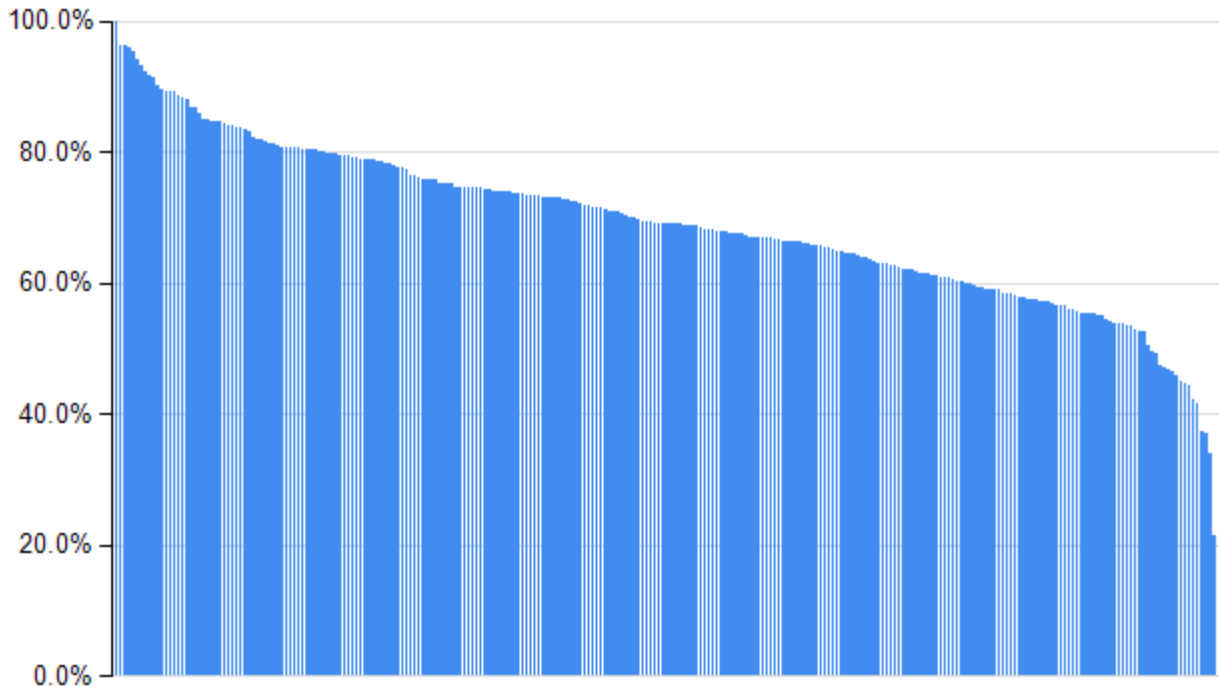
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2079
指標名	糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

分子：分母のうち、特別食加算の算定

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の食事



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、267/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4388063	3026351	69.0%

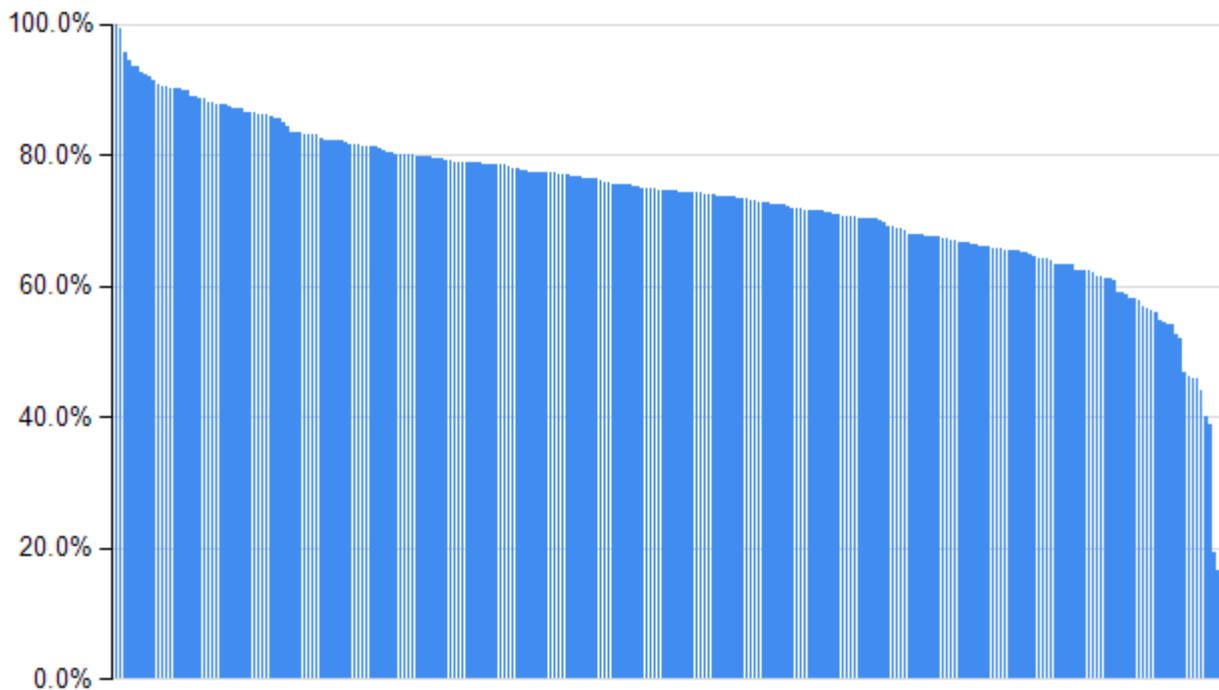
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2080
指標名	糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合

分子：分母のうち、特別食加算の算定

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の入院翌日までの食事



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、265/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
407775	304367	74.6%

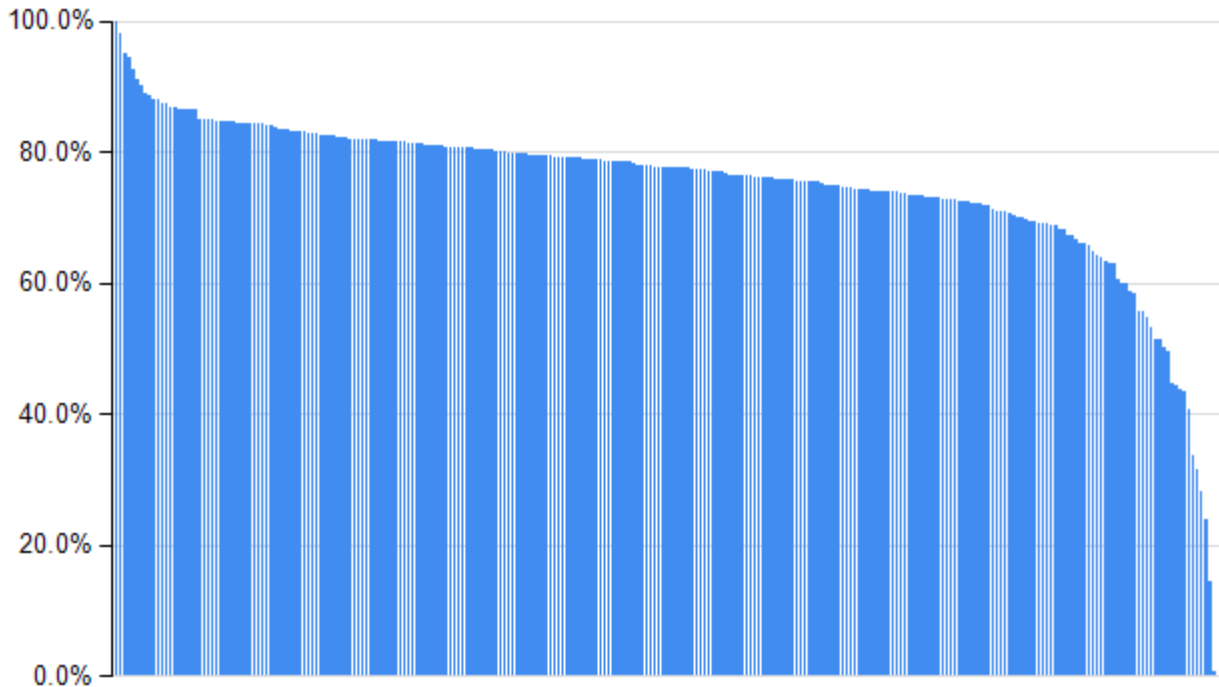
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2027
指標名	高難易度（外保連試案技術度 D・E）手術実施割合

分子：高難易度（外保連試案技術度 D・E）手術実施数

分母：手術実施件数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、265/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
396575	312928	78.9%

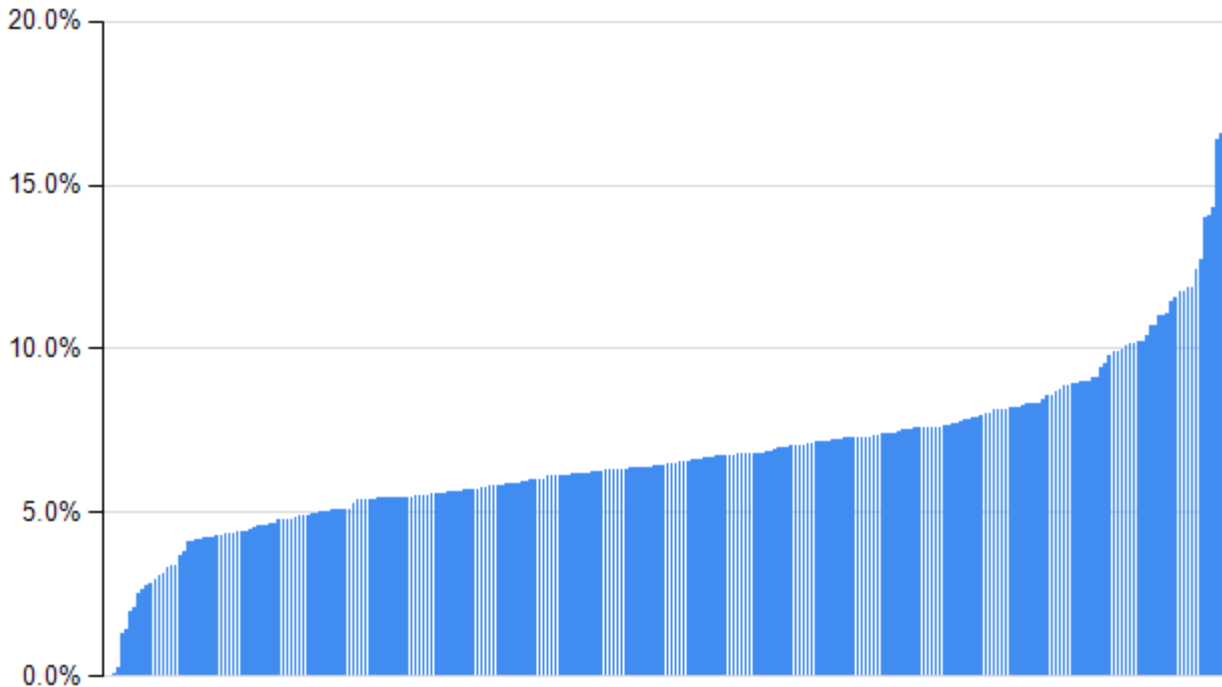
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2083
指標名	退院後 6 週間以内の再入院率

分子：退院日を 1 として、42 日以内の再入院を行った退院症例数（予定再入院を除く）

分母：退院症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 **2018 年度（平成 30 年度）**

期間症例 10 例未満の病院を除外し、271/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1467931	95928	6.5%

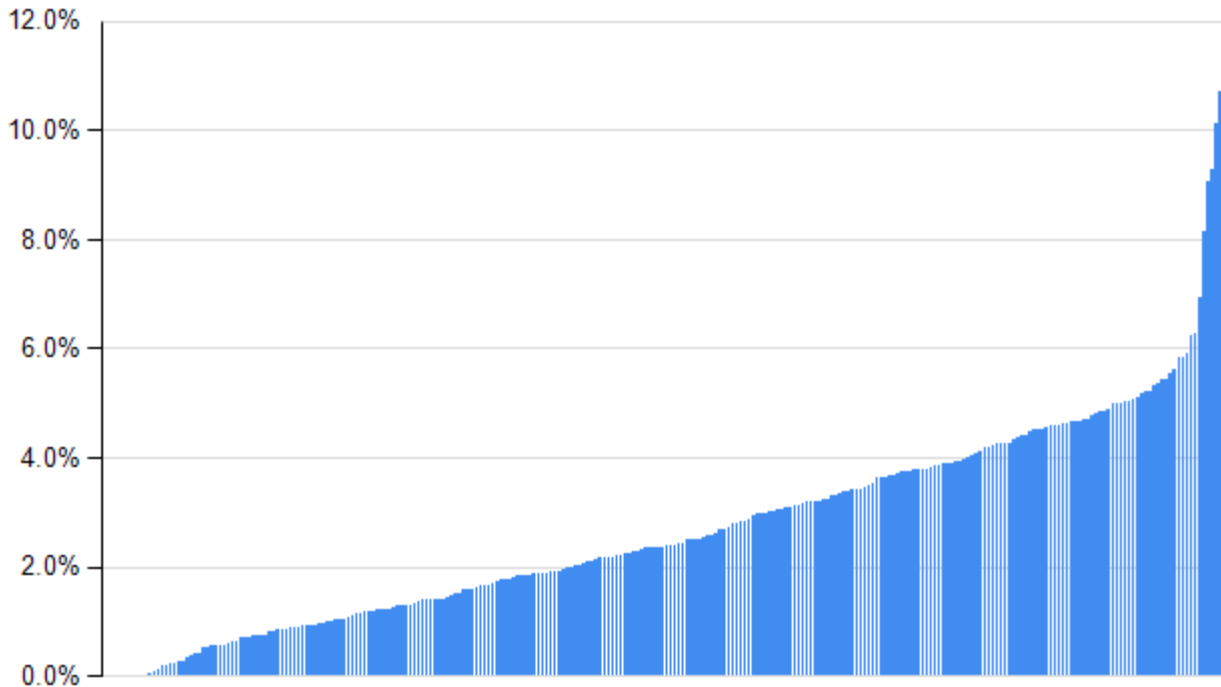
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2084
指標名	退院後 6 週間以内の救急医療入院率

分子：退院日を 1 として、42 日以内の救急医療入院を行った退院症例数

分母：退院症例数



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 **2018 年度（平成 30 年度）**

期間症例 10 例未満の病院を除外し、271/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1449647	40377	2.8%

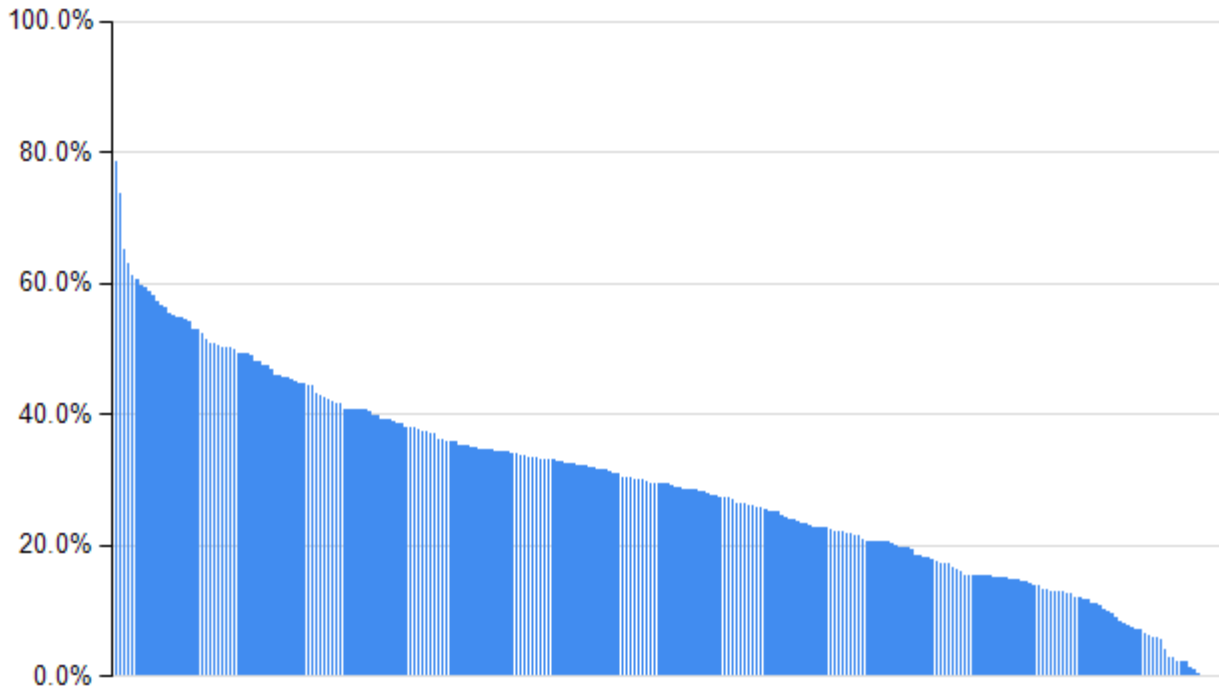
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2088
指標名	緊急入院の割合

分子：緊急入院

分母：入院経路が一般入院「2」の症例の退院月で集計



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1449668	442335	30.5%

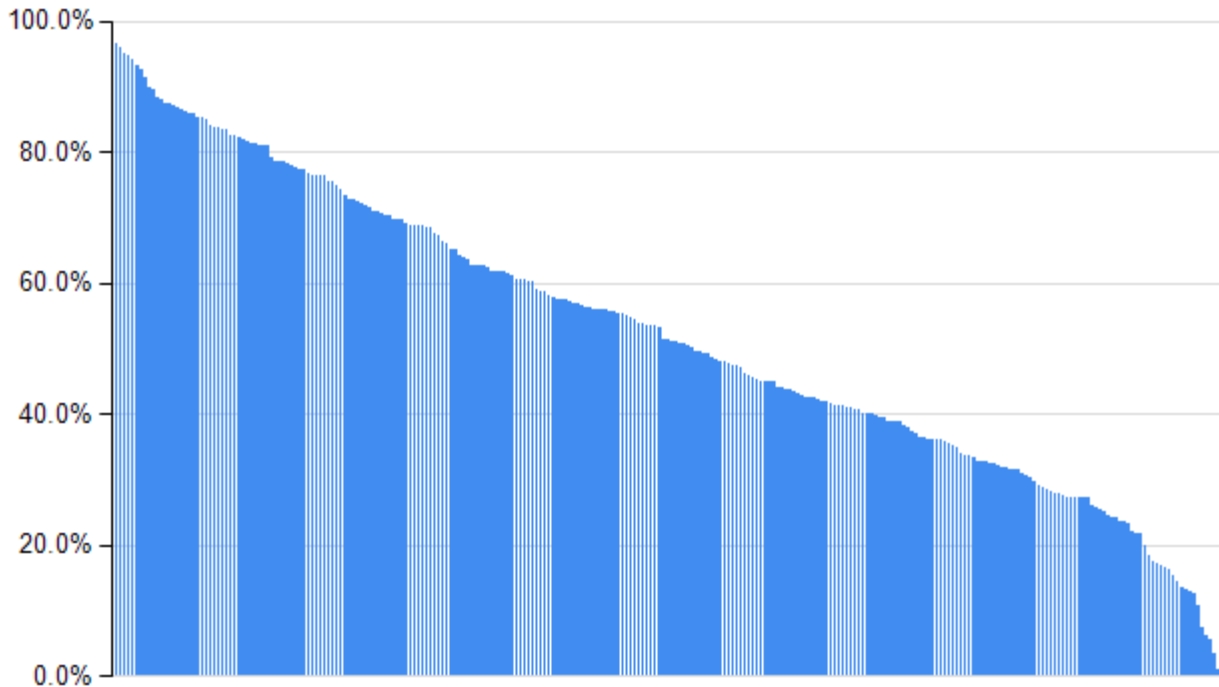
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2089
指標名	他院よりの紹介の有る入院の割合

分子：他院よりの紹介有「1」

分母：入院経路が一般入院「2」かつ、救急車による搬送がなし「0」の症例



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1152115	691214	60.0%

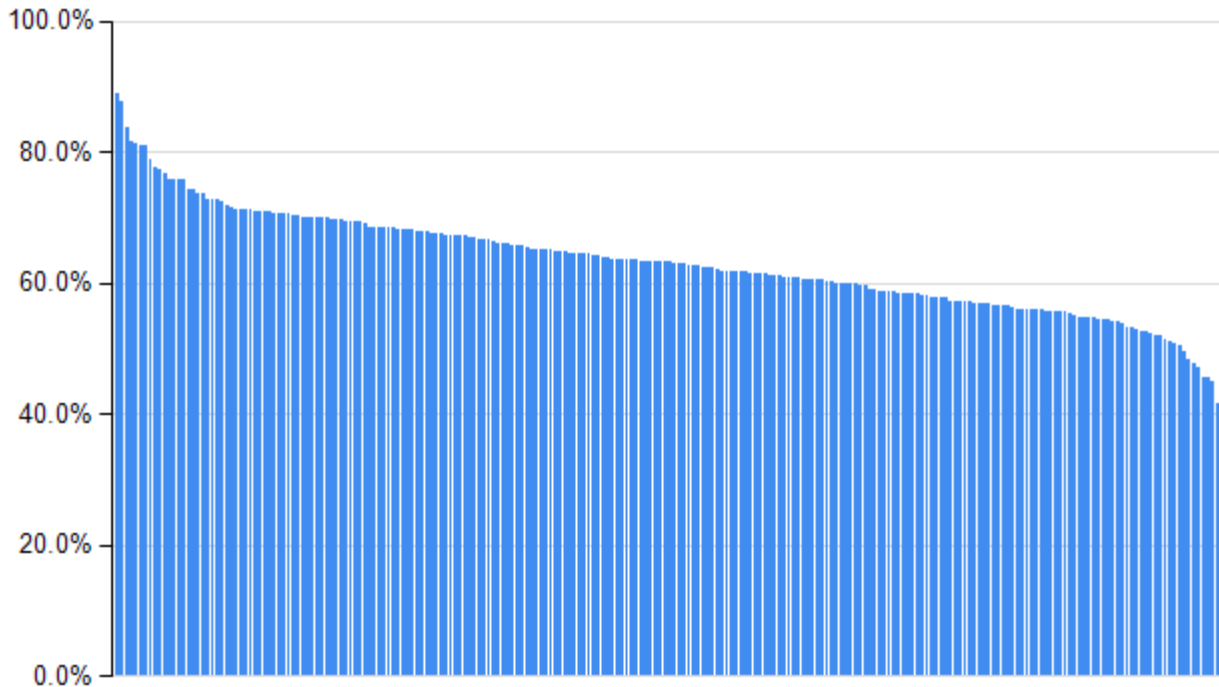
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2090
指標名	DPC 入院期間 II 以内の割合

分子：入院期間 II 以内の退院数

分母：退院症例数（DPC 分析対象）



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、232/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1267092	817005	64.5%

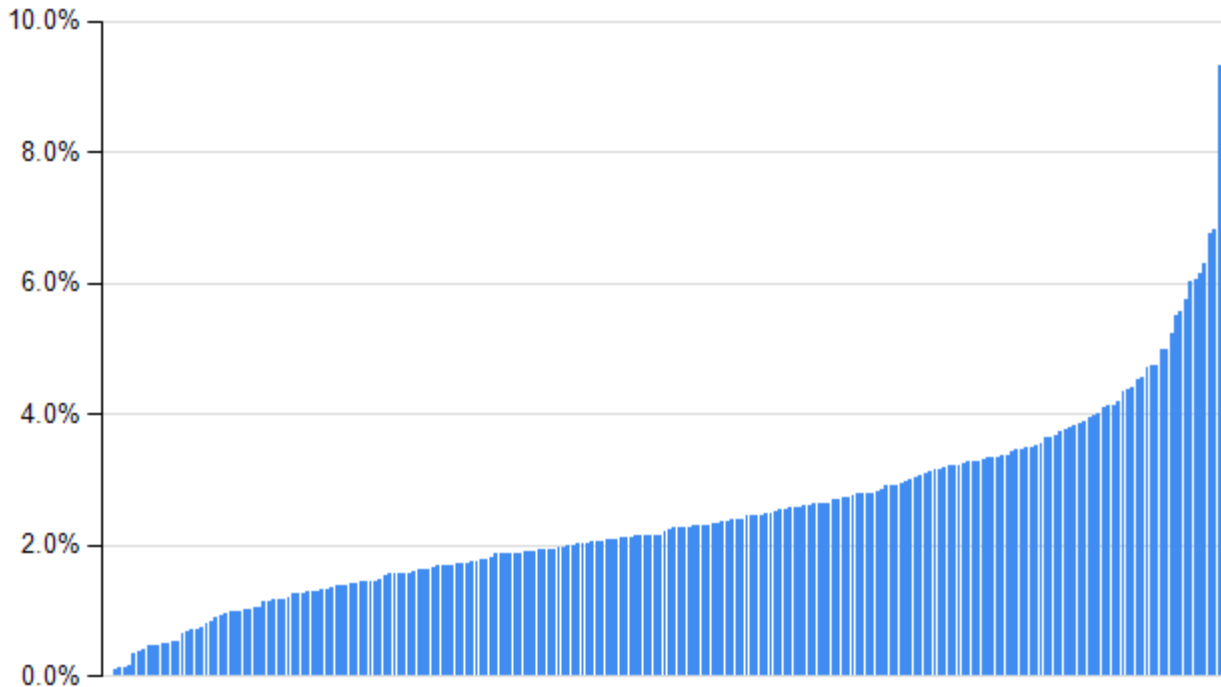
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2091
指標名	DPC 入院期間 III 超えの割合

分子：入院期間 III より長い退院数

分母：退院症例数 (DPC 分析対象)



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度 (平成30年度)**

期間症例 10 例未満の病院を除外し、232/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1267092	29054	2.3%

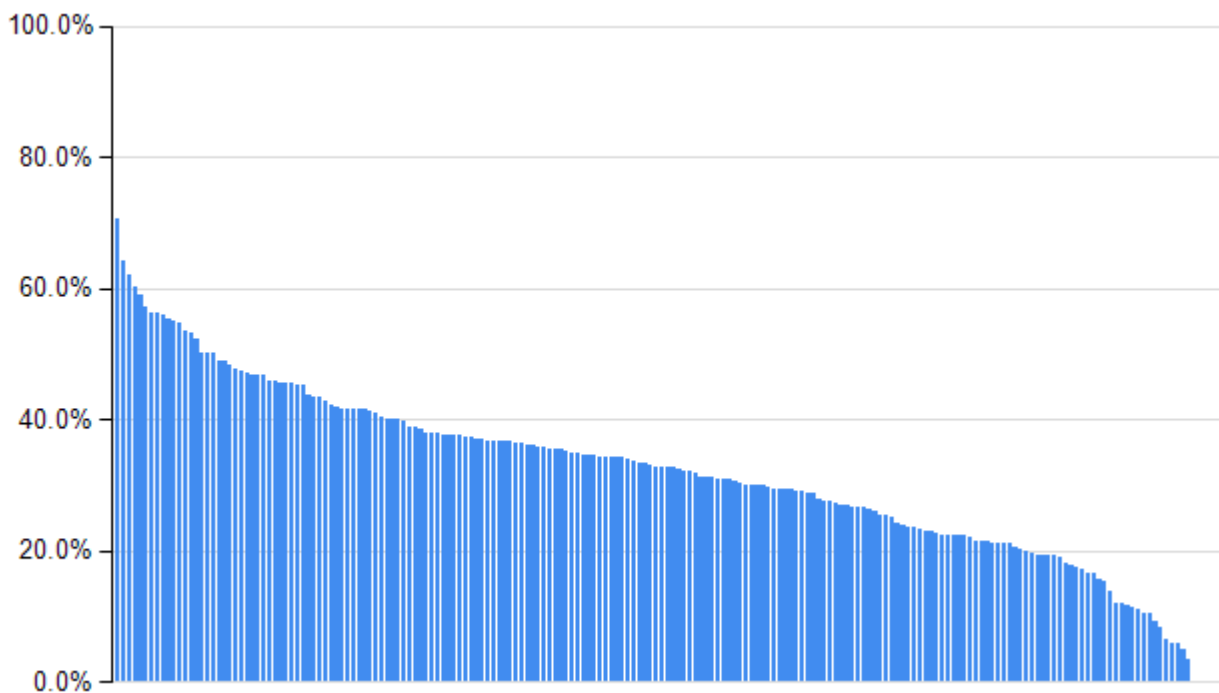
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2096
指標名	5大癌初発に対する他院よりの紹介のない入院のうち StageI までの割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）

分子：分母のうち、StageI までの割合

分母：5大癌初発に対する他院よりの紹介のない初回入院（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

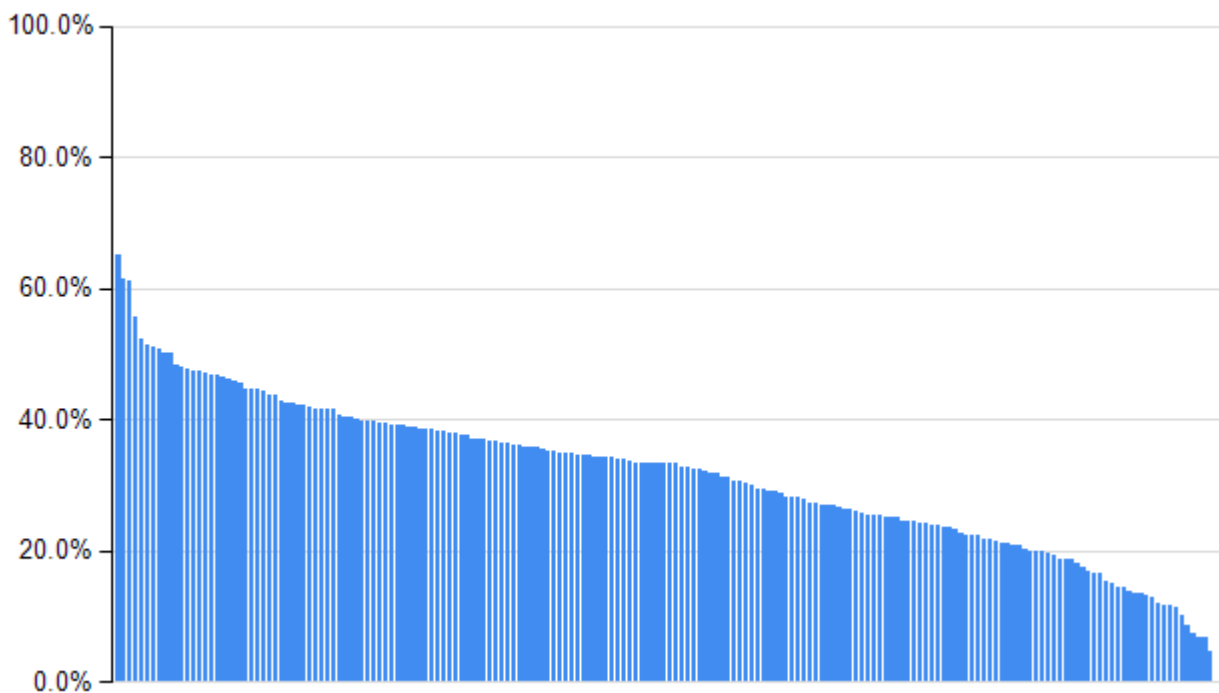
期間症例 10例未満の病院を除外し、197/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
15620	5302	33.9%

指標番号	2097
指標名	5大癌初発に対する他院よりの紹介のある入院のうち StageI までの割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）

分子：分母のうち、StageI までの割合

分母：5大癌初発に対する他院よりの紹介のある初回入院（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

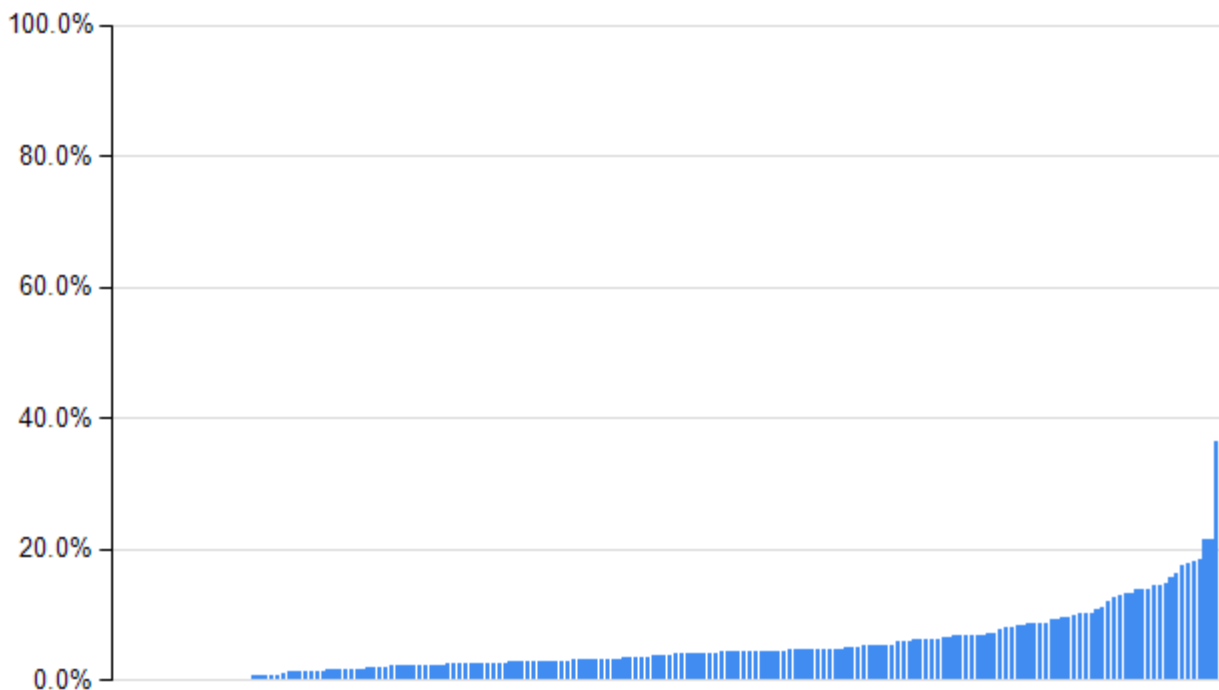
期間症例 10例未満の病院を除外し、190/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
31458	11439	36.4%

指標番号	2101
指標名	悪性腫瘍（4種）手術症例における大量輸血の割合2（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）

分子：分母のうち、大量に輸血の実施された症例

分母：悪性腫瘍に対する手術症例（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、194/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
18044	713	4.0%

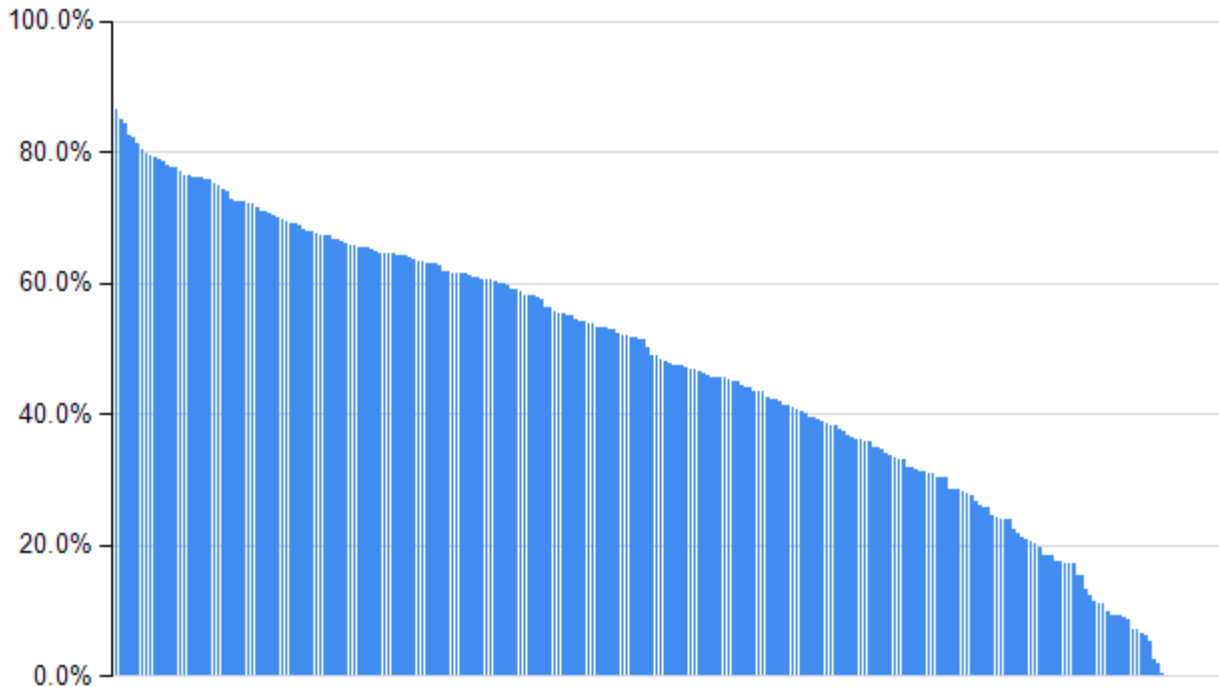
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2102
指標名	誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合

分子： 分母のうち、退院調整を行った症例

分母： 誤嚥性肺炎入院症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、260/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28551	13427	47.0%

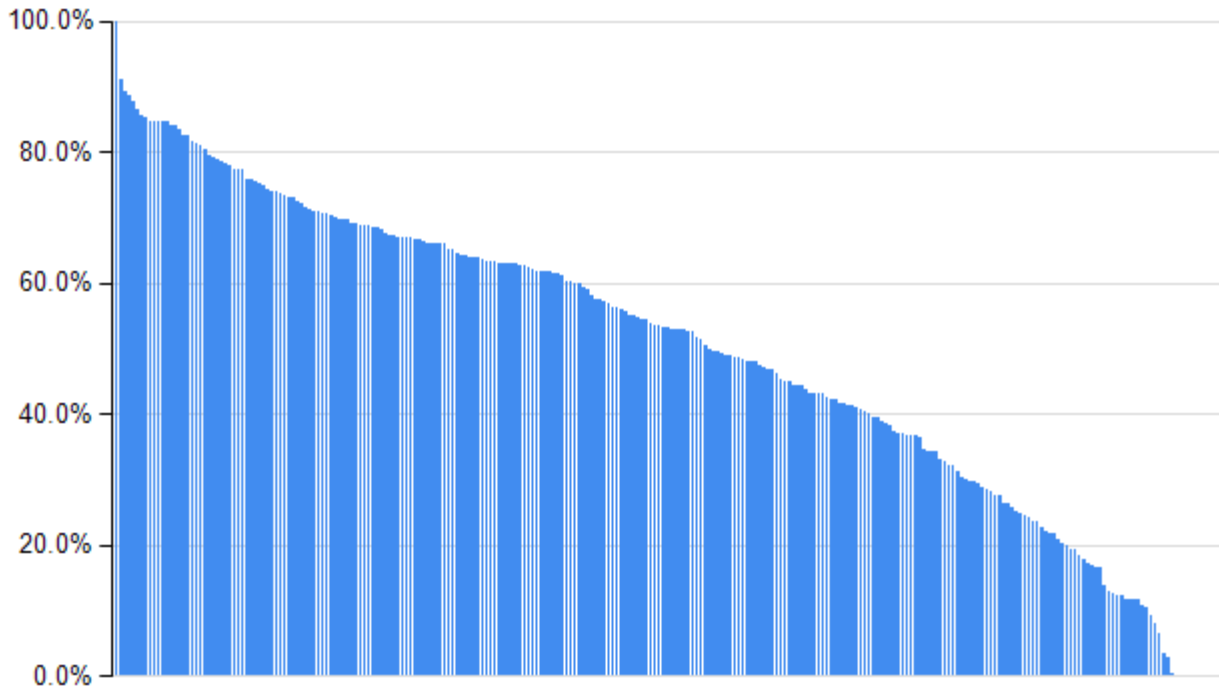
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2103
指標名	認知症を伴う症例に対する退院支援の割合

分子： 分母のうち、退院調整を行った症例

分母： 認知症を伴う入院症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、263/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
90423	44751	49.5%

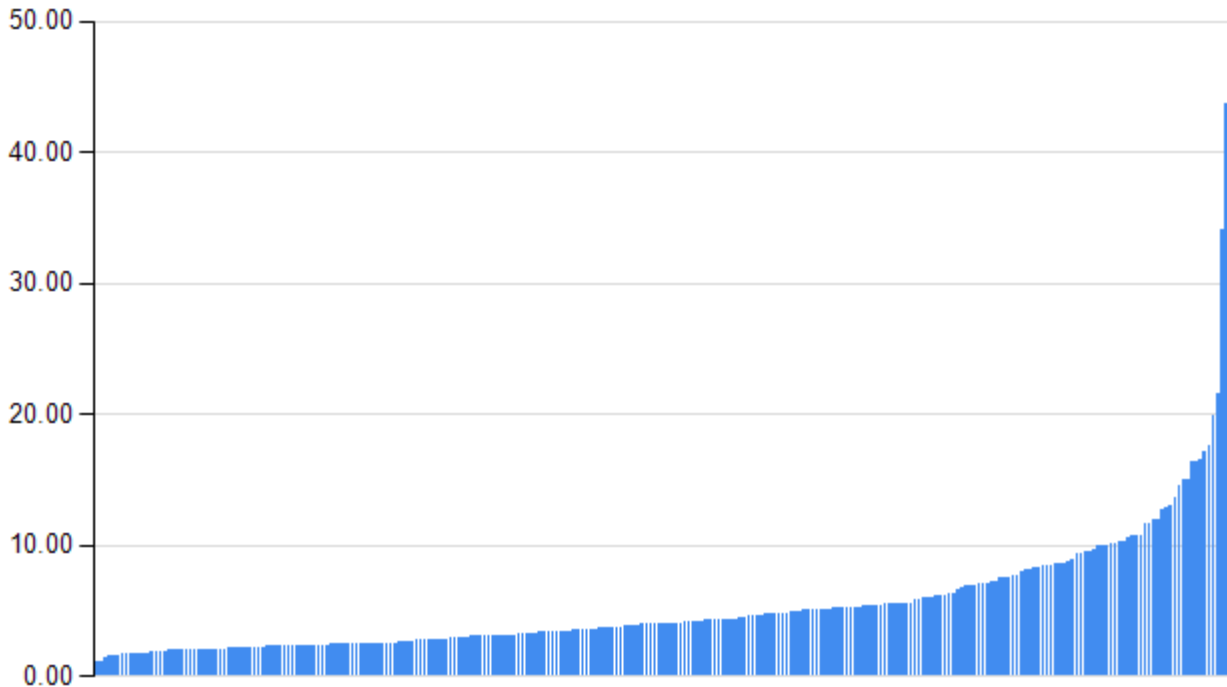
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2104
指標名	薬剤管理指導実施開始日

分子：分母のうち、薬剤管理指導を最初に実施した入院日数（入院日を1）

分母：入院症例のうち、薬剤管理指導を受けた症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、266/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
974690	3899325	4.00

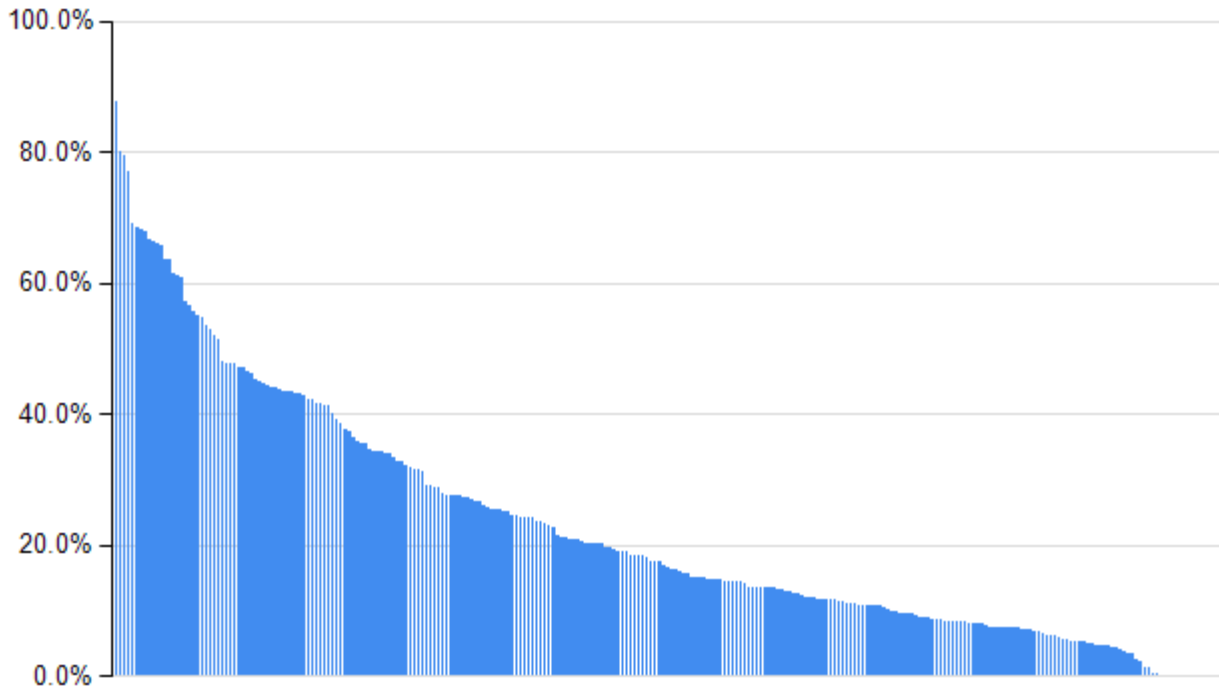
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2105
指標名	悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症の症例に対する退院支援の割合

分子：分母のうち、退院調整を行った症例

分母：悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症いずれかの入院症例数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
328667	71080	21.6%

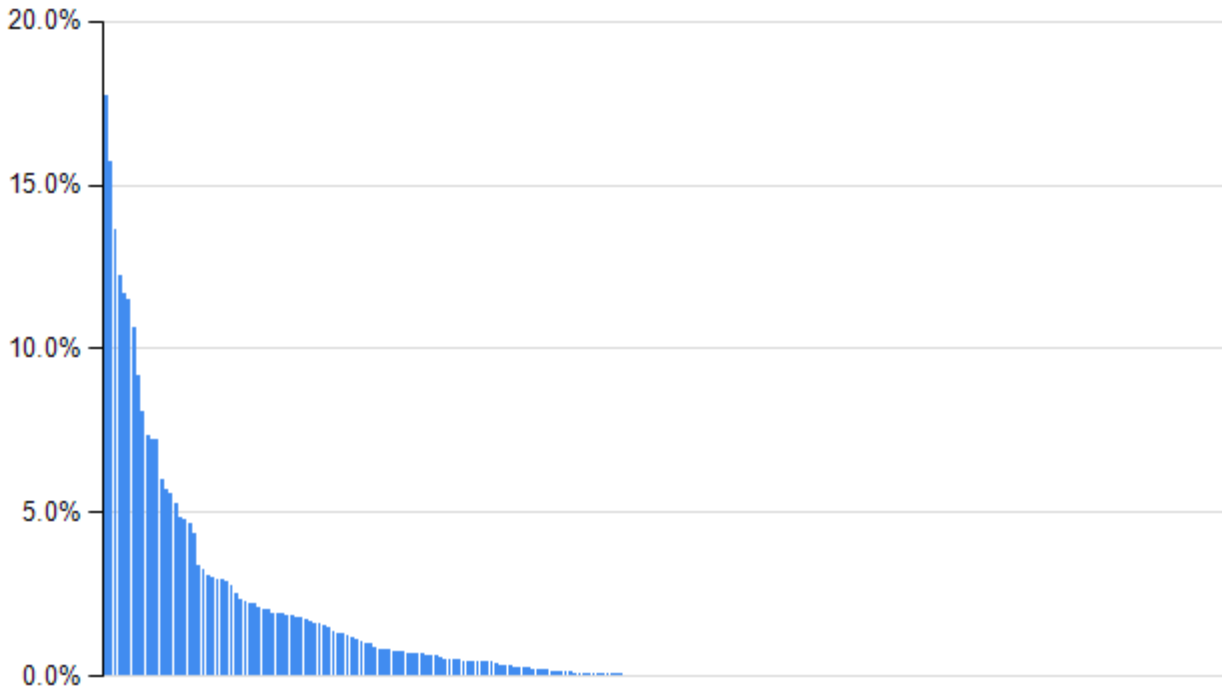
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2116
指標名	外来インスリン治療症例への糖尿病透析予防指導実施割合

分子： 分母の月に、糖尿病透析予防指導の実施された月数

分母： インスリン注射を処方された症例の処方された月数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、241/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
372733	4583	1.2%

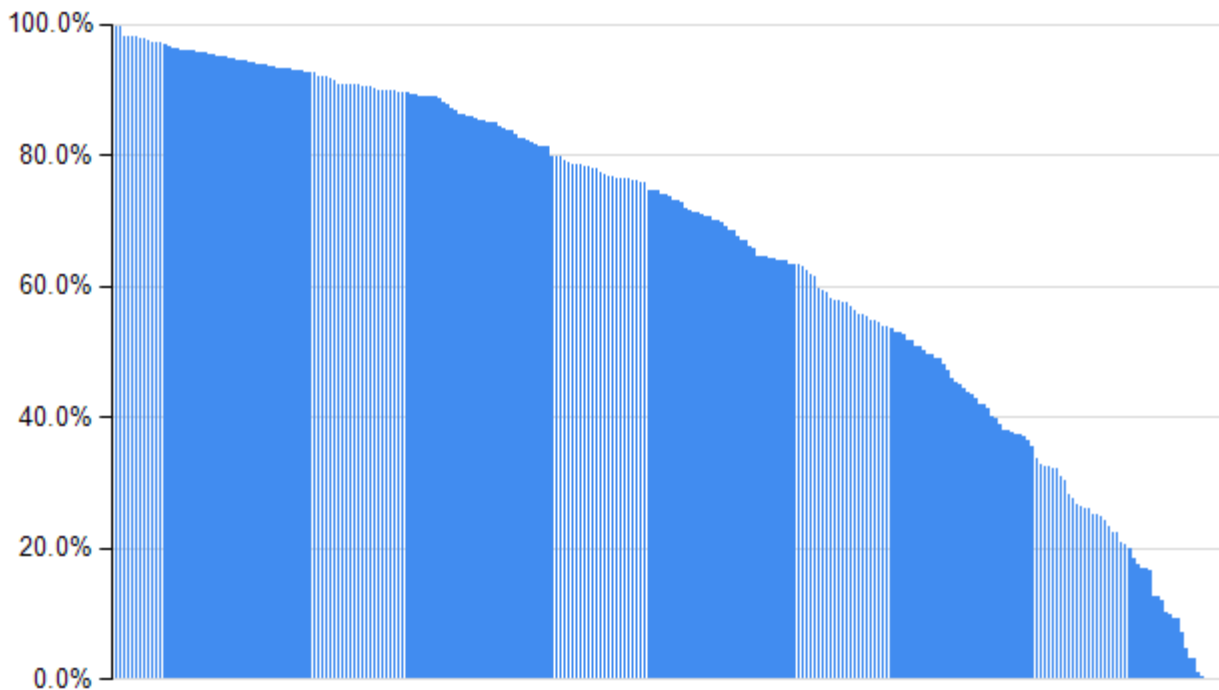
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2120
指標名	服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率

分子： 分母のうち薬剤管理指導料が算定された患者数

分母： 特に安全管理が必要な医薬品として、別表に定める医薬品のいずれかが投薬又は注射されている患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、274/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
804921	575005	71.4%

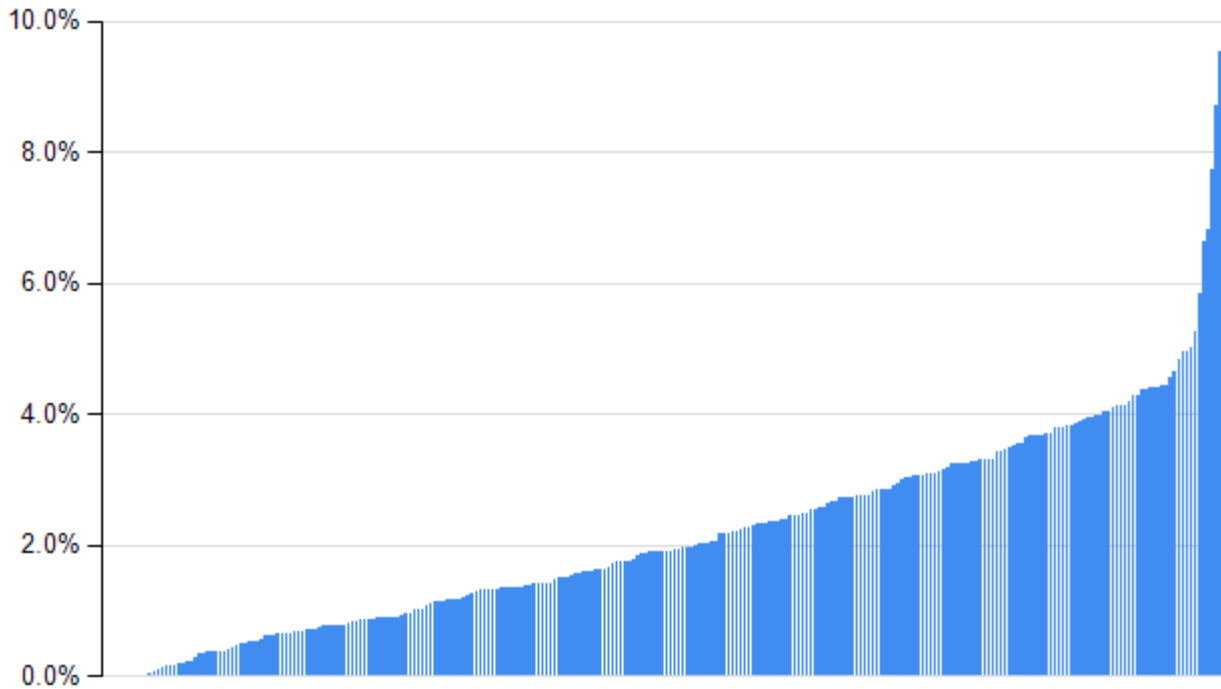
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2123
指標名	再入院（30日） a.30日以内の予定外再入院率

分子： 分母のうち前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数

分母： 退院患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 **2018年度（平成30年度）**

期間症例 10例未満の病院を除外し、271/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1449647	32470	2.2%

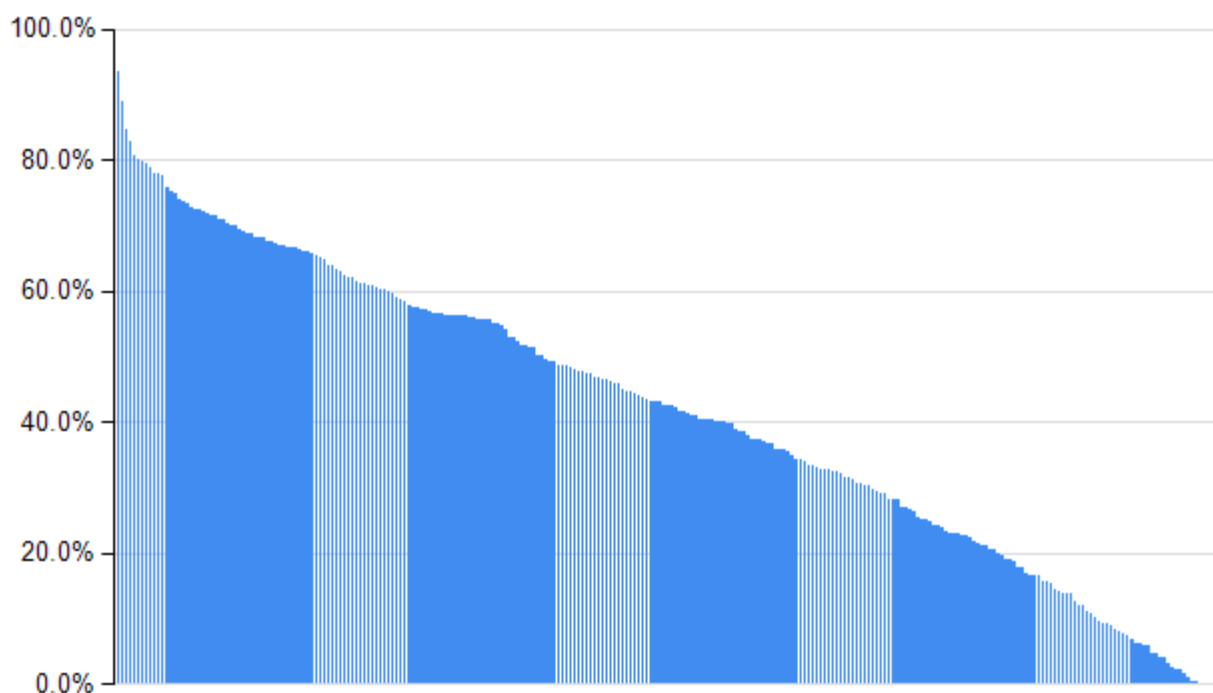
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2120_w
指標名	服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率（共通定義）

分子： 分母のうち、「B008 薬剤管理指導料 2 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射がされている患者に対して行う場合（1に該当する場合を除く）」が算定された患者数

分母： 特に安全管理が必要な医薬品として、別表に定める医薬品のいずれかが投薬又は注射されている患者数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

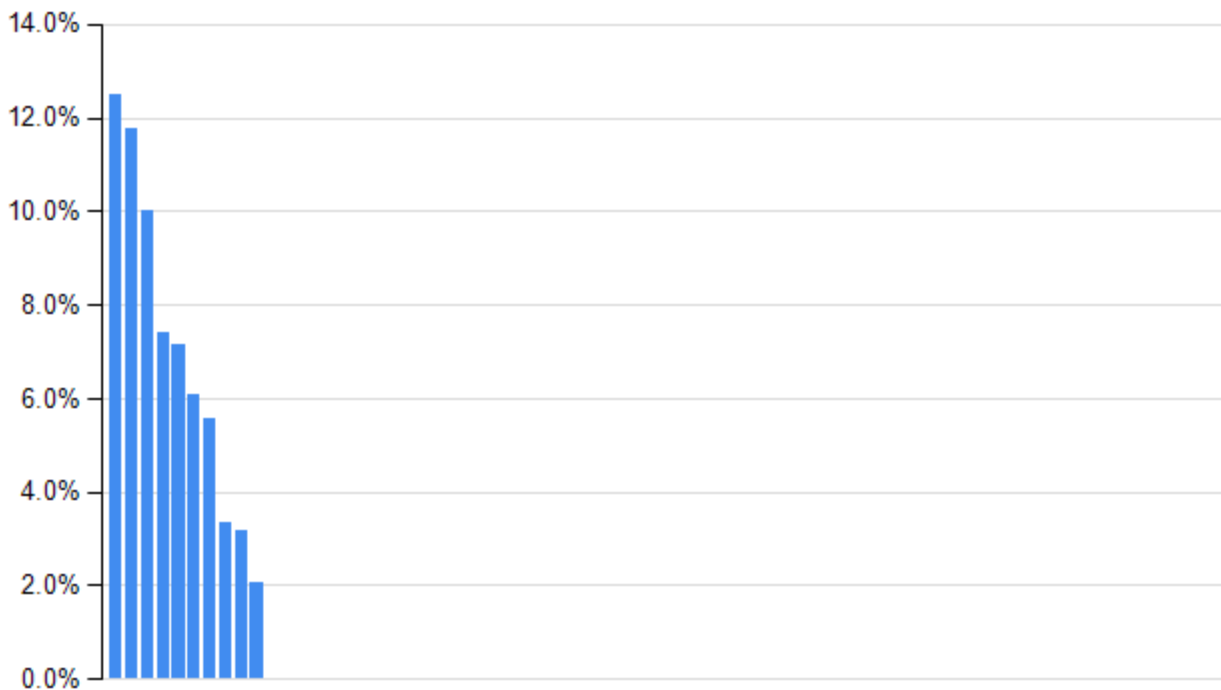
期間症例 10例未満の病院を除外し、274/274病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
804921	348561	43.3%

指標番号	2131_1
指標名	AKIのための早期診断・モニター実施割合（1）尿中 L-FABP 検査

分子：分母のうち、集中治療室入室後の初回透析日よりも前（透析日は含まない）に尿中 L-FABP 検査が実施された症例

分母：集中治療室に入室して 1 回以上血液透析を実施した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、71/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1976	18	0.9%

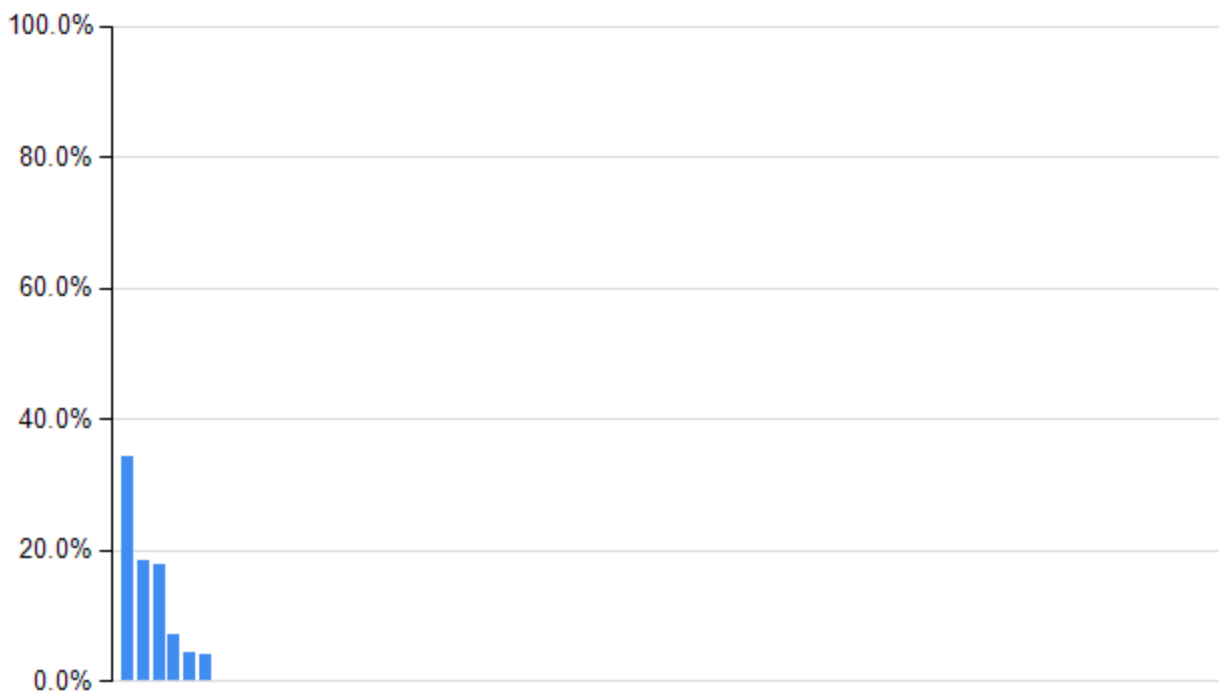
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2131_2
指標名	AKIのための早期診断・モニター実施割合（2）尿中 L-FABP 検査

分子：分母のうち、集中治療室入室後の初回透析日より前（透析日は含まない）に尿中 L-FABP 検査が実施された症例

分母：集中治療室に入室して 1 回以上血液透析を実施した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

期間症例 10 例未満の病院を除外し、71/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1976	32	1.6%

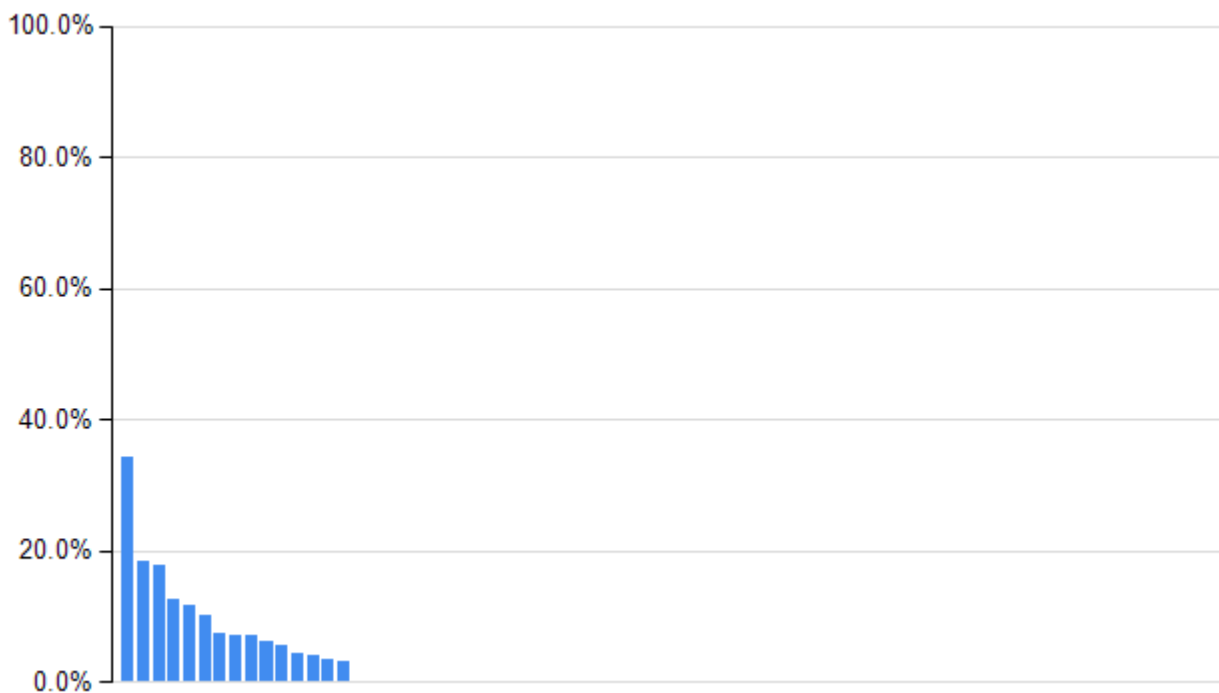
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2131_3
指標名	AKIのための早期診断・モニター実施割合（3）尿中 L-FABP 検査または尿中 NGAL 検査

分子： 分母のうち、集中治療室入室後の初回透析日よりも前（透析日は含まない）に尿中 L-FABP 検査または尿中 NGAL 検査が実施された症例

分母： 集中治療室に入室して 1 回以上血液透析を実施した症例



データ参照期間 2018 年 4 月～2019 年 3 月退院分 2018 年度（平成 30 年度）

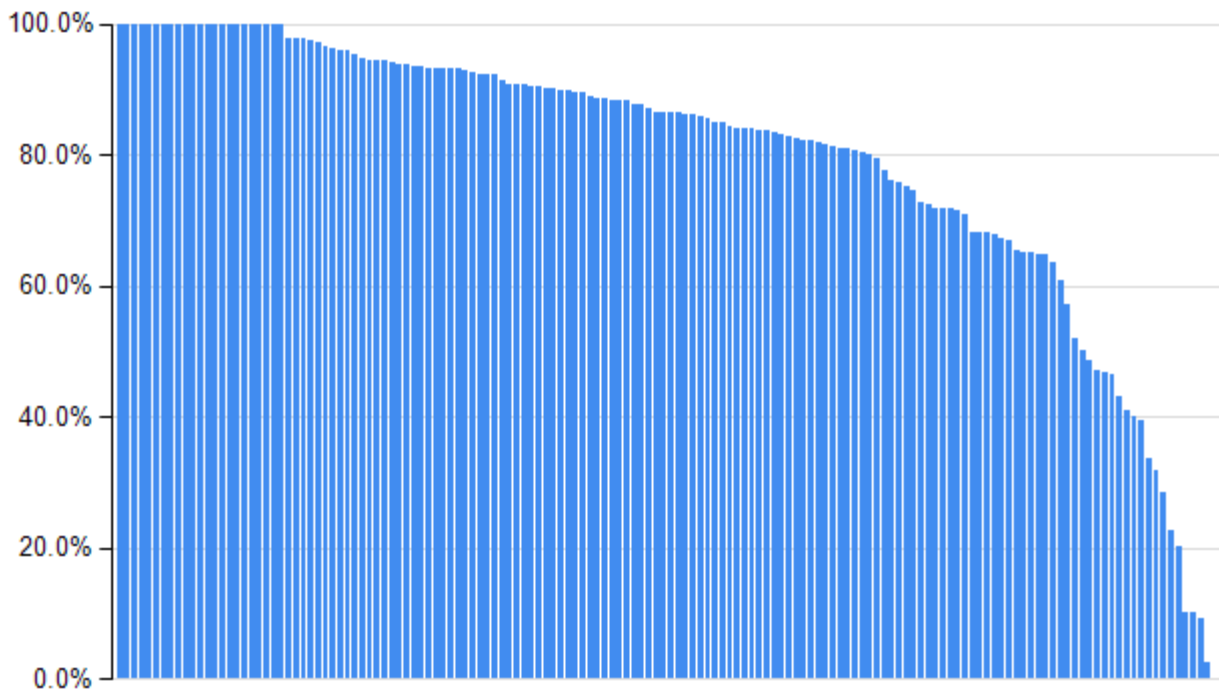
期間症例 10 例未満の病院を除外し、71/271 病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1976	47	2.4%

指標番号	2133
指標名	シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

分子：分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

分母：18歳以上の症例で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた、実施日数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、150/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
17009	13438	79.0%

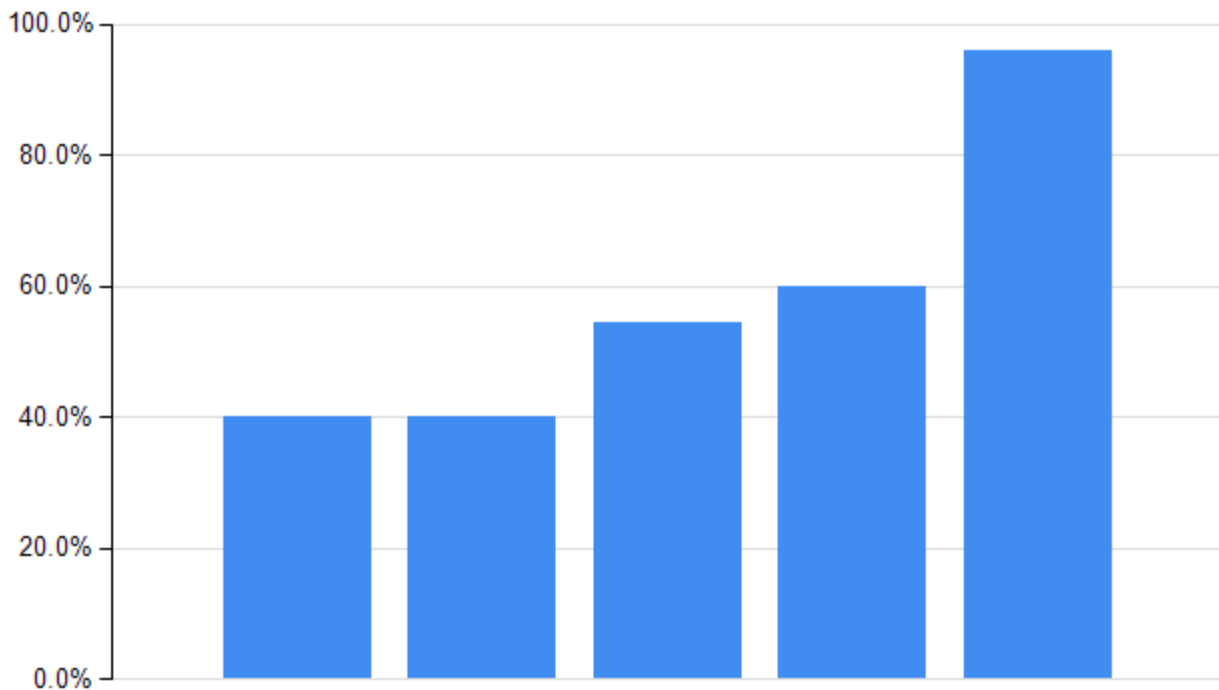
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2134
指標名	ストレプトゾシンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

分子：分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

分母：18歳以上の症例で、入院にてストレプトゾシンを含む化学療法を受けた、実施日数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、5/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
169	97	57.4%

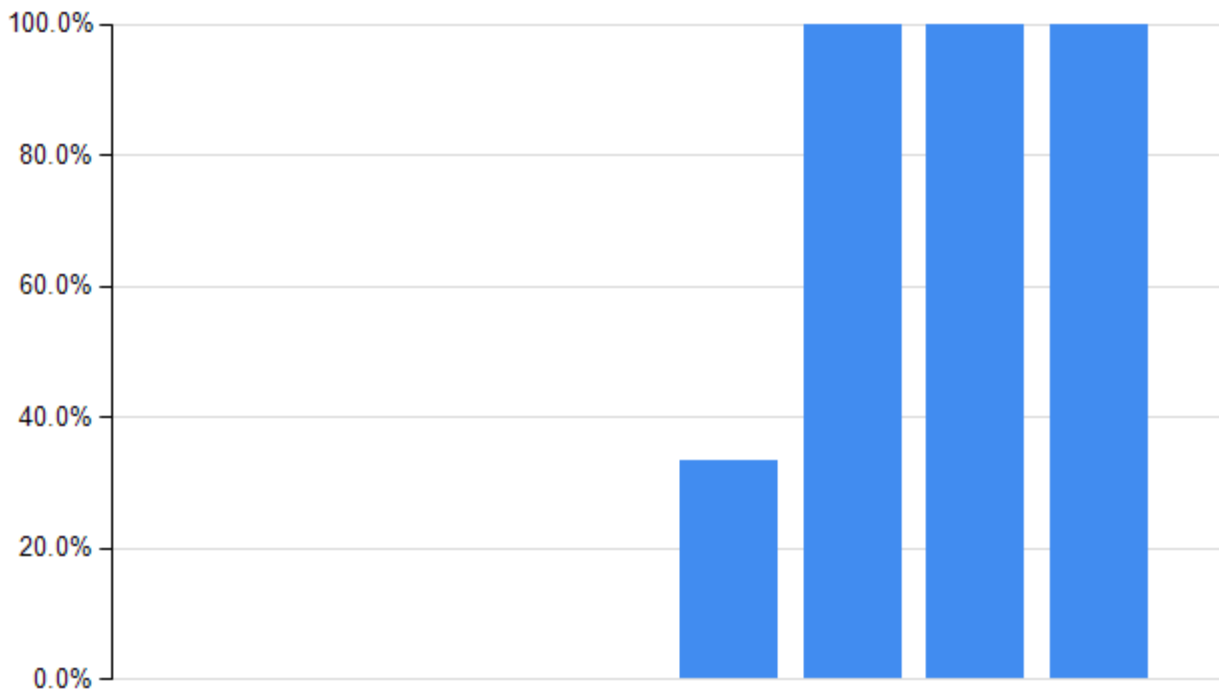
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2135
指標名	ダカルバジンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

分子：分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

分母：18歳以上の症例で、入院にてダカルバジンを含む化学療法を受けた、実施日数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、8/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
203	75	36.9%

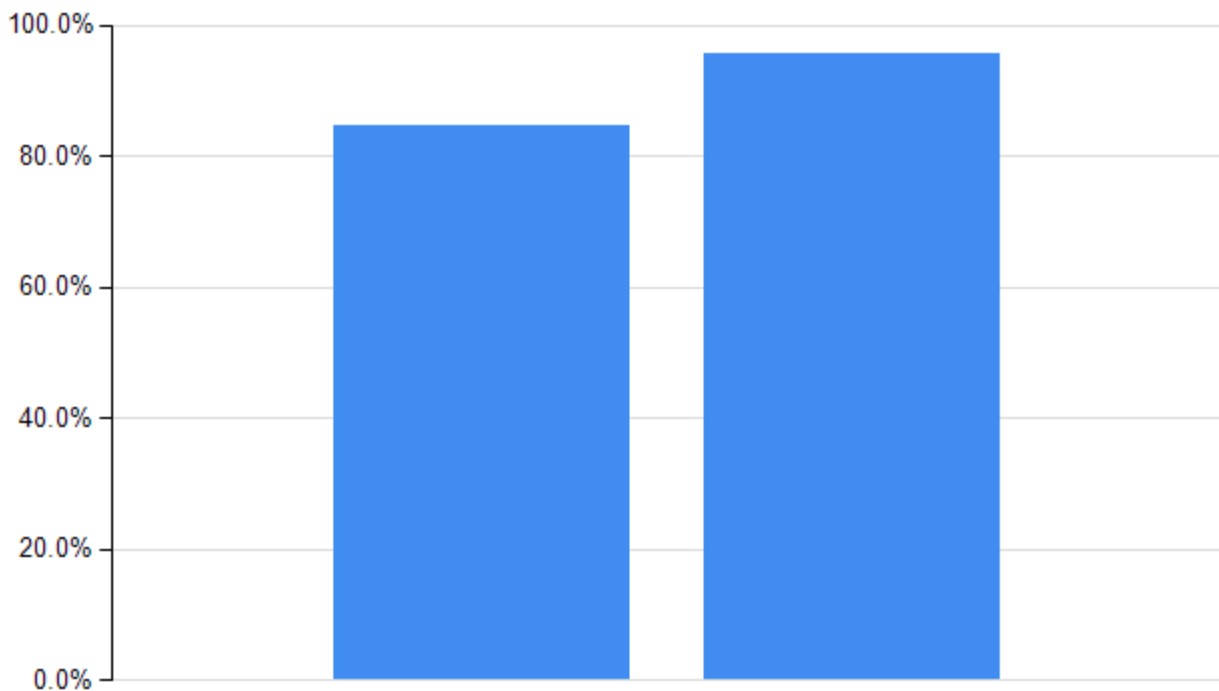
2019/07/26 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2136
指標名	AC（ドキシソルビシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与

分子：分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタソンの3剤すべてを併用した数

分母：18歳以上の症例で、入院にてドキシソルビシン、シクロホスファミドの両薬剤を同日に含む化学療法を受けた実施日数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

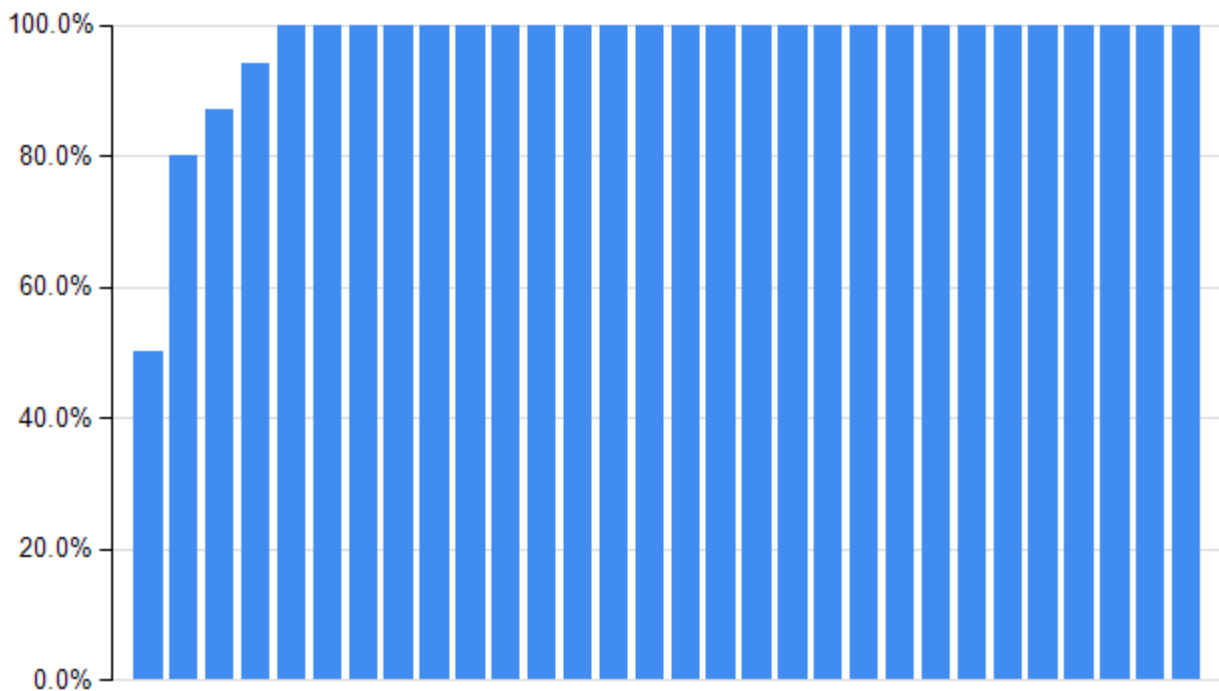
期間症例 10例未満の病院を除外し、2/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
228	194	85.1%

指標番号	2137
指標名	EC（エピルビシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与

分子： 分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

分母： 18歳以上の症例で、入院にてエピルビシン、シクロホスファミドの両薬剤を同日に含む化学療法を受けた、実施日数



データ参照期間 2018年4月～2019年3月退院分 2018年度（平成30年度）

期間症例 10例未満の病院を除外し、30/271病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
834	808	96.9%

